

高松東道路建設に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告 第10冊

鴨部・川田遺跡Ⅲ

第1分冊

2002.3

香川県教育委員会  
(財)香川県埋蔵文化財調査センター  
国土交通省四国地方整備局

高松東道路建設に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告 第10冊

# 鴨部・川田遺跡Ⅲ

第1分冊

2002.3

香川県教育委員会  
(財)香川県埋蔵文化財調査センター  
国土交通省四国地方整備局



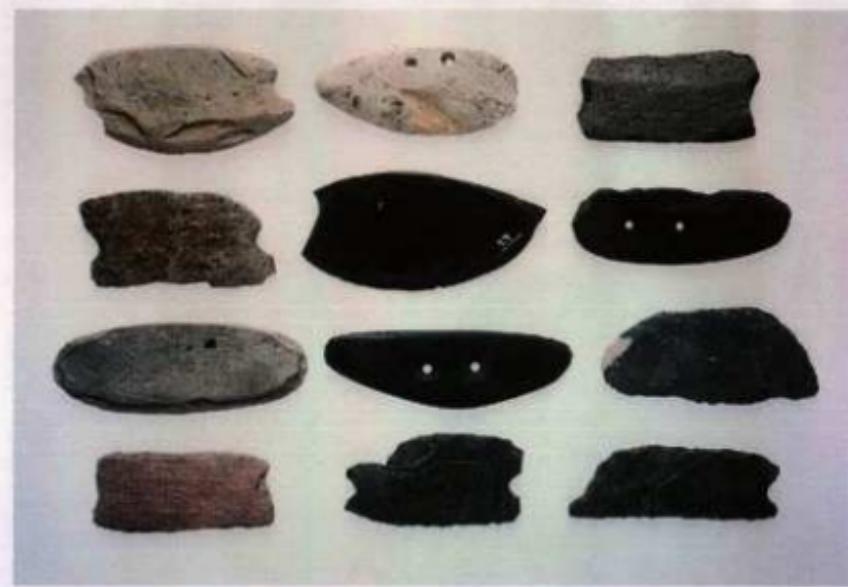
S D01 (秦漢) 出土土偶



S D01 (秦漢) 出土土器



秦國・川田遺跡出土石器



秦國・川田遺跡出土石器

## 序 文

香川県教育委員会では、四国横断自動車道や高松東道路の建設、高松空港跡地の整備など、大規模開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査と出土文化財の整理研究・報告書刊行の業務を、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターに委託しております。

このたび、「高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第10冊 鴨部・川田遺跡Ⅲ」として刊行いたしますのは、平成3年度に調査を実施しました大川郡志度町の鴨部・川田遺跡についてであります。

この遺跡の調査では、弥生時代から平安時代にかけての多くの遺構・遺物が出土しております。なかでも、大規模な環濠が取り巻く弥生時代前期の集落跡が確認でき、また日常生活に欠くことができない土器や石製品などが大量に出土したことにより、当時の生活・文化を解明することができました。

本報告書が本県の歴史研究の資料として広く活用されますとともに、埋蔵文化財に対する理解と関心が一層深められる一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から出土文化財の整理・報告にいたるまでの間、国土交通省四国地方整備局及び関係諸機関並びに地元関係各位には多大の御指導と御協力をいただきました。ここに深く感謝の意を表しますとともに、今後ともよろしく御支援賜りますようお願い申し上げます。

平成13年3月

香川県教育委員会  
教育長 折原 守

## 例 言

1. 本報告書は、高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の第10冊であり、香川県大川郡志度町鴨部に所在する鴨部・川田遺跡（かべ・かわたいせき）の報告のうち、平成3年度の発掘調査で検出された石製品と環濠出土土器について収録した。
2. 発掘調査は、香川県教育委員会が国土交通省四国地方整備局から委託され、香川県教育委員会が調査主体、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが調査担当者として実施した。
3. 発掘調査は、試掘調査を香川県教育委員会文化行政課が平成元年10月23日から10月26日と平成2年7月3日から7月5日に実施し、本調査を財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが平成3年4月18日から平成4年1月20日まで実施した。発掘調査の担当は、以下のとおりである。

試掘調査 香川県教育委員会文化行政課 岩橋 孝・北山健一郎

本 調 査 財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

平成2年度 森 格也・古野美穂子・多田政弘

平成3年度 大久保徹也・土佐修治・満岡博隆

4. 報告書の作成は、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが実施した。本書の執筆・編集は森下友子が担当した。

5. 報告書の作成にあたっては、下記の方々のご教示を得た。記して謝意を表したい。(順不同、敬称略)

谷山 稔・下條信行・小島恵子

6. 本報告書で用いる方位の北は、国土座標系第4系の北であり、標高はT.P.を基準としている。  
また、遺構は下記の略号により表示している。

S B 掘立柱建物 S D 溝 S E 井戸 S H 竪穴住居 S K 土坑

S P 柱穴 S R 自然河川 S X 落ち込み・不明遺構

7. 本報告書で用いる石器実測図の周辺部の実線は敲打痕・潰れを、網目は以下の範囲を表す。



自然面



研磨



摩滅 (強)



摩滅 (弱)

## 第1分冊

### 本文目次

卷頭図版

序 文

例 言

第1章 調査の経緯.....	1
第2章 調査の成果	
第1節 SD01出土土器・土製品.....	3
第2節 焼粘土塊.....	43
第3節 石器.....	44
第3章 まとめ.....	189
土器観察表.....	195
焼粘土塊観察表.....	218
石器観察表.....	219
各遺構出土遺物・覧表.....	369

### 挿図目次

第1図 SD1067・SD01(2区部分)遺物(土器・石器)出土状況(1/100).....	5・6
第2図 SD1067・SD01(3区部分)遺物(土器・石器)出土状況(1/100).....	7・8
第3図 SD01(2区)出土土器・土製品 1(1/4) .....	9
第4図 SD01(2区)出土土器・土製品 2(1/4) .....	10
第5図 SD01(2区)出土土器・土製品 3(1/4) .....	11
第6図 SD01(2区)出土土器・土製品 4(1/4) .....	12
第7図 SD01(2区)出土土器・土製品 5(1/4) .....	13
第8図 SD01(2区)出土土器・土製品 6(1/4) .....	15
第9図 SD01(2区)出土土器・土製品 7(1/4) .....	16
第10図 SD01(2区)出土土器・土製品 8(1/4) .....	17
第11図 SD01(2区)出土土器・土製品 9(1/4) .....	19
第12図 SD01(2区)出土土器・土製品 10(1/4) .....	20
第13図 SD01(2区)出土土器・土製品 11(1/4) .....	21
第14図 SD01(2区)出土土器・土製品 12(1/4) .....	22
第15図 SD01(2区)出土土器・土製品 13(1/4) .....	23
第16図 SD01(2区)出土土器・土製品 14(1/4) .....	24

第 17図	S D01 (2 区) 出土土器・土製品	15 (1/2) .....	25
第 18図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	1 (1/4) .....	27
第 19図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	2 (1/4) .....	28
第 20図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	3 (1/4) .....	29
第 21図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	4 (1/4) .....	30
第 22図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	5 (1/4) .....	31
第 23図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	6 (1/4) .....	32
第 24図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	7 (1/4) .....	33
第 25図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	8 (1/4) .....	34
第 26図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	9 (1/4) .....	36
第 27図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	10 (1/4) .....	37
第 28図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	11 (1/4) .....	38
第 29図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	12 (1/4) .....	39
第 30図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	13 (1/4) .....	40
第 31図	S D01 (3 区) 山土土器・土製品	14 (1/4) .....	41
第 32図	S D01 (3 区) 出土土器・土製品	15 (1/4) .....	42
第 33図	S D01 (2・3 区) 出土土器	1 (1/4) .....	43
第 34図	鴨部・川田遺跡遭構配置図 (1/1,000)	.....	45
第 35図	磨製石包丁 流紋岩製	1 (1/2) .....	89
第 36図	磨製石包丁 流紋岩製	2 (1/2) .....	90
第 37図	磨製石包丁 流紋岩製	3 (1/2) .....	91
第 38図	磨製石包丁 流紋岩製	4 (1/2) .....	92
第 39図	石包丁未製品 流紋岩製	1 (1/2) .....	93
第 40図	石包丁未製品 流紋岩製	2 (1/2) .....	94
第 41図	石包丁未製品 流紋岩製	3 (1/2) .....	95
第 42図	石包丁未製品 流紋岩製	4 (1/2) .....	96
第 43図	石包丁未製品 流紋岩製	5 (1/2) .....	97
第 44図	石包丁未製品 流紋岩製	6 (1/2) .....	98
第 45図	石包丁未製品 流紋岩製	7 (1/2) .....	99
第 46図	磨製石包丁 安山岩製	1 (1/2) .....	100
第 47図	磨製石包丁 安山岩製	2 (1/2) .....	101
第 48図	磨製石包丁 安山岩製	3 (1/2) .....	102
第 49図	打製石包丁 安山岩製	1 (1/2) .....	103
第 50図	打製石包丁 安山岩製	2 (1/2) .....	104
第 51図	打製石包丁 安山岩製	3 石包丁未製品または右包丁 安山岩製 (1/2) .....	105
第 52図	磨製石包丁 粘板岩製	磨製石包丁 結晶片岩製 1 (1/2) .....	106
第 53図	磨製石包丁 結晶片岩製	2 (1/2) .....	107
第 54図	磨製石包丁 結晶片岩製	3 (1/2) .....	108

第 55図	磨製石包丁	結晶片岩製	4 (1/2)	.....	109	
第 56図	打製石包丁	結晶片岩製	1 (1/2)	.....	110	
第 57図	大型打製石包丁	安山岩製	大型打製石包丁	玄武岩製	石鎌 結晶片岩製 (1/2) .....	111
第 58図	不明	安山岩製	スクレイパー	結晶片岩製 (1/2)	.....	112
第 59図	石鎌	安山岩製	1 (1/2)	.....	113	
第 60図	石鎌	安山岩製	2 (1/2)	.....	114	
第 61図	石鎌	安山岩製	3 (1/2)	.....	115	
第 62図	石鎌	安山岩製	4 (1/2)	.....	116	
第 63図	石鎌	安山岩製	5 (1/2)	.....	117	
第 64図	石鎌	安山岩製	6 (1/2)	.....	118	
第 65図	石鎌	安山岩製	7	石鎌の可能性 安山岩製 (1/2)	.....	119
第 66図	石鎌	結晶片岩製	1 (1/2)	.....	120	
第 67図	石鎌	結晶片岩製	2 (1/2)	.....	121	
第 68図	石鎌	結晶片岩製	3 (1/2)	.....	122	
第 69図	大型蛤刃石斧	流紋岩製・安山岩製 (1/2)	.....	123		
第 70図	大型蛤刃石斧	アブライト製	大型蛤刃石斧	半深成岩製	1 (1/2) .....	124
第 71図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	2 (1/2)	.....	125	
第 72図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	3 (1/2)	.....	126	
第 73図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	4 (1/2)	.....	127	
第 74図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	5 (1/2)	.....	128	
第 75図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	6 (1/2)	.....	129	
第 76図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	7 (1/2)	.....	130	
第 77図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	8 (1/2)	.....	131	
第 78図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	9 (1/2)	.....	132	
第 79図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	10 (1/2)	.....	133	
第 80図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	11 (1/2)	.....	134	
第 81図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	12 (1/2)	.....	135	
第 82図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	13 (1/2)	.....	136	
第 83図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	14 (1/2)	.....	137	
第 84図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	15 (1/2)	.....	138	
第 85図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	16 (1/2)	.....	139	
第 86図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	17 (1/2)	.....	140	
第 87図	大型蛤刃石斧	半深成岩製	18 (1/2)	.....	141	
第 88図	大型蛤刃石斧	結晶片岩製	1 (1/2)	.....	142	
第 89図	大型蛤刃石斧	結晶片岩製	2	大型蛤刃石斧 蛇紋岩製 (1/2)	.....	143
第 90図	柱状片刃石斧	安山岩製・シルト岩製	柱状片刃石斧	新晶片岩製	1 (1/2) .....	144
第 91図	柱状片刃石斧	結晶片岩製	2	柱状片刃石斧の可能性 結晶片岩製 (1/2)	.....	145
第 92図	柱状片刃石斧未製品	結晶片岩製	1 (1/2)	.....	146	

第 93図	柱状片刃石斧未製品	結晶片岩製	2	扁平片刃石斧未製品	結晶片岩製 (1/2)	147	
第 94図	小型方柱状片刃石斧	シルト岩製・粘板岩製		小型方柱状片刃石斧	結晶片岩製 1 (1/2)	148	
第 95図	小型方柱状片刃石斧	結晶片岩製	2	扁平片刃石斧	流紋岩製・シルト岩製 (1/2)	149	
第 96図	扁平片刃石斧	頁岩製		扁平片刃石斧	結晶片岩製 1 (1/2)	150	
第 97図	扁平片刃石斧	結晶片岩製	2	扁平片刃石斧未製品	結晶片岩製	扁平片刃石斧 不明石材 製 (1/2)	151
第 98図	環状石斧	安山岩製		石劍	安山岩製・点紋黑色片岩製 (1/2)	152	
第 99図	石錐・石錐の可能性				流紋岩製・安山岩製 (1/2)	153	
第100図	紡錘車・円盤状石製品				流紋岩製・安山岩製・結晶片岩製 (1/2)	154	
第101図	凹み石または叩き石				流紋岩製・流紋岩または花崗斑岩製 (1/2・1/3)	155	
第102図	凹み石または叩き石				安山岩製 1 (1/3)	156	
第103図	凹み石または叩き石				安山岩製 2 (1/3)	157	
第104図	凹み石または叩き石				玄武岩製・半深成岩製 (1/3)	158	
第105図	凹み石または叩き石				花崗岩製・砂岩製・アブライト製・片麻岩製 (1/3)	159	
第106図	石皿または砥石				流紋岩製 1 (1/3・1/2)	160	
第107図	石皿または砥石・磨石				安山岩製・玄武岩製・半深成岩製 (1/3)	161	
第108図	磨石・石皿または砥石				花崗岩製・閃綠岩製・砂岩製 (1/3)	162	
第109図	石皿または砥石				砂岩製 1 (1/3)	163	
第110図	石皿または砥石	砂岩製	2	石皿または砥石	凝灰岩製・片麻岩製 (1/3)	164	
第111図	石核?	チャート製		素材	流紋岩製 1 (1/1・1/2)	165	
第112図					素材 結晶片岩製	不明 結晶片岩製 (1/2)	166
第113図						結晶片岩製 (1/2)	167
第114図						平安時代溝 S D 1069・SD 1070出土石器 (1/2)	168
第115図	平安時代井戸 S E 1002出土五輪塔		1	(1/3)			169
第116図	平安時代井戸 S E 1002出土五輪塔		2	(1/3)			170
第117図	打製石包丁	サヌカイト製	1	(1/2)			171
第118図	打製石包丁	サヌカイト製	2	(1/2)			172
第119図	打製石包丁	サヌカイト製	3	(1/2)			173
第120図	打製石包丁	サヌカイト製	4	(1/2)			174
第121図	打製石包丁 5	石錐	磨滅痕のある石器		スクレイバー 1	サヌカイト製 (1/2)	175
第122図							176
第123図							177
第124図							178
第125図	石錐・石錐	サヌカイト製 (2/3)					179
第126図	石錐・石錐未製品・不明石製品	サヌカイト製 (2/3)					180
第127図	大型盤状剥片	サヌカイト製	1	(1/3)			181
第128図	大型盤状剥片	サヌカイト製	2	(1/3)			182

第129図	大型盤状剥片 サスカイト製 3 (1/3) .....	183
第130図	大型盤状剥片 サスカイト製 4 (1/3) .....	184
第131図	大型盤状剥片 サスカイト製 5 (1/3) .....	185
第132図	剥片 B・分割素材 サスカイト製 (1/2) .....	186
第133図	分割素材・楔形石器または石核 サスカイト製 1 (1/2) .....	187
第134図	楔形石器または石核 サスカイト製 2 (1/2) .....	188
第135図	鴨部・川田遺跡の変遷 .....	192

## 表目次

第1表	平成12年度鴨部・川田遺跡整理作業工程表.....	2
第2表	鴨部・川田遺跡出土石器（サスカイト製以外）.....	46
第3表	各調査区出土石器（サスカイト製以外）.....	47~60
第4表	流紋岩素材または剥片の厚み.....	63
第5表	大型蛤刃石斧基部の幅と厚み.....	70
第6表	鴨部・川田遺跡出土サスカイト製石器.....	79
第7表	石鐵の重量分布（形態別）.....	82
第8表	加工痕のある剥片の重量分布.....	84
第9表	使用痕のある剥片の重量分布.....	84
第10表	大型盤状剥片の重量分布.....	84
第11表	剥片 A の重量分布.....	84
第12表	剥片 B の重量分布.....	86
第13表	分割素材の重量分布.....	86
第14表	楔形石器または石核の重量分布.....	86
第15表	未分類サスカイト片の重量分布.....	87
第16表	S D01出土土器の様相.....	189
第17表	1~4期の石器・石材（平成3年度調査分）.....	193
第18表	土器観察表.....	195
第19表	焼粘土塊観察表 .....	218
第20表	石製品観察表 .....	219
第21表	各造構出土遺物・覧表 .....	369

## 巻頭図版目次

卷頭図版1	S D01（環濠）出土土偶	S D01（環濠）出土土器
卷頭図版2	鴨部・川田遺跡出土石器	鴨部・川田遺跡出土石包丁

## 第1章 調査の経緯

本遺跡南西部の平成2年度調査区は平成7・8年度に整理作業を行い、平成9年度に『鴨部・川田遺跡I』<sup>(1)</sup>として報告書を刊行した。また、本遺跡北東部の平成3年度調査区は平成9・10年度に整理作業の一部を行い、平成12年度に『鴨部・川田遺跡II』<sup>(2)</sup>として報告書を刊行した。『鴨部・川田遺跡II』では遺構、土器・土製品（環濠SD01出土以外）、木製品、動物遺存体、植物遺存体を掲載した。

本報告書に掲載する平成3年度調査区の整理作業は平成12年度に行った。平成12年度には石器の図化、環濠（SD01）出土土器の接合・図化、台帳の作成、遺物の収納を行った。本報告書に掲載するのは『鴨部・川田遺跡II』と同じ調査区から出土した石器、焼粘土塊、環濠（SD01）出土土器・土製品である。

整理作業及び報告書作成作業の工程は第1表、体制は以下のとおりである。

香川県教育委員会文化行政課

課長 小原克己  
課長補佐 小国史郎  
副主幹 廣瀬常雄  
係長 西岡達哉  
文化財専門員 森格也  
文化財専門員 宮崎哲治

（財）香川県埋蔵文化財調査センター

所長 菅原良弘（～10.31）  
所長 小原克己（11.1～）  
次長 川原裕章  
主任文化財専門員 大山眞充  
文化財専門員 森下友子  
整理員 猪木原美恵子  
整理補助員 矢野ゆかり  
整理補助員 長井真由美  
整理作業員 岩崎由紀子  
整理作業員 西本英里香  
整理作業員 松崎千春  
整理作業員 奥田由香  
整理作業員 馬場聰子  
整理作業員 安藤真澄

### 注

- (1) 森 格也「高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第7号 鴨部・川田遺跡I」香川県教育委員会・（財）香川県埋蔵文化財調査センター・建設省四国地方建設局（1997）  
(2) 森下友子・大久保徹也「高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第9号 鴨部・川田遺跡II」香川県教育委員会・（財）香川県埋蔵文化財調査センター・建設省四国地方建設局（2000）

第1表 平成12年度鴨部・川田遺跡整理作業工程表

年 月 作業内容	平成12年												平成13年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
遺物接合・復元															
土器実測				—											
石器実測					—	—	—	—							
遺物レイアウト				—					—						
遺物トレース										—	—				
遺物写真撮影						—	—	—							
原稿執筆						—									
編集															
台帳作成							—								
遺物収納															

## 第2章 調査の成果

### 第1節 S D01出土土器・土製品（第3～33図）

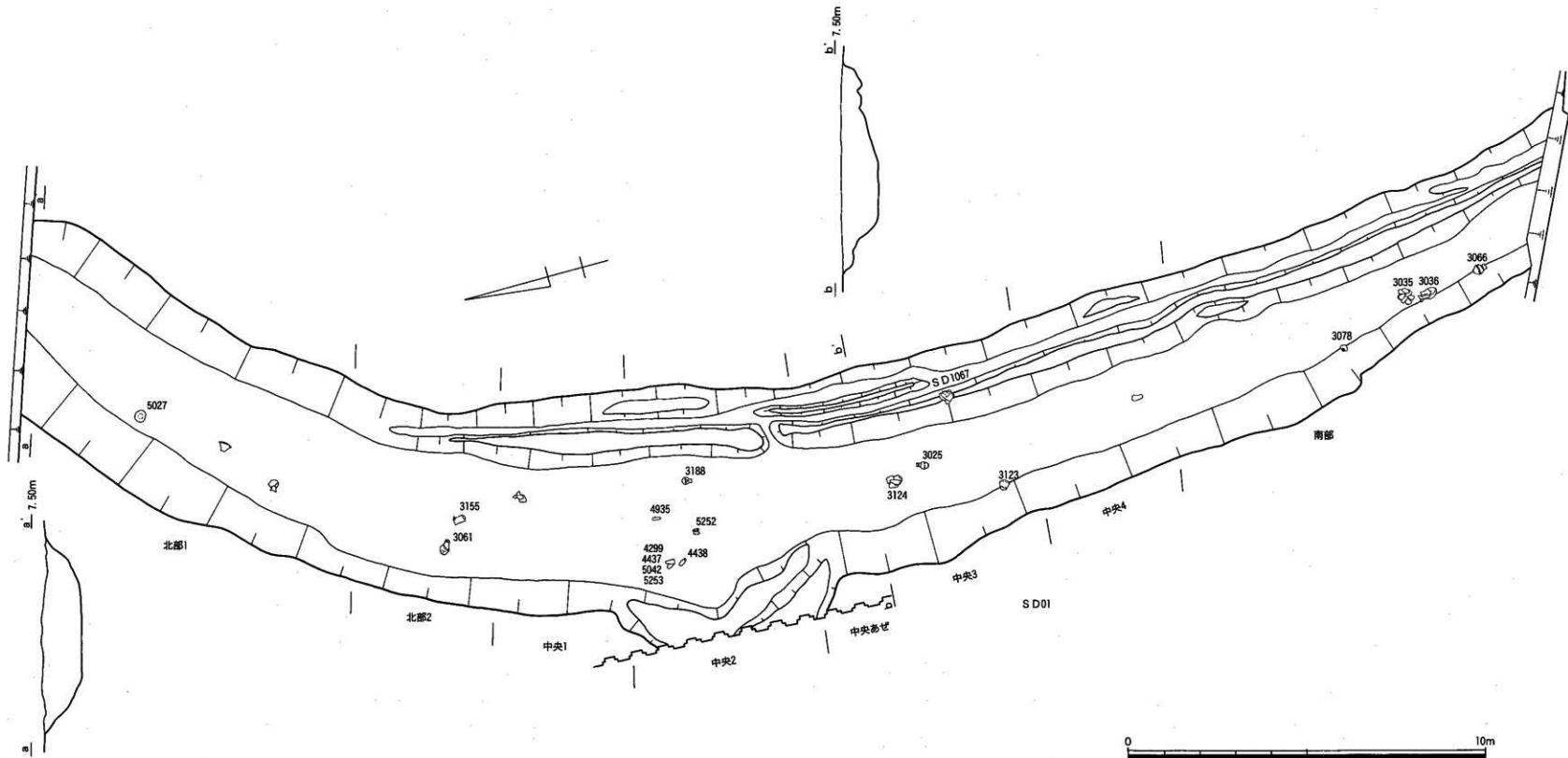
『鴨部・川田遺跡Ⅱ』でも報告したとおり、S D01は2区から3区にかけて検出された環濠で、一部は平成2年度の調査区でも検出された。S D01は円形に巡り、溝の内側で東西径53～60mを測る。2区では溝の幅は2.3～5.3m、深さ0.8～1.2m、3区では幅2.4～6.5m、深さ0.6～1.0mを測る。S D01からは多量の土器・木製品・石製品が出土した。このうち、木製品については『鴨部・川田遺跡Ⅱ』で報告を行った。土器・石製品の出土状況は第1・2図のとおりである。なお、S D01出土の石製品については本遺跡出土の石製品と合わせて後述する。

平成3年度で調査したS D01から出土した土器は整理用コンテナで662箱を数える。このうち、2区から出土したのは307箱、3区から出土したのは354箱、試掘トレンチ等から出土したもので、出土位置不明なもの1箱である。2区は北部、中央部、南部と3小区に分けて調査を行ったが、北部の最上層からは29箱、上層からは35箱、下層・最下層からは52箱、中央部の最上層からは3箱、上層からは25箱、下層・最下層からは84箱、南部の最上層からは13箱、上層からは48箱、下層・最下層からは18箱出土した。3区でも北部、中央部、南部と3小区に分けて調査を行ったが、北部の最上層からは21箱、上層からは17箱、下層・最下層からは62箱、中央部の最上層からは22箱、上層からは38箱、下層・最下層からは90箱、南部の最上層からは6箱、上層からは7箱、下層・最下層からは10箱出土した。その他、試掘トレンチ掘削時に出土した土器が81箱みられる。2・3区とも中央部・北部での出土量が多く、その中でも下層・最下層からの出土量が最も多い。以下、これらの土器を2区と3区の調査区分に分けて、報告する。出土層位は遺物観察表に記載している。

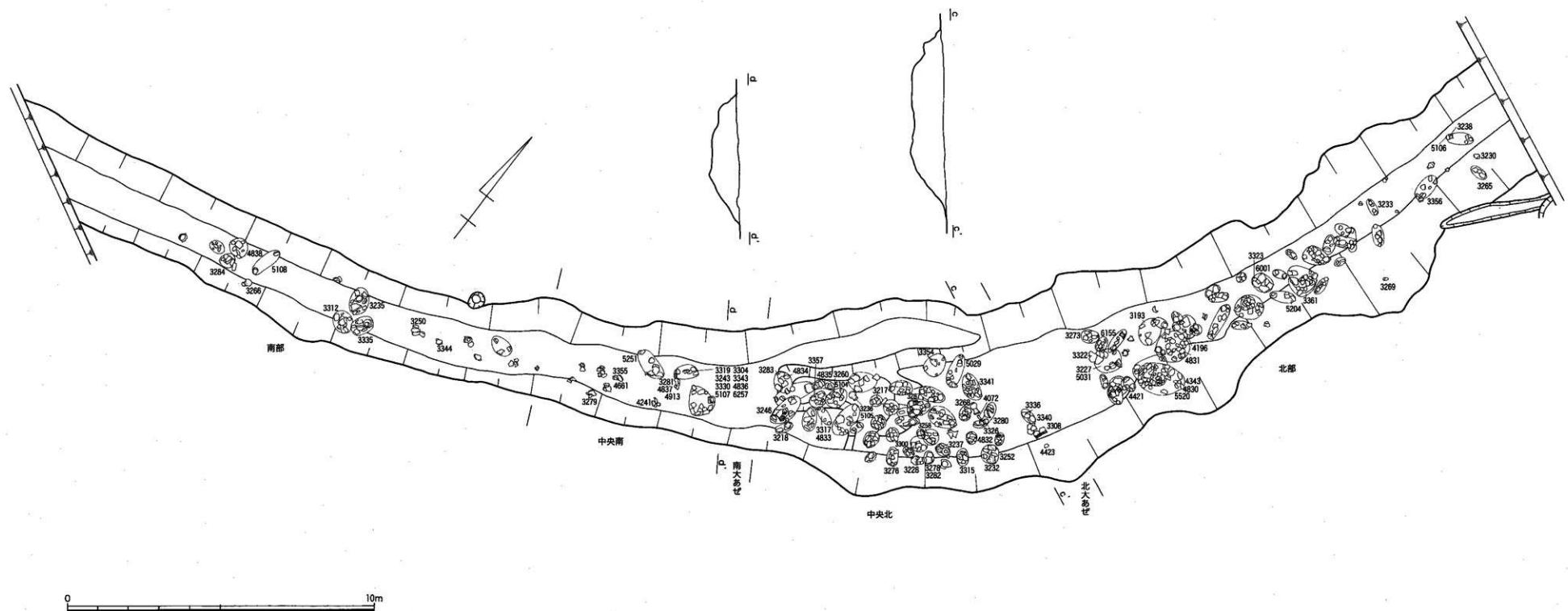
2区では壺・甕・鉢・蓋・匙状土製品・ミニチュア土器・円盤状土製品・土偶が出土した。

壺は口径45cmを測る大型のものや中・小型のものがみられる。文様は段、削り出し突帯、ヘラ描沈線文、ヘラ描木葉文、貼付突帯、無文等がみられる。3001～3010は段をもつ壺である。いずれも口縁部はやや長い。3001は口頸部の境に段がみられる。摩滅が著しく、段の形成方法は不明である。3002も摩滅は顕著である。下端部をヘラ状工具で押さえることにより、段を形成する。3003の段には際取り沈線を施す。3004は摩滅しているが、ヘラ状工具で押さえ込むことによる段がみられる。3005もヘラ状工具で押さえ込むことにより段を形成する。頸部には3本1単位の浅いヘラ描縦線文を施す。3006～3010は頸部と体部の境に段をもつ。3006～3010は際取り沈線を施すことにより段を形成する。3006は体部上半に2本単位のヘラ描縦線文、体部中位にヘラ描重弧文を描く。3007は段の下方にヘラ描重弧文を描く。3008は段の下方に3本のヘラ描沈線文とヘラ描重弧文を描く。3009は段の下方にヘラ描有輪木葉文、3010は段の下方にヘラ描有輪木葉文とヘラ描重弧文を施す。3011もヘラ描有輪木葉文を描く。3012はヘラ描重弧文、3013はヘラ描沈線文とヘラ描縦線文、3014はヘラ描沈線文とヘラ描重弧文を施す。3015～3017は削出突帯を施す。3015は頸部に削出突帯第I種を施す。3016・3017は口縁部がややラッパ状に開く。3016は口縁部外面に焼成前の穿孔がみられる。口縁部は横方向に伸び、頸部には削出突帯第II種、突帯間に3条のヘラ描沈線文を施す。3017は口縁部先端を欠損する。頸部には削出突帯第II種で、突帯

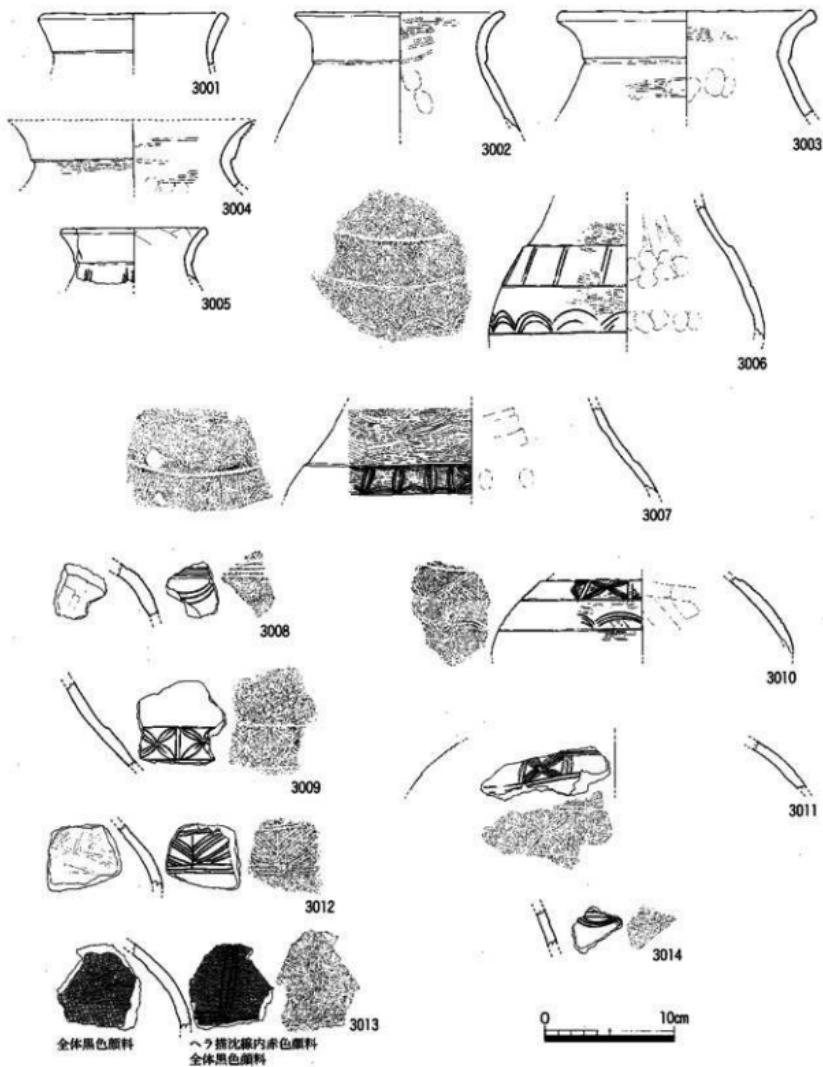
間に1条のヘラ描沈線文を施す。3018～3057はヘラ描沈線文を施す。ヘラ描沈線文は1条から15条みられる。3018～3024はヘラ描沈線文1条を施す。3018は口縁部から頸部の破片である。口縁部は短く、やや外方に開く。3019～3022は頸部から体部片で、頸部と体部の境にヘラ描沈線文を1条施す。3023・3024は体部片で、体部上半にヘラ描沈線文を1条施す。3025は口縁部の一部を欠損するだけで、ほぼ完形を呈する。頸部にヘラ描沈線文2条と、体部にヘラ描沈線文を1条施す。3026・3027は口縁部片で、ヘラ描沈線文を2条施す。3028は体部から底部片である。体部上半にヘラ描沈線文を2条施す。3029・3030は体部上半にヘラ描沈線文とその間に6～7条1単位のヘラ描斜線文を施す。3029と3030は胎土は類似する。接合箇所はみられないが、同一個体の可能性が高い。3031は体部片である。体部最大径よりやや上部にヘラ描沈線文を2条施す。3032は摩滅が顕著である。頸部にはかろうじてヘラ描沈線文が3条観察される。3033は大型の壺である。内外面ともかなり摩滅しているが、頸部には3条のヘラ描沈線文がみられる。下から2本の沈線文間には刺突文がある。3034は口縁部と頸部の境にヘラ描沈線文3条がみられる。3035は口縁部を欠損する。体部の形態はやや細長い。頸部にはヘラ描沈線文3条がみられる。体部は剥離しているため文様の有無は不明である。3036は頸部にヘラ描沈線文3条、体部中位にヘラ描沈線文6条を施した後で、板ナデを施しているため一部ヘラ描沈線文が消えている。いずれも沈線文は細く、浅い。3037の頸部は無文で、体部上半にヘラ描沈線文4条を施す。3038は頸部にヘラ描沈線文4条、体部中位に5条施す。3039は頸部にヘラ描沈線文4条を施す。3040は体部中位に半截竹管による2条1単位のヘラ描沈線文を4条施す。3041は体部上半にヘラ描沈線文を5条施す。3042は頸部にヘラ描沈線文を5条施す。3043は頸部にヘラ描沈線文6条施す。3044は頸部にヘラ描沈線文を6条、体部上半に2条以上のヘラ描沈線文を施す。3045はやや大型の壺である。内外面とも摩滅する。口縁端部に刻目をもつ。体部以下は欠損しているが、頸部にはヘラ描沈線文を5条以上施す。3046は頸部にヘラ描沈線文7条を施す。ヘラ描沈線文の上部と下部は少し低くなっている部分があることから、削出突帯を作出しようとしているのかもしれない。削出突帯ならば第Ⅱ種で、突帯間の沈線は5条である。3047～3049は体部以下を欠損する。いずれもラッパ状に開く口頸部をもつ。3047は頸部にヘラ描沈線文を2条以上、3048は7条以上、3049は16条以上施す。3050は口縁部が逆S字状に横に折れ曲がる。口縁部が完存するため貼付によるものか折り曲げによるものかは不明である。端部には刻目を施す。頸部にはヘラ描沈線文を14条と三角形刺突文を施す。3051は摩滅が顕著である。口縁部外面に粘土帶を貼り付け、外面には段がある。口縁部端面にはヘラ描沈線文2条と刻目を施す。3052は体部片である。体部上半にヘラ描沈線文3条、その下部にヘラ描沈線文4条、ヘラ描沈線文間に刺突文を円形に施す。3053は頸部にヘラ描沈線文4条以上、体部上半にはヘラ描複線山形文とヘラ描沈線文3条以上を施す。3054は大型の壺の体部片で、肩部の張りが顕著である。頸部から体部上半にかけてヘラ描沈線文3条と9条、その下部には2条以上を施す。3055は体部上半に半截竹管によるヘラ描複線山形文、ヘラ描沈線文7条、半截竹管による2条1単位のヘラ描複線山形文、ヘラ描沈線文8条、三角形刺突文を施す。3056は口縁端部には刻目、頸部にはヘラ描沈線文15条を施す。3057は口縁部端面にヘラ描沈線文を3条と、その両端には刻目を施す。頸部にはヘラ描沈線文7条、ヘラ描複線山形文、ヘラ描沈線文11条以上施す。ヘラ描複線山形文は半截竹管によるものかどうか不明である。3058は頸部に削出突帯を施す。3059～3071は貼付突帯を施す。口縁部は短く外方を向く。3059は頸部に1条の貼付刻目突帯を施し、口縁部内面には開口部をもつ1条の貼付突帯を施す。3060は頸部片である。体部を欠損するため全体は不明であるが、頸部には貼付刻目突帯を現存で1条施し、その上部には帯状に赤彩を施す。3061は体部がやや細長く、



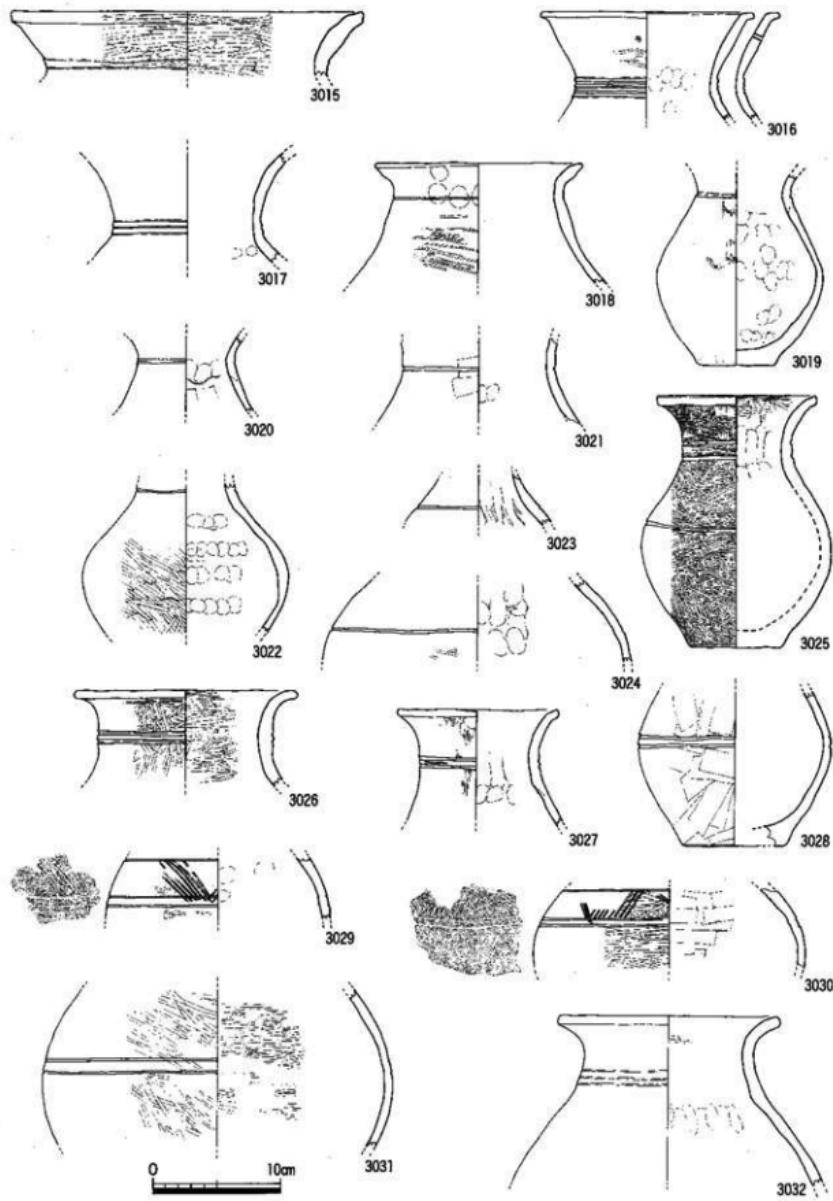
第1図 SD 1067・SD 01(2区部分) 遺物(土器・石器)出土状況(1/100)



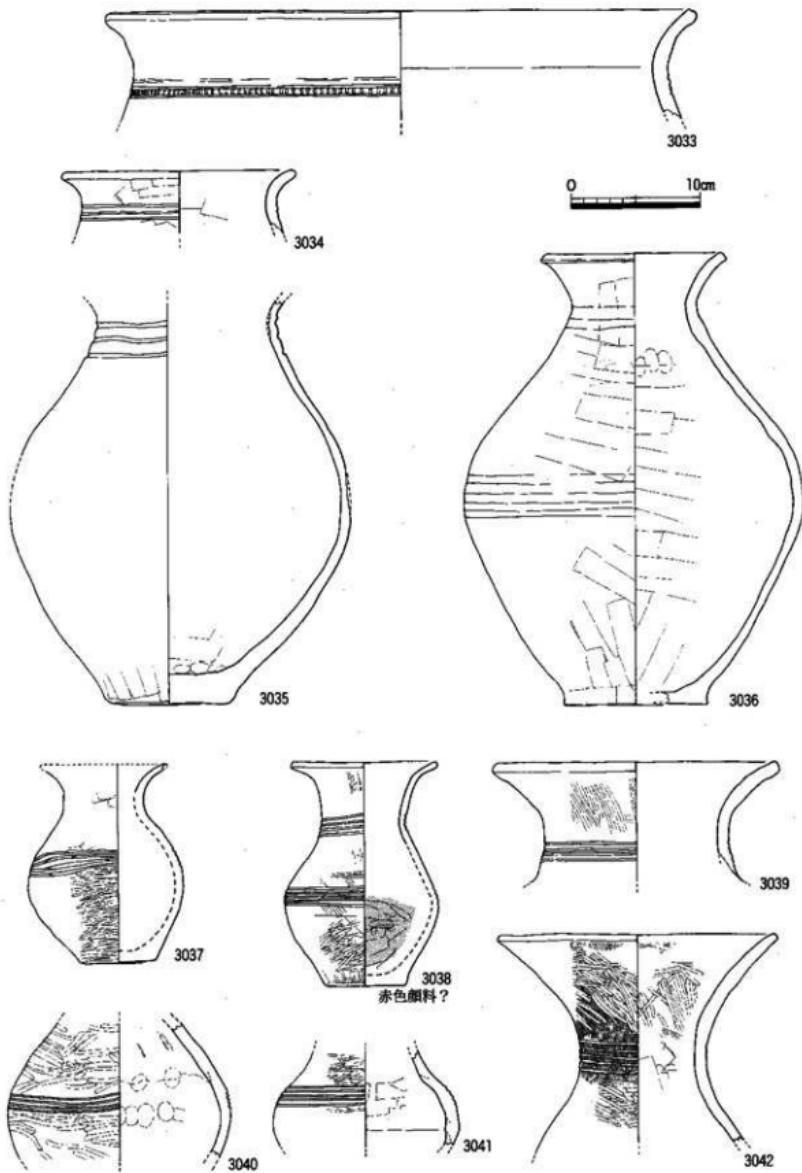
第2図 SD 1067・SD 01(3区部分)遺物(土器・石器)出土状況(1/100)



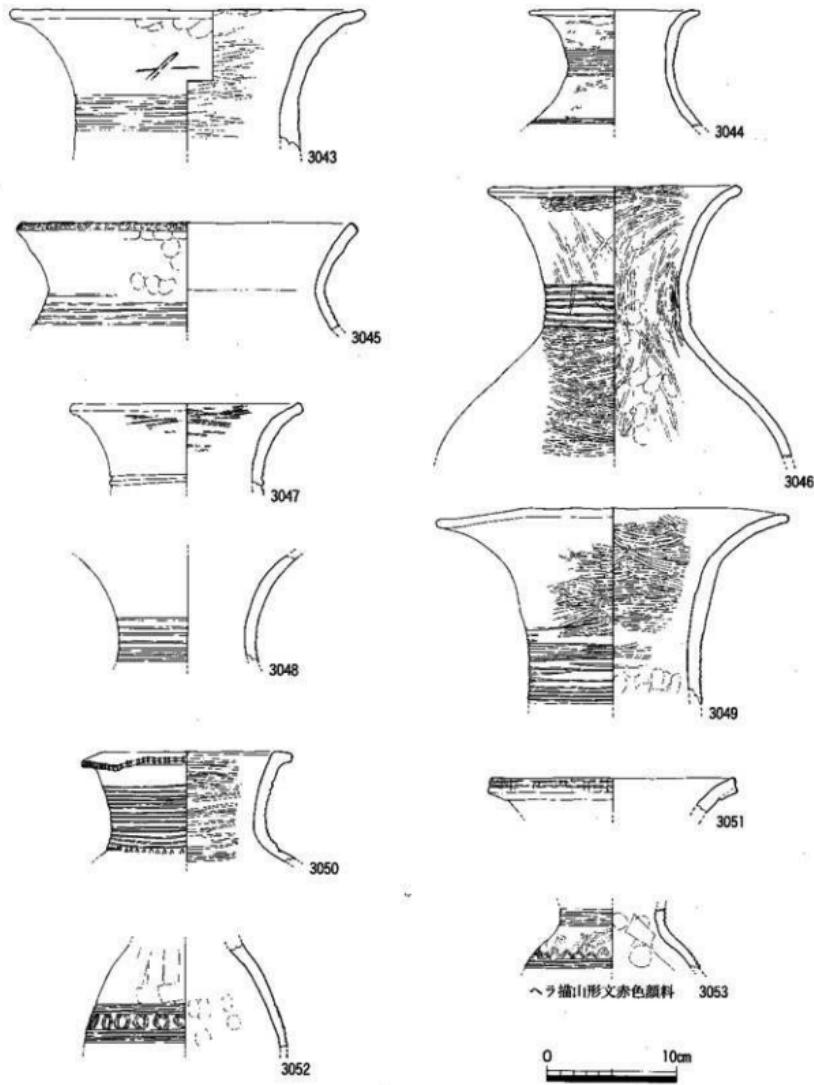
第3図 SD01(2区)出土土器・土製品 1 (1/4)



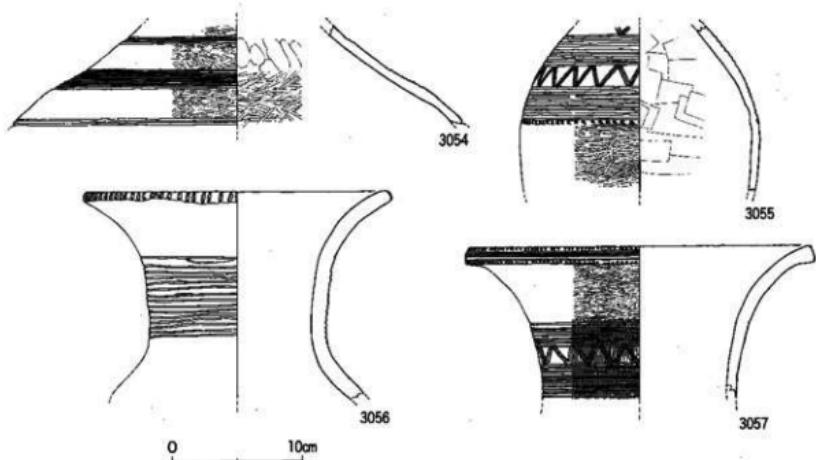
第4図 SD01(2区)出土土器・土製品 2 (1/4)



第5図 SD01(2区)出土土器・土製品 3 (1/4)



第6図 SD01 (2区) 出土土器・土製品 4 (1/4)



第7図 SD01(2区)出土土器・土製品 5 (1/4)

口縁部はラッパ状に外方に伸びる。頸部には1条の貼付突帯、体部上半に7~9条のヘラ描沈線文を施す。3062は頸部に現存1条の貼付突帯を施す。3063は頸部と体部上半に各1条の貼付刻目突帯を施す。3064は摩滅が顕著である。頸部に貼付刻目突帯を1条施す。3065は頸部に2条の貼付突帯、体部上半にはヘラ描沈線文2条と刺突文2列を交互に施す。頸部の貼付突帯は断面M字形の粘土紐を貼り付けることにより、2条とする。また、貼付突帯は僅かしか残っていないが、突带上に刻目がみられる。3066は頸部に貼付刻目突帯を2条、体部上半に貼付刻目突帯を3条施す。3067は体部を欠損する。頸部には現存で2条の貼付刻目突帯を施す。3068は頸部に貼付刻目突帯2条とその上部に4条のヘラ描沈線文、下部には現存で5条のヘラ描沈線文を施す。3069は頸部には焼成後の2個の穿孔がみられる。かなり摩減しているが、頸部に貼付突帯2条がみられる。刻日の有無は不明である。3070・3071は口頸部の破片である。3070は口頸部内面に貼付突帯が1条みられる。頸部外面には2個の円孔をもつ把手を縱方向に貼り付ける。3071は内面に三角形刺突文を4列施し、その下部に貼付突帯を現存で6条施す。3072~3082は無文の壺である。3075は頸部に浅い沈線が2条部分的にみられる。ヘラ描沈線文か偶然ついたヘラ状工具痕が不明である。3081・3082は口頸部を欠損するが、体部は細長い。3076は赤色顔料が付着する。

3085~3093は多条の櫛描文を施す壺である。3085は口頸部片である。口縁端部には面をもち、1条の沈線文と刻目を施す。頸部には櫛描直線文4条1単位で、5単位以上施す。3086は口頸部片で、体部以下を欠損する。口縁部外面には粘土帯を貼付け、折り返し口縁とする。外面には櫛描直線文を14条施す。頸部外面には櫛描直線文を16条以上施す。3087・3089は細頸壺である。3087は口頸部片である。かなり摩減しているが、頸部外面に15条程度の櫛描直線文がみられる。3089は頸部から体部上半の破片である。櫛描直線文と櫛描波状文をびっしりと交互に施す。3088は体部片である。体部上半には3条1単位の櫛描直線文と櫛描波状文を交互に施す。3090~3094も体部上半の破片である。3090は現存で10条の櫛描廉状文、20条程度の櫛描直線文、7条の櫛描波状文、現存で25条の櫛描直線文を施す。3091は上から現存2条の櫛描直線文、6条の櫛描波状文、18条の櫛描直線文、櫛描による複線(6条)山形文、その下部

には12条の櫛描直線文、櫛描による流水文、櫛描直線文を施す。3092は上から現存で26条の櫛描直線文、5条の櫛描波状文、16条の櫛描直線文、その下には三角形刺突文を施す。3093は上から現存7条の櫛描直線文、5条の櫛描波状文、15条の櫛描直線文を施す。3095は短く立ち上がる口縁部をもつ。ヘラ描沈線文と三角形刺突文を交互に施す。3094・3096・3097は無頸壺である。3094は15条の櫛描直線文と4条の櫛描波状文を施す。3096は口縁部外面に2個の把手をもつ。摩滅が顕著である。3097は口縁部外面に小さな三角形刺突文を1列に施し、9条のヘラ描沈線文、ヘラ描複線山形文、11条のヘラ描沈線文、小さな三角形刺突文列を施す。

3098～3136は壺である。折り曲げにより口縁部が外反する壺と、貼り付けにより口縁部が逆L字形を呈する壺がある。3098～3114は折り曲げにより口縁部が外反する壺である。3098は口縁部外面に粘土紐を貼り付けることにより、段を施す。口縁端部には刻目を施す。3099は口縁端部下端に刻目を施し、体部にはヘラ描沈線文とヘラ描山形文を施す。その下には際取り沈線による段がみられる。3100は際取り沈線による段を施す。3101・3102はヘラ描沈線文を1条施す。3103～3106はヘラ描沈線文2条を施す。3107は大型の壺である。ヘラ描沈線文を3条施す。3108は口縁端部に刻目、体部にはヘラ描沈線文3条を施す。3109は口縁部を折り曲げて逆L字形にする。4条のヘラ描沈線文の下部に3条のヘラ描複線山形文、2条のヘラ描沈線文を施す。3110はヘラ描沈線文6条施す。3111は口縁部片である。ヘラ描沈線文3条とその間に刺突文を施す。3112は9条のヘラ描沈線文を施す。3113は15条のヘラ描沈線文と三角形刺突文を施す。3114は山形口縁を呈する。外面には突帶を1条貼り付ける。体部は半截竹管ヘラ描沈線文18条を施し、その下部には三角形刺突文を施す。

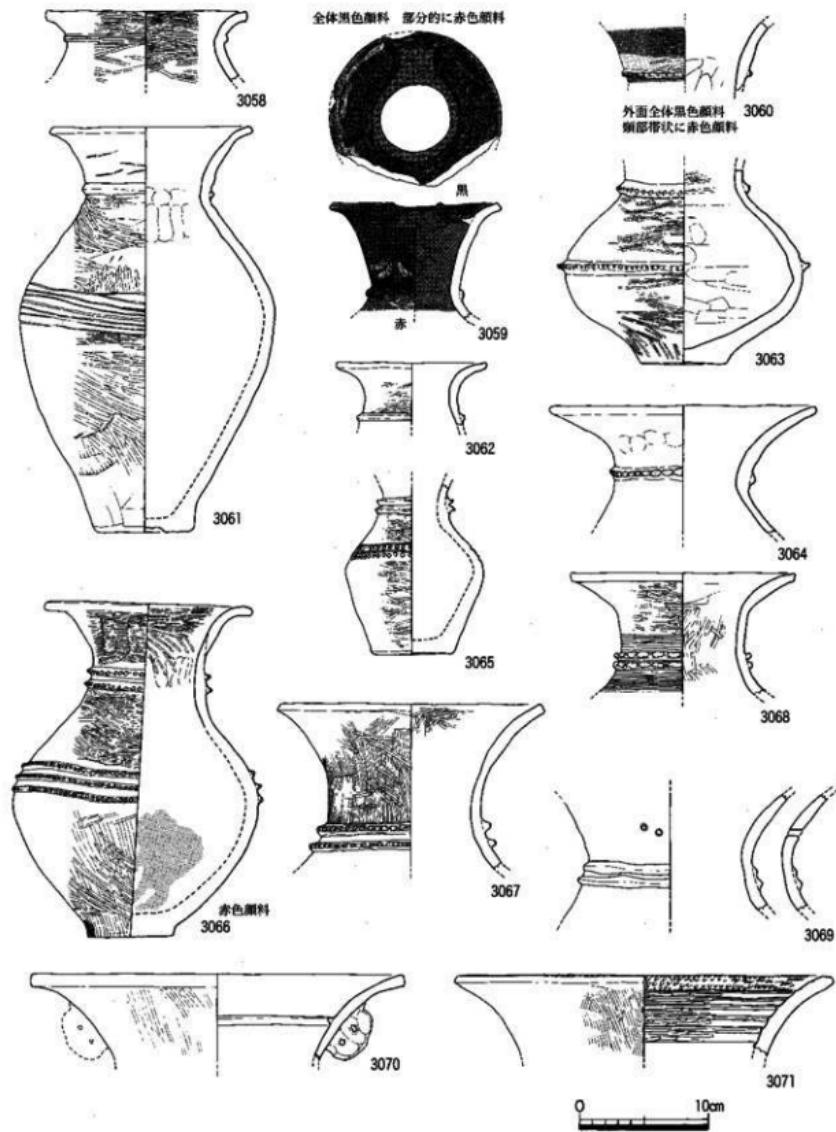
3115～3133は貼り付けにより口縁部が逆L字形を呈する壺である。3115・3116は無文である。3116は口縁部がやや歪む。3117・3118はヘラ描沈線文2条を施す。3119は大型の壺である。口縁端部には刻目を施す。体部にはヘラ描沈線文を3条施す。3120はヘラ描沈線文と稚拙なヘラ描波状文を施す。3122は体部を欠損する。口縁部はやや外方に開き、外面には断面三角形の粘土帯を貼り付ける。下部は指押さえしているが、貼り付け痕が明瞭に残る。端部には刻目を施す。体部には三角形刺突文、その下部にはヘラ描沈線文を現存で4条施す。3121・3123はヘラ描沈線文4条を施す。3124・3125はヘラ描沈線文を7条施す。3126はヘラ描沈線文を8条施す。3127・3129はヘラ描沈線文11条と三角形刺突文を施す。3128はヘラ描沈線文10条を施す。3130は口縁部がやや下方を向く。体部にはヘラ描沈線文12条を施す。3131は櫛描直線文16条と三角形刺突文を施す。3132は摩滅しているが、19条程度の櫛描直線文と5条の櫛描波状文を施す。3133は5条の櫛描直線文と3条の櫛描波状文を施す。3134は口縁部を逆L字形に折り曲げる。やや幅の広い櫛描直線文9条（3条1単位、3単位）と三角形刺突文を施す。

3135・3136は口縁部を折り曲げる。3135は口縁端部に面をもち、刻目を施す。体部には櫛描直線文を14条程度施す。3136は櫛描直線文を9条4帯を施す。

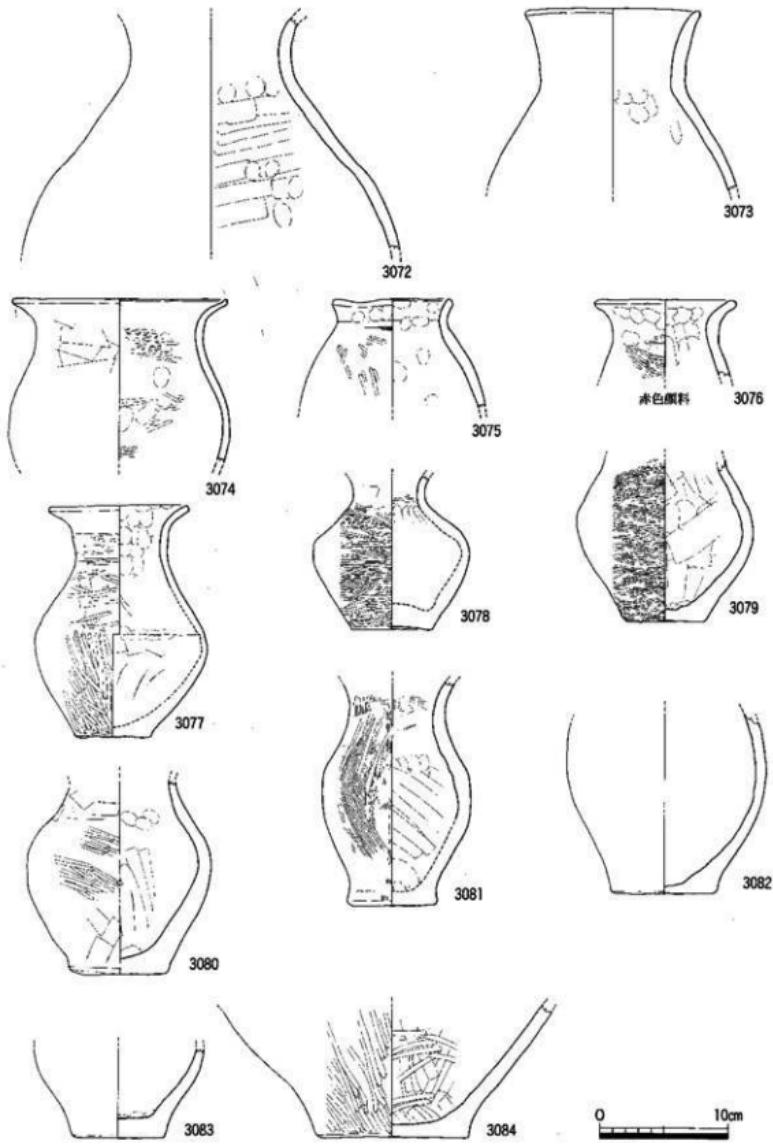
3137～3139は底部片である。3138は底部外面に粉殻の圧痕がみられる。3137は胎土に片岩粒を含む。

3140～3143は甌である。いずれも焼成後に底部を穿孔する。3140・3143は甌の底部を穿孔する。3140は逆L字形口縁を呈する。外面はかなり摩滅するが、ヘラ描沈線文を5～6条施す。3141・3142は壺の底部を穿孔する。3141は体部上半に部分的に浅くて細いヘラ描沈線文2条を施す。3142はヘラ描沈線文5条を施す。

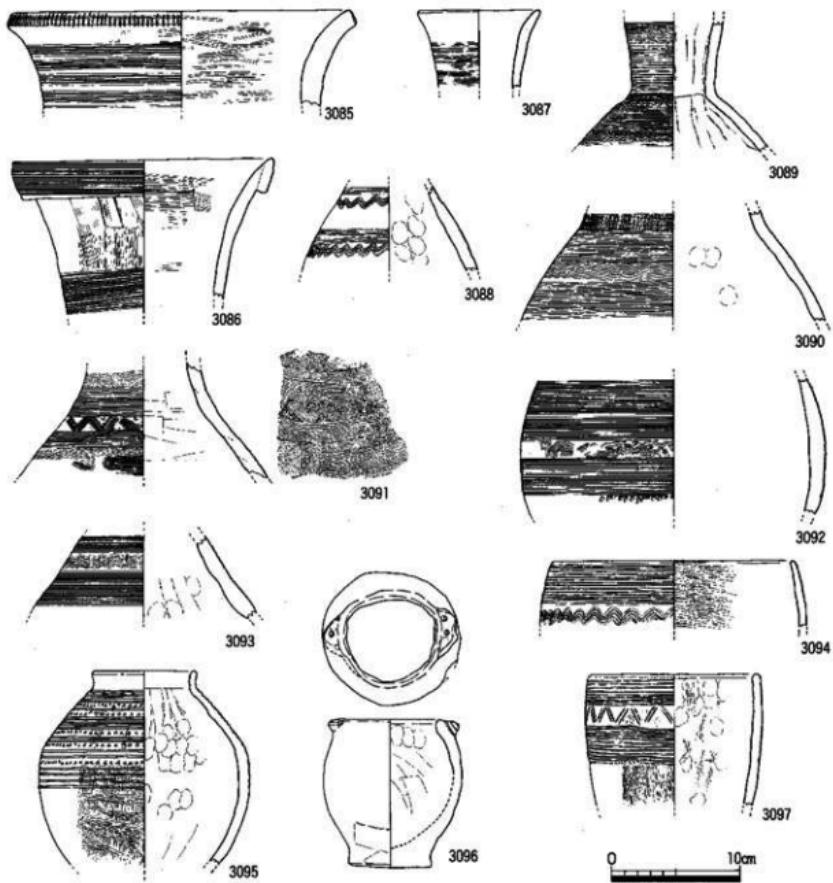
3144～3150は鉢である。3144～3146は直口する口縁部をもつ。3147・3148は口縁部を折り曲げて外反させる。3147はヘラ描沈線文を1条施す。3150は大型の鉢である。3149・3150は貼り付けによる逆L字



第8図 SD01(2区)出土土器・土製品 6 (1/4)



第9図 SD01(2区)出土土器・土製品 7 (1/4)



第10図 SD01 (2区) 出土土器・土製品 8 (1/4)

口縁を尾する。3151は体部上半以上を欠損する。全体の形態は不明である。鉢または壺であろう。体部には現存で4条のヘラ描沈線文を施す。3152は脚台部である。体部以上は欠損するため不明である。

3153~3158は蓋である。3153・3154は壺の蓋である。3154は天井部に円孔がみられ、2個の角状の突出部をもつ。3155~3158は壺の蓋である。

3159~3187はミニチュア土器や土製品である。3159・3160は匙状土製品である。いずれも柄は欠損する。3160は袋状を呈する。

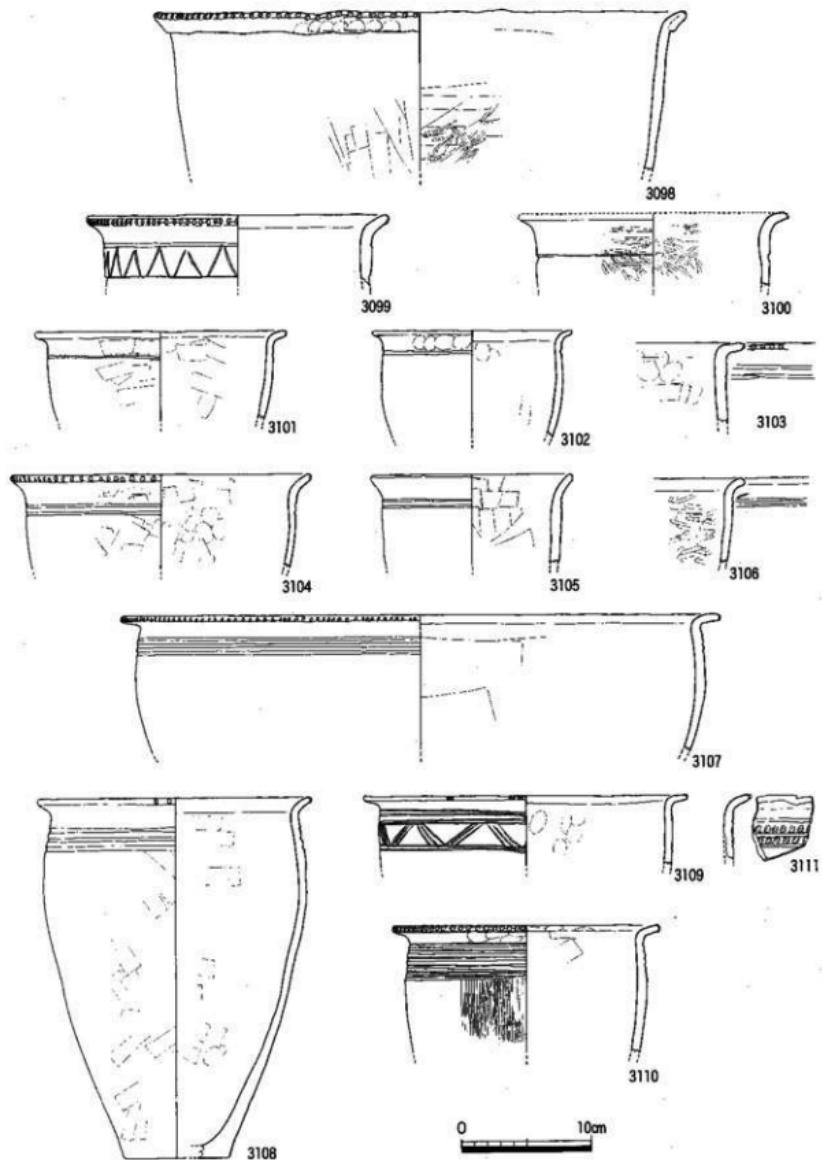
3161~3175はミニチュア土器である。3161~3164は壺形を呈する。3164は体部にヘラ描沈線文を2条施す。3165・3168は壺形を呈する。3165は口縁部に円孔を2個施し、その下部には櫛描直線文17条程度と櫛描波状文2条を施す。3168は口縁部を折り曲げる。摩滅が顕著である。体部外面には半截竹管かと思われるヘラ描沈線文2条とヘラ描複線山形文を施す。3166は高杯形を呈する。3169は内面や割れ口が摩滅する。壺の底部片またはミニチュア土器鉢であろう。3167・3175は脚台部を有する。3170~3175は指印えが顕著に残る。

3176は隅丸方形を呈する板状の土製品である。円孔が2個ずつ両端にある。摩滅しているが、片面には竹管文と櫛描直線文がみられる。3177は土器片を再加工したもので、平面形は不整四角形を呈する。上部には孔をあける。壺の頸部片を打ち欠いたもので、外面にはヘラ描沈線文3条とヘラ描重弧文がみられる。3178は厚さ1.9cmの隅丸方形を呈する土製品である。用途は不明である。3179は土器片を再利用して円盤状に打ち欠いた土製品である。摩滅しているが、両面に凹みがみされることから、穿孔途中の可能性もある。3180~3187は土器片を再利用した円盤状土製品である。

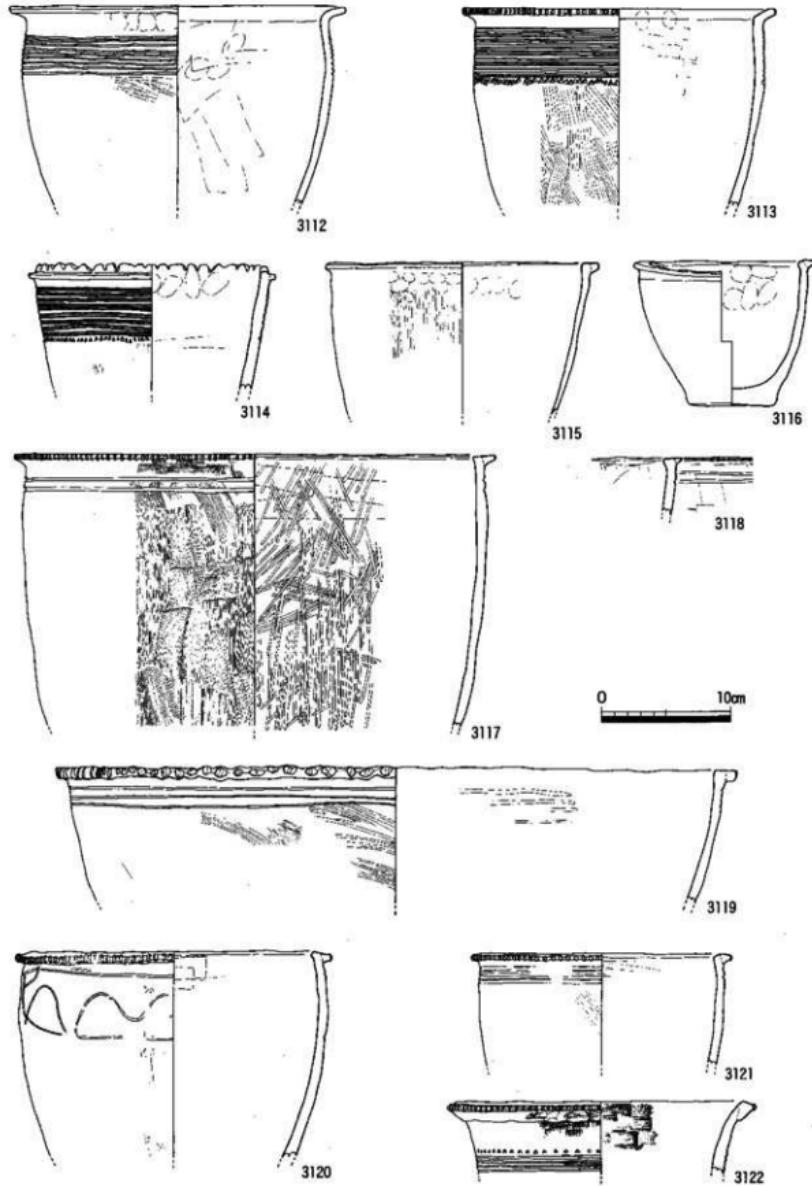
3188は土偶の頭部である。中実の土製品で、かなり写実的に表現されている。体部以下、頭頂部先端、鼻先端部、耳朶を欠損する。現存長11.0cm、顔面長8.5cm、顔の最大幅6.6cmを測る。顔面から後頭部までの厚さ7.0cm、頭部径4.5cmを測る。頭頂部には現存で高さ0.8cmの鱗状の隆帯がみられる。後頭部は扁平で、横からみると頭頂部から首にかけて直線的である。また、左側の頬は少し横に張り出しているが、右側は少し凹み気味であるため左右対称になっていない。鼻は顔の中央部にある。先端部を欠損する。鼻は横からみると頬中央部から張り出しており、目と目の間が少し窪む。鼻の孔は2個とも表現され、長さ1.3cmの円孔がある。目は両目とも削り抜きによって表現される。右目は目尻が若干つり上がりっている。左目の目尻は欠損している。眉は表現されておらず、眉上丘は少し発達する。両目の下には幅0.3cm、深さ0.2cmの2条の沈線が弧状に施されている。口も削り抜きによって表現される。口は小さく、口の幅は1.2cmを測る。口の左右には2条の沈線を弧状に施す。右頬に比べ、左頬が少し凹んでいるため、口も顔の中央からやや右方向に穿たれており、弧状の沈線も右側は少し上がり気味になっている。耳は目の横付近にみられる。耳の手前側は少し凹む。耳の先端部を欠損するため、全体の形態は不明であるが、耳孔等は表現されておらず、耳朶に横方向に抉りがみられるだけである。本来は孔をあけたものかもしれない。現在はあまり残っていないが、赤色顔料が口の左側の外側の沈線の凹みに残る。

3189~3355は3区から出土した土器である。壺・壺・瓶・鉢・蓋・ミニチュア土器等が出土した。

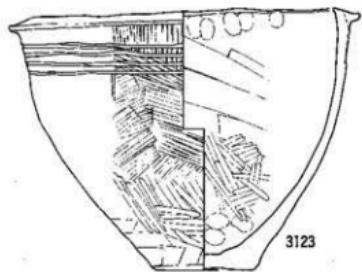
3189~3286は壺である。口径50cmを越える大型のものや、中・小型のものがみられる。3189は頸部と体部の境に1条のヘラ描沈線文を施した後、ヘラミガキを施す。一部は沈線状を呈するが、ヘラミガキによって沈線が消されている部分もみられる。また、沈線を境に段になっている部分もみられる。3190~3195はいずれも口頸部片である。3190は口縁部と頸部の境に際取り沈線による段を施す。3191~3195も口縁部と頸部の境に段を施す。3191は際取り沈線によって段を施す。沈線は幅が太く、段の下部はヘ



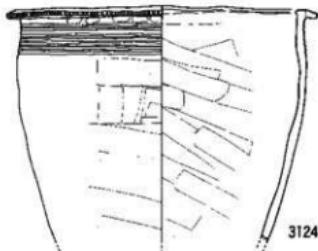
第11図 SD01(2区)出土土器・土製品 9 (1/4)



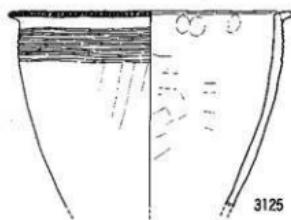
第12図 SD01(2区)出土土器・土製品 10 (1/4)



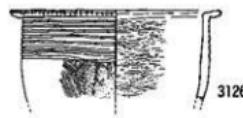
3123



3124

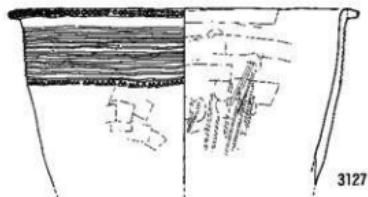


3125

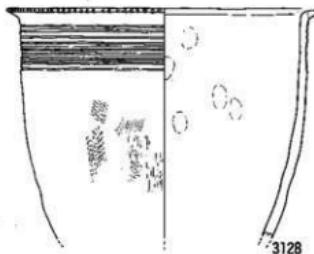


3126

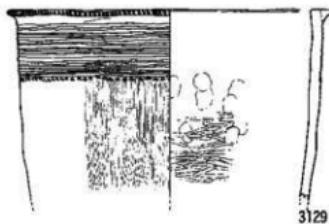
0 10cm



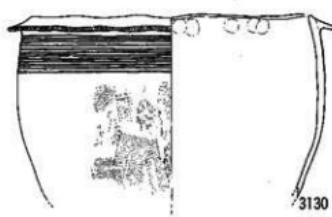
3127



3128

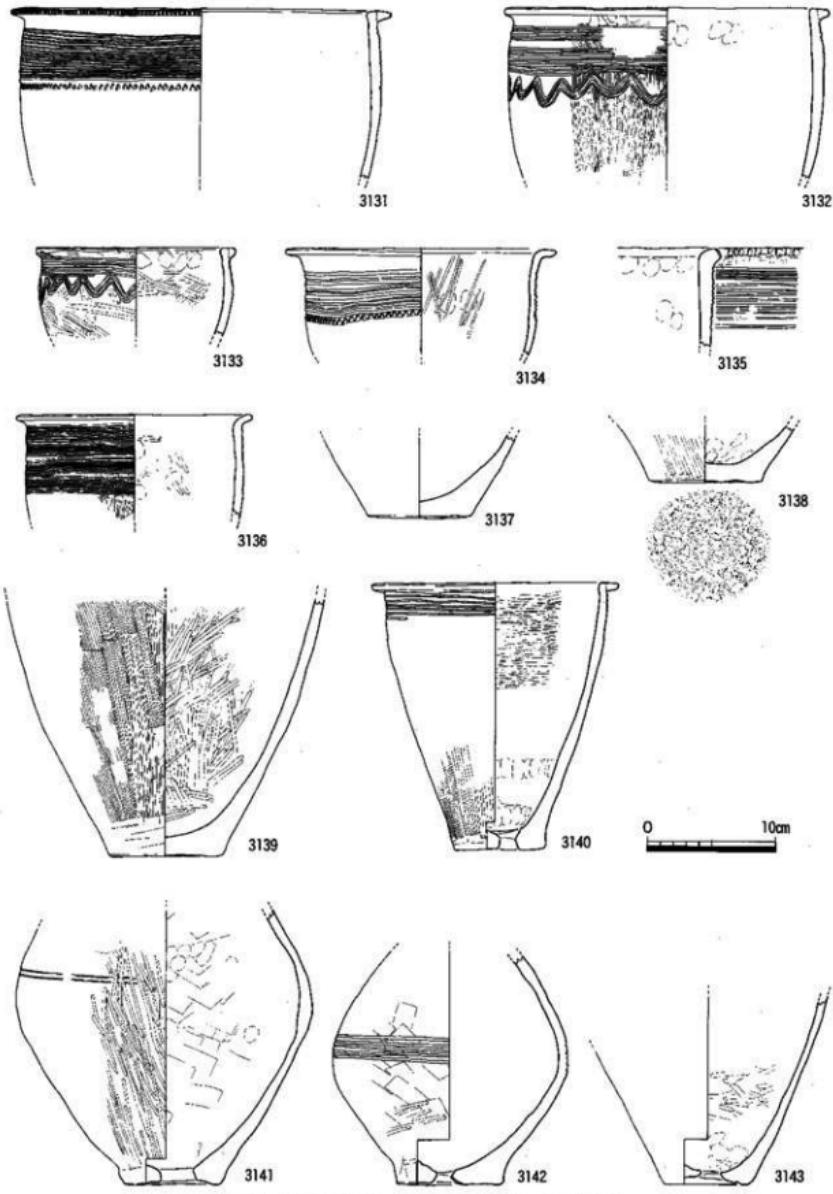


3129

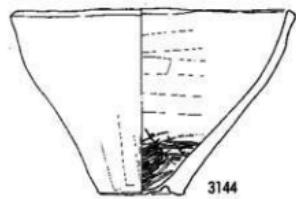


3130

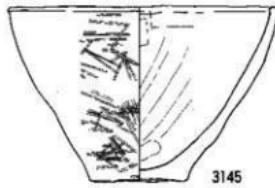
第13図 SD01(2区)出土土器・土製品 11 (1/4)



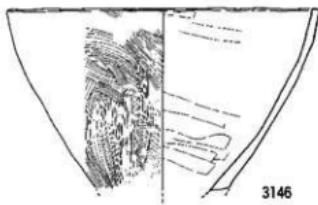
第14図 SD01(2区)出土土器・土製品 12 (1/4)



3144



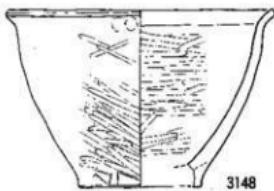
3145



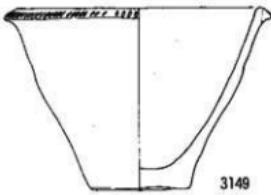
3146



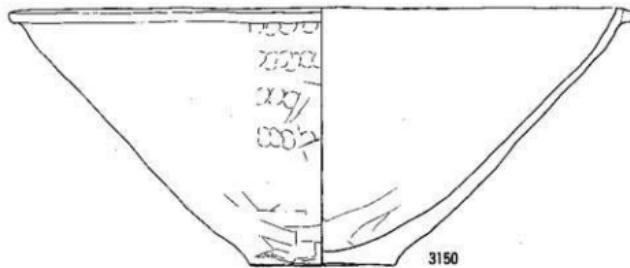
3147



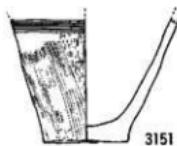
3148



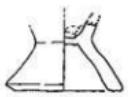
3149



3150



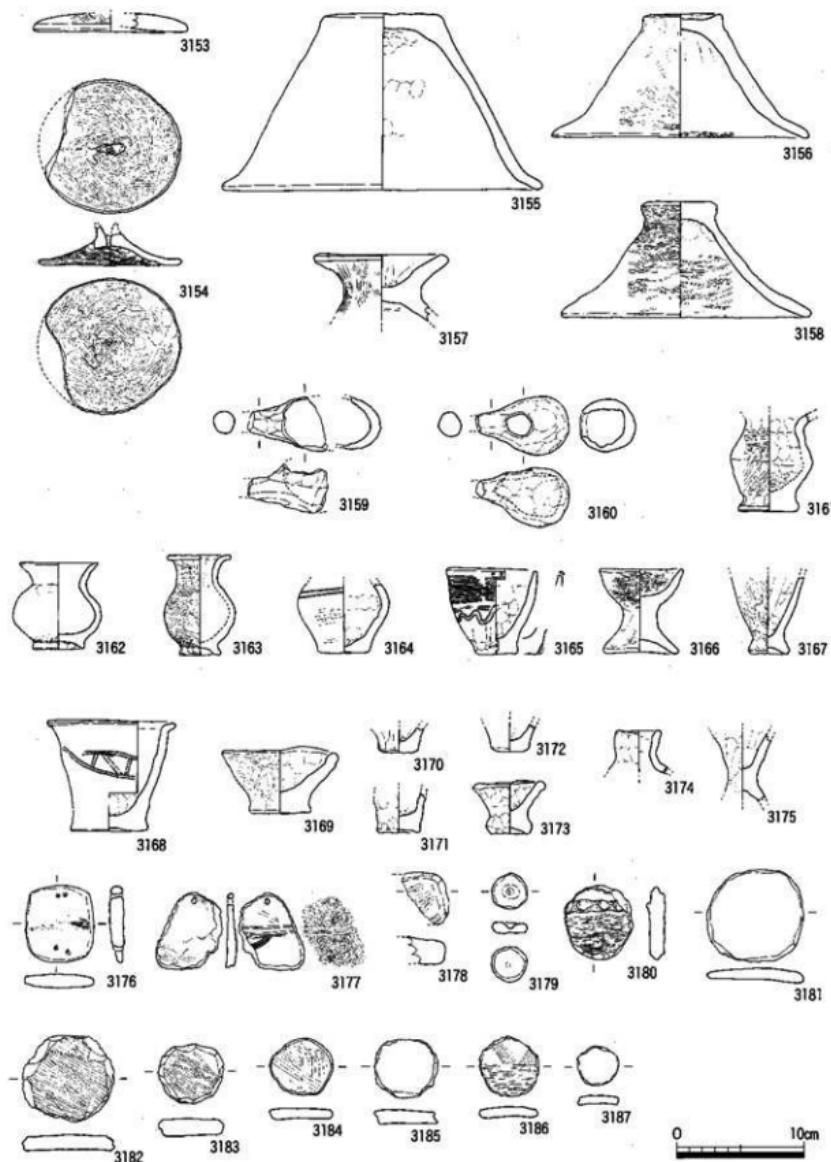
3151



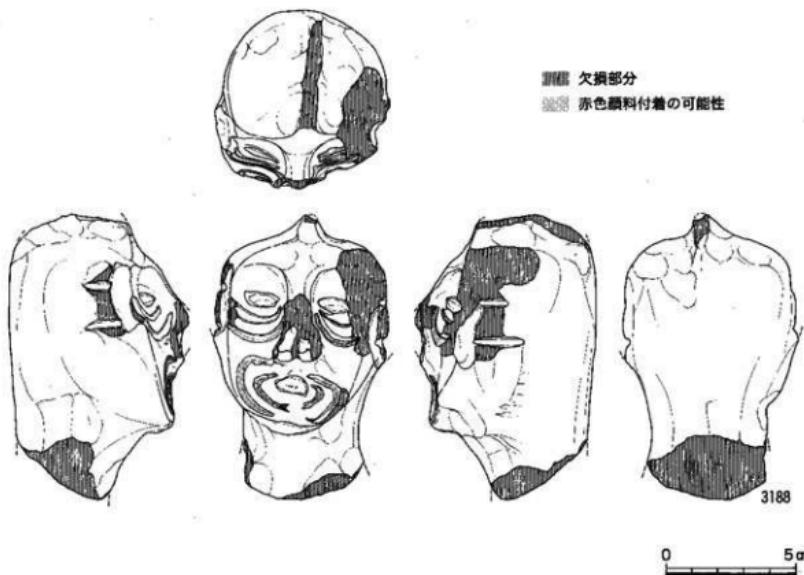
3152



第15図 SD01(2区)出土土器・土製品 13(1/4)



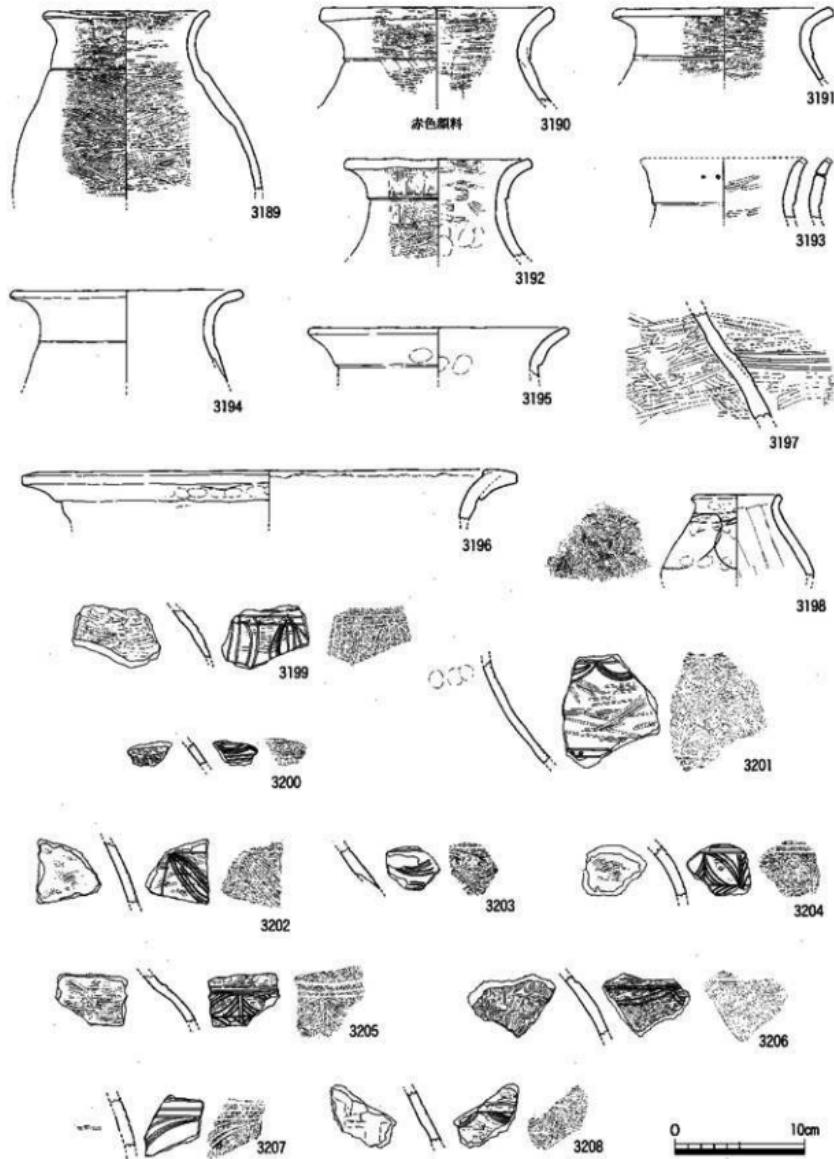
第16図 S D01 (2区) 出土土器・土製品 14 (1/4)



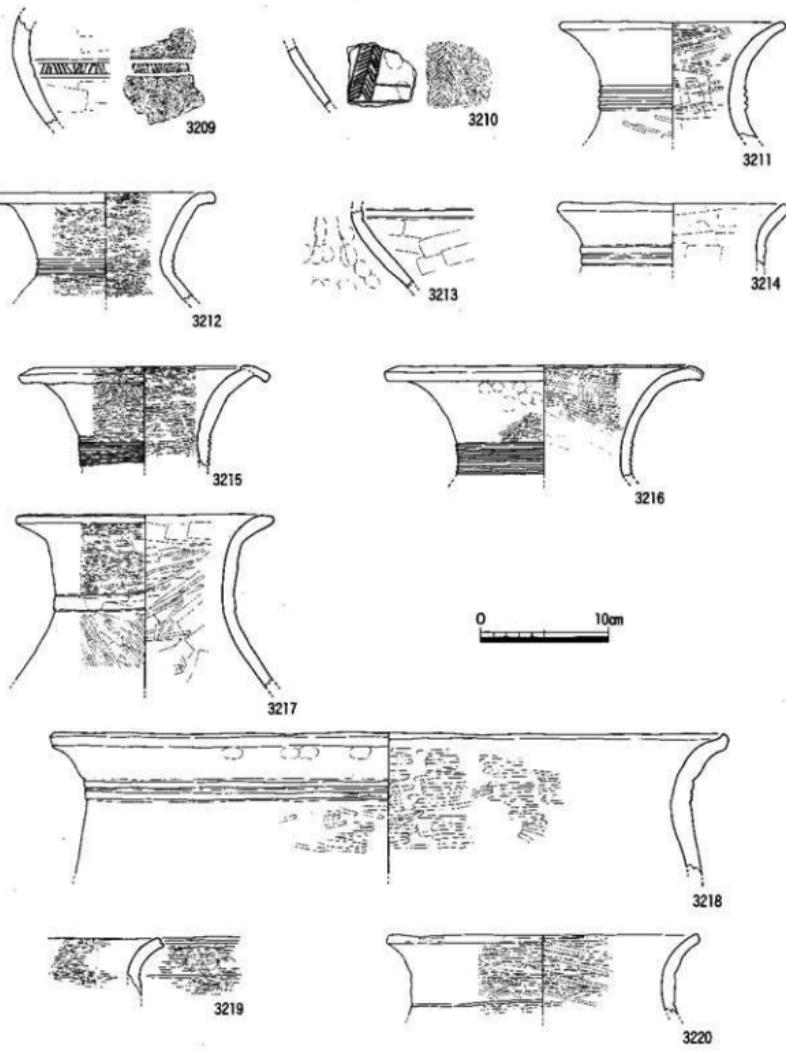
第17図 SD 01 (2区) 出土土器・土製品 15 (1/2)

ラミガキを施しているが、段の直下まで及んでいないので沈線が明瞭に残る。3192は外面にハケ目を施しており、段の下部をハケ状工具で押さえ込んでいる。3193は口縁部に2個の穿孔がみられる。段の下部はヘラ状工具で横方向に押さえ込む。3194・3195は摩滅しているため詳細な調整方法は不明である。3197は頸部から体部片である。器壁が厚いことからも大型の壺であろう。際取り沈線によって段を施しており、段の下部にはヘラ描沈線文2条を施す。3196は口縁部片である。口縁部外面に粘土帯を貼り付けることにより、段を施す。内面にも粘土帯貼り付けによる段が明瞭に残る。3198は小型の壺である。口縁部は短く、頸部から体部上半にかけて細く、浅いヘラ描沈線文2条と円弧文を施す。3199～3208は体部片である。3199は上部の割れ口を観察すると段が施されているのがうかがわれる。段の下にはヘラ描による沈線文と縦線文、重弧文を施す。3200は小片であるが、ヘラ描沈線文1条とヘラ描重弧文2条、ヘラ描沈線文2条がみられる。3201は頸部にヘラ描沈線文を現存で1条とヘラ描重弧文3条、体部上半にはヘラ描沈線文を2条、その間には刺突文を施す。3202はヘラ描有輪木葉文を施す。3203は表面が一部剥離する。現存でヘラ描沈線文1条とヘラ描重弧文がみられる。3204はヘラ描沈線文とヘラ描木葉文がみられる。3205は際取り沈線による段の下部にヘラ描木葉文がみられる。3206も際取り沈線による段の下部にヘラ描沈線文とヘラ描重弧文がみられる。3207は内面が剥離する。現存で3条のヘラ描沈線文、ヘラ描重弧文がみられる。3208は現存で2条のヘラ描沈線文と4条のヘラ描重弧文がみられる。3209・3210は頸部片である。3209の頸部にはヘラ描沈線文2条とその間に縦線文を施す。3210はヘラ描により綾杉文を施す。3222はやや摩滅する。頸部にはヘラ描沈線文2条を施す。3217も体部を欠損する。頸部には際取り沈線によってやや幅広の削出突帶第I種を施す。3213も頸部から体部上半の破片である。頸

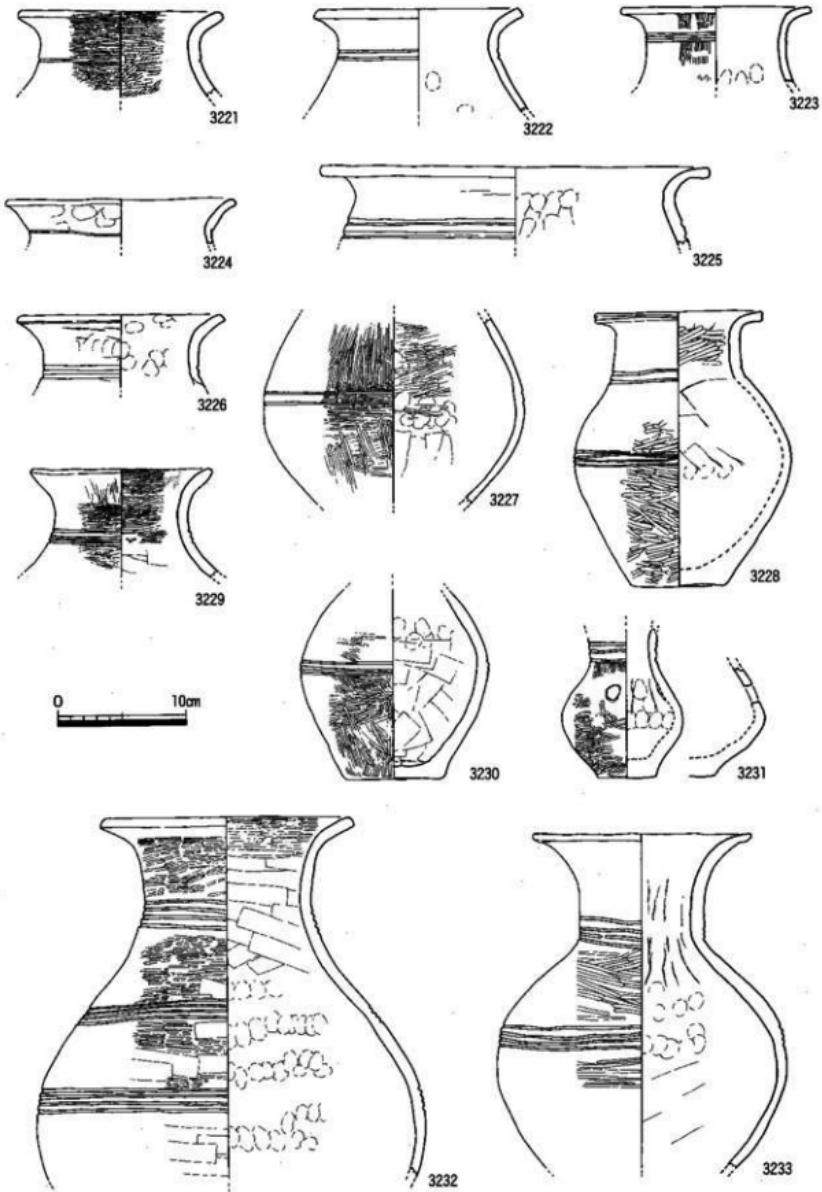
部には際取り沈線による削出突帯がみられる。3219は口縁部片である。端部は面をもち、沈線1条を施す。頸部にはヘラ描沈線文1条を施す。3212は頸部に際取り沈線による段を施す。その上部にはヘラ描沈線文3条を施す。3214はヘラで押さえ込むことにより頸部に削出突帯または段を形成する。削出突帯ならば第Ⅱ種で、突帯間に沈線を1条以上施す。段ならば、段の下部にヘラ描沈線文を現存で2条施す。3211は頸部に際取り沈線による段を施す。その上部にはヘラ描沈線文3条を施す。3215は頸部に際取り沈線によって段または削出突帯第Ⅱ種を施す。段の上方をヘラミガキして低くしている。体部を欠損するため不明であるが、段とするとその下部にヘラ描沈線文を5条以上、削出突帯とすると第Ⅱ種で、突帯間に5条以上の沈線を施す。頸部はラッパ状に開き、口縁部は少し垂れ下がる。3216は際取り沈線によって削出突帯第Ⅱ種または段を作り出す。下部は欠損しているため不明であるが、現存ではヘラ描沈線文が7条みられる。口縁端部には粘土を貼り付けており、口縁部外方に張り出す。内面には粘土貼り付け痕が残る。3218は大型の壺である。頸部には削出突帯第Ⅱ種で、突帯間に沈線1条を施す。口縁部は短く、端部をつまみ上げる。3221・3222・3224は口縁部片である。3221は頸部にヘラ描沈線文を施す。3222・3223は頸部に2条のヘラ描沈線文を施す。3224は口縁部が少し歪む。頸部には1条のヘラ描沈線文を施す。3225は大型の壺である。頸部にヘラ描沈線文を現存2条施す。3226は頸部にヘラ描沈線文2条を施す。3227は体部上半にヘラ描沈線文2条を施す。3228は摩滅が著しいが、部分的に口縁端部にヘラ描沈線文1条が観察できる。頸部は直線的に立ち上がり、2条のヘラ描沈線文、体部には3~4条のヘラ描沈線文を施す。3230は体部最大径付近よりやや上に3条のヘラ描沈線文を施す。3231は小型の壺である。体部上半には焼成後の穿孔（径1.1~1.2cm）がある。偶然あいた孔かもしれない。3232は頸部、体部上半、体部中位よりやや上部の3箇所に各4条のヘラ描沈線文を施す。3233は頸部、体部上半に各4条のヘラ描沈線文を施す。3234・3237は口頸部片である。いずれも頸部に4条のヘラ描沈線文を施す。3235も口頸部片である。頸部には4~5条のヘラ描沈線文を施す。3236はやや小型の壺である。口縁部の一部を欠損する。外面には丁寧にヘラミガキを施し、頸部には4条のヘラ描沈線文、体部上半には6条のヘラ描沈線文を施す。3238も口頸部片である。体部を欠損するため全体の形態は不明であるが、残存部分から体部はあまり広がらないものと思われる。頸部には3条、一部4条のヘラ描沈線文を施す。3239は口縁部を欠損する。頸部にはヘラ描沈線文を4条施す。3240・3241は頸部と体部上半に各5条のヘラ描沈線文を施す。3242は体部上半と体部中位よりやや上に半截竹管によるヘラ描沈線文を4条ずつ施す。3243は体部破片である。破片の湾曲具合からかなり大型の壺と考えられる。体部上半には現存3条のヘラ描沈線文、体部中位よりやや上には2条のヘラ描沈線文を施す。3244は頸部から体部の破片である。頸部には現存6条のヘラ描沈線文、体部上半にはわずかにヘラ描重張文がみられる。3245・3246は口頸部片で、いずれも大きくラッパ状に開く。3245は頸部に11条のヘラ描沈線文を施す。3246は口縁部に焼成前の穿孔（径4mm）が2個2組ある。口縁端部には面をもち、上端と下端に刻目を施す。口縁部内面には2個1組の渦巻き状の貼付突帯を3組施す。3247~3261は貼付突帯をもつ壺である。3247は頸部に1条の貼付突帯を施す。3248・3249は口頸部片である。いずれも頸部に貼付刻目突帯を現存で1条施す。3250・3251は頸部と体部中位よりやや上に各1条の貼付刻目突帯を施す。3250は沈線を施した後で、突帯を貼り付けているのが観察できる。3252・3253は頸部破片である。いずれも刻目貼付突帯を2条施す。3254は頸部に2条の貼付突帯を施す。3255は口頸部片であるため、全体は不明であるが、頸部にヘラ状工具による横方向の刻目をもつ押圧貼付突帯を現存で1条施す。3256は頸部片である。外面には貼付突帯が現存1条、その下部にはヘラ描沈線文2条を施した上に横方向の刻目をもつ梢円形の浮



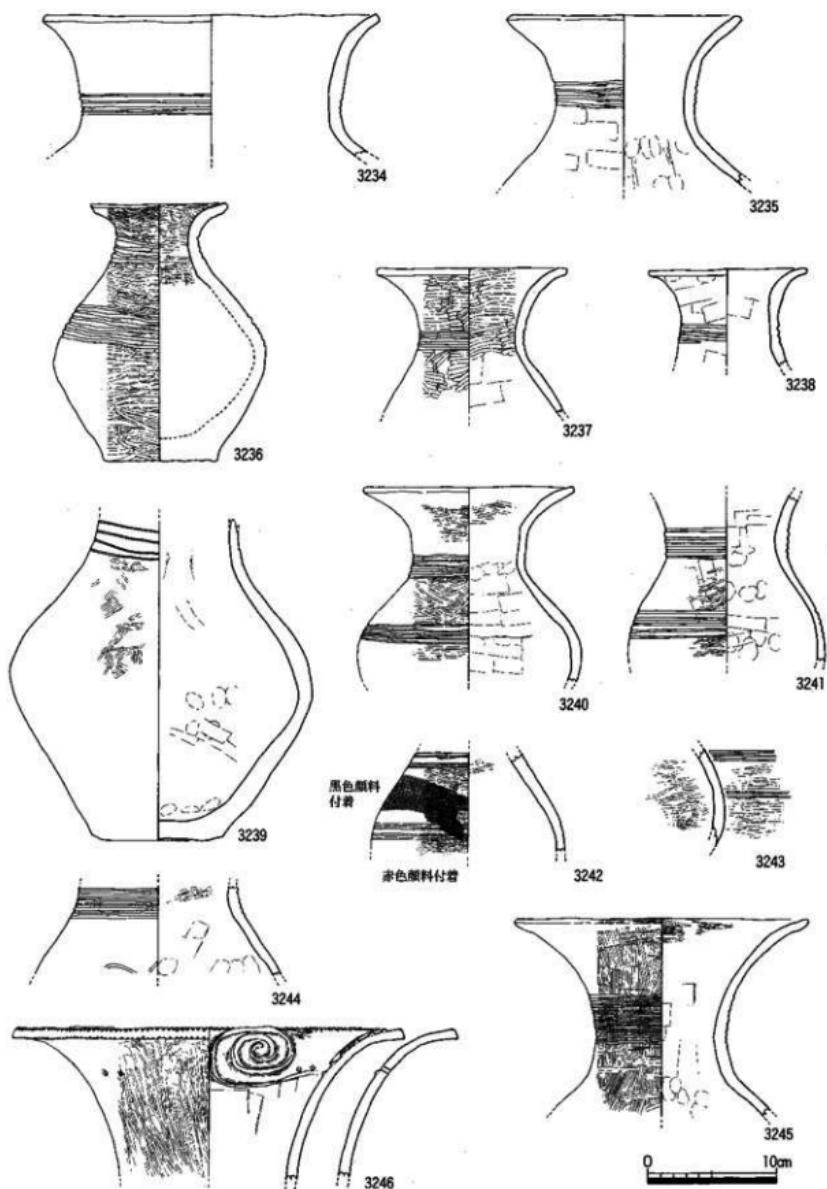
第18図 SD01 (3区) 出土土器・土製品 1 (1/4)



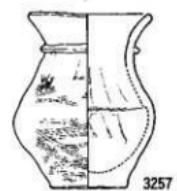
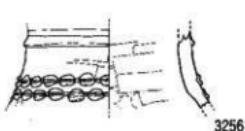
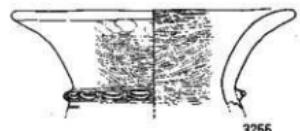
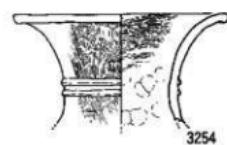
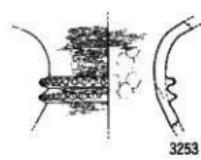
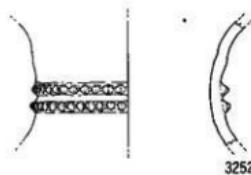
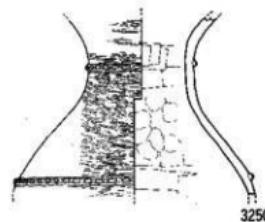
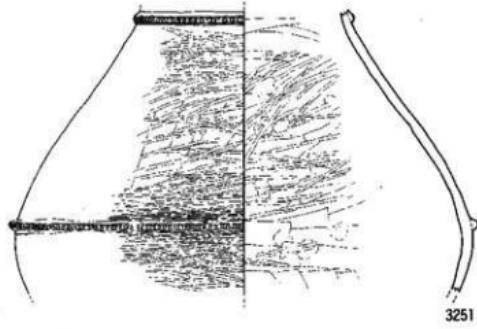
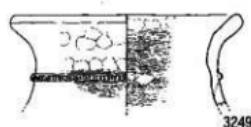
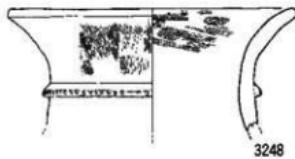
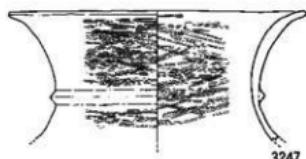
第19図 SD01(3区)出土土器・土製品 2 (1/4)



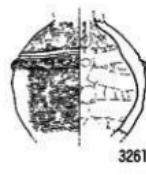
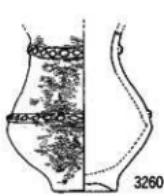
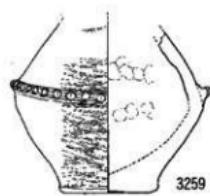
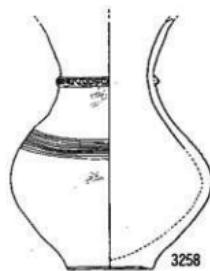
第20図 SD01 (3区) 出土土器・土製品 3 (1/4)



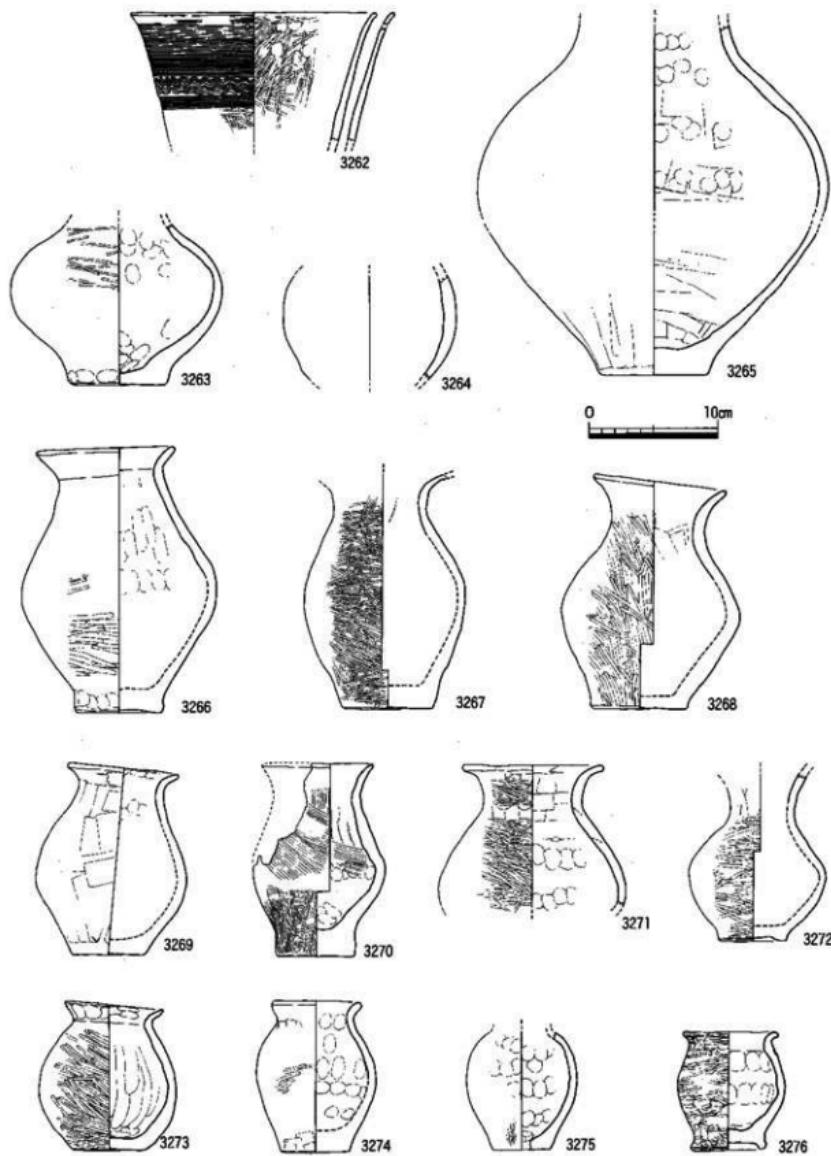
第21図 SD01(3区)出土土器・土製品 4 (1/4)



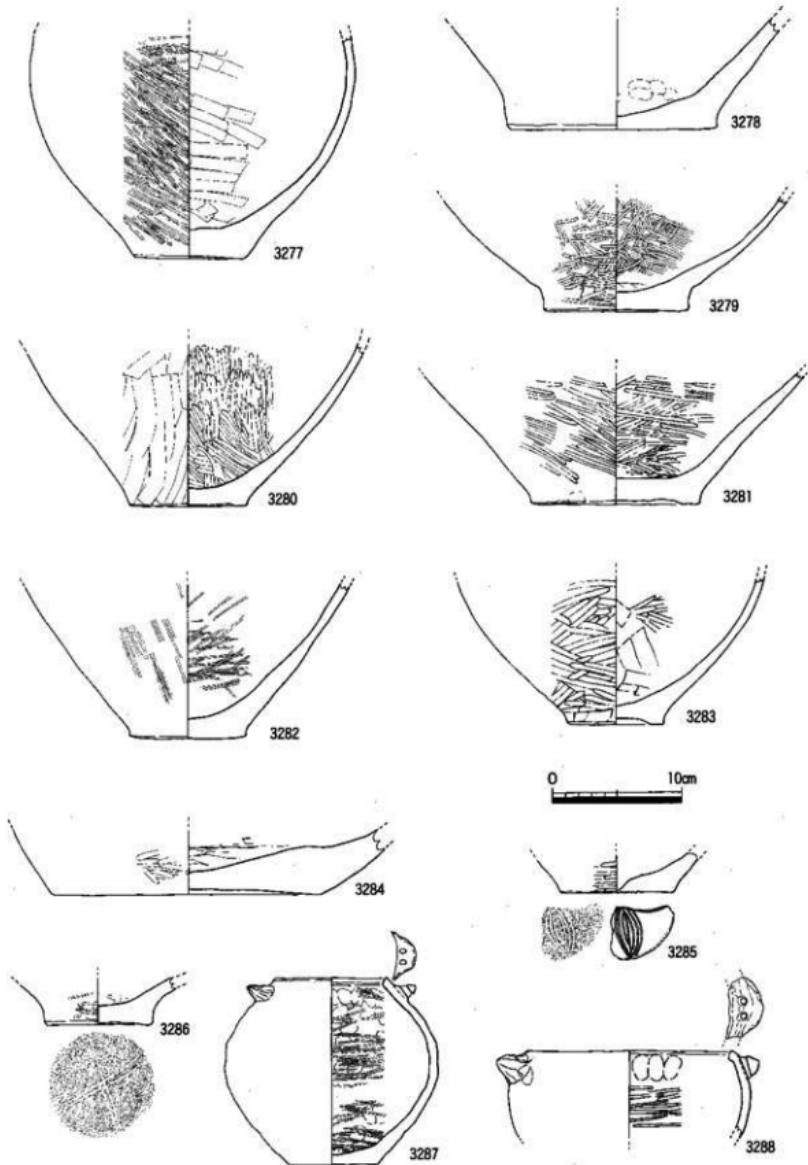
0 10cm



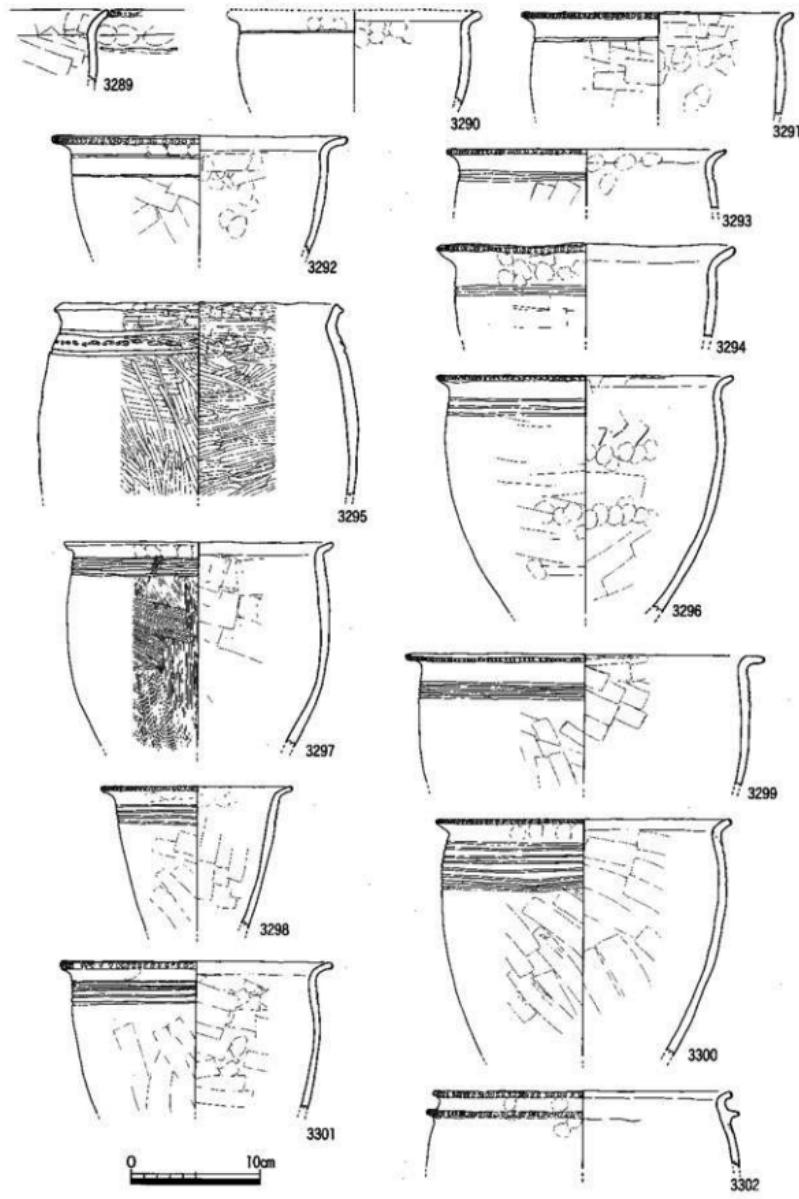
第22図 SD01(3区)出土土器・土製品 5 (1/4)



第23図 S D01 (3区) 出土土器・土製品 6 (1/4)



第24図 SD01 (3区) 出土土器・土製品 7 (1/4)

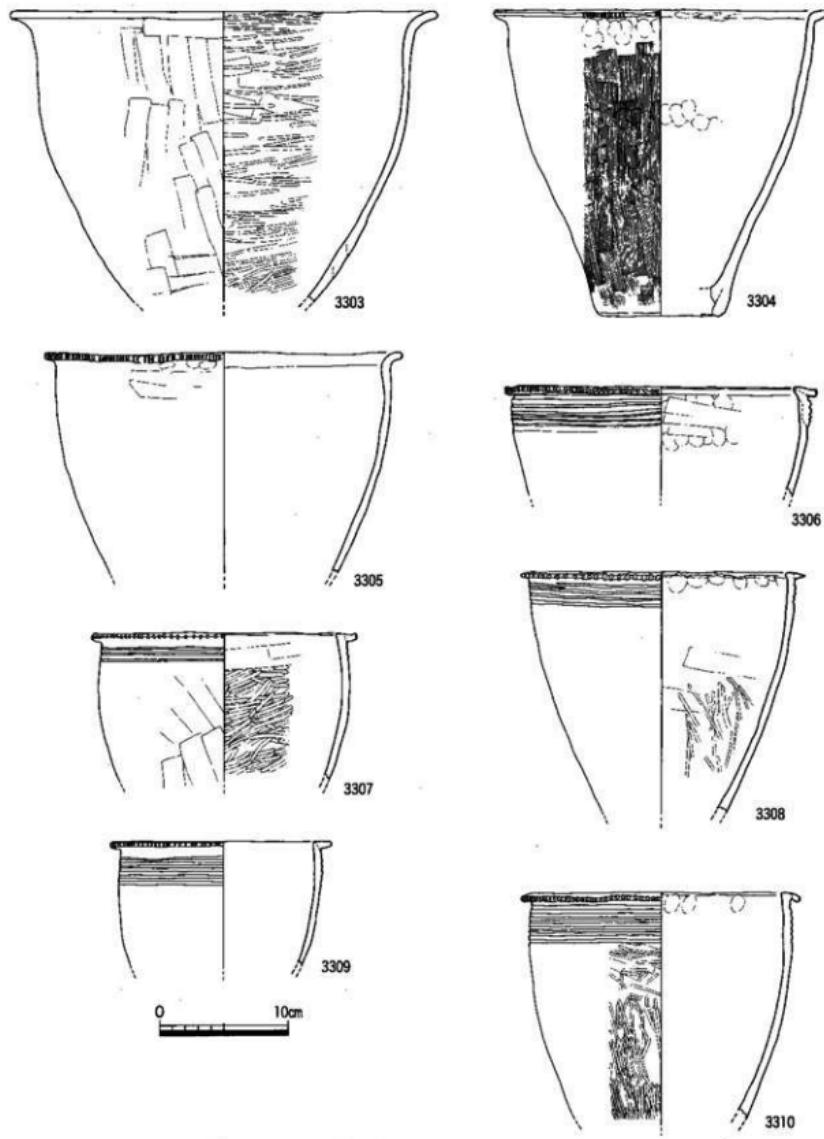


第25図 S D01 (3区) 出土土器・土製品 8 (1/4)

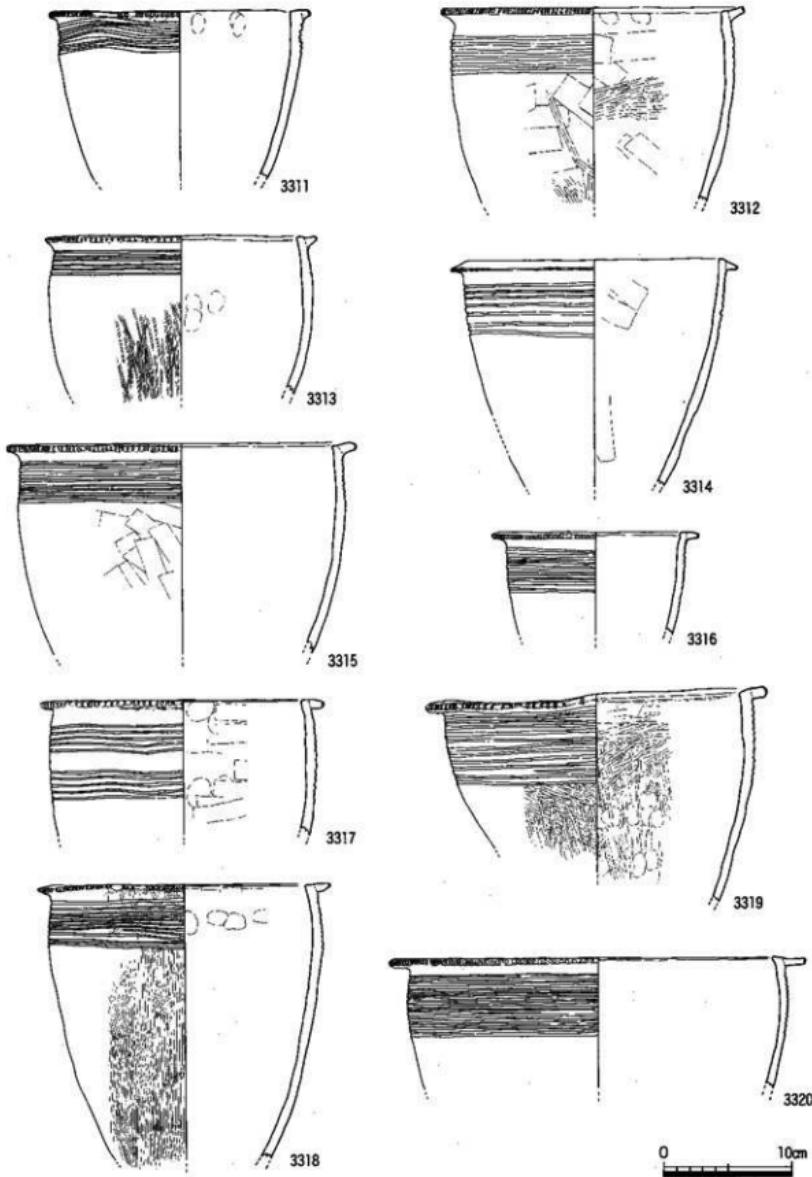
文を一列に貼り付ける。3257は頸部に1条の貼付突帯を施す。3258は頸部に1条の貼付刻目突帯、体部上半には5条のヘラ描沈線文を施す。3259は体部中位よりやや上に貼付刻目突帯を1条施す。3260・3261は小型の壺である。3260は上げ底を呈する。頸部、体部中位よりやや上に1条ずつ貼付刻目突帯を施す。3261は体部片である。体部中位よりやや上に2条のヘラ描沈線文とヘラ状工具による横方向の刻目をもつ押圧貼付突帯を1条施す。なお、上部のヘラ描沈線文は貼付突帯が剥がれ落ちた痕跡かもしれない。3262は口頸部片である。焼成前の穿孔（径3mm前後）が1個みられる。外面には25条程度の櫛描直線文と5条の櫛描波状文、その下には7条の櫛描直線文を施す。3263～3275は体部無文である。3264・3270の胎土には片岩粒を含む。3276は頸部に竹管文を1列に施す。底部は高台状を呈する。3277～3286は底部片である。3285は底部外面にヘラ描有輪木葉文、3286はヘラ描沈線文2条を十字に施す。3287・3288は無頸壺である。いずれも外面は剥離しており、調整は観察不可能である。3288の口縁部付近は摩滅が顕著であるため、口縁端部は割れ口の可能性もある。2個の円孔をもつ把手をもつ。

3289～3333は甕である。折り曲げることにより口縁部が外反する甕と貼り付けにより逆L字状を呈する甕がある。3289～3304は折り曲げることにより口縁部が外反する甕である。3289は途切れ途切れのヘラ描沈線文が1条みられ、その下部はゆるく凹む。ヘラ描沈線文または際取り沈線による浅い段であろうか。内面には赤彩が残存する。3290・3291は1条のヘラ描沈線文を施す。3292は1条のヘラ描沈線文と際取り沈線による段を施す。3293・3294は2条のヘラ描沈線文を施す。3295は口縁端部に面をもつ。2条のヘラ描沈線文間に刺突を施す。内外面ともにヘラミガキが顕著である。3296は3条のヘラ描沈線文を施す。3297・3298は4条のヘラ描沈線文を施す。3299は4条のヘラ描沈線文を施す。3301は5条のヘラ描沈線文を施す。3302は刻目を施す口縁部の下に1条の貼付刻目突帯を施す。3303～3305は無文である。3306～3326は貼り付けることにより口縁部が逆L字状を呈する。3306は粘土紐接合部分に段をもつ。段の下部はヘラ状工具で押さえ込む。段の上部には5条のヘラ描沈線文を施す。3307は3条のヘラ描沈線文を施す。3308は4条のヘラ描沈線文を施す。3309は5条のヘラ描沈線文を施す。3310～3312は6条のヘラ描沈線文を施す。3313は板状工具による幅4mmの浅い沈線を3条施す。3314は摩滅する7条のヘラ描沈線文がみられる。3315・3316は9条のヘラ描沈線文を施す。3317は外面に5条のヘラ描沈線文を2帯施す。3318は10条のヘラ描沈線文を施す。3319は体部が歪む。ヘラ描沈線文を11～13条施す。3320は14条のヘラ描沈線文を施す。3321～3326はいずれも無文である。3321は縱方向に把手を貼り付ける。3322・3324は横方向に把手を貼り付ける。3327は口縁端部から少し下がった位置に刻目をもつ突帯を1条貼り付ける。3328・3329の口縁部は山形を呈する。いずれも口縁端部より少し下がった位置に突帯を1条貼り付ける。3328の体部は無文である。3329は外面に10条のヘラ描沈線文を施す。3330は櫛描直線文またはヘラ描沈線文を16条施す。3331は櫛描直線文33条とその下部に三角形刺突文を施す。

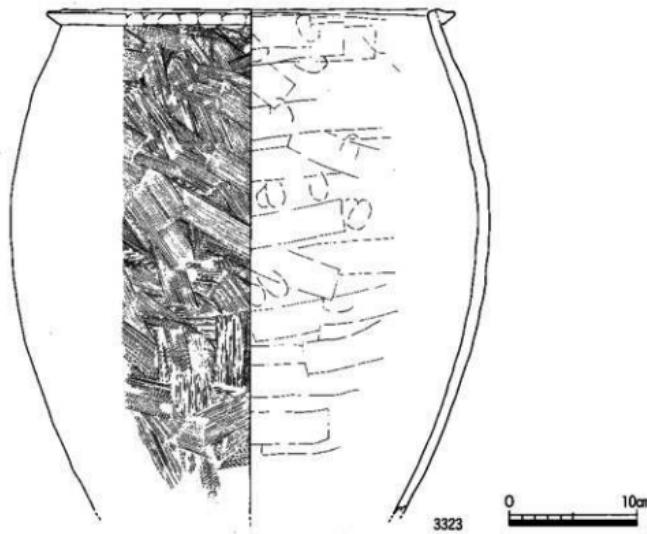
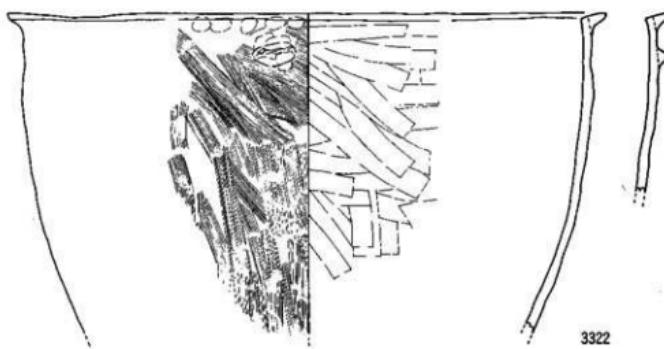
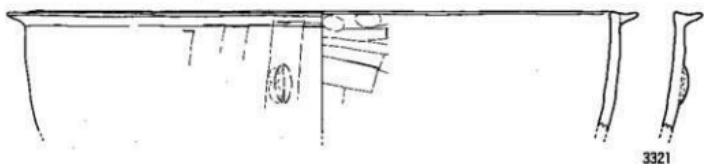
3333～3336は底部に焼成後の穿孔をもつ瓶である。3333は逆L字口縁を呈する甕で、ヘラ描沈線文6条を施す。3334は底部に焼成後の穿孔があり、底部外面が大きく剥がれる。偶然あいた孔かもしれない。3337は底部片であるが、底部外面には焼成後の未貫通の穿孔がみられる。穿孔途中のものかもしれない。3338～3348は鉢である。3338は口縁部破片のため、全体の形態は不明である。かなり摩滅しているが、口縁部外面に際取り沈線による段がみられる。3339も外面に粘土を貼り付け段を施す。3340は外反する口縁部をもつ。無文である。3341は逆L字口縁で、口縁部は貼り付けによる。外面にはヘラ描沈線文を5条施す。3342は大型の鉢で、口縁部は外反する。口縁端部に面をもち、ヘラ描沈線文1条を施す。頸部にもヘラ描沈線文1条施す。3343の形態はややいびつである。口縁端部に刻目を施す。外面には針金



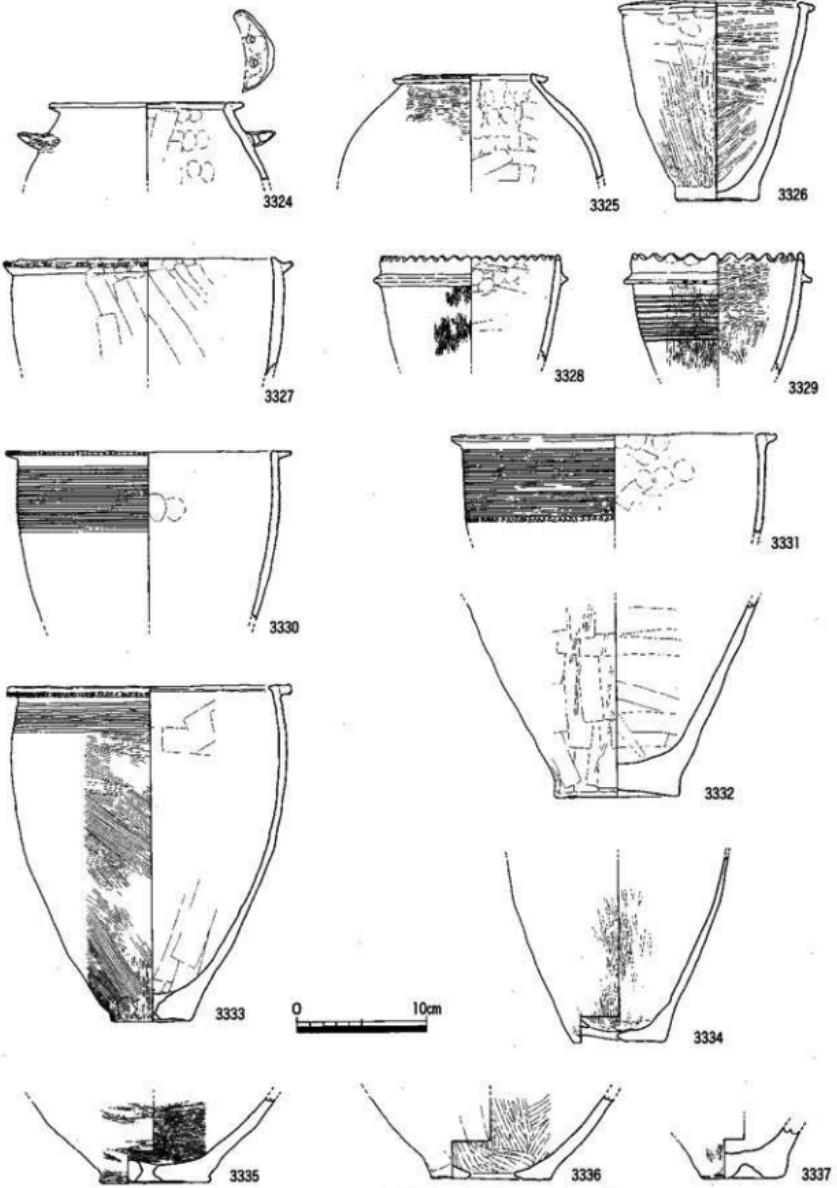
第26図 S D01 (3区) 出土土器・土製品 9 (1/4)



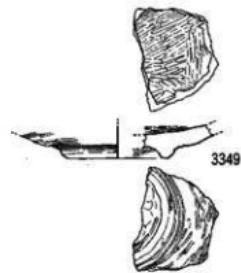
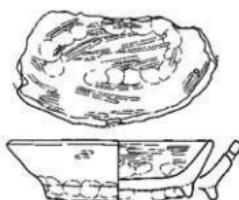
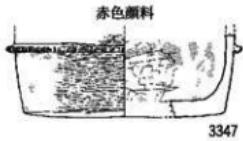
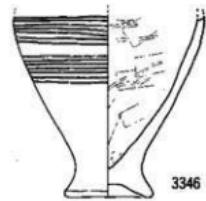
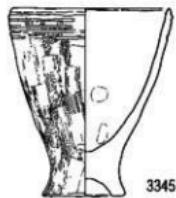
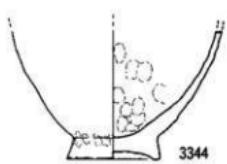
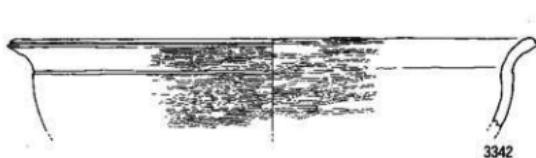
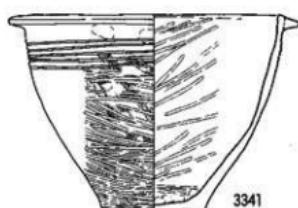
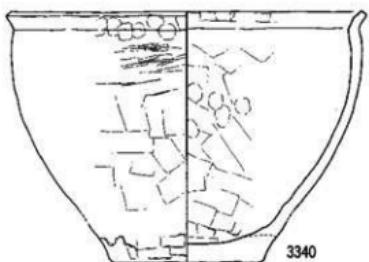
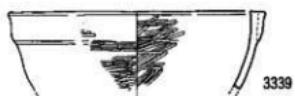
第27図 SD01 (3区) 出土土器・土製品 10 (1/4)



第28図 SD01(3区)出土土器・土製品 11(1/4)

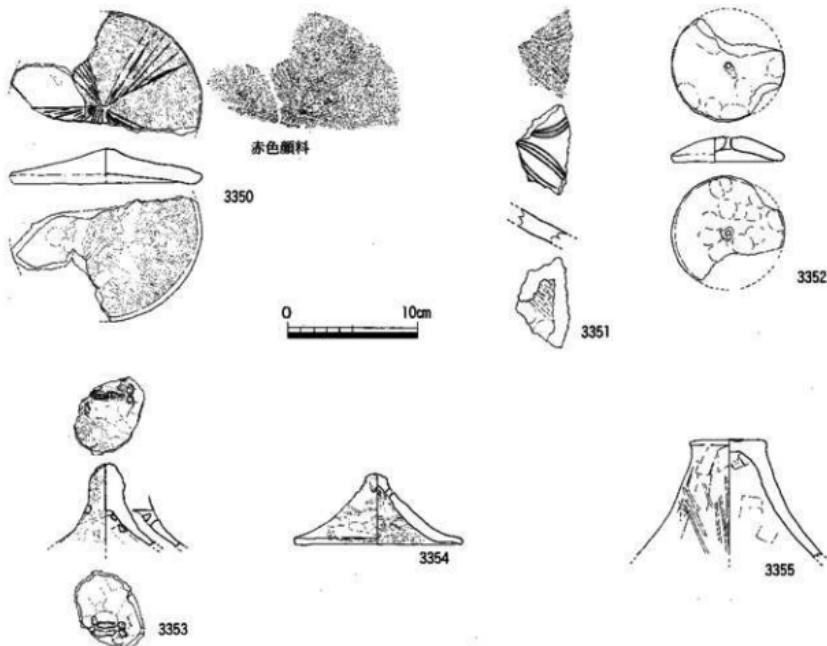


第29図 S D01 (3区) 出土土器・土製品 12 (1/4)



0 10cm

第30図 S D01 (3区) 出土土器・土製品 13 (1/4)

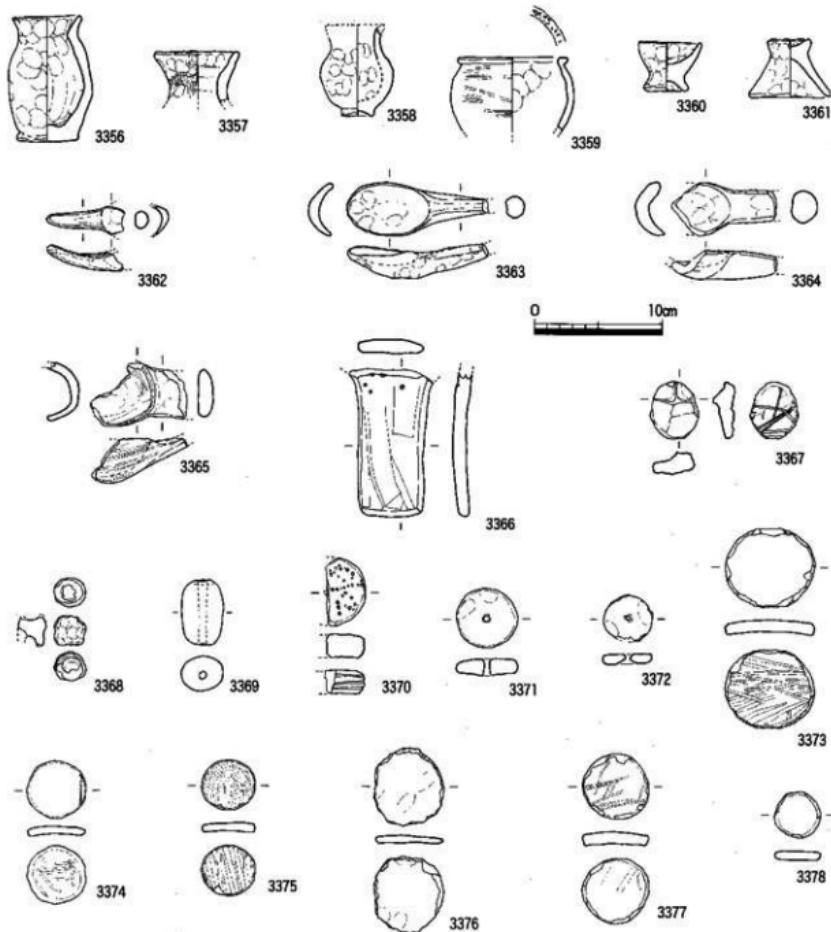


第31図 SD01 (3区) 出土土器・土製品 14 (1/4)

で引っ搔いたような稚拙な浅いヘラ描沈線文を10条と櫛描波状文2条を施す。3344は口縁部を欠損し、外面は摩滅するため、文様の有無は不明である。底部は高台状を呈する。3345・3346は脚台部が付く。3345の口縁部は直口し、外面にはヘラ描沈線文5条を施す。3346は口縁部を欠損する。外面にはヘラ描沈線文7条2帯を施す。3347は口縁部を欠損するため、全体は不明である。外面には貼付刻目突帯を施す。内面には赤色顔料が付着する。3348は平面形梢円形を呈する鉢である。体部に焼成前の穿孔が1個みられる。底部は高台部を貼り付ける。3349も高台部をもつ。高台部外面には3条のヘラ描沈線文を施す。底部片のため全体の形態は不明である。

3350～3355は蓋である。3350は天井部外面に6条1単位のヘラ描沈線文を放射状に5帯施す。3351は天井部外面にヘラ描木葉文を施す。3352は天井部に焼成前の穿孔がみられる。3353の天井部は扁平になり、上部に突出する。頂部には刻目を施す。体部には2個1組の焼成前の穿孔が2組みられる。3354は天井部に4個の穿孔がみられる。

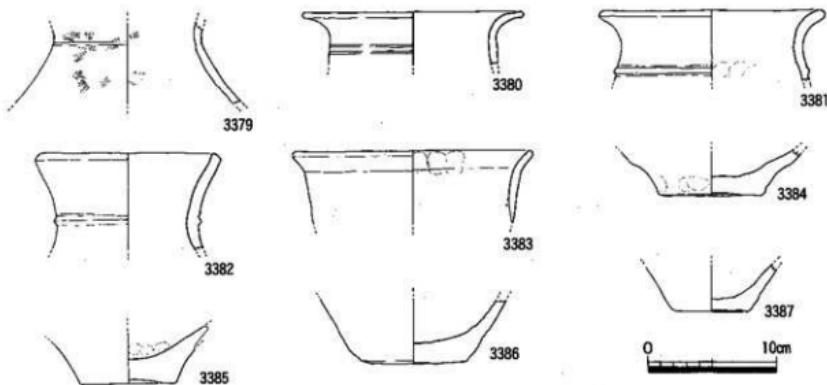
3356～3361はミニチュア土器である。3356～3358は壺であろう。3359は壺で、口縁端部には竹管文を施す。3360は脚台部をもつ鉢で、3361は蓋である。いずれも指押えが顕著に残る。3362～3365は匙状土製品である。3366は舌状の土製品である。短片の片方は広がっているが、欠損しているため、形態は不明である。広がっている短辺側には片面に数個の刺突を施す。3367は用途不明の土製品である。薬状の



第32図 SD01 (3区) 出土土器・土製品 15 (1/4)

圧痕が付く。3368は最大径2.4cm、現存長2.3cmと小さな土製品である。端部を欠損するため全体の形は不明であるが、両端は凹みをもつことから、鉢または高杯のミニチュアとも考えられる。3369は土錐である。3370・3371は中央部に焼成前の穿孔がみられる。紡錘車であろう。3370は両面に刺突を施し、側面に2~3条の沈線を施す。3372~3378は土器片を再利用した円盤状土製品である。3372は焼成後に穿孔を施す。

3379~3387は試掘等によって出土した詳細な出土地が不明の土器である。3379~3382は壺である。3379は頸部片である。ヘラ描沈線文を1条施す。3380は口縁部片である。摩滅が顕著であるが、頸部にヘラ描沈線文2条みられる。3381は頸部に削出突帯第I種を施す。突帯の上下には際取り沈線がみられる。3382は頸部に突帯を1条施す。摩滅が顕著であるため詳細な観察は不可能であるが、貼り付けによるものであろうか。3383は壺である。口縁部は外反する。



第33図 S D01 (2・3区) 出土土器 1 (1/4)

## 第2節 焼粘土塊 (図版33・34)

1区から4区の各地区から焼粘土塊が26点出土した(3501~3526)。あまり大きいものではなく、最小で9.99g、径3.0cm弱、最大で1801.68g、径15.0cm前後を測る。最も多いのは30~60gのもので、径4.0~6.0gを測る。胎土はいずれも土器胎土で最も多い胎土A類(長石・石英を多量に含む)である。

### 第3節 石製品

本遺跡では石器は多量に出土した。小剥片を含めると12,664点を数える。全体の総重量は552.9kgである。石材は他種類のものが使用されており、サヌカイト・流紋岩・安山岩・玄武岩・アブライト・半深成岩・粘板岩・結晶片岩などがみられる。サヌカイト製以外の石材別の石器の種類の点数・重量は第2表のとおりである。また、サヌカイト製石器の種類と重量は第6表のとおりである。これによると総重量の最も大きいのが安山岩で158,397.7g (583点)、次が半深成岩で96,652.8g (218点)、サヌカイト95,128.8g (10,699点)、砂岩84,641.9g (188点)、花崗岩39,080.8g (43点)、流紋岩30,572.2g (499点)、片麻岩15,051.9g (23点)、結晶片岩14,658.1g (317点)と続く。なお、本報告書で用いる石材名「半深成岩」と『鶴部・川田遺跡』<sup>(1)</sup>で用いる石材名「(脈岩) 安山岩」は同一石材を指す。また、第6表には弥生時代後期から古墳時代前期、平安時代の遺構から出土した石器の数量も含まれている。

本報告書ではまず、これらの石器をサヌカイトとそれ以外の石材の石製品に分類した。次に出土遺構の時期ごとに石器を分類し、弥生時代前期から中期の遺構から出土した石器、弥生時代後期から古墳時代の遺構、平安時代の遺構から出土した石器の順で掲載した。

#### 1. サヌカイト製以外の石製品

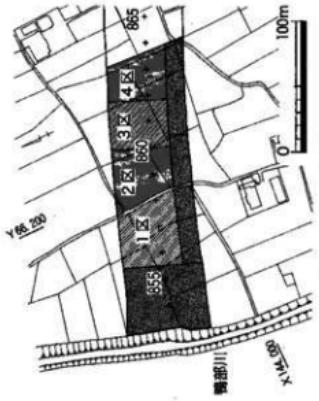
##### (1) 石包丁

打製石包丁と磨製石包丁がある。打製石包丁の中で特に大型のものは大型打製石包丁として分離した。本報告書で磨製石包丁としたものの中には刃部の一部だけを研磨するものや研磨が部分的であるものも含んでいる。磨製石包丁は流紋岩製が67点、安山岩製が53点、粘板岩製が2点、結晶片岩製が31点ある。打製石包丁は安山岩製が53点、結晶片岩製が12点ある。流紋岩製の打製石包丁は見当たらない。

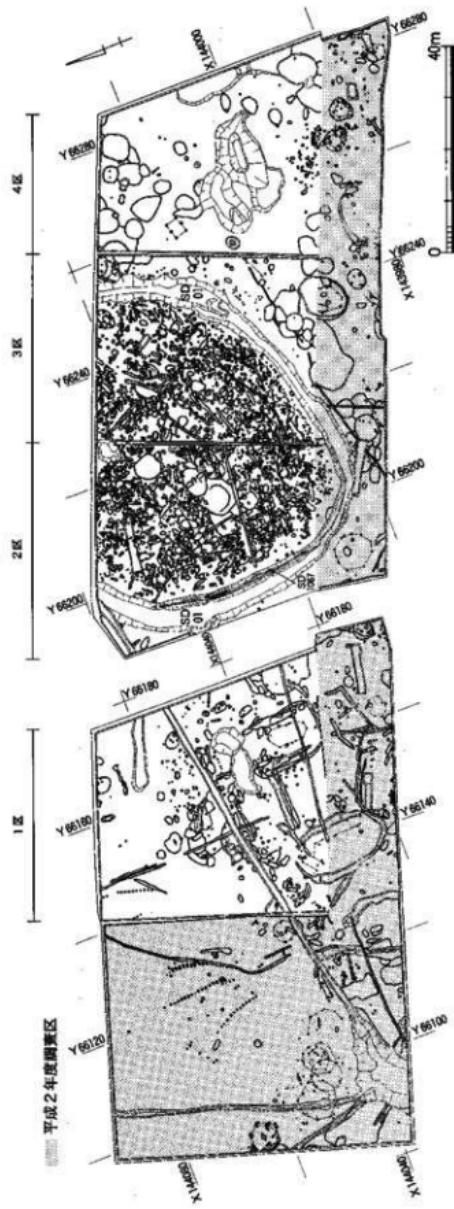
流紋岩製磨製石包丁 4001~4066は流紋岩製の磨製石包丁である。流紋岩製磨製石包丁は未製品も多数出土したことから、本遺跡で製作を行ったものと推定される。磨製石包丁としたものの中には全体を研磨しているもののほかに、4008・4020・4059のように体部は未研磨の状態で、背部と刃部のみ研磨しているものもある。これらについては未製品の可能性もあるが、刃部の摩滅や光沢あるいは刃部の微細剥離痕などの使用痕の有無によって、製品か未製品かを判断した。4008・4059は刃部・背部のみ研磨が施され、体部は未研磨であるが、刃部には使用痕である摩滅・光沢が認められる。4020は体部片面・背部・刃部には研磨を施すが、体部のもう一方の片面にはほとんど研磨を施していない。だが、片面の刃部上部の摩滅が顕著であることから、使用されたことがうかがわれる。

流紋岩製の磨製石包丁の中で完存あるいはほぼ完存するものは6点と、出土品の1割にも満たないことから、大部分は破損して廃棄されたものと思われる。このため、全体の平面形態の判別可能なものは少量しかないが、これらについて以下のように分類を行った。

- A形態 背部が直線的で、刃部が外湾するもの (外湾刃半月形)
- B形態 背部が湾曲し、刃部が直線的なもの (直線刃半月形)
- C形態 背部・刃部ともに湾曲するもの (杏仁形)
- D形態 背部・刃部ともに直線的で、全体が長方形を呈するもの
- E形態 A形態で、両端に抉りをもつもの
- F形態 A形態で、両端に抉りをもち、紐孔をもつもの



地区別図 (1/4,000)



第34図 構部・川田邊防護構造図 (1/10,000)

第2表 鴨部・川田遺跡出土石器（サヌカイト製以外）

石種 種類	直角の対辺または斜辺の長さ										直角の対辺または斜辺の長さ		直角の対辺または斜辺の長さ		直角の対辺または斜辺の長さ		直角の対辺または斜辺の長さ		
	花崗岩	安山岩	玄武岩	千枚岩	砂岩	閃雲岩	アーバイト	碧玉	青石	板岩	墨玉岩	チタナイト	片岩	花崗岩	墨玉岩	碧玉	青石	板岩	墨玉岩
花崗岩	67	33												27	21				
花崗岩を含む石製品																			103
花崗岩																			1
花崗岩	33																		65
花崗岩を含む石製品	2	3																	3
花崗岩	1																		1
花崗岩を含む石製品	48	1																	86
花崗岩を含む石製品	2																		2
花崗岩																			1
花崗岩	38																		46
花崗岩の変性	29																		29
花崗岩の変形	21	1	30					1						5	44				30
花崗岩と玄武岩	1																		1
花崗岩と玄武岩																			20
花崗岩と玄武岩																			1
花崗岩と玄武岩	3								4	1					16				20
花崗岩と玄武岩																			2
花崗岩と玄武岩																			2
花崗岩	27																		29
花崗岩	1																		1
花崗岩	1																		3
花崗岩	7																		2
花崗岩と玄武岩	31	2																	6
花崗岩	27	3																	6
花崗岩の可塑性	1																		2
花崗岩	1																		1
花崗岩	6	191	2	40	1	23	1	7	60			9			9				369
花崗岩	23	32	1	6	11				24			1							176
花崗岩	1	34	5	26	8	3	3	4											54
花崗岩の変性																			1
花崗岩の変形																			1
花崗岩	21																		21
花崗岩	7														9	22	3	3	9
花崗岩または花崗岩	146	17													17				279
花崗岩																			1
花崗岩小分け	143	67	36	1	1	9	24	1	5	1	148	9					1	2	180
合計	499	565	7	234	1	43	3	13	168	11	3	6	4	27	317	25	1	1	164

重量 (g)	直角の対辺または斜辺										直角の対辺または斜辺		直角の対辺または斜辺		直角の対辺または斜辺		直角の対辺または斜辺		
	花崗岩	安山岩	玄武岩	千枚岩	砂岩	閃雲岩	アーバイト	碧玉	青石	板岩	墨玉岩	チタナイト	片岩	花崗岩	墨玉岩	碧玉	青石	板岩	墨玉岩
花崗岩	229.2	180.0												134.1		1489.1			
花崗岩																			9768.8
花崗岩	275.1																		48.0
花崗岩	666.5	306.4																	3017.2
花崗岩	138.4																		801.9
花崗岩	3560.0	22.6																	159.4
花崗岩																			5612.8
花崗岩の変性	28.2																		28.2
花崗岩																			86.5
花崗岩	9619.3																		10681.1
花崗岩の変形	5043.9																		9043.9
花崗岩の変形	1442.9	329.6	32376.2		363.1									20.04		366.2			36097.5
花崗岩の変形	20.1																		3297.4
花崗岩の変形																			1184.6
花崗岩の変形																			211.5
花崗岩の変形																			436.2
花崗岩の変形																			122.1
花崗岩の変形	44.4													160.3	61.5	627.2			679.0
花崗岩の変形																			206.0
花崗岩	198.9																		606.5
花崗岩																			749.5
花崗岩	316.2																		436.1
花崗岩	455.2																		637.7
花崗岩	93.7																		366.2
花崗岩	170.5	196.3																	1214.5
花崗岩	266.5	715.1																	267.2
花崗岩の変形	98.0																		213.0
花崗岩	3099.4	9661.0	1193.8	46733.0	983.2	25901.8	184.5	4897.1	3-3207					2546.6		4926.1			21697.2
花崗岩	4624.3	1196.0	755.1	2006.9	101.1											3633.6			8067.5
花崗岩	66.7	922.7	2000.9	11256.6	3219.5	996.1	2215.3	1354.4											3125.2
花崗岩の変形																			213.0
花崗岩	7.6	6510.8																	7003.2
花崗岩		2036.7	1199.8																9641.0
花崗岩	754.7	1919.9																	9309.0
花崗岩																			1.8
花崗岩小分け	1879.6	3418.8	4223.1	474	353.8	158.0	2546.9	1.3	96.3					2126.1		3137.1			11.8 147.4 1574.3
合計	3672.2	15801.7	4202.1	9652.8	103.1	2000.8	1044.7	831.8	8664.9	986.3	27.4	143.9	3195.6	1347.4	1668.1	1581.9	205.2	13.3 90.1	345.1





## 25 SDDI 総数

石 片	151万枚	65万枚	65万枚	65万枚	35万枚	35万枚	アーチ・ドア	セ ン	ソ ネ	シ ト	ク ブ	ク ブ	タ マ	ミ ノ	片 面	六 面	三 面	片 面	七 石	柱 石	萬 宝 壁	不 考	合 计
御殿石柱下	9	9													7								26
御殿石柱上半身																							0
打突G柱下	7															2							9
人型柱下半身	3	1																					2
石塀石柱下半身	1																						1
台形石柱下半身	18																						18
台形石柱上半身の可能性	1																						1
小窓																							
瓦面		2																					2
山腹の可能性	3																						3
山形磚瓦石			17																				17
柱形レバ瓦面	1																						1
柱形瓦と瓦上部瓦面																							0
柱形瓦と瓦心面の可能性																							1
小窓方形柱下 半身等																							4
小窓方形柱下 丸形容器と小物等																							0
柱平升石																							3
柱平升石井戸蓋																							1
小窓	8																						8
縫い合目																							0
縫合	1																						1
弓彌模																							0
糸織物洗																							0
石通	12	2																					14
山跡の可能性																							0
山形瓦 向き石	1	62	1	16	2		3	16															81
六角石	55	6	1	2					32													56	
壁石	31		2	1																		32	
本物品の可能性																							1
木札ひ式		3																					3
束材	3	3																					6
束材または側脚	28	3																					31
台石																							0
大蔵小火	20	5	1				3						1			16							26
合計	74	135	2	36	0	10	0	3	43	1	0	2	1	1	51	7	1	0	0	2	2	0	267

## 25 SDDI 重量 (g)

	344.2	266.0																							1253.5
御殿石柱下																									0
御殿石柱上半身																									485.0
打突G柱下		265.3	266.4																						465.7
打突G柱上半身		159.4																							198.1
石塀石柱下	945.3																								945.3
石塀石柱上半身の可能性	28.2																								28.2
小窓																									0
瓦面	1098.8																								1098.8
瓦の可能性	228.5																								259.3
束材																									268.3
束材または側脚								204.3																204.3	
柱平升石																									0
糸織物洗																									514.0
糸織物洗本物		28.5																							28.5
糸織物洗半身の可能性																									211.9
小窓方形柱下 半身等									59	6.0														65.3	
小窓方形柱下 丸形容器と小物等																									0
柱平升石																									0
小窓	128.0																								128.0
糸織物洗																									0
糸織物洗	436.3																								436.3
糸織繩																									0
糸織紗																									0
糸織紗七點品																									49.1
石通	286.5	200.6																							286.5
山跡の可能性																									0
山形瓦 向き石	162.1	18467.2	754.2	11770.7	6356.7	2210.8	5617.2																		1761.6
石通-瓶	163.6	2406.6	1621.5	1161.5				16993.1																	23792.3
壁石	3314.5	1626.9	962.3																						2331.2
本物品の可能性																									0
不規形状石		246.9																59.7						246.6	
壁石	395.1	311.6															603.7	139.4		602.0	161.8			290.6	
直角または斜角	1662.1	128.2													23									122.4	
山窓																									0
直角山窓	76.0	408.5	164.3					446.0				66.5				321.5								2649.9	
合計	4355.3	3172.7	954.6	2954.9	0	835.5	0	2710.8	23367.5	5.9	0	75.3	65.2	2.1	286.2	3407.1	20.6	0	0	682.0	363.2	0	0	10942.7	











## 48. 価値

材質	積荷													合計						
	通産省	東山汽船	上河内汽船	本邦汽船	新日本汽船	西日本汽船	アーティック	郵便	シルバースターフレート	日立汽船	日本汽船	新日本海汽船	ナリタ	日本郵船	日本郵船	石炭	鉄道	資源開拓船	不規則	
無駁石臼	7	3																		12
無駁石臼+木製品																				0
打駁石臼丁		5																		6
大型打駁石臼丁		1																		1
打駁石臼丁+木製品																				0
石臼丁+木製品	15	3																		16
石臼丁+木製品の可能性																				0
芝道																				0
別船		11																		12
台船の可能性		8																		8
大型船の可能性																				16
船内荷物																				8
船内荷物と石臼製品																				0
船内荷物と木製品の可能性																				0
小型方舟式又打駁石臼製品																				0
小型方舟式又打駁石臼製品の可能性																				0
船平洋石臼																				1
船平洋石臼+木製品																				0
石臼																				0
船底石臼																				0
船不																				0
船底木	1																			1
小船状方舟品																				1
元通		2																		2
山洋の動物																				0
船と、船と山洋	1	26		3	1	1	3	2	8											36
石作、瓦石	3	2			3				33											39
鐵石	7	4		1																12
木造の工具機械																				0
打駁石臼品																				5
鐵船	7	1																		8
鐵船または通舟	29	2																		31
山洋																				0
人頭當小舟	36	6	9						4											46
合計	96	96	0	29	0	3	1	2	36	4	0	0	0	0	48	3	0	0	0	399

## 49. 重量(g)

無駁石臼丁	161.2	79.0															26.3			266.5
無駁石臼+木製品																				0
打駁石臼		249.8																		296.2
大型打駁石臼丁		490.2																		490.2
打駁石臼丁+木製品																				0
石臼丁+木製品	786.9	32.6																		808.5
石臼丁+木製品の可能性																				0
山洋																				0
石臼		342.6																		357.0
石臼の可能性		1801.9																		1805.9
大型船の石臼		3114.9																		3114.9
地底骨石臼																				727.1
地底骨石臼+木製品																				0
地底骨石臼+木製品の可能性																				0
小型方舟的石臼																				36.8
小型方舟的石臼+木製品																				0
船子舟+木製品																				35.0
船子舟+木製品																				0
石臼	1262.8																			1262.8
地底骨石臼																				0
不																				0
船底木	49.0																			49.0
山洋																				2.7
山洋の可能性																				0
船子舟+木製品	1897.9	2310.5	2596.6	265.1	351.2	1495.6	3211.4													3051.6
船子舟	1017.4	1371.2		1218.3		673.4														1787.5
船子舟	349.9		1773.4	695.6																4280.9
船子舟の可能性																				0
小船的石臼																				325.1
小船的石臼+木製品																				325.1
石臼																				0
未記載	431.8	297.0	360.3				617.0													1282.9
未記載	431.8	327.0	0	8227.0	264.5	1462.0	1962.3	508.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2276.1	
石臼																				0
未記載小舟	431.8	297.0	360.3				617.0												2341.0	
合計	6679.9	3276.5	0	8228.2	0	2227.0	264.5	1462.0	1962.3	508.4	0	0	0	0	0	0	0	0	2280.5	



表 (SDI 内外不規) 価値

種別	石材			高さ												
	高さ25	高さ25	高さ25													
砂利	6	23		23												
砂利石子				0												
砂利瓦		36		39												
打撃石子				0												
太形打撃石子				0												
打撃石子または砂利				0												
砂利・重砂利	15			15												
石砂利・土砂利の可燃性				0												
砂利				0												
石砂利	3			4												
石砂利の可燃性	4			4												
土砂利石子	1	1	26	28												
砂利石子石砂				0												
粗粒石子重砂利				0												
粗粒石子石砂の可燃性				0												
小型・特大石砂			1	3												
小原方石砂・片石砂等品の可燃性				0												
粗骨材石砂			1	3												
粗骨材石砂等品				0												
石砂	3			4												
強化石砂	1			1												
砂子				0												
砂砾等	1			1												
河砂丸心砂等	1			1												
砂砾				0												
河砂の可燃性				0												
粗砂・砂小石	3	20	7	1	1	9	31									
山砂・筋砂	2	9		3	12		20									
砂石	2		2				3									
砂製品の可燃性							0									
不明石砂品	5						5									
石砂	2	1			2	2	3	3	4							
重砂利または石砂	26	1			2				26							
石砂									0							
粗骨角石砂	26	17	2		7		23		1	1	73					
合計	86	353	0	25	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	305

表 (SDI 内外不規) 重量 (g)

砂利石子	128.2	411.7				369.3				598.2								
砂利石子未熟品										0								
打撃石子		437.9				103.8				541.7								
大型打撃石子										0								
打撃石子または石砂										0								
山砂T.A.石砂		1231.3								1231.3								
石砂T.A.石砂の可燃性										0								
砂砾										0								
山砂	587.8					250.1				837.7								
石砂の可燃性	361.5									561.5								
上砂石・下砂石	1396.4	326.6	4066.1							4260.1								
粗粒片石等品						773.2				773.2								
粗粒片石等品の可燃性										0								
粗粒片石等品の可燃性										0								
小型方石砂・石砂				35.9		44.3				79.2								
小型方石砂・石砂等品の可燃性										0								
粗骨角石砂				27.0		39.3				66.3								
粗骨角石砂等品										0								
山砂	377.3					26.0				403.2								
粗骨石子	396.6									396.6								
砂子										0								
砂砾等	41.7									44.7								
円錐状石子等品	46.3									48.3								
山砂										0								
山砂の可燃性										0								
重砂石・円み石	232.7	16665.1	5814.9	483.2	4000.0	201.2	4890.3		423.9	33139.2								
山砂・丸石	512.8	194.6		2317.6		3171.4				6657.5								
砂石	2610.2			666.4						2661.6								
砂製品の可燃性		799.7								799.7								
重砂石	261.1	120.9				122.7	73.1		112.3	96.0								
重砂または割れ	1524.7	32.9				86.6				1634.2								
山砂										0								
粗骨角石砂	200.8	96.4	448.2			331.0		291.6		318.4	142.4							
合計	5664.0	24880.5	0	1832.9	465.2	7566.0	0	261.2	960.7	6539.9	0	0	0	122.1	96.0	11.8	167.4	67463.9

2-3区(500t内れ不取) 価値

石目	沈代	金田透	吉井	中澤	西田	佐野	アラカイ	寺	山	眞	村田	櫻井	サマー	片桐	吉田	川上	白	桂	不	合計	
青雲石切丁		2																			2
青雲石切丁 未製品																					0
打掛石切丁																					0
大和打掛け石切丁																					0
お墨石切丁またばん																					0
お墨石切丁未製品																					0
山形石切丁未製品																					6
石壁																					6
瓦版																					0
瓦板の可能性																					0
丸型丸瓦版					1																1
瓦版丸瓦版																					0
瓦片 月打茅太軽品																					0
瓦片 月打茅太の可能性																					0
小和方柱切丁 月打茅																					0
小和方柱切丁 月打茅製品の可能性																					0
瓦片 月打茅																					0
瓦片 月打茅未製品																					0
瓦器																					0
理焼し片																					0
乾燥																					0
砂留																					0
門型瓦切丁																					0
心縫																					0
瓦片の可能性																					0
瓦片 瓦み苔																					0
瓦片 瓦苔																					0
瓦片 瓦																					0
瓦片 瓦切丁																					0
瓦片 瓦切丁未製品																					0
瓦器		2																			2
瓦器またばん			3																		3
瓦器				3																	3
本箱包小箱				3													4				8
合計		5	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	13	

2-3区(500t内れ不取) 重量(g)

碧翠石切丁	362																				362
碧翠石切丁 未製品																					0
打掛石切丁																					0
大和打掛け石切丁																					0
お墨石切丁未製品																					0
山形石切丁未製品																					0
石壁																					0
瓦版																					0
瓦版の可能性																					0
丸型丸瓦版																					0
瓦片 月打茅太軽品																					0
瓦片 月打茅太の可能性																					0
小和方柱切丁 月打茅																					0
小和方柱切丁 月打茅製品の可能性																					0
瓦片 月打茅																					0
瓦片 月打茅未製品																					0
瓦器																					0
理焼し片																					0
乾燥																					0
砂留																					0
門型瓦切丁																					0
心縫																					0
瓦片の可能性																					0
瓦片 瓦み苔																					0
瓦片 瓦苔																					0
瓦片 瓦																					0
瓦片 瓦切丁																					0
瓦片 瓦切丁未製品																					0
瓦器																					0
本箱包小箱		24	26	0	282.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.4	0	0	0	9.4
合計	673.3	645	0	282.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.4	0	0	0	101.2





G形態 C形態で、抉りをもつもの

H形態 D形態で、抉りをもつもの

I形態 B形態で、抉りをもつもの

A形態は4002・4006・4009・4012・4027・4028・4047・4051・4054・4058・4060で、11点ある。A形態の中でも側縁付近の形態は様々である。背部が直線的で、側縁が鋭角的な半月形のもの(4009)、背部の両端部がやや下がるもの(4002)、側縁が刃部と背部にはほぼ直交するもの(4006・4027)、側縁が丸いもの(4028・4051・4054)がある。4058は背部から刃部の幅は4.7cmと狭く、刃部がかなり消耗していると考えられることから、本来の刃部の平面形態はもう少し丸みを帯びていたと推定される。体部の断面形をみると、平坦で直線的である。

B形態は4017・4023・4029・4036・4037・4049・4053・4056・4065がある。A形態よりやや少なく、9点である。4036の側縁には刃部に直交する辺をもつ。4037は側縁付近を研磨しておらず、側縁付近の形態はややいびつであるが、一応ここに分類する。4056はほぼ完存する。背部の端から側縁付近にかけて直線的な部分があるが、この部分は自然面である。4049の体部の断面形は湾曲しており、反りのある素材で石包丁を製作している。4029・4037・4056の体部の断面形は中央部が膨らんでおり、丸みを帯びる。4017・4023・4036・4053・4065の体部の断面形は直線的である。

C形態は4007・4020・4035・4048・4057がある。いずれもいびつで、典型的な杏仁形とは言い難い。4007は左右非対称である。片方の端部が薄くなっている、側縁付近は未研磨である。4020も2個の紐孔と刃部の湾曲、背部の湾曲は平行しておらず、全体の形態はいびつである。4048は側縁付近が残存する。4007・4020・4035の体部の断面形は中央部が膨らんでおり、丸みを帯びる。4048・4057の体部の断面形は直線的である。

D形態は4013がある。4013は両面とも体部中央付近に凹みがあり、研磨が十分施されていない。側縁には面をもつ。体部の断面形は直線的である。ほぼ全体に摩滅・光沢がみられる。

E形態は4008がある。4008は完存する。両端に抉りをもつが、刃部の湾曲は左右非対称である。刃部と背部には剥離痕が残り、部分的に研磨する。体部は未研磨である。片面全面と片面一部は自然面で、体部の断面形は直線的である。

F形態は抉りと紐孔の両方がみられる。4016・4018がある。4018は体部の一部に多少剥離痕が残っている程度に研磨は施しているが、全体にザラザラした感じで、研磨は弱い。抉りも敲打痕が残り、未研磨である。だが、刃部の上部の一部に摩滅・光沢が観察されることから、未製品ではないことがうかがわれる。4018は厚さ1.1cmと分厚い。体部の断面形はいずれも直線的である。

G形態は4004・4034・4061がある。4034は小型である。体部・抉りは未研磨である。4004は抉りは未研磨で、体部の研磨も不十分である。4061も抉りの研磨は不十分で、体部は未研磨である。4004の体部の断面形は中央部が膨れる。4034・4061の体部の断面形は直線的である。

H形態としたのは4064の1点だけである。背部が少し湾曲し、ややいびつな長方形を呈する。体部だけではなく、背部や刃部にも剥離痕が残るため、一見未製品かと思われるが、抉り付近に摩滅・光沢が認められる。片方の端部は僅かに凹む程度の抉りがみられる。体部の断面形は直線的である。

I形態は4021が該当する可能性が高い。4021は半分欠損しており、全体の形態は不明であるが、側縁には抉りをもつ。背部・抉りを研磨しておらず、背部の形態はややいびつな山形を呈する。断面形は直線的である。

以上の分類に当てはまらない不定形なものもいくつか存在する。4052は片方の端部を欠損するため全体の形状は不明であるが、背部・刃部ともに直線的である。背部は一部を研磨しており、幅3.6cmを測る。片方の端部には打ち欠きの抉りがみられる。背部の研磨も部分的で、幅も非常に狭いことから、石包丁の刃部の一部を再加工して再生したものであろう。

流紋岩製の磨製石包丁の厚みは、最小で0.4cm、最大で1.5cmを測るが、大半は0.6~1.1cmを測る。最も多いのが0.8cmで、60点中12点を占める。全長のわかるものは4004・4007・4008・4020・4056・4061・4064の7点だけで、11.2~13.6cmを測る。なお、4035・4057・4058は全体が残っておらず、全長は不明であるが、残存部分から推定すると、本来は13.6cm以上の大型品である可能性が高い。幅については使用による刃部の摩耗や刃部の再研磨のため製作時の状態をとどめるものはほとんどないと考えられる。再加工品と推定される4052を除くと、最小は4034の4.1cmで、最大は4025の6.7cmであるが、4.8~5.2cmの範囲に含まれるもののが最も多く、これらは50点中の23点を占める。

前述のように、体部の断面形は平坦で直線的なものと、中央部が膨らむものがみられる。断面形がある程度推定できるものの中では、中央部が膨らむものは4004・4007・4019・4020・4029・4035・4037・4056の8点、直線的なものは44点、断面形がいびつで湾曲するものは2点で、断面形が平坦で直線的なものが圧倒的に多い。なお、中央部が膨らむものは8点と全体の中では少ないが、平面形による分類でB形態（直線刃半月形）の9点中の3点、C形態（杏仁形）の5点中の3点にみられ、B形態・C形態に集中する傾向をもつ。

刃部の断面形態は片刃と両刃がみられる。片刃は4066だけで、それ以外は両刃である。両刃でも左右対称な、均整両刃は少なく、刃が片寄っている偏刃両刃のものが多い。体部の断面形と刃部の断面形の関係をみると、体部の中央部が膨らむものは8点あるが、そのうち7点は均整両刃で、偏刃両刃は4004の1点である。また、体部の断面形が直線的なもの44点中、均整両刃は15点、偏刃両刃は25点であることから、体部中央部の膨らむものは均整両刃が多く、直線的なものは偏刃両刃が多いことがうかがわれる。

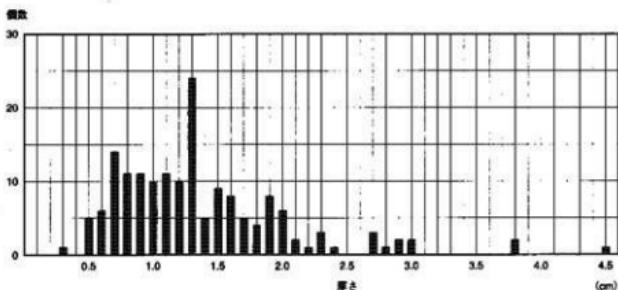
体部には紐孔をもつものが多いが、大部分は両面からの回転穿孔で、紐孔の周辺に敲打痕はみられず、穿孔以前に周辺を敲打する作業は行われていない。だが、4058だけは紐孔の周囲に未研磨部分がみられ、凸凹が残ることから、回転穿孔前に紐孔の周囲に敲打が行われている可能性が高い。なお、石包丁未製品の4097は研磨段階の未製品であるが、体部に2箇所敲打による凹みがみられる。この凹みは両面とも同じ位置にみられることから、紐孔を穿孔するための敲打と推定される。したがって、流紋岩製の磨製石包丁の紐孔は大半が回転穿孔だけによるが、回転穿孔以前に敲打が施されるものもわずかに存在することがうかがわれる。

石包丁の使用痕である摩滅・光沢が肉眼でも明瞭に観察されるものが多い。摩滅・光沢は4017・4029・4056・4058のようにほぼ全面に認められるものや、4057のように片面の摩滅が顕著なものもある。

流紋岩製石包丁未製品 4067~4119・4122・4125・4126・4129~4135・4138・4140・4143・4146・4147・4151・4152・4160~4163・4165~4167・4169~4171・4173・4176・4177の84点は石包丁未製品、4149・4150の2点はその可能性があるものである。これらの観察を行った結果、本遺跡の流紋岩製磨製石包丁の製作工程を以下のように考えた。

①素材獲得段階 ②粗削段階 ③剥離整形段階 ④研磨段階 ⑤紐孔穿孔段階 ⑥完成

①の素材獲得段階に該当するものは素材または剥片として報告しているが、本遺跡内で出土した流紋



第4表 流紋岩素材または剥片の厚み

岩製の石器は太型蛤刃石斧・扁平型片刃石斧・石錐・紡錘車・砥石があることから、素材または剥片として報告したものすべてが石包丁製作に関連するものとは限らない。第4表は素材または剥片として報告した流紋岩片の厚さの分布を示した表である。この表をみると最大は5301の厚さ4.5cmで、全体の90%弱は厚さ0.5~2.0cmであることがわかる。これらはいずれも板状を呈しており、両面あるいは片面、または側面に自然面をもつものが非常に多い。

また、完成品の磨製石包丁の表面をみると、大半のものは研磨面で構成されているが、研磨が不十分な面には自然面が観察されるものもある。4008は磨製石包丁であるが、背部と刃部だけ研磨されており、体部は未研磨で、体部片面全面ともう片面の一部は自然面である。また、石包丁未製品あるいはその可能性が高いもの85点のうち、両面とも自然面と確認されたものは4089・4095・4100・4109・4110・4118・4165・4177の8点、片面が自然面と確認されたものは4067・4069・4078・4094・4098・4113・4129・4132・4133・4146・4166・4170の12点ある。そのほかにも自然面と断定するのは難しいが、平坦で滑らかな面をもつ未製品も数個体であることから、1/4以上の未製品が自然面をもつことがうかがわれる。これらのことから、石包丁の製作にあたっては薄い板状の流紋岩が選択されたと考えられる。

②の粗削段階は石包丁として適当な厚さにするために素材を薄くしたり、適当な大きさに素材を打ち割る段階である。粗削段階の資料としては4073・4076・4081・4089・4094・4095・4098・4100・4110・4113・4114・4118・4126・4129・4130・4132~4135・4140・4143・4146・4147・4160・4161・4163・4165~4167・4169~4171・4173・4176・4177がある。粗削段階のものの中では4073・4076・4081・4089・4095・4098・4118は平面形態が長方形に近く、長辺は2辺ともほぼ同じ厚みである。長辺の端部には面をもち、敲打痕が観察される。厚みは1.1~2.1cmを測り、完成品の磨製石包丁に比べると少し分厚い。形態はすでに石包丁に近くなっているが、若干分厚いので、厚みを減らしていく途中の資料であると推定される。

③の剥離整形段階は概ね石包丁に近くなった段階の未製品の縁辺に細かい剥離調整を加えて、完成品の石包丁に非常に近い状態に整形を行う段階である。4067・4068・4070・4075・4078・4082・4084・4085・4088・4090・4101・4105・4109・4112・4115・4117・4131・4138・4152がある。刃部には両側から細かい剥離調整を施したものが多い。

④の研磨段階の資料としては4069・4071・4072・4077・4079・4080・4083・4087・4093・4096・4099・4102~4104・4106~4108・4111・4116・4125がある。4106は刃部の端のほうのごく一部を研磨している

ので④の段階の資料であることがうかがわれる。4106の刃部は粗削段階ですでに鋭くなっているため細かい剥離調整は施されていない。完成品の磨製石包丁の中には体部が未研磨のものもかなりみられるが、4077は体部の一部に研磨を施しており、刃部には研磨はみられない。また、4083・4086・4087・4096・4106・4107・4108は体部には研磨は施しておらず、刃部だけに研磨がみられるが、これらはいずれも体部がある程度平坦である。研磨の工程において、体部から研磨するものと刃部から研磨するものの両方が認められる。剥離整形段階終了時に、体部がある程度平坦になっているものについては刃部から研磨を始め、体部にかなり凸凹がみられるものは体部から研磨を始めたと推定される。

④の紐孔穿孔段階であるが、研磨を開始する以前に紐孔を穿孔している資料はみられないことから、研磨段階の後に紐孔穿孔段階は位置付けられよう。紐孔の穿孔方法については先述のように両面から回転穿孔を行うもの、両面から敲打で凹ませた後で、両面から回転穿孔を行うものの2種類がある。この段階の資料としては4097・4125がある。4125は両端部が欠損しており、残存状況のあまり良好ではない資料であるが、刃部を両面から剥離整形しており、片面の一部には研磨がみられ、片面には2個の紐孔の穿孔が認められる。穿孔は回転穿孔によるもので、途中で止まっており、もう片面からの穿孔はみられず、周囲には敲打痕も認められない。また、4097は回転穿孔以前に敲打を施した段階の資料である。4097は体部・刃部の一部に研磨が施されており、体部には紐孔穿孔用の敲打による凹みがみられる。前述のように紐孔の穿孔は回転穿孔以前に敲打を施すものはほとんどなく、大半が回転穿孔だけである。このように紐孔穿孔段階の資料をみると、研磨途中で紐孔の穿孔を行っていることから、体部が平坦になり、ある程度研磨が終了した段階で、紐孔の穿孔を行ったものと推定される。

安山岩製磨製石包丁 4178~4180・4182~4208・4210~4232は安山岩製磨製石包丁である。出土点数は流紋岩製磨製石包丁よりやや少なく、53点である。ここでは磨製石包丁として報告しているが、この中には全体を研磨するものと、刃部の一部だけに研磨を施したものがある。4184・4190・4191・4194・4212・4217・4218・4219・4232は刃部の一部だけに研磨を施したものである。以下、流紋岩製磨製石包丁の形態分類に従って、分類を行う。

A形態（外湾刃半月形）は4178・4182・4184・4187・4189・4193・4204・4205・4206・4213・4214・4223・4227・4229がある。4184は刃部の一部だけに研磨を施す。4187・4204・4223は石包丁の側縁に丸みをもつ。4187は半分欠損する。全体がやや摩滅することから、使用済のもので、未製品ではないことがうかがわれる。背部・側縁・刃部に研磨を施しているが、体部は研磨がやや不十分である。体部上部には回転穿孔途中の紐孔がある。穿孔は未貫通で、周囲に敲打痕はみられない。4204も半分欠損する。体部には剥離痕が判り、凹凸がある。4182・4189・4206の側縁は刃部と背部にはほぼ直交する。全体の形態がわからないため、明確ではないが、4178・4182・4185・4189・4198・4206・4208・4218・4222・4223もA形態の可能性が高い。

B形態（直線刃半月形）は4196・4212・4221がある。4212は一見、打製石包丁であるが、刃部の一部に研磨がみられる。背部は未研磨である。4196は背部と刃部の幅が狭く、全体が摩滅して、光沢がみられることから、かなり長い間使用されたことがうかがわれる。そのほかB形態の可能性のあるものとしては4224・4231がある。4224は端部を欠損している。刃部はやや丸みをもつが、ほぼ直線的である。背部の形態は湾曲するが、ややいびつである。背部・刃部ともに、研磨を施すが、剥離痕が残る。体部は未研磨である。

C形態（杏仁形）は4183・4200がある。4200は刃部と背部の接点である端部は尖り、木葉のような形

態である。紐孔はなく、背部と刃部に研磨が施され、体部は未研磨である。4183は体部に紐孔をもち、全体に丁寧な研磨が施される。

G形態（杏仁形・抉り） 4180・4203がある。4180は端部だけが残存する。全体を研磨するが、背部の一部・抉りには剥離痕が残る。4203も端部だけしか残存しないが、背部・刃部とともに湾曲する。端部には大きな抉りがみられる。抉りは未研磨で、いびつである。欠損部を抉りとして再加工した可能性が高い。

H形態（長方形・抉り） 4190・4194・4217がある。いずれも一見、打製石包丁であるが、刃部の一部に研磨を施している。体部・背部は未研磨である。4191は端部を欠損するため、抉りの有無は不明である。そのため、D形態（長方形）かH形態かは不明である。だが、D形態に含まれる安山岩製磨石包丁はみられないことから、H形態の可能性が高いものと考えられる。4191も刃部の一部に研磨が施されるだけで、体部は未研磨である。

I形態（直線刃半月形・抉り） 4232が該当する可能性が高い。刃部と背部を研磨するだけで、体部は未研磨である。背部・刃部の形態はいびつで、体部には凸凹がみられるが、片方の側縁には抉りがみられる。

他に抉りをもつものに4219がある。背部を欠損するため、背部の形態は不明である。刃部は湾曲する。刃部の一部だけを研磨する石包丁については先述のように9点あるが、A形態に含まれるもの1点（4184）、B形態では1点（4212）、H形態では3点ないし4点（4190・4194・4217、4191？）、I形態では1点？（4232？）である。形態別ではH形態に最も多くみられる。また、平面形態は不明であるが、4219も抉りがある。刃部の一部だけを研磨する石包丁9点のうち2点は側縁の形態は不明であるが、残りの7点中、抉りをもつものは5点ある。

流紋岩製磨石包丁には偏刃両刃が多くみられたが、安山岩製では少なく、4189・4200だけである。体部の断面形は直線的なものがほとんどである。

なお、両面に自然面をもつと断定できるものに4184・4190・4191・4194がある。また、自然面の可能性が高いものは4187・4217がある。研磨が丁寧であると自然面かどうかは判断できないが、流紋岩製磨石包丁同様、製品に近い厚さをもつ自然石を素材にして石包丁を作成したものが多いものと考えられよう。

安山岩製打製石包丁 4124・4181・4209・4233～4239・4241～4283・4334は安山岩製打製石包丁である。53点ある。安山岩製打製石包丁は形態が整っているものは少なく、いびつなものが多い。一部石鉋と区別し難いものもみられたが、厚みや使用痕の状態から、分類を行なった。流紋岩製磨石包丁の形態分類に当てはまるものは少ないが、この分類に従って平面形態を分類すると、

A形態（外湾刃半月形）は4254・4270・4271がある。いずれも刃部は若干摩滅する。端部のみであるが、4278もこれに含まれる可能性が高い。

B形態（直線刃半月形）は4241・4265がある。4265は背部と刃部が鋭角に交わるが、4241は端部に刃をもち、やや大型である。なお、4244・4245・4248・4250は背部が湾曲し、刃部が比較的真っ直ぐである。形態がいびつで、典型的なB形態ではない。いずれも刃部付近の摩滅は顕著である。

C形態（杏仁形）は4262がある。4262は刃部・背部ともに摩滅しているため、両者は区別し難いが、端部の薄いほうを刃部とした。

G形態（杏仁形・抉り）は4249・4253・4255・4261・4263がある。完存するものはない。いずれも刃

部・抉り付近は摩滅する。

H形態（長方形・抉り）は4252・4259がある。4259は端部は少し凹む程度であるが、凹み部分が摩滅することから、抉りと考えた。4252・4259ともに刃部・背部付近は摩滅する。

I形態（直線刃半月形・抉り）は4246がある。4246は背部はやや湾曲するが左右均等ではなくいびつである。体部上半の摩滅が顕著である。

そのほか、4181・4235は刃部だけが残存するため全体は不明であるが、片刀である。4237は半分欠損するために全体の形態は不明であるが、背部の一部に突出部がみられる。

また、肉眼観察の結果、安山岩製打製石包丁の中で、両面とも自然面をもつもの、あるいは自然面の可能性が高いものが半分以上を占める。打製石包丁も磨製石包丁と同様、製品に近い厚さの自然石を素材として石包丁を製作したものと考えられる。

粘板岩製磨製石包丁 4285・4286は粘板岩製磨製石包丁である。2点だけである。2点とも摩滅が顕著であることから、製品であることがうかがわれる。未製品や剥片は本遺跡から出土していないことから、他遺跡で製作された可能性が高い。4285は完形品であるが、背部に凸凹がみられ、形がいびつである。刃部は外湾する。4286は半分欠損する。刃部は少し外湾し、背部の外湾は顕著である。また、4285は両面からの回転穿孔だけで、紐孔の穿孔を行うが、4286は紐孔の周囲には両面とも敲打痕がみられることから、敲打後、両面から回転穿孔を行っていることがうかがわれる。いずれも断面形は中央部がやや膨れており、均整兩刃である。

結晶片岩製磨製石包丁 4287～4299・4300・4302～4318は結晶片岩製磨製石包丁である。31点ある。4318は短辺の片方が鋭利なことから、扁平片刃石斧の可能性も考えられるが、長辺の片方の一部を研磨することから、磨製石包丁とも考えられるので、ここでは磨製石包丁として報告する。4288・4297・4317は刃部の一部に研磨を施したもので、大部分は未研磨である。

流紋岩製石包丁の形態分類に従って分類すると、

A形態（外湾刃半月形）は4292・4293・4294・4296・4298・4305・4312がある。いずれも比較的丁寧に研磨されている。4298・4305は背部と刃部の幅が狭いが、本来は外湾刃であろう。背部と刃部の端面に線状敲打痕がみられる。

B形態（直線刃半月形）は4291がある。4291は背部に剥離痕が残るが、そのほかは丁寧に研磨を行っている。紐孔の周囲には敲打痕がみられることから、両面から敲打した後で回転穿孔を行ったことがうかがわれる。

C形態（杏仁形）は4311・4316がある。4316は完存する。側縁は丸くなっているが、背部と刃部に研磨を施し、体部は未研磨である。紐孔は両面からの回転穿孔があるが、穿孔は未貫通である。刃部全体に使用痕である摩滅・光沢が観察されることから、未製品ではないことがうかがわれる。4311は端部を欠損する。紐孔の位置から考えると小型であろう。

4318は扁平片刃石斧の可能性もあるが、磨製石包丁とするとD形態（長方形）になる。4318は片刃の端部と刃部の一部を研磨する。研磨しているのは片面だけで、残りの片面は全く研磨していない。

G形態（杏仁形・抉り）は4297・4302がある。4297は大半は未研磨であるが、刃部のごく一部に研磨がある。4302も刃部だけ研磨を施す。使用痕である摩滅・光沢が顕著である。

H形態（長方形・抉り）は4288・4299・4300・4310・4315・4317がある。いずれも主に刃部を研磨する。いずれも体部はほとんど未研磨である。4300は背部は刃部に対して斜めになっており、形態はいび

つである。

以上のように結晶片岩製の磨製石包丁はいくつかの形態に分類ができる。この中で、抉りをもつG・H形態の石包丁については刃部だけ研磨したものばかりで、体部を丁寧に研磨するものはみられない。研磨が丁寧であるものはA・B・C形態に集中しており、安山岩製磨製石包丁とほぼ同様の傾向がうかがわれる。

そのほか、破損後、細片を再利用したものは4290・4295・4306・4313がある。4290は刃部一部で、片面を欠損する。4295は背部に当たる部分は破損面であるが、若干摩滅する。両端には抉りがみられる。抉り部分も研磨を行っていないが、片方の抉り部分は摩滅が顕著である。紐孔は背部のすぐ真下に1個みられる。周囲に敲打痕はみられず、両面からの回転穿孔によって穿孔されている。4306は小型である。背部にあたる部分は破損面であるが、摩滅する。背部の真下には紐孔が1個みられる。4313も両端部を破損する。片方の破損面は若干摩滅する。

また、紐孔のある石包丁は17点ある。紐孔の穿孔方法は両面からの回転穿孔と、両面から敲打を施した後で、両面から回転穿孔を施すもの、片面から敲打を施した後で両面から回転穿孔を施すものの3種類の方法がある。両面に敲打を施した後で、両面から回転穿孔を施すものは4287・4291・4294・4296・4311の5点がある。4308もその可能性が高い。片面から敲打を施した後で両面から回転穿孔を施すものには4309がある。敲打を行わず、直接両面から回転穿孔を施すものは9点ある。流紋岩製・安山岩製磨製石包丁の大半は紐孔の穿孔は回転穿孔だけで、敲打は施されていないが、結晶片岩製石包丁では半数近くの石包丁は回転穿孔前に敲打が施される。

なお、刃部は均整両刃が多く、偏刃両刃は4287・4289・4290・4312がある。体部の断面形態も直線的なものが多く、中央部が膨らむものは4291・4309・4311の3点だけである。

結晶片岩製磨製石包丁未製品 4319は長方形を呈し、側縁は片刃であるこから、扁平片刃石斧の再加工品と考えられる。紐孔は穿孔途中で、両面から敲打を施したあとで、片面からの回転穿孔を施す。もう片面からの回転穿孔はみられない。紐孔が未貫通であることから、未製品であろう。

結晶片岩製打製石包丁 4320~4331は結晶片岩製打製石包丁である。打製石包丁は形態の整っているものは少なく、流紋岩製磨製石包丁のH形態に分類可能なもの以外は、形態は不整形で分類不可能である。

H形態に該当するものには4323・4324・4325・4329・4330がある。4323はほとんど摩滅していないことから、未製品の可能性も考えられる。いずれも背部・刃部の形態はいびつである。

4326は両端部を欠損するため、全体の形態は不明である。背部が湾曲することから、B形態またはC形態の可能性が高い。4322は小型である。破損品を再加工したものかもしれない。

## (2) 大型打製石包丁

安山岩製大型打製石包丁 4333・5523がある。4333は完存していないため、全体の形態は不明である。いずれも刃部付近には使用痕である摩滅・光沢が認められる。両面とも自然面である。5523は側縁を欠損するため、全体の形状は不明である。背部は敲打を施しており、突出部がみられる。

玄武岩製大型打製石包丁 4335の1点だけである。4335は端部を破損するため全態の形態は不明であるが、片方の側縁に突出部がある。刃部は摩滅していないことから、未製品の可能性もある。また、片面全面と片面の一部が自然面であることから、薄い石材を素材にしたことがうかがわれる。

### (3) 石鎌

4336は結晶片岩製の石鎌である。片面は丁寧に研磨されているが、もう片面は未研磨である。また、背部は丁寧に研磨されており、凹みがあることから、柱状片刃石斧を石鎌として再加工したものと考えられる。

### (4) 刃器

石包丁・石鎌・石鋤以外の刃部をもつ石器を、刃器として一括して報告する。結晶片岩製2点、安山岩製27点ある。4340・4341はいずれも結晶片岩製である。4340は片面だけ丁寧に研磨されており、もう片面は剥離面である。長辺の縁辺には剥離調整が施されており、刃部が作出されている。おそらく、大型蛤刃石斧の一部を転用したものであろう。4341は刃器の背部に当たる部分だけが研磨されている。柱状片刃石斧を転用したものと推定される。刃部には微細剥離痕がみられる。

また、4240・4337・4338・5433～5439・5442・5457・5458・5460・5466～5468・5511～5514・5516・5518～5520・5522・5525は安山岩製である。形態は整っておらず、両面とも自然面をもつものが多く、剥片の縁辺を二次加工して刃部を作出する。

なお、刃器の可能性があるものとしては4339がある。4339は安山岩製である。片面には丸みを帯び、研磨しているが、片面は剥離面である。大型蛤刃石斧の再加工品と推定される。縁辺には敲打痕がみられ、先端はやや摩滅する。

### (5) 石鎌

安山岩製石鋤 4120・4342～4378は安山岩製石鋤、4379～4406・5538は石鎌の可能性があるものである。完存に近いものはごく僅かである。同じ安山岩製の石器に石包丁がある。小片の場合は判別し難いが、形態や、刃部の厚み、摩滅の状態、線状痕の有無等の使用痕の状態によって識別を行った。形態の推定できるものを平面形で分類すると、以下のようになる。

A形態 全体が短冊形を呈し、基部・刃部の幅がほぼ同じで、長方形を呈するもの。

B形態 全体が楔形を呈し、基端よりも刃縁の幅が広く、細長い台形を呈するもの。

C形態 基部よりも刃部の幅が広く、くびれをもつもの。

D形態 全体が円形または楕円形を呈するもの

A形態は4367・4377がある。4377は基部両側縁に若干凹んでいる箇所がみられる。また、4343は基部を欠損するが、A形態に含まれる可能性が高い。

B形態には4355・4375が該当する可能性が高い。4375は片方の側縁は少し凹みがあるためC形態としたほうが良いかもしれない。4355は基部の一部である。残存部分から考えると、刃縁まで、直線的に伸びる可能性が高い。

C形態には4349・4354・4359・4361・4370・4371・4372がある。4359・4361はほぼ完存する。両方とも小型で、4359は全長13.5cm、4361は全長14.6cmを測る。4349は基部が短いが、欠損した可能性が高い。4354・4370・4371・4372は基部片で、刃部を欠損する。

D形態には4351がある。4351は小型で、全長9.7cm、幅7.0cmを測る。4352は基部が欠損している可能性もあるが、D形態の可能性が高い。

刃部のみが残存する石鎌も多く、使用痕の状態を観察すると、摩滅や線状痕の認められるものが多い。

4346・4348・4349・4350・4357・4358・4360・4366は使用痕による刃部の摩滅が片面に顕著にみられる。4348は半分欠損するため、石鋤の長軸方向は不明瞭であるが、側縁には平行する方向に線状痕が伸びており、摩滅の顕著な面に数多く観察され、もう片面の線状痕に比べると長く伸びている。なお、刃縁の断面形は丸く摩滅しており、特に片刃の状態に磨り減っているというわけでもない。4346には両面に線状痕が観察される。石鋤の長軸に平行する方向に走るものが多い。4349の刃縁は摩滅しており、摩滅の顕著な面に線状痕が顕著にみられる。線状痕の方向は刃縁に直交するものが多いが、斜めに伸びるもの、刃縁に平行するものも観察される。4358は側縁から刃部の一部が残存する。摩滅は片面に顕著で、やはりこの面に線状痕が数多く観察される。残存部分が少なく、石鋤の長軸方向が不明であるため、石鋤に対する方向は不明である。4366も摩滅の顕著な面に線状痕は多く観察されるが、刃部の一部であるため、石鋤に対する線状痕の方向は不明である。4357・4360も同様で、石鋤の長軸に平行する方向に線状痕が観察される。4357は刃部の一部が残存しているだけであるが、刃縁に対して斜め方向の線状痕も観察される。

このほか、刃部の線状痕が明瞭である石鋤は4344・4345・4347・4352・4353・4362・4364・4365・4369・4377がある。4345・4365・4369は刃部一部しか残存していないため、石鋤に対する線状痕の方向は不明であるが、4344・4352・4362・4364は石鋤の長軸には平行する方向に線状痕が伸びる。4347・4353・4377は石鋤の長軸に対して、斜めの方向に伸びる線状痕も観察される。

また、石鋤の大部分は両面とも自然面のものが多い。石包丁と同じように、石鋤も適当な厚みの素材石を使って製作されたものと考えられる。

結晶片岩製石鋤 4332・4407～4413は結晶片岩製の石鋤である。出土点数も8点と少なく、形態のわかるものはわずかである。安山岩の石鋤と比べると、厚みの薄いものが多い。平面形については安山岩の石鋤の分類のC形態（くびれをもつもの）のものが2点（4407・4411）ある。4408・4412・4413は基部を欠損している可能性が高いが、明確なくびれをもたないことから、安山岩製石鋤のA形態の可能性が高い。4409・4410は刃部の一部である。これらの石鋤はいずれも刃部が摩滅している。4408・4409・4413は刃部の片面が特に摩滅する。また、4408・4413は線状痕が明瞭に観察される。いずれも石鋤の長軸には平行するように線状痕が伸びる。

## （6）大型蛤刃石斧

4414～4510は大型蛤刃石斧である。石材別では流紋岩製2点、安山岩製1点、アブライト製1点、半深成岩製8点、結晶片岩製6点、蛇紋岩製1点である。

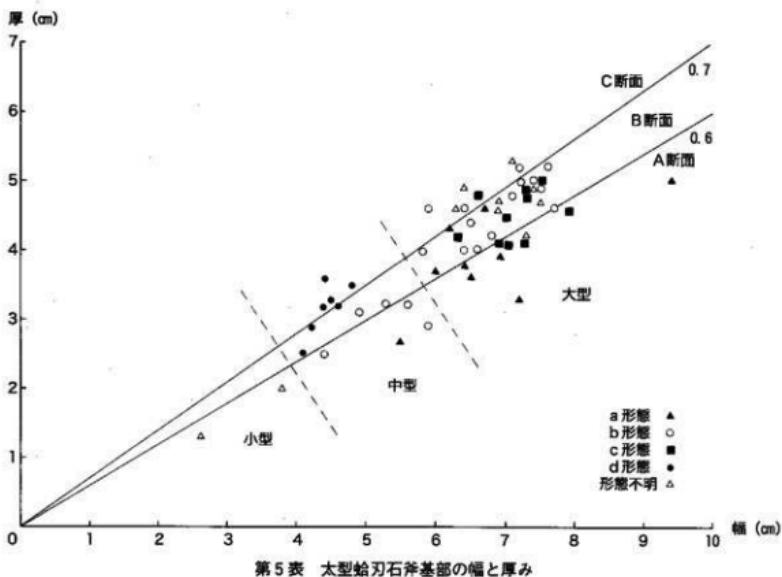
大型蛤刃石斧は基部から刃部まで完存するものは少ない。この中で比較的の残存が良好な資料について基部の幅と厚さを計測し、第5表にまとめ、断面形態についての検討を行った。第5表をみると最も集中度の高いのは幅7.0～7.5cm前後、厚さ4.5～5.0cm前後で、石斧の厚み／幅の値は0.63～0.69を示す。この値を中心として、以下のように石斧の厚さ／幅の値が0.6未満、0.6以上0.7未満、0.7以上の3つに分類した。

0.6未満 A断面 やや扁平な楕円形

0.6以上0.7未満 B断面 楕円形

0.7以上 C断面 円に近い楕円形

とした。また、第5表の分布をみると石斧の大きさは大きく3分できそうである。ここでは幅4.0cm未



第5表 太型蛤刃石斧基部の幅と厚み

溝、厚み2.6cm未満を小型、幅4.0cm以上5.7cm未満、厚み2.6cm以上3.7cm未満を中型、幅5.7cm以上、厚み3.7cm以上を大型とした。

また、平面形は以下のように分類した。

a 形態 基端よりも刃部の幅が明らかに広く、台形状を呈するもの。

b 形態 基端よりも刃部の幅がやや広いもの。

c 形態 基端と刃部の幅がほぼ同じで、平面形は長方形を呈するもの。

d 形態 基端と刃部の幅がほぼ同じであるが、c 形態よりも細く、全体が棒状を呈するもの。

以上のように形態分類を行った結果、以下のようになった。

- ① A 断面・大型・a 形態 4414 (流紋岩製)、4461・4480・4500 (半深成岩製)、4510 (蛇紋岩製)
- ② A 断面・大型・c 形態 4475・4486・4497・4501 (半深成岩製)
- ③ A 断面・大型・不明 4441 (半深成岩製)
- ④ A 断面・中型・a 形態 4419 (半深成岩製)
- ⑤ A 断面・中型・b 形態 4430・4452・4464 (半深成岩製)
- ⑥ A 断面・小型・不明 4459・4502 (半深成岩製)
- ⑦ A 断面・不明・不明 4425・4469 (半深成岩製)
- ⑧ B 断面・大型・a 形態 4434・4447・4474 (半深成岩製)
- ⑨ B 断面・大型・b 形態 4422・4433・4435・4436・4437・4440・4455・4460・4483・4487・4494 (半深成岩製)

- ⑩B断面・大型・c形態 4420・4429・4442・4446・4490（半深成岩製）  
⑪B断面・大型・不明 4416（安山岩製）、4431・4451・4458（半深成岩製）  
⑫B断面・中型・b形態 4479・4488（半深成岩製）  
⑬B断面・中型・d形態 4505・4506（結晶片岩製）  
⑭C断面・大型・b形態 4438・4484・4498（半深成岩製）  
⑮C断面・大型・c形態 4463（半深成岩製）  
⑯C断面・大型・不明 4462・4491・4495（いずれも半深成岩製）  
⑰C断面・中型・d形態 4417（アブライト製）、4454・4503（半深成岩製）、4504・4509（結晶片岩製）  
そのほか、残存が悪く、分類は不可能であったが、4415（流紋岩製）、4418・4421・4423・4424・4426～4428・4432・4439・4443～4445・4448～4450・4453・4456・4457・4465～4468・4470～4473・4476～4478・4481・4482・4485・4489・4492・4493・4496・4499（半深成岩製）、4507・4508（結晶片岩製）  
がある。以下、形態別に報告する。

①A断面・大型・a形態

4414（流紋岩製）、4461・4480・4500（半深成岩製）、4510（蛇紋岩製）がある。

流紋岩製の4414は基端は丸く、円基を呈する。石斧の中程で折れている。基部両面の一部は研磨が不十分である。基端・側面には敲打痕がみられる。刃縁は一部剥落しており、刃部両面には使用痕である線状痕がみられる。

蛇紋岩製の4510はほぼ完存する。基端には面をもたず、平面形もいびつである。刃部は丁寧に研磨が施されており、刃縁は鋭い。基部は研磨が不十分で、剥離痕が残る。側面には僅かに平坦面をもつ。側面上部には敲打痕がみられるが、製作段階のものではなく、研磨の後に施されたように観察される。

半深成岩製の4461・4500は完存する。4461は全長17.3cmを測る。基端は平坦な面をもつ平基である。4500は全長13.7cmとやや小さめである。基端は平基である。基部側面には平坦面をもつ。4480は縱方向に破損している。基部両面・側面に敲打痕がみられる。破損後も叩き石として使用しており、破損面にも敲打痕がみられる。

②A断面・大型・c形態

4475・4486・4497・4501（いずれも半深成岩製）がある。4501は完存する。全長24.5cmを測り、本遺跡出土の大型蛤刀石斧の中で、最も大型である。基端は円基で、面をもたず、線状を呈する。側面にはやや平坦面をもつ。4486は基部片である。基端は平坦面をもつ平基である。4475と非常に類似する。接合しないが、同一個体の可能性が高い。

③A断面・大型・不明

4441（半深成岩製）がある。4441は刃部片である。両側面と刃縁に敲打痕がみられる。

④A断面・中型・a形態

4419（半深成岩製）がある。4419は完存する。全長10.1cm、幅5.5cmを測る。基端には僅かながら面をもつが、平面形はいびつな三角形を呈する。側面には平坦面が認められる。

⑤A断面・中型・b形態

4430・4452・4464（いずれも半深成岩製）がある。4430は基端を欠損する。基部側面には平坦面をもち、片方の基部側面に凹みがある。4452は刃部を欠損する。基端は僅かに面をもち、平面形はやや丸みを帯びる。基端・基部両面・側面・刃部折損部には敲打痕が残る。4464は基端と刃部を欠損する。刃部

折損部には敲打痕がみられる。4430・4452は側面に平坦面をもつ。

⑥A断面・小型・不明

4459・4502（いずれも半深成岩製）がある。4459は基部片面と両側面が残存する。基端・刃部は欠損する。最大幅で2.6cmを測り、本遺跡出土太型蛤刃石斧としたものの中で、最も小さい。4502は基端を欠損する。残存部分からc形態になる可能性が高い。

⑦A断面・不明・不明

4425・4469（いずれも半深成岩製）がある。いずれも基部～刃部の一部で、刃部の幅は不明である。

⑧B断面・大型・a形態

4434・4447・4474（いずれも半深成岩製）がある。4434・4447・4474は刃部を欠損する。4434・4447は基端の一部が剥落するが、面をもつ。いずれもやや丸みを帯びる平基である。4474は基端の剥落が大きい。残存部分から、4434・4447と同じくやや丸みを帯びる平基の可能性が高い。いずれも基部両面・側面・折損部に敲打痕がみられる。

⑨B断面・大型・b形態

4422・4433・4435・4436・4437・4440・4455・4460・4483・4487・4494（いずれも半深成岩製）がある。4433・4435・4437・4455・4483・4487はいずれも基端に平坦面をもつ平基である。4422は基端の大部分が剥落するため、不明である。4433は刃部を欠損する。基部の途中で、折損しており、折損部端には敲打痕がみられる。4422・4483も刃部を欠損する。折損部端には敲打痕がみられる。4437は完存する。全長16.2cmを測る。基部には帯状に黒色物が付着する。煤であろうか。4435も完存する。全長11.3cmとあまり大きいほうではない。4440・4460は基端・刃部を欠損する。いずれも基部両面に若干の凹みがみられ、研磨が顕著である。砥石として再利用された可能性が高い。4494は刃部の一部を欠損する。基端には敲打痕がみられる。研磨面が全くみられないでの、折損面の可能性も多い。

⑩B断面・大型・c形態

4420・4429・4442・4446・4490（いずれも半深成岩製）がある。いずれも基端を欠損する。

⑪B断面・大型・不明

4416（安山岩製）、4431・4451・4458（いずれも半深成岩製）がある。4416は基部の一部で、基端・刃部ともに欠損する。本遺跡出土の太型蛤刃石斧の中で安山岩製はこの1点だけである。4431・4451・4458は刃部付近で、いずれも基端は欠損する。

⑫B断面・中型・b形態

4479・4488（いずれも半深成岩製）がある。4479は基端・刃部を欠損する。両折損部とも敲打痕がみられる。4488は刃縁の一部を欠損し、現再長11.4cmを測る。本来の長さも12.0cm程度であろう。基端の一部も剥落しているが、平坦面が一部みられることから、平基と考えられる。

⑬B断面・中型・d形態

4505・4506（いずれも結晶片岩製）がある。4505は刃部の一部を欠損し、刃縁は潰れているが、ほぼ全体をうかがうことができる。全長17.2cmを測る。基端・基部両面・側面には敲打痕が残る。研磨はあまり丁寧に施されていないので、整形時の敲打か、叩き打として転用したための使用痕かは不明である。また、基端は一部剥落しているが、残存部分は僅かに丸みをもつ平坦面がみられる。4506も刃縁が潰れており、基端を折損する。折損部にも敲打痕がみられる。

⑭C断面・大型・b形態

4438・4484・4498（いずれも半深成岩製）がある。4498はほぼ完存する。全長15.4cmを測る。基端は平坦面をもつ平基である。4484は刃部を欠損する。基端は平坦面をもつ平基である。4438も刃部を欠損する。折損面には丁寧に敲打が施されており、片刃の状態になっている。折損部端はかなり摩耗しているので、片刃の状態に再生して、使用したものと推定される。基端はほとんど平坦面をもたず、いびつである。

⑯C断面・大型・c形態

4463（半深成岩製）がある。基端を欠損する。折損面にも敲打痕がみられる。

⑰C断面・大型・不明

4462・4491・4495（いずれも半深成岩製）がある。いずれも基部の一部で、基端には平坦面をもつ平基である。4495の基部折損面には敲打痕がみられる。

⑯C断面・中型・d形態

4417（アブライト製）、4454・4503（いずれも半深成岩製）、4504・4509（いずれも結晶片岩製）がある。4417は刃部側がやや幅広で、平面形は細長い台形を呈する。基端は平坦で、基部は丁寧に研磨されている。刃縁は潰れており、刃縁の断面形はやや丸みを帯びたコの字状を呈する。現存長16.7cmを測る。刃部両面には一部研磨が施されているが、研磨は不十分で、剥離痕が明瞭に残る。折損後再加工する途中であろうか。なお、アブライト製の大型蛤刃石斧は4417だけである。4454・4503・4504・4509は側縁が平行に直線的に伸びる。4504は刃部を欠損する。基端の一部が剥落するが、平坦面がみられる。4509も同様に基端の一部が剥落するが、僅かに平坦面がみられることから、平基であることがうかがえる。4454は刃部を欠損する。基端はやや丸みを帯びるが平坦面をもつ平基である。4503は基端を欠損する。刃部は潰れており、折損面にも敲打痕がみられる。

大型蛤刃石斧の石材は圧倒的に半深成岩が多い。大型品の中で、断面形がやや扁平な楕円形であるA断面では半深成岩製のほかに流紋岩製・蛇紋岩製が各1点ずつある。また、楕円形を呈するB断面には安山岩製は1点あるが、その他の半深成岩である。だが、円形に近いC断面になるとすべて半深成岩製である。また、結晶片岩製は中型品ばかりで、大型品はみられない。平面形はいずれも棒状を呈するd形態で、断面形は円形に近いC断面やB断面を呈する。

平面形についてみると平面形が台形状を呈するa形態の石斧の断面形は、楕円形を呈するB断面が3点あるが、残りの6点はやや扁平な楕円形を呈するA断面である。また、先述したA断面の流紋岩製・蛇紋岩製の石斧は2点ともa形態である。なお、a形態で、円に近い楕円形であるC断面を呈するものは見当たらない。基端よりも刃部の幅がやや広いb形態は中型品に5点、大型品に14点ある。すべて半深成岩製である。中型品ではA断面も3点あるが、大型品になるとA断面はみられず、B断面・C断面を呈する。

鶴部・川田遺跡出土の大型蛤刃石斧の大半は破損品で、完存するものはほとんどない。出土品の大半は廃棄後のものであろう。なお、太形蛤刃石斧の大部分には敲打痕がみられる。敲打痕は使用時あるいは叩き石として転用した際の痕跡と考えられるが、基端・刃部の敲打痕は石斧としての使用痕である可能性も高い。また、結晶片岩製の大型蛤刃石斧はあまり研磨していないので、整形時の敲打痕の可能性が高い。結晶片岩製以外の大型蛤刃石斧は91点あるが、基端や刃縁以外で基部に敲打痕があるものは60点ある。91点には基端や刃部片のみの資料も含まれているので、本遺跡で出土した大型蛤刃石斧の2/3以上が敲打具に転用されたことがうかがわれる。

### (7) 柱状片刃石斧

4511(安山岩製)、4512~4516(シルト岩製)、4518~4539・4542~4563(結晶片岩製)は柱状片刃石斧である。4540(結晶片岩製)は柱状片刃石斧の可能性が高いが、刃部を欠損しているため種類が特定できない。4564・4565は結晶片岩製の柱状片刃石斧未製品である。本遺跡では結晶片岩の剥片が多数出土していることから、結晶片岩製柱状片刃石斧は本遺跡内で製作されていた可能性が高い。

安山岩製は4511の1点だけで、基部片である。抉りがある。

シルト岩製は4512~4516がある。4512~4514・4516の断面形は長方形である。4515は刃部片であるが、断面形は長方形に近い楕円形を呈する。4513・4514の基部には抉りがみられるが、他は小片であるため抉りの有無は不明である。4513はほぼ完存する。前主面・後主面の両方に抉りがある。基端の形態は丸く、後主面の抉りの下部は内傾する。基端の形態は4514は平坦である。他は不明である。

結晶片岩製は4518~4539・4542~4563がある。完存するものはなく、全体の形態がわかるものはない。4539・4555は基端が平坦である。4519は基端の一部に研磨がみられ、側面の片方は未研磨面である。そのため基端・側面が欠損している可能性が高い。側面の未研磨面の刃縁付近は摩耗していることから、本来の側面は折損したが、折損後も使用した可能性が高い。断面形はほぼ方形を呈する。また、上端は研磨面が僅かに認められるが、この部分は抉りの可能性もある。基部が研磨面で構成され、断面が完存すると確定できるものは4539だけである。4539の断面形は長方形を呈する。4555は基端の3面が研磨面である。4555の現存の断面形は長方形であることから、本来の断面形も長方形であろう。抉りの認められるものは4526・4529・4530・4537・4539・4543・4547・4550・4551・4554・4558・4559・4561・4562・4563と15点ある。完存するものはみられないが、結晶片岩製の柱状片刃石斧44点中15点と、抉りのあるものは非常に多い。

4540は柱状片刃石斧の可能性があるものである。刃部と側面1面を欠損するため、全体の形態は不明である。折損面は摩滅しており、基端付近には赤色顔料が僅かに付着することから、基端付近で赤色顔料を磨り潰した可能性もある。また、4540の基端は平坦であるが、後主面側に僅かに斜行する。4563は側面の片面と基端・刃部を欠損する。両端の折損面には敲打痕がみられる。

4564・4565は柱状片刃石斧未製品である。4564はほぼ完存する。後主面には抉りと考えられる凹みがあり、全面に敲打痕がみられる。前主面には平坦面がみられず、剥離痕が残る。端部には敲打痕がみられる。基端も平坦面はみられず、端部は線状を呈する。刃部も整形をおこなっておらず、端部は線状を呈する。また、基部側面の両面と後主面には自然面がみられる。4565もほぼ完存する。全長22.2cmを測り、大型である。側面の一部と後主面の一部に研磨が施される。後主面には抉りがみられる。後主面は抉りの上部が研磨されているが、抉りや抉りの下部には敲打痕がみられる。前主面の端部や刃部付近にも敲打痕がみられる。基端は剥離痕がみられ、未研磨である。また、基部側面の両面の一部、後主面・前主面の一部には自然面がみられる。

### (8) 小型方柱状片刃石斧

4517・4567~4585は小型方柱状片刃石斧である。4567・4568はシルト岩製、4569・4570は粘板岩製、その他は結晶片岩製である。また、5528は頁岩製であるが、小型方柱状片刃石斧未製品の可能性が高い。

シルト岩製は4567・4568である。4567は完存する。基端は平坦で、前主面側に斜行する。4568は側面を欠損するが、刃部付近は摩耗していることから、折損後使用されたものと思われる。

粘板岩製は4569・4570である。4569・4570は同じ幅であることから、同一個体の可能性が高い。いずれも基端を欠損する。

結晶片岩製は4517・4571～4585である。16点と多い。完存するものは少なく、4571・4573・4576・4578・4582・4583だけである。4583は基部の幅に比べ、刃部が細い。断面形は基部・刃部とともに長方形である。4571・4578の断面形は主面よりも側面のほうが長い長方形で、4573は側面よりも主面が長い長方形である。4576はほぼ正方形を呈する。基端がわかるものは4571・4572・4573・4576・4578・4582・4583がある。4573・4578・4583は基端に剥離痕が残り、一部しか研磨していないため基端の形態は整っていない。4582の基端はほぼ平坦である。4571・4572・4576の基端は前主面側に僅かに斜行し、後主面側にも斜行する山形の形態を呈する。

#### (9) 扁平片刃石斧

4301・4541・4586～4605は扁平片刃石斧である。4318は磨製石包丁として報告しているが、扁平片刃石斧の可能性もある。4586は流紋岩製、4587～4590はシルト岩製、4591は頁岩製、4301・4541・4592～4603は結晶片岩製、4604・4605は石材不明（黒色）である。

流紋岩製の4586は基端を欠損する。刃縁は主面のほぼ中央部に位置するため、前主面・後主面が区別し難い。基部の一部には整形時の剥離痕が凹みとなって残る。

シルト岩製の4587～4590は石材が柔らかいためか、いずれも摩滅する。この中で、ほぼ完存していると考えられるものは4590がある。基端は後主面側に斜行する。断面形・平面形ともに長方形で、刃縁は直線的である。また、完存はしていないが、4587～4589の断面形も長方形を呈し、刃縁は直線的であると推定される。

頁岩製の4591もほぼ完存する。基部は研磨が不十分で、剥離痕が残る。基端にも剥離痕が残るが、僅かに研磨面もみられる。形態は整っていないが、後主面側に斜行する。また、刃部の平面形は丸くなってしまっており、側面には平坦面をもたない。

結晶片岩製は14点ある。4601・4602のように大型品もみられる。刃縁の平面形は丸いものと直線的なものが認められる。刃縁の丸いものには4301・4596・4597がある。いずれも側面に平坦面をもたず、側面側からみると、基部は直線的ではなく、中央部に膨らみをもつ。刃縁の平面形の直線的なものには4593・4594・4595・4599・4600・4602がある。いずれも側面には平坦面をもち、側面側からみると基部は直線的である。4601は基端と刃縁を欠損する。刃部と側面・後主面に研磨が施され、後主面と側面上部は自然面である。側面上部の自然面の部分は刃部に対して斜めになっており、基端付近の平面形は山形を呈する。4602はほぼ完存する。4602は基端付近には剥離痕が残るが、基端の頂部には研磨を施している。基端の平面形は僅かに円弧を描く。側面には抉りがあることから、柱状片刃石斧からの転用品であろう。4599は両端部に刃部がある。

4604・4605は石材不明である。いずれも黒色を呈する。蛇紋岩の可能性が高い。いずれも基端よりも刃縁の幅が広い。4604は刃縁の平面形は直線的で、側面には平坦面をもつ。側面側からみると基部は直線的である。4605は刃縁の平面形は丸く、側面には平坦面をもたない。側面側からみると基部中央に膨らみをもつ。

4566・5530は扁平片刃石斧の未製品である。4566は基部を欠損する。研磨は施されておらず、剥離痕と敲打痕がみられる。刃縁の平面形は直線的で、断面形は長方形である。5530はほぼ完存する。全面に

剥離痕が残り、未研磨である。基部側面・刃縁の平面形は丸みを帯び、側面には平坦面がみられない。

#### (10) 環状石斧

4606は安山岩製の環状石斧である。片面の大部分を欠損する。刃縁の残存する部分は僅かである。中央部には円孔がある。欠損部分の多い片面には溝状の凹みが1箇所ある。この面は大半を欠損するので、1箇所だけかどうかは不明である。

#### (11) 石剣

4607・4608は石剣である。4607は安山岩製である。4607は片面と刃部の先端を欠損する。中央には鏽があり、下部には片方に抉りがある。4608は点紋黒色片岩製で、両端部を欠損する。中央には鏽がみられる。

#### (12) 石錘・石錘の可能性のあるもの

4609～4623は石錘または石錘の可能性のあるもので、4609・4610は流紋岩製、4611～4620は安山岩製、4621は半深成岩製、4622・4623は砂岩製である。4622は完存しておらず、表面が剥落するが、片面には溝状の凹みが認められる。そのほかの石錘は端部を打ち割る打ち欠き石錘である。いずれも敲打が広範囲にわたって認められることから、叩き石を転用したものと考えられる。また、大部分に研磨が認められるものが多いことから、磨石としても利用されていたことがうかがわれる。

#### (13) 紡錘車

4624・4625は紡錘車である。円盤状を呈し、中央部に孔がある。いずれも流紋岩製で、丁寧に研磨されている。

#### (14) 円盤状石製品

4626～4630は円盤状石製品である。4626～4628は流紋岩製、4629は安山岩製、4630は結晶片岩製である。いずれも両面は平坦で、端部には剥離痕が残る。

#### (15) 凹み石または叩き石

4631～5012は凹み石または叩き石である。この中には研磨がみられるものもあり、磨石・石皿・砥石として使用されたものも含んでいるが、主として敲打痕が観察されるものをここに含めた。石材は流紋岩・安山岩・玄武岩・半深成岩・花崗岩・アブライト・砂岩・凝灰岩・片麻岩がみられる。縦の形状は円碟・角碟・板石があるが、大半が円碟である。流紋岩は円碟が4点で、長軸7.6～15.1cm、重量162.1～430.4g、板石は2点で、長軸7.7～18.8cm、重量233.7～1807.9gを測る。流紋岩または花崗斑岩は円碟が1点で、長軸13.5cm、重量483.2gを測る。安山岩は円碟が160点で、長軸6.4～25.6cm、重量162.7～1010.6g、板石が25点で、長軸6.4～18.7cm、重量162.7～1010.6gを測る。玄武岩は円碟が2点で、長軸8.8～10.2cm、重量439.6～754.2gを測る。半深成岩は円碟が77点で、長軸8.5～20.5cm、重量188.3～4160.0g、板石は7点で、長軸9.4～21.3cm、重量307.5～1642.8gを測る。花崗岩は円碟が18点で、長軸8.7～13.5cm程度、重量355.1～1554.5g、角碟は5点、長軸11.9～23.7cm、重量656.4～4000.0gを測る。閃綠岩は円碟が1点

で、長軸7.8cm、重量164.5gを測る。アブライトは円礫が7点で、長軸11.3~18.2cm、重量607.2~1137.0gを測る。砂岩は円礫が51点で、長軸4.8~25.2cm以上、重量57.7~2396.9g、角礫が8点、長軸8.3~13.3cm、重量262.2~1214.1gを測る。また、板石は3点、長軸8.1~22.7cm、重量236.6~1627.2gを測る。凝灰岩は1点だけである。円礫で、長軸19.2cm、重量2246.6gを測る。片麻岩は円礫1点、長軸7.1~14.7cm、重量159.8~1203.3gを測る。石材別で最も多いのは安山岩で、半数弱である。次に多いのが半深成岩、その次が砂岩で、この3種類の石材で、凹み石または叩き石の87%を占める。いずれも自然礫である。板石や比較的大きいものについては、台石として下に置いて使用したのであろう。また、大半は礫の一部が凹むが、凹み内には敲打痕が観察されることから、敲打によって凹みが形成されたものと考えられる。なお、敲打痕にはあばた状のものと線状のものの2種類がある。線状の敲打痕については円礫の側面に観察されることが多い。

#### (16) 磨石・石皿または砥石

5013~5258は磨石・石皿または砥石である。唐石・石皿・砥石ともに研磨が施される。握り易い大きさの円礫を磨石・角礫や板石等で置いて使用した可能性が高いものを石皿または砥石としたが、区別し難いので両者を一括して報告する。石材は流紋岩・安山岩・玄武岩・半深成岩・花崗岩・閃綠岩・アブライト・砂岩・凝灰岩・片麻岩がある。流紋岩の磨石は1点、石皿または砥石は23点、安山岩の磨石は28点、石皿または砥石は32点、玄武岩の磨石は3点、半深成岩の磨石は24点、石皿または砥石は4点、花崗岩の磨石は8点、石皿または砥石は11点、閃綠岩の磨石は1点、アブライトの磨石は3点、砂岩の磨石は4点、石皿または砥石は93点、凝灰岩の石皿または砥石は1点、片麻岩の磨石は4点、石皿または砥石は4点ある。これらを石材別でみると最も多いのが砂岩で97点、次に多いのが安山岩で60点、そのほか半深成岩28点、流紋岩24点、花崗岩19点と続く。これらの大部分は自然礫の一部を研磨したものが多く、本来の自然礫の形状を残すものが多いが、中には平坦面で構成されたいわゆる砥石の形状のものもみられる。流紋岩では5014・5016・5021・5023・5031・5032・5033・5034・5035の9点、半深成岩は5127の1点、砂岩は5158・5159・5167・5192・5193・5202・5224・5225・5236・5242・5245・5247の12点、片麻岩は5256の1点である。平坦面で構成された砥石は石材別でみると、最も多いのは砂岩、次に多いのが流紋岩で、砂岩・流紋岩が大部分を占める。

#### (17) 素材または剥片

5259~5431・5440・5441・5443・5445・5447~5449・5455・5459・5461・5465・5473~5491・5493~5509は石器の素材または剥片である。石材ではチャート・珪化木・石英・軽石・流紋岩・安山岩・結晶片岩・片麻岩があり、チャートは27点、珪化木は1点、石英は4点、軽石は9点、流紋岩は132点、安山岩は23点、結晶片岩は21点、片麻岩は3点ある。そのほかにも未報告の小片が多数ある(第2表)。この中で、流紋岩・安山岩・結晶片岩は石包丁などの石器、片麻岩は凹み石または叩き石・磨石・石皿または砥石に使用されているが、チャート・珪化木・石英・軽石については製品は認められなかった。安山岩の素材には様々な形状のものがみられるが、板状または剥片が多い。また、安山岩片の中で、暗灰色を呈するものがある。サスカイトと色調が類似するが、若干雰囲気が異なる。いずれも円礫で、自然面をもつ。

#### (18) 種類不明

5432・5444・5446・5450～5454・5456・5462～5464・5469～5472・5510・5515・5517・5524・5526・5529・5531～5534は種類が不明なものである。5432・5444・5446・5450～5454・5456・5462～5464・5469～5472の石材は安山岩である。縁辺に二次加工や漬れがみられる。5510の石材は流紋岩である。5529～5534の石材は結晶片岩である。5532は側面に線状の敲打痕を施す。5531の平面形は長方形で、厚さ1.7cmを測る。両面には部分的に研磨が施され、端部は全周敲打が施される。

#### (19) 弥生時代後期から古墳時代前期の遺構から出土した石器

S X 1056から5536～5554の石器が出土した。流紋岩製の磨製石包丁1点、半深成岩製の大型蛤刃石斧2点、凹み石または叩き石（安山岩製5点、砂岩製2点）、磨石（安山岩製1点、半深成岩製1点）、砂岩製の石皿または砥石1点、流紋岩の素材または剥片5点が出土した。いずれも弥生時代前期から中期の遺物が混入した可能性が高い。

#### (20) 平安時代の遺構から出土した石器・石製品

S D 1069から5555が出土した。流紋岩製の石包丁未製品である。研磨は施されておらず、2辺に剥離調整が施される。また、出土遺構はS D 1069またはS D 1070のいずれかであるが、安山岩製の円盤状石製品（5556）が出土した。5556は片面に研磨がみられ、磨石・石皿・砥石のいずれかを転用したものと考えられる。これらは弥生時代の遺物が混入したものと考えられる。

S E 1002からは五輪塔（5557・5558）が出土した。いずれも凝灰岩製である。5557は水輪である。上部に突出部がある。表面の一部は剥落している。最大径は上部にあり、やや細長い。5558は火輪である。上部・下部には凹みがある。表面の一部が剥落する。四隅の上部はいずれも剥落しており、突出の具合はわからない。

## 2. サヌカイト製石器

#### (1) 打製石包丁

6001～6089は打製石包丁である。平面形が不定形で、刃部を作出している刃器はスクレイパーとして報告しているが、この中でも摩滅が顕著なものは石包丁に分類した。石包丁の形態は以下のようなものがある。

- A形態 湾曲する背部と直線的な刃部をもつもの。
- B形態 直線的な背部と刃部をもつもの。
- C形態 直線的な背部と外湾する刃部をもつもの。
- D形態 形態が整っていないもの。

また、これらを抉りの有無によって、抉りなし（a）、抉りあり（b）に分類する。

A形態とB形態の典型的なもの以外に、背部がやや外湾するものもあり、両者の区別がつき難いものもある。

A形態には抉りなし（a）と、抉りあり（b）がある。A形態aは6012・6015・6020・6024・6025・6030・6036・6039・6042・6046・6050・6053・6072・6078・6083と15点ある。完存するものは6039の1点だけである。側縁部しか残存しておらず、全体の形態が不明瞭であるが、A形態aに含まれる可能性

種類	出土地點	地盤	2005年(19番)	2006年(19番)														
竹筒瓦丁	8	2005年(19番)	2006年(19番)															
軒瓦			31	31	2	2	14	1	13	12	16	1						1
アラミイバ	12	20			17		4		25	17	17	1						1
石先	6	4	1	1	4	2	2	1	3									1
（鉢）瓦器・土器	2	11	4	5	1	21	29	29	6	2								21
（鉢）瓦器・土器	21	5	20	22	3	68	72	123	24	19	3	3	3	2	1	1	123	
竹筒瓦器				1														447
かわのくぼ	1																	1
瓦器（土器）	1	3	3	3	31	12	12	1	11		1							19
骨器（土器）	7	19	5	4	14	1	19	19	19	3								9
大刀形骨器			4	2														9
木人	161	110	153	99	363	26	286	178	277	71	16	9						2603
網	3	9	5	7	7	22	3	17	3	21	3	1	1					96
火薬	11	22	10	11	96	2	36	14	36	2								126
樹脂接着剤(URBN)	66	62	2	44	26	100	12	109	19	108	14	7						796
未分類	653	3	319	6	690	413	398	193	1521	942	1056	238	2	74				6519
合計	729	3	319	96	966	439	807	246	2321	1380	2003	467	46	26	366	3699		

## 重量(g)

種類	出土地點	地盤	2005年(19番)	2006年(19番)														
竹筒瓦丁	26A		6143		1394	124	361	115	2639	3612	7724	279						30215
軒瓦																		565
アラミイバ	374	4642			465.2	366.5	411.7	263	3639	3114	461	461						3620.9
（鉢）瓦器	222				97.6	12.6	44.4		322	22.7	467							281.6
（鉢）瓦器・土器	62				46.5	32.7	32.1	46	752	65.8	62.9	125	45					523.6
竹筒瓦器	270				4.8	2.5	61.1	27	33.1	84.2	126.1	95.1	12.4	20				605.1
竹筒瓦					80.2													87.1
かわのくぼ	714				1.2	524			26.9	1.0	61.6	113						312.3
瓦器（土器）	246				31.9	26.9	86.5		66.4	21.9	19.7		21					333.9
骨器（土器）	761	1353			96.1	48.8	261.7	261	396.5	291.2	430.7	241						650.8
人骨					47.708		136.3											860.2
木人	3032	1102			369.1	375.1	267.1	154.5	142.1	190.3	201.6	202.7	127.2					3226.7
骨器	771				195.7	251.4	261.6	160.1	167.9	76.4	76.3	21.2	4.8					3026.7
骨器	146.1	73.8			173.6	323.2	306.1	264.1	190.1	56.9	80.5	36.1						5625.9
骨器（土器）	591.0	2262			30.6	100.4	58.1	47.772	32.8	270.6	194.2	221.0	61.1	141.2				3486.7
未分類	2792	123	2014		22.0	209.6	194.3	113.2	91.6	760.2	681.5	146.3	131.7	61.7				2608.7
合計	6264.2	123	3593.3	251.6	6252.4	2864.6	3220.9	1704.4	3072.5	1701.5	2681.5	262.1	1602.7	95.28				

第6表 總量・川田遺跡出土サカイト製石器

の高いものには6009・6013・6016・6033・6045・6049がある。A形態bは6004・6054・6061・6065・6066・6079・6084がある。6061・6084は小型である。そのほか、A形態に含まれるが、側縁を欠損するため抉りの有無が不明瞭なものには6003・6007・6048がある。6048は抉りがあった可能性が高い。

B形態にも抉りなし(a)と抉りあり(b)がある。B形態aには6021・6034・6044・6056・6057がある。また、B形態aに含まれる可能性の高いものとして6037がある。B形態bには6010・6028・6040・6047・6055・6062・6080がある。B形態に含まれるが、両側縁を欠損しており、抉りの有無が不明なもののは6051がある。

欠損部分が多く、A形態かB形態かは不明であるが、抉りのあるものに6011・6023・6035・6043・6052・6063・6064・6067がある。6067は側縁付近が片方残存するが、側縁付近の背部・刃部の両方にくびれがある。

C形態の可能性の高いものに6081がある。6081は背部が直線的で、刃部が外湾するが、側縁付近の形態は左右不均等である。両側縁はいずれも自然面である。

D形態は6001・6002・6017・6018・6019・6022・6029・6032・6038・6041・6058・6068・6069・6071・6074・6075がある。いずれも刃部はほぼ直線的である。6001・6019・6068・6075は比較的大型である。

形態分類を行ったのは残存不良なもの19点を除く、70点である。形態の整っていないD形態は16点と多い。形態が整っているものの中で最も多いのはA形態aの15点で、A形態aの可能性が高いものも6点ある。A形態bは7点で、A形態では抉りのあるものよりも、無いものが多い。

B形態をみると、B形態aは5点で、B形態aの可能性の高いものは1点ある。B形態bは7点で、B形態では抉りのある石包丁のほうが多い。また、B形態でも抉りの有無が不明なものが1点あるので、B形態は合計14点である。A形態は合計31点であるので、B形態よりもA形態のほうが多いことがわかる。なお、A形態・B形態にかかわらず抉りのあるものは22点、A形態・B形態で抉りのないものは27点で、抉りのないもののほうが多い。

これらの石包丁は自然面をもつものが多い。背部に自然面をもつものは6001・6002・6003・6004・6009・6026・6033・6040・6051・6053・6058・6084・6086・6089の14点がある。背部と側縁に自然面をもつものは6041・6059の2点、側縁に自然面をもつものは6014・6020・6021・6037・6039・6074・6081・6088の8点、片面の一部に自然面をもつものは6025・6038・6063・6064・6066の5点ある。大半のものは背部に潰れがみられるが、6022・6040・6042・6044・6062・6066・6082・6083のように刃部にも潰れがみられるものもある。また、大半の石包丁に使用痕である摩滅がみられる。また、摩滅が強く、光沢があるものもある。6016・6029・6031・6035・6042は特に片面の摩滅が顕著である。

## (2) 石鎌

6090は石鎌である。背部の一部は自然面で、自然面以外の背部は潰れている。全体がやや摩滅する。

## (3) スクレイパー

6094~6261はスクレイパーである。不定形な形態で、刃部をもつが、石包丁に顕著にみられる摩滅・光沢をもたないものをスクレイパーとした。剥片の長軸を刃部としていており、直線的なものがほとんどであるが、一部外湾・内湾するものもみられる。両刃が大部分を占めるが、一部片刃もみられる。

#### (4) 石匙

6262~6275は石匙である。6276はつまみがみられるが、刃部が作出されておらず、石匙未製品と考えられる。自然面をもつものが多く、6266・6270・6273・6275は背部あるいは側縁の一部、6271・6272・6276は片面の一部に自然面をもつ。つまみの位置は刃部の真上、斜め上、真横の3種類がある。刃部の真上につまみが付くものは6262・6271・6272、斜め上は6263・6264・6265・6266・6268・6273・6275、真横は6274・6276がある。

#### (5) 石錐

6277~6403は石錐またはその可能性があるものである。6404は石錐または石鎌、6505~6409は石錐未製品またはその可能性があるものである。石錐の形態について蜂屋晴美氏は以下のように分類している<sup>②</sup>が、本遺跡でも同様に分類を行う。

- I類 頭部と錐部の境が明瞭で、錐部が細長いもの。
  - II類 全体が分厚い多角形ないし、涙滴形を呈し、その尖った部分に錐部が作り出されているもの。
  - III類 頭部と錐部の境がなく、ほぼ一定の幅をもつ棒状のもの。
- 本遺跡で石錐及びその可能性としたものは126点あるが、そのうち残存が良好で、形態が推定できるものに限って分類を行うと
- I類 6277・6280・6281・6284~6288・6292・6294~6296・6298~6302・6305・6306・6309・6311~6313・6316~6320・6322・6323・6327・6328・6334・6335・6337・6340・6341・6347・6348・6350・6356・6358・6360~6362・6365・6366・6371・6372・6375・6377・6381・6383・6384・6387・6390・6392・6395・6397・6399・6400・6402
  - II類 6279・6289・6308・6336・6343・6374・6379・6382・6403
  - III類 6282・6297・6307・6321・6324・6326・6329・6331・6339・6342・6344・6355・6363・6364・6367~6370・6376・6385・6388・6389・6393・6394・6396

となり、I類が62点、II類が9点、III類が25点で、圧倒的にI類が多い。

#### (6) 石鎌

6410~6859は石鎌または石錐未製品である。石鎌の平面形態については松木武彦氏の分類<sup>③</sup>に従う。

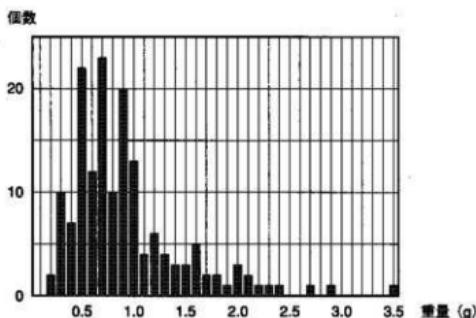
- 凹基式 基辺の形状が凹む
- 平基式 基辺の形状が直線を呈する
- 凸基I式 基辺の形状が突出するもので、最大幅部位が基部にごく近い所に位置するもの
- 凸基II式 基辺の形状が突出するもので、最大幅部位がかなり先端部よりに位置するもの
- 有茎式 基辺に茎を有するもの

この分類に従って本遺跡出土の石鎌を分類してみると

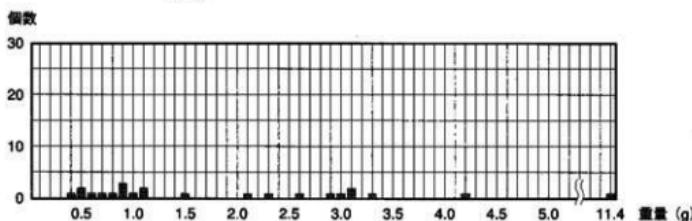
凹基式 302点、平基式 41点、凸基I式 1点、凸基II式 6点、凸基式 2点、有茎式 8点となり、圧倒的に凹基式が多いことがわかる。

ほぼ完存あるいは完存するものについて形態の分類別に重量の分布を比較すると第7表のようになる。凹基式は最小0.2g、最大3.5gで、最も多いのが0.5~1.0gである。また、平基式は最小0.4g、最大11.4gである。重量にはかなりばらつきがあるが、0.5~1.0g付近、2.0~3.3g付近が多い。凸基I式・II式

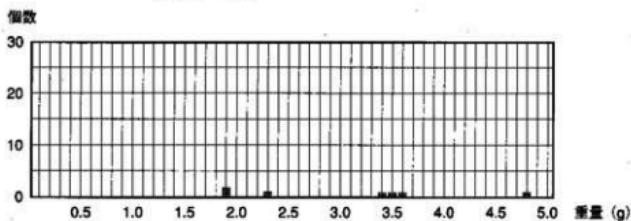
凸基式



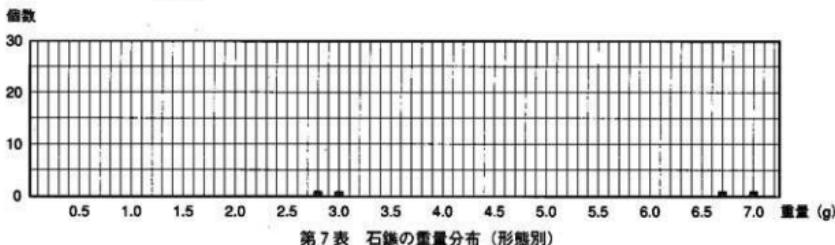
平基式



凸基 I・II 式



有茎式



第7表 石錠の重量分布（形態別）

は最小1.9g、最大4.8gである。凹基式・平基式に比べると有茎式は大きいものが多く、最小で2.8g、最大で7.0gである。凹基式は軽いものが多く、有茎式や凸基I・II式は重いものが多い。

#### (7) 加工痕のある剥片・使用痕のある剥片

6867~6914は加工痕のある剥片である。第8表は加工痕のある剥片の重量分布を示す。重量は1.5~21.9gに分布し、10.0g以下が最も多い。

6915~7006は使用痕のある剥片である。第9表は使用痕のある剥片の重量分布を示す。これによると重量は1.7~77.9gに分布する。30.0g以下に集中する傾向がうかがわれるが、分布にはかなりばらつきがみられる。

#### (8) 大型盤状剥片・剥片・分割素材・楔形石器または石核

(1)~(6)以外のサヌカイト片を以下のように分類したが、サヌカイト小片については、一部しか分類を行っていない。分類したものは4151個体で、61245.1gである。未分類のサヌカイト小片は6549個体で、33883.7gである。第15表は未分類のサヌカイト片の重量分布を示す。

大型盤状剥片 7007~7015は大型盤状剥片である。7007・7008・7013・7014は両面ともネガティブな面で構成されているが、石器の素材となる可能性が高いので、ここに分類した。7007~7015は重量445.4g~2369.5gを測る。

剥片 剥片は剥片Aと剥片Bに分類した。

剥片A 縁辺が鋭い剥片。

剥片B 折れ面が最終面で、打面がないもの。

剥片Aは7016~9098で、重量分布は第11表に示す。重量は1.0~132.0gに分布するが、最も多いのが1.0~2.0gで、10.0g以下のものが多い。剥片Bは9099~9194で、重量分布は第12表に示す。重量は2.4~179.1gに分布し、5.0~40.0gが最も多い。

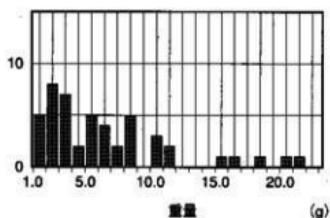
分割素材 折れ面が最終面で、打面をもつものを分割素材とした。9195~9392は分割素材である。第13表は分割素材の重量分布を示す。重量は2.2~349.8gに分布し、5.0~15.0gが最も多い。

楔形石器または石核 両面ともネガティブな面で構成され、平行する2辺に潰れが顕著に認められるものをここに分類した。9408~10149は楔形石器または石核である。第14表は楔形石器または石核の重量分布を示す。重量は1.4~428.0gに分布し、5.0~10.0gが最も多い。

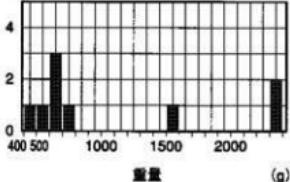
#### 註

- (1) 森 格也『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第7冊 鶴部・川田遺跡Ⅰ』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・建設省四国地方建設局(1997)
- (2) 蜂屋晴美「石錐」「弥生文化の研究」5(1985)
- (3) 松木武彦「弥生時代の石製武器の発達と地域別一とくに打製石錐について」『考古学研究』第35巻第4号

個数



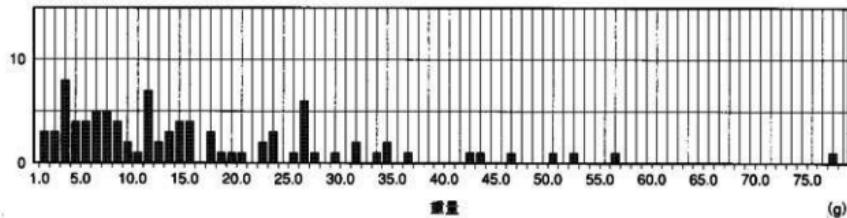
個数



第8表 加工痕のある剥片の重量分布

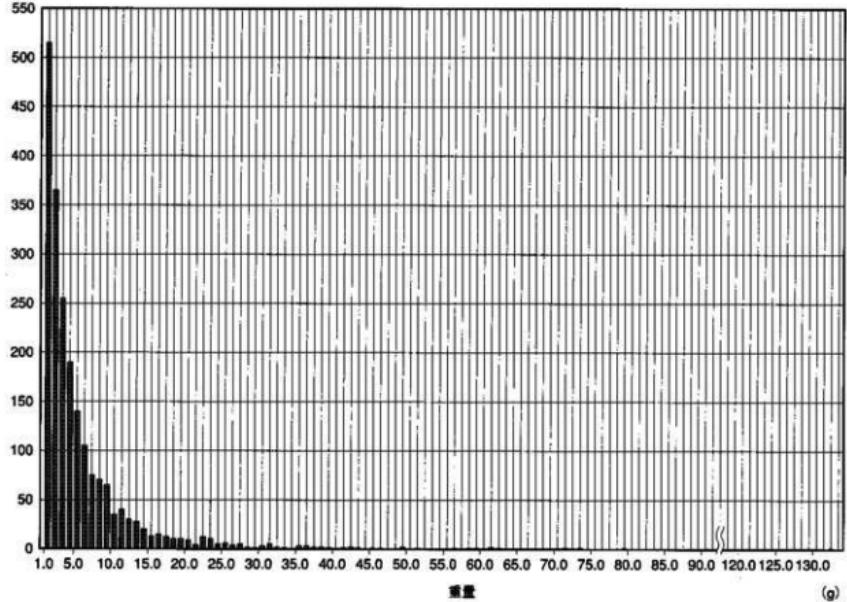
第10表 大型盤状剥片の重量分布

個数



第9表 使用痕のある剥片の重量分布

個数



第11表 剥片Aの重量分布

## 横形石器または石核

重量(g)	個数
1.001 七.004	114
2.001 上.004	205
3.001 一.156	105
4.001 ト.205	63
5.001 ピ.255	66
7.001 ト.304	31
8.001 ハ.355	24
9.001 ト.404	33
10.001 ピ.454	13
12.001 ト.504	32
15.001 ピ.554	8
16.001 ト.554	13
18.001 ハ.654	9
20.001 ハ.704	5
21.001 ピ.754	15
25.001 ピ.804	4
30.001 ピ.854	2
45.001 ヒ.904	1
90.001 ヒ.954	4
95.001 ヒ.1004	3
100.001 ヒ.1204	3
105.001 ヒ.1504	6
110.001 ヒ.1554	5
115.001 ヒ.202	2
120.001 ヒ.255	1
125.001 ヒ.355	1
125.001 ト.360	0
130.001 ヒ.3185	2
135.001 ヒ.340	1
140.001 ヒ.345	1
145.001 ト.270	2
150.001 ヒ.355	1
155.001 ヒ.360	2
155.001 ヒ.360	2
175.001 ト.360	0
190.001 ヒ.1264	1
195.001 ト.1364	1
200.001 ト.1404	1
205.001 ト.1454	1
210.001 ト.1504	1
215.001 ト.1554	0
220.001 ト.1604	0
230.001 ト.1654	0
235.001 ト.1704	0
240.001 ト.1754	0
245.001 ト.1804	0
250.001 ト.1854	0
255.001 ト.1904	0
260.001 ト.1954	0
265.001 ト.2004	0
270.001 ト.2104	0
275.001 ト.2104	0
280.001 ト.2154	0
285.001 ト.2204	0
290.001 ト.2254	0
295.001 ト.2304	0
300.001 ト.2354	0
305.001 ト.2404	0
310.001 ト.2454	0
315.001 ト.2504	0
320.001 ト.2554	0
325.001 ト.2604	0
330.001 ト.2654	0
335.001 ト.2704	0
340.001 ト.2754	0
345.001 ト.2804	0
350.001 ト.2854	0
355.001 ト.2904	0
360.001 ト.2954	0
365.001 ト.3004	0
370.001 ト.3054	0
375.001 ト.3104	0
380.001 ト.3154	0
385.001 ト.3204	0
390.001 ト.3254	0
395.001 ト.3304	0
400.001 ト.3354	0
405.001 ト.3404	0
410.001 ト.3454	0
415.001 ト.3504	0
420.001 ト.3554	0
425.001 ト.3604	0
430.001 ト.3654	0
435.001 ト.3704	0
440.001 ト.3754	0
445.001 ト.3804	0
450.001 ト.3854	0
455.001 ト.3904	0
460.001 ト.3954	0
465.001 ト.4004	0
470.001 ト.4054	0
475.001 ト.4104	0
480.001 ト.4154	0
485.001 ト.4204	0
490.001 ト.4254	0
495.001 ト.4304	0
500.001 ト.4354	0
505.001 ト.4404	0
510.001 ト.4454	0
515.001 ト.4504	0
520.001 ト.4554	0
525.001 ト.4604	0
530.001 ト.4654	0
535.001 ト.4704	0
540.001 ト.4754	0
545.001 ト.4804	0
550.001 ト.4854	0
555.001 ト.4904	0
560.001 ト.4954	0
565.001 ト.5004	0
570.001 ト.5054	0
575.001 ト.5104	0
580.001 ト.5154	0
585.001 ト.5204	0
590.001 ト.5254	0
595.001 ト.5304	0
600.001 ト.5354	0
605.001 ト.5404	0
610.001 ト.5454	0
615.001 ト.5504	0
620.001 ト.5554	0
625.001 ト.5604	0
630.001 ト.5654	0
635.001 ト.5704	0
640.001 ト.5754	0
645.001 ト.5804	0
650.001 ト.5854	0
655.001 ト.5904	0
660.001 ト.5954	0
665.001 ト.6004	0
670.001 ト.6054	0
675.001 ト.6104	0
680.001 ト.6154	0
685.001 ト.6204	0
690.001 ト.6254	0
695.001 ト.6304	0
700.001 ト.6354	0
705.001 ト.6404	0
710.001 ト.6454	0
715.001 ト.6504	0
720.001 ト.6554	0
725.001 ト.6604	0
730.001 ト.6654	0
735.001 ト.6704	0
740.001 ト.6754	0
745.001 ト.6804	0
750.001 ト.6854	0
755.001 ト.6904	0
760.001 ト.6954	0
765.001 ト.7004	0
770.001 ト.7054	0
775.001 ト.7104	0
780.001 ト.7154	0
785.001 ト.7204	0
790.001 ト.7254	0
795.001 ト.7304	0
800.001 ト.7354	0
805.001 ト.7404	0
810.001 ト.7454	0
815.001 ト.7504	0
820.001 ト.7554	0
825.001 ト.7604	0
830.001 ト.7654	0
835.001 ト.7704	0
840.001 ト.7754	0
845.001 ト.7804	0
850.001 ト.7854	0
855.001 ト.7904	0
860.001 ト.7954	0
865.001 ト.8004	0
870.001 ト.8054	0
875.001 ト.8104	0
880.001 ト.8154	0
885.001 ト.8204	0
890.001 ト.8254	0
895.001 ト.8304	0
900.001 ト.8354	0
905.001 ト.8404	0
910.001 ト.8454	0
915.001 ト.8504	0
920.001 ト.8554	0
925.001 ト.8604	0
930.001 ト.8654	0
935.001 ト.8704	0
940.001 ト.8754	0
945.001 ト.8804	0
950.001 ト.8854	0
955.001 ト.8904	0
960.001 ト.8954	0
965.001 ト.9004	0
970.001 ト.9054	0
975.001 ト.9104	0
980.001 ト.9154	0
985.001 ト.9204	0
990.001 ト.9254	0
995.001 ト.9304	0
1000.001 ト.9354	0

## 直線 (cm)

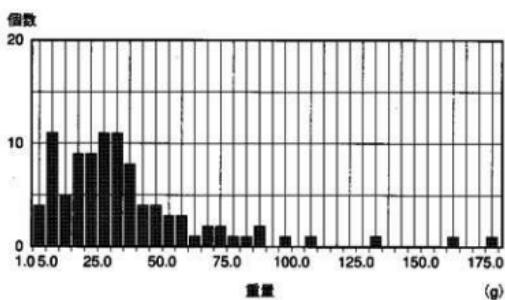
重量(g)	個数
220.001 ト.1504	6
230.001 ト.1604	6
240.001 ト.1704	8
250.001 ト.1804	9
260.001 ト.1904	9
270.001 ト.2004	9
280.001 ト.2104	10
290.001 ト.2204	10
300.001 ト.2304	10
310.001 ト.2404	10
320.001 ト.2504	10
330.001 ト.2604	10
340.001 ト.2704	10
350.001 ト.2804	10
360.001 ト.2904	10
370.001 ト.3004	10
380.001 ト.3104	10
390.001 ト.3204	10
400.001 ト.3304	10
410.001 ト.3404	10
420.001 ト.3504	10
430.001 ト.3604	10
440.001 ト.3704	10
450.001 ト.3804	10
460.001 ト.3904	10
470.001 ト.4004	10
480.001 ト.4104	10
490.001 ト.4204	10
500.001 ト.4304	10
510.001 ト.4404	10
520.001 ト.4504	10
530.001 ト.4604	10
540.001 ト.4704	10
550.001 ト.4804	10
560.001 ト.4904	10
570.001 ト.5004	10
580.001 ト.5104	10
590.001 ト.5204	10
600.001 ト.5304	10
610.001 ト.5404	10
620.001 ト.5504	10
630.001 ト.5604	10
640.001 ト.5704	10
650.001 ト.5804	10
660.001 ト.5904	10
670.001 ト.6004	10
680.001 ト.6104	10
690.001 ト.6204	10
700.001 ト.6304	10
710.001 ト.6404	10
720.001 ト.6504	10
730.001 ト.6604	10
740.001 ト.6704	10
750.001 ト.6804	10
760.001 ト.6904	10
770.001 ト.7004	10
780.001 ト.7104	10
790.001 ト.7204	10
800.001 ト.7304	10
810.001 ト.7404	10
820.001 ト.7504	10
830.001 ト.7604	10
840.001 ト.7704	10
850.001 ト.7804	10
860.001 ト.7904	10
870.001 ト.8004	10
880.001 ト.8104	10
890.001 ト.8204	10
900.001 ト.8304	10
910.001 ト.8404	10
920.001 ト.8504	10
930.001 ト.8604	10
940.001 ト.8704	10
950.001 ト.8804	10
960.001 ト.8904	10
970.001 ト.9004	10

## 剥片 A

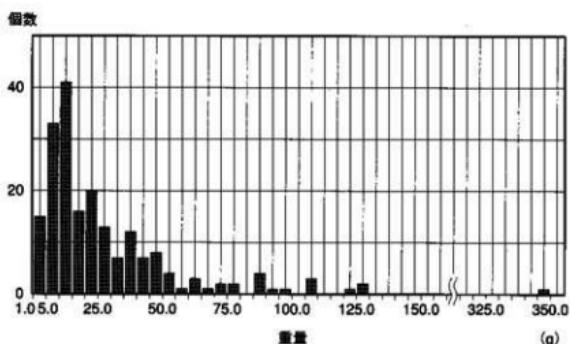
重量(g)	個数
150.001 ト.1054	506
200.001 ト.1104	367
300.001 ト.1404	257
400.001 ト.1504	169
500.001 ト.1604	127
600.001 ト.1704	127
700.001 ト.1804	74
800.001 ト.1904	70
900.001 ト.2004	67
100.001 ト.2054	35
110.001 ト.2104	35
120.001 ト.2154	35
130.001 ト.2204	35
140.001 ト.2254	35
150.001 ト.2304	35
160.001 ト.2354	35
170.001 ト.2404	35
180.001 ト.2454	35
190.001 ト.2504	35
200.001 ト.2554	35
210.001 ト.2604	35
220.001 ト.2654	35
230.001 ト.2704	35
240.001 ト.2754	35
250.001 ト.2804	35
260.001 ト.2854	35
270.001 ト.2904	35
280.001 ト.2954	35
290.001 ト.3004	35
300.001 ト.3054	35
310.001 ト.3104	35
320.001 ト.3154	35
330.001 ト.3204	35
340.001 ト.3254	35
350.001 ト.3304	35
360.001 ト.3354	35
370.001 ト.3404	35
380.001 ト.3454	35
390.001 ト.3504	35
400.001 ト.3554	35
410.001 ト.3604	35
420.001 ト.3654	35
430.001 ト.3704	35
440.001 ト.3754	35
450.001 ト.3804	35
460.001 ト.3854	35
470.001 ト.3904	35
480.001 ト.3954	35
490.001 ト.4004	35
500.001 ト.4054	35
510.001 ト.4104	35
520.001 ト.4154	35
530.001 ト.4204	35
540.001 ト.4254	35
550.001 ト.4304	35
560.001 ト.4354	35
570.001 ト.4404	35
580.001 ト.4454	35
590.001 ト.4504	35
600.001 ト.4554	35
610.001 ト.4604	35
620.001 ト.4654	35
630.001 ト.4704	35
640.001 ト.4754	35
650.001 ト.4804	35
660.001 ト.4854	35
670.001 ト.4904	35
680.001 ト.4954	35
690.001 ト.5004	35
700.001 ト.5054	35
710.001 ト.5104	35
720.001 ト.5154	35
730.001 ト.5204	35
740.001 ト.5254	35
750.001 ト.5304	35
760.001 ト.5354	35
770.001 ト.5404	35
780.001 ト.5454	35
790.001 ト.5504	35
800.001 ト.5554	35
810.001 ト.5604	35
820.001 ト.5654	35
830.001 ト.5704	35
840.001 ト.5754	35
850.001 ト.5804	35
860.001 ト.5854	35
870.001 ト.5904	35
880.001 ト.5954	35
890.001 ト.6004	35
900.001 ト.6054	35
910.001 ト.6104	35
920.001 ト.6154	35
930.001 ト.6204	35
940.001 ト.6254	35
950.001 ト.6304	35
960.001 ト.6354	35
970.001 ト.6404	35
980.001 ト.6454	35
990.001 ト.6504	35
1000.001 ト.6554	35

## 直線 (cm)

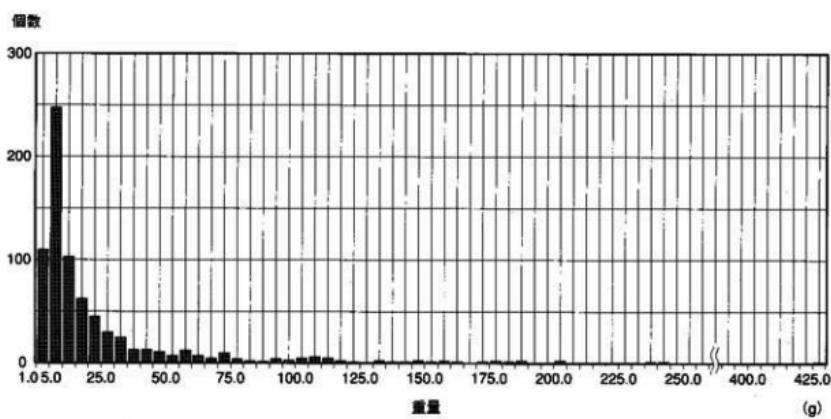
重量(g)	個数
60.001 ト.6104	3
61.001 ト.6204	4
62.001 ト.6304	4
63.001 ト.6404	4
64.001 ト.6504	4
65.001 ト.6604	4
66.001 ト.6704	4
67.001 ト.6804	4
68.001 ト.6904	4



第12表 測片 B の重量分布

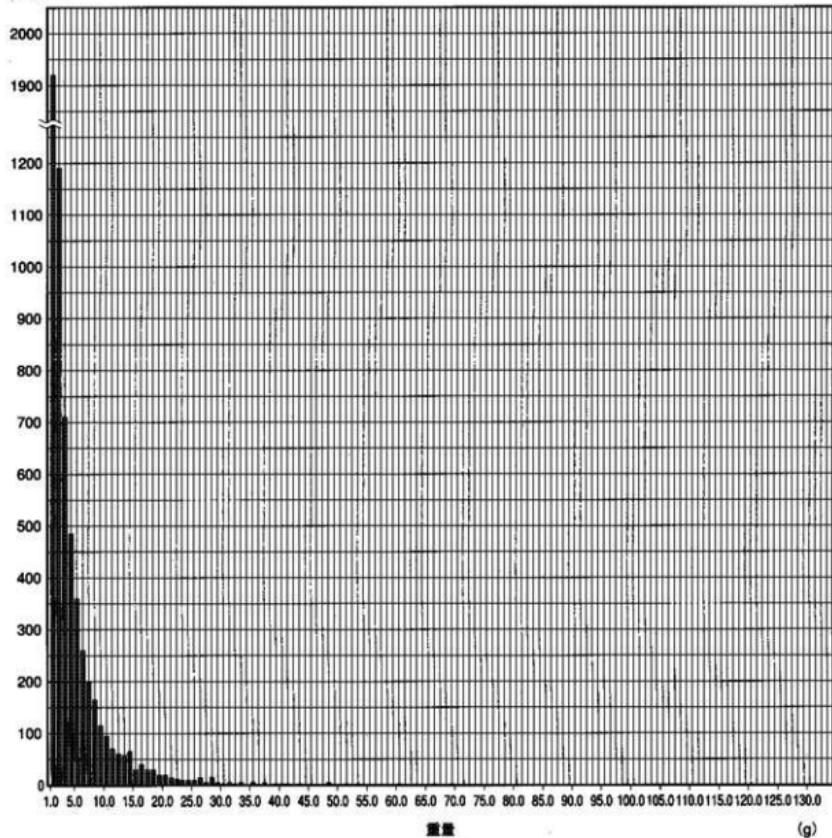


第13表 分割素材の重量分布



第14表 楔形石器または石核の重量分布

個数

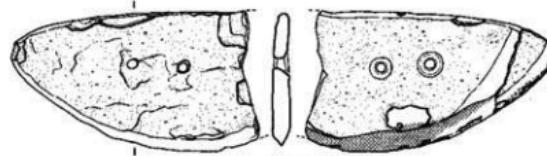


第15表 未分類サヌカイト片の重量分布

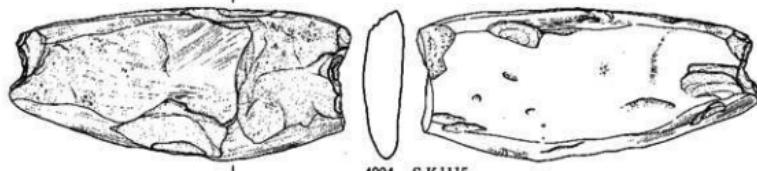
## 未分類サヌカイト

重量 (g)	個数
10.01.1.2.0.6.0.0	1823
24.01.1.2.0.4.0.0	1991
30.01.1.2.0.6.0.0	703
4.01.1.5.0.6.0.0	485
14.01.1.5.0.6.0.0	358
6.01.1.2.0.7.0.0	366
7.01.1.7.0.6.0.0	206
8.01.1.8.0.6.0.0	166
9.01.1.10.0.6.0.0	177
10.01.1.11.0.6.0.0	97
11.01.1.2.0.8.0.0	73
12.01.1.2.0.9.0.0	67
13.01.1.1.0.8.0.0	56
14.01.1.5.1.0.8.0.0	64
15.01.1.2.0.10.0.0	30
16.01.1.2.0.11.0.0	40
17.01.1.8.0.9.0.0	31
18.01.1.2.0.12.0.0	31
19.01.1.2.0.13.0.0	21
20.01.1.2.1.0.8.0.0	21
21.01.1.2.2.0.6.0.0	36
22.01.1.2.5.0.6.0.0	12
23.01.1.2.6.0.6.0.0	10
24.01.1.2.7.0.6.0.0	11
25.01.1.2.8.0.6.0.0	11
26.01.1.2.9.0.6.0.0	15
27.01.1.2.8.0.8.0.0	7
28.01.1.2.9.0.9.0.0	14
29.01.1.2.9.0.10.0.0	6
30.01.1.2.10.0.10.0.0	4
31.01.1.2.10.0.10.0.0	6
32.01.1.2.10.0.11.0.0	4
33.01.1.2.10.0.12.0.0	6
34.01.1.2.11.0.12.0.0	1
35.01.1.2.12.0.12.0.0	7
36.01.1.2.7.0.13.0.0	2
37.01.1.2.8.0.13.0.0	5
38.01.1.2.9.0.13.0.0	1
39.01.1.2.10.0.13.0.0	4
40.01.1.2.11.0.13.0.0	8
41.01.1.2.12.0.13.0.0	4
42.01.1.2.13.0.13.0.0	0
43.01.1.2.14.0.13.0.0	3
44.01.1.2.15.0.13.0.0	0
45.01.1.2.16.0.13.0.0	0
46.01.1.2.17.0.13.0.0	0
47.01.1.2.18.0.13.0.0	1
48.01.1.2.19.0.13.0.0	3
49.01.1.2.20.0.13.0.0	0
50.01.1.2.5.1.0.13.0.0	1
51.01.1.2.7.2.0.13.0.0	3
52.01.1.2.8.3.0.13.0.0	0
53.01.1.2.9.4.0.13.0.0	2
54.01.1.2.10.5.0.13.0.0	1
55.01.1.2.11.6.0.13.0.0	0
56.01.1.2.12.7.0.13.0.0	0
57.01.1.2.13.8.0.13.0.0	0
58.01.1.2.14.9.0.13.0.0	0
59.01.1.2.15.0.14.0.0	1
60.01.1.2.16.0.14.0.0	2
61.01.1.2.17.0.14.0.0	0
62.01.1.2.18.0.14.0.0	1
63.01.1.2.19.0.14.0.0	1
64.01.1.2.20.0.14.0.0	0
65.01.1.2.21.0.14.0.0	0
66.01.1.2.22.0.14.0.0	2
67.01.1.2.23.0.14.0.0	0
68.01.1.2.24.0.14.0.0	1
69.01.1.2.25.0.14.0.0	1
70.01.1.2.26.0.14.0.0	3
71.01.1.2.27.0.14.0.0	0
72.01.1.2.28.0.14.0.0	0
73.01.1.2.29.0.14.0.0	0
74.01.1.2.30.0.14.0.0	0

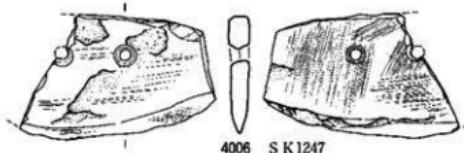
重量 (g)	個数
75.01.1.2.31.0.14.0.0	1
76.01.1.2.27.0.14.0.0	1
77.01.1.2.28.0.14.0.0	1
78.01.1.2.29.0.14.0.0	0
79.01.1.2.30.0.14.0.0	0
80.01.1.2.31.0.14.0.0	0
81.01.1.2.32.0.14.0.0	0
82.01.1.2.33.0.14.0.0	1
83.01.1.2.34.0.14.0.0	0
84.01.1.2.35.0.14.0.0	0
85.01.1.2.36.0.14.0.0	0
86.01.1.2.37.0.14.0.0	0
87.01.1.2.38.0.14.0.0	0
88.01.1.2.39.0.14.0.0	0
89.01.1.2.40.0.14.0.0	0
90.01.1.2.41.0.14.0.0	0
91.01.1.2.42.0.14.0.0	0
92.01.1.2.43.0.14.0.0	0
93.01.1.2.44.0.14.0.0	0
94.01.1.2.45.0.14.0.0	0
95.01.1.2.46.0.14.0.0	0
96.01.1.2.47.0.14.0.0	0
97.01.1.2.48.0.14.0.0	0
98.01.1.2.49.0.14.0.0	0
99.01.1.2.50.0.14.0.0	0
100.01.1.2.51.0.14.0.0	0
101.01.1.2.52.0.14.0.0	0
102.01.1.2.53.0.14.0.0	0
103.01.1.2.54.0.14.0.0	0
104.01.1.2.55.0.14.0.0	0
105.01.1.2.56.0.14.0.0	0
106.01.1.2.57.0.14.0.0	0
107.01.1.2.58.0.14.0.0	0
108.01.1.2.59.0.14.0.0	0
109.01.1.2.60.0.14.0.0	0
110.01.1.2.61.0.14.0.0	0
111.01.1.2.62.0.14.0.0	0
112.01.1.2.63.0.14.0.0	0
113.01.1.2.64.0.14.0.0	0
114.01.1.2.65.0.14.0.0	0
115.01.1.2.66.0.14.0.0	0
116.01.1.2.67.0.14.0.0	0
117.01.1.2.68.0.14.0.0	0
118.01.1.2.69.0.14.0.0	0
119.01.1.2.70.0.14.0.0	0
120.01.1.2.71.0.14.0.0	0
121.01.1.2.72.0.14.0.0	0
122.01.1.2.73.0.14.0.0	0
123.01.1.2.74.0.14.0.0	0
124.01.1.2.75.0.14.0.0	0
125.01.1.2.76.0.14.0.0	0
126.01.1.2.77.0.14.0.0	0
127.01.1.2.78.0.14.0.0	0
128.01.1.2.79.0.14.0.0	0
129.01.1.2.80.0.14.0.0	0
130.01.1.2.81.0.14.0.0	0
131.01.1.2.82.0.14.0.0	0
132.01.1.2.83.0.14.0.0	1
133.01.1.2.84.0.14.0.0	0



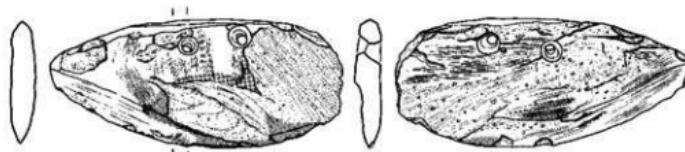
4002 SK1069



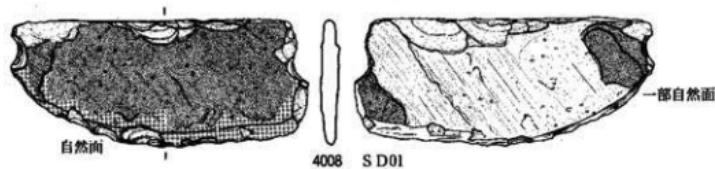
4004 SK1115



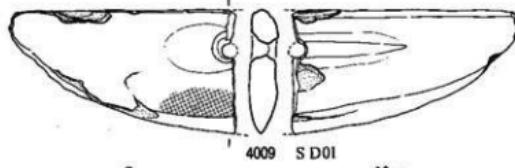
4006 SK1247



4007 SK1332



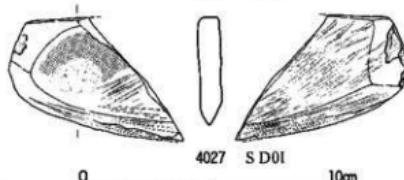
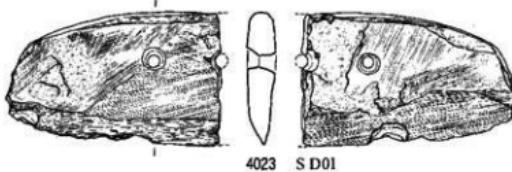
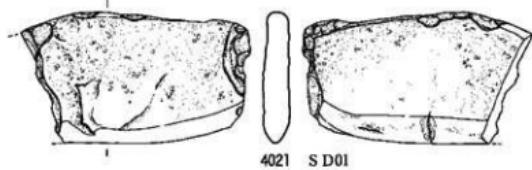
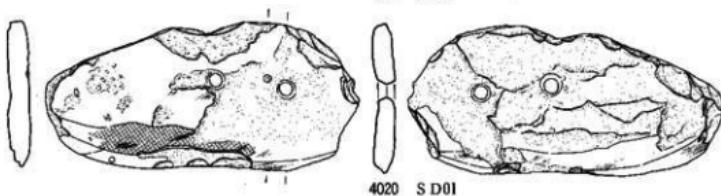
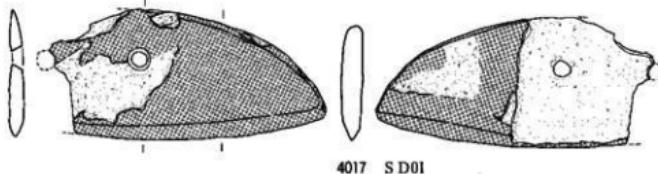
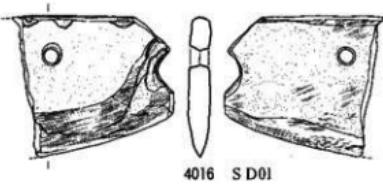
4008 SD01



4009 SD01

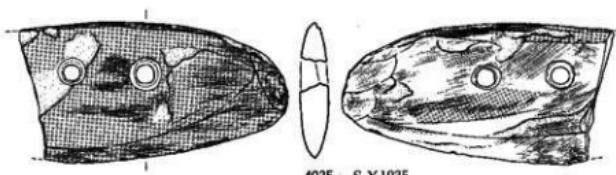
0 10cm

第35図 磨製石包丁 流紋岩製 1 (1/2)

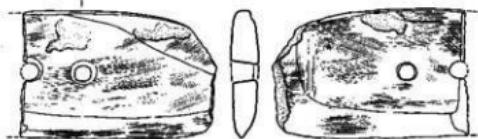


第36図 磨製石包丁 流紋岩製 2 (1/2)

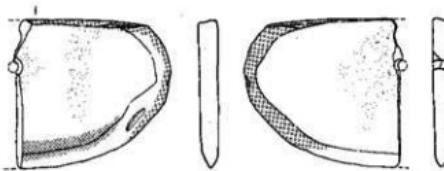
0 10cm



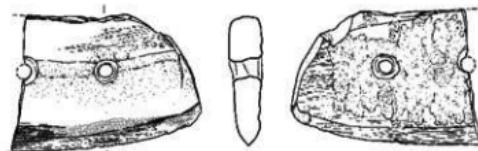
4035 S X1035



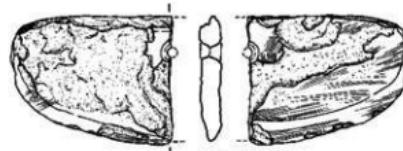
4037 包含層



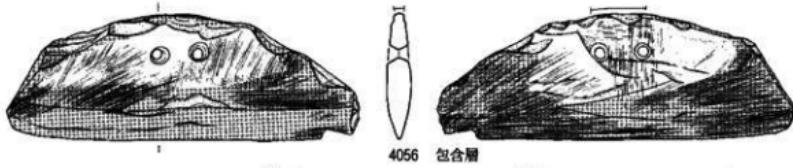
4051 包含層



4053 包含層



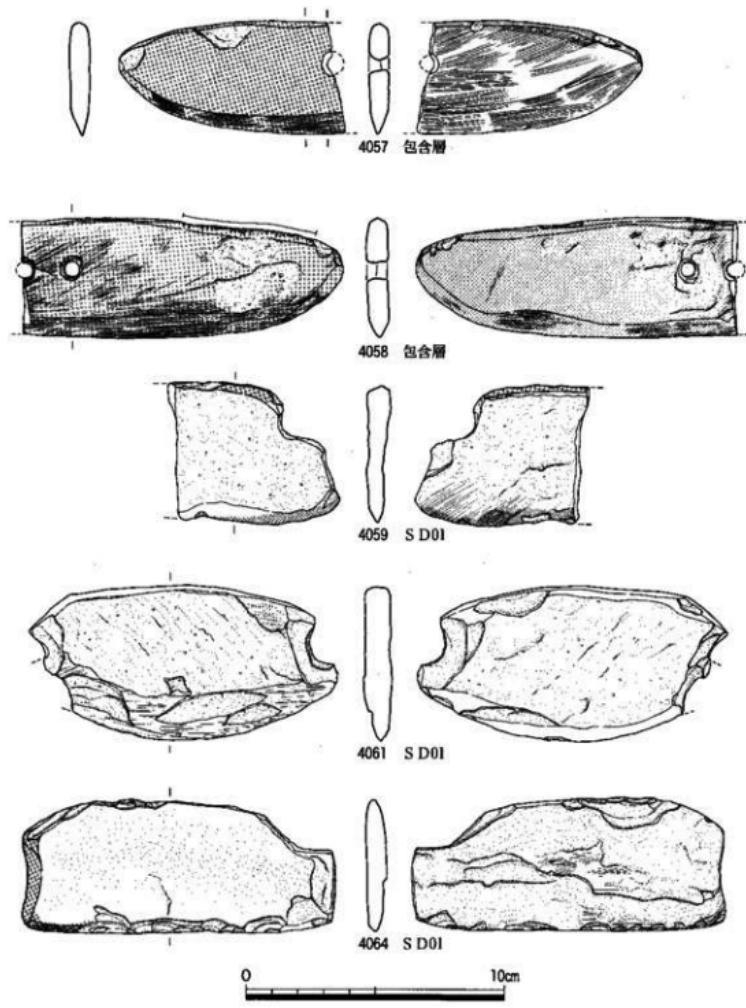
4054 包含層



4056 包含層

0 10cm

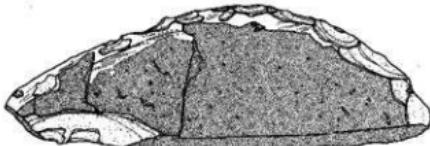
第37図 磨製石包丁 流紋岩製 3 (1/2)



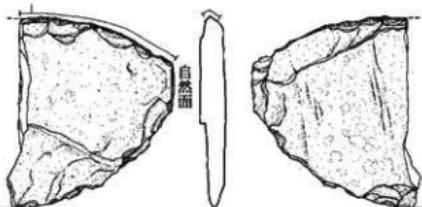
第38図 磨製石包丁 波紋岩製 4 (1/2)



4069 S K1076



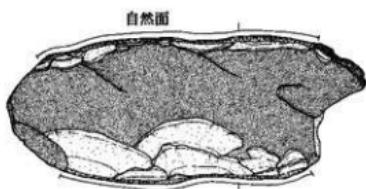
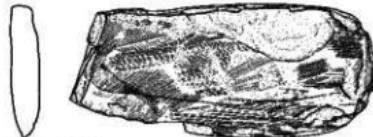
自然面



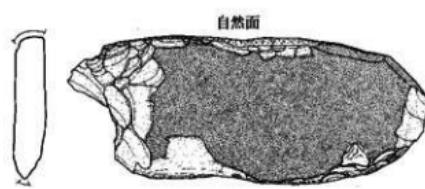
4070 S K1185



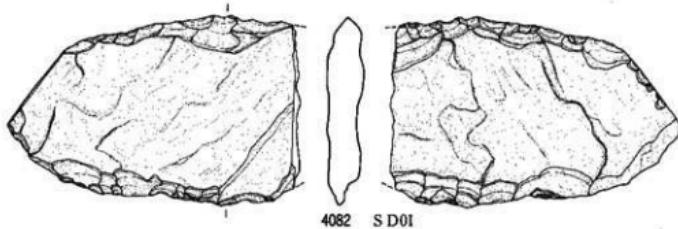
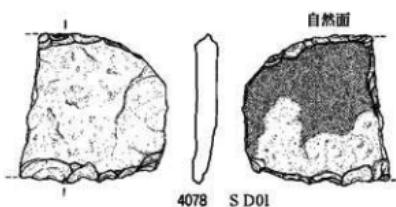
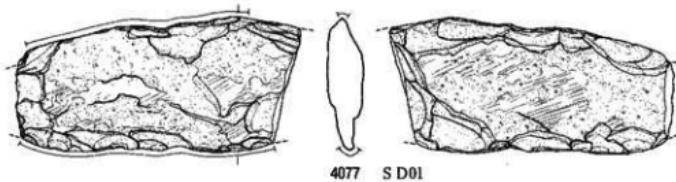
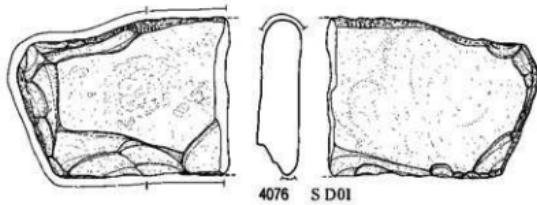
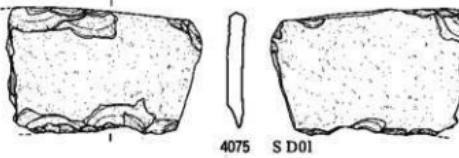
4072 S D01



4073 S D01

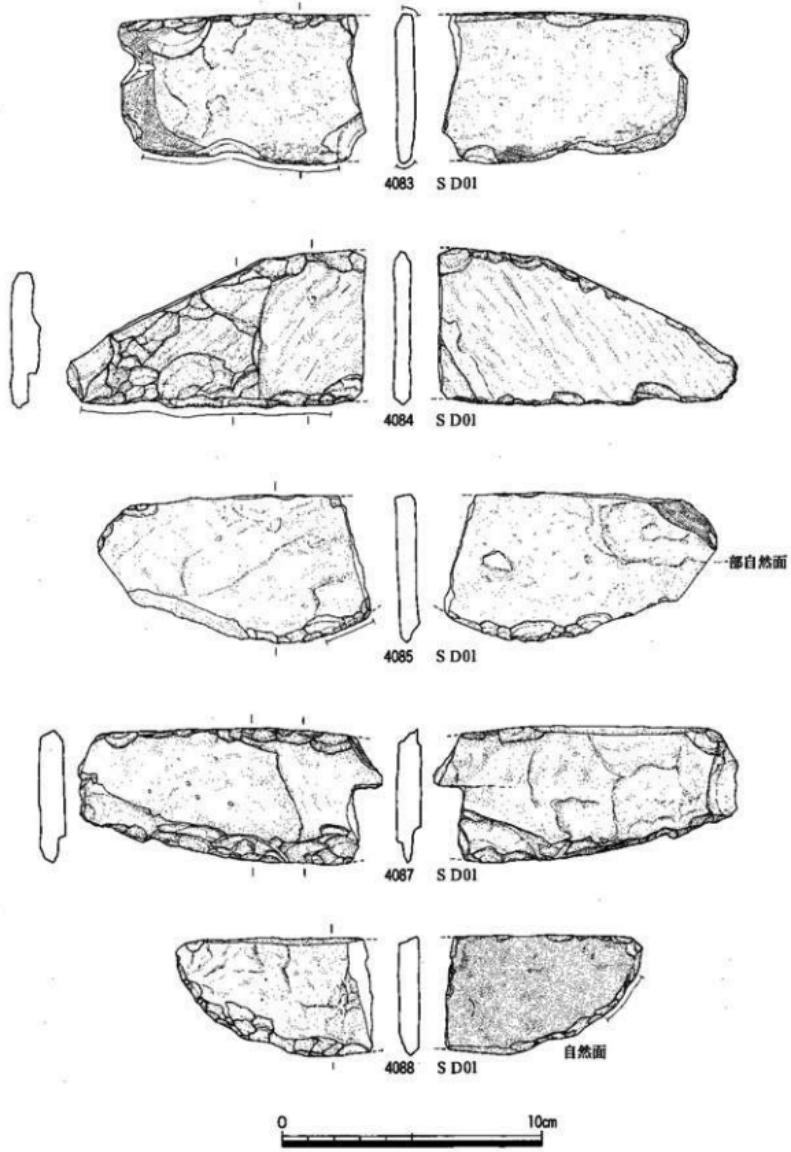


第39図 石包丁未製品 流紋岩製 1 (1/2)

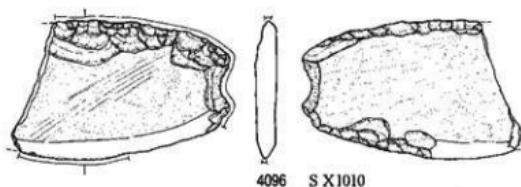
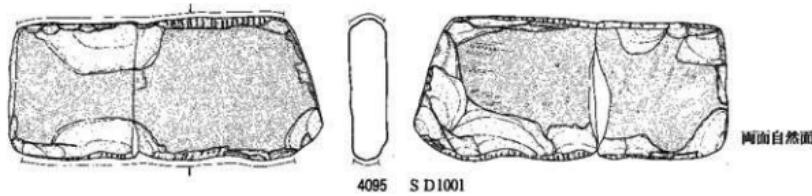
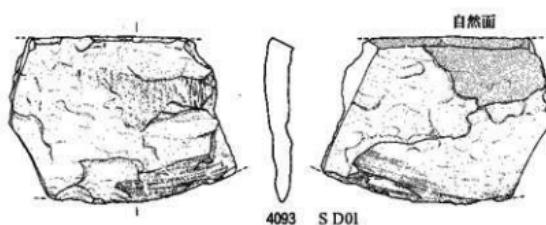
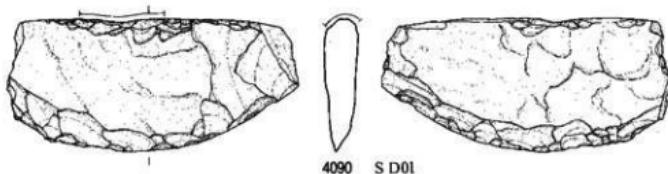
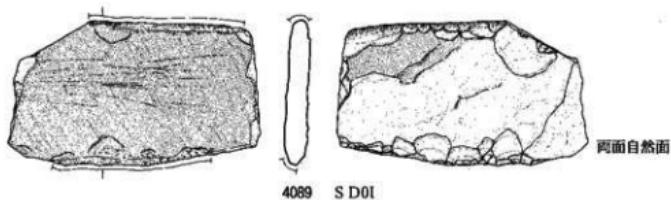


0 10cm

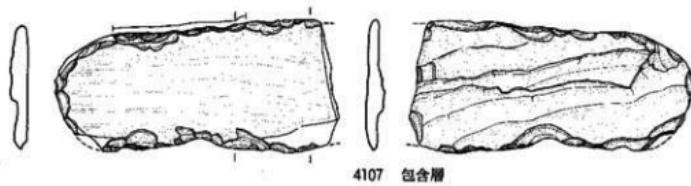
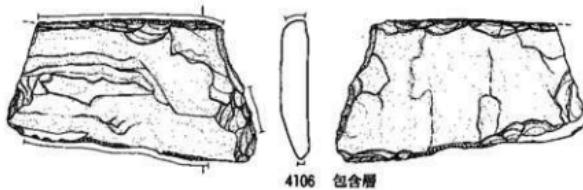
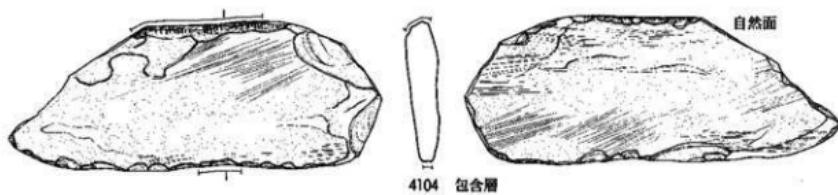
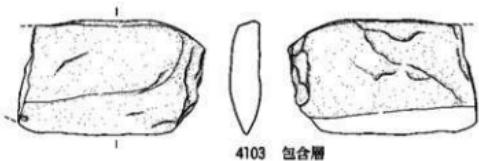
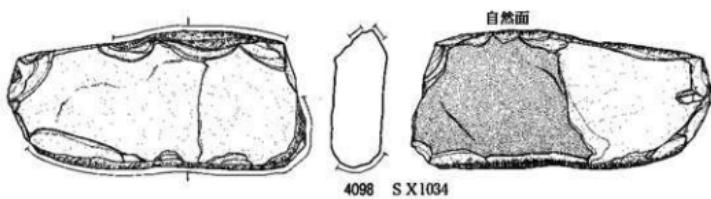
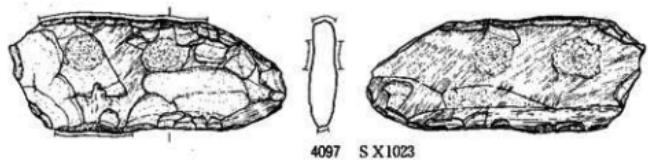
第40図 石包丁未製品 滑紋岩製 2 (1/2)



第41図 石包丁未製品 流紋岩製 3 (1/2)

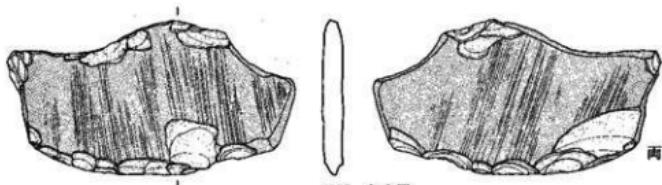


第42図 石包丁未製品 流紋岩製 4 (1/2)



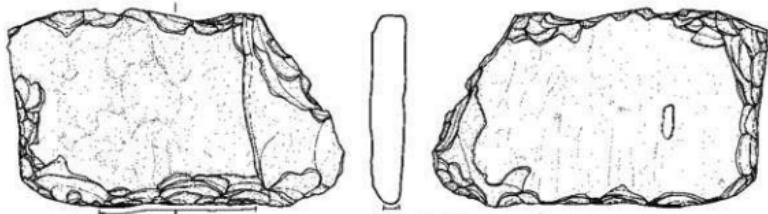
0 10cm

第43図 石包丁未製品 流紋岩製 5 (1/2)

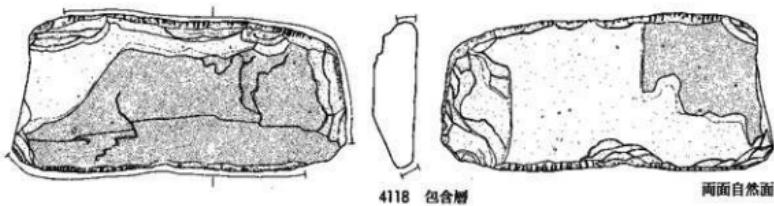


4110 包含層

両面自然面

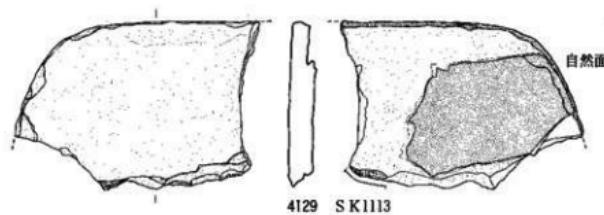


4114 包含層



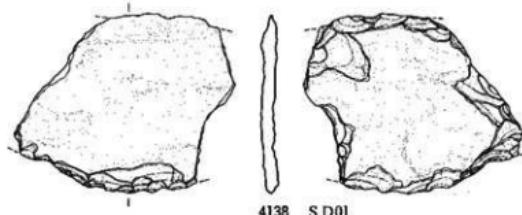
4118 包含層

両面自然面



4129 SK1113

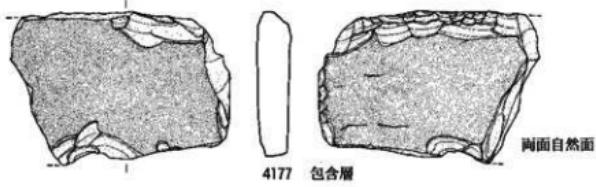
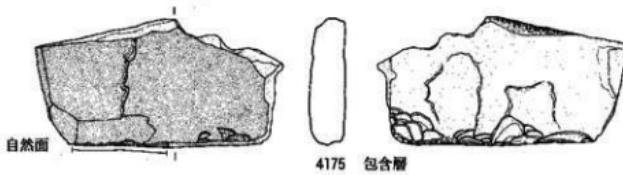
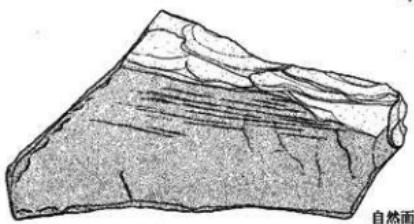
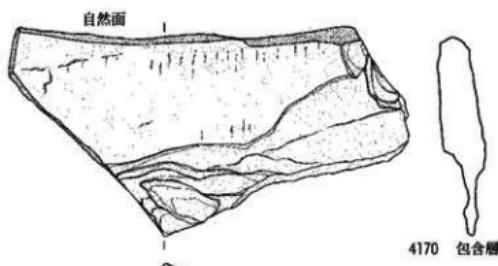
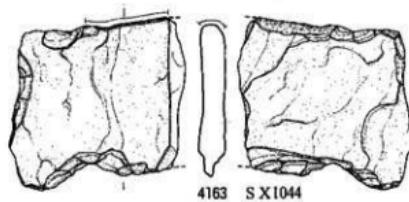
自然面



4138 SD01

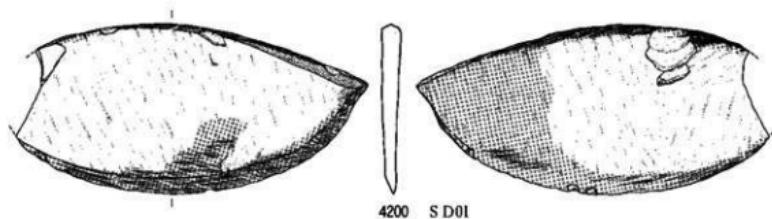
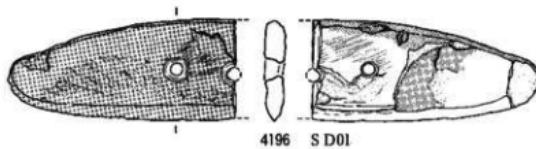
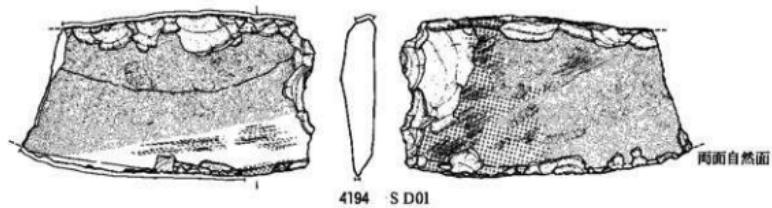
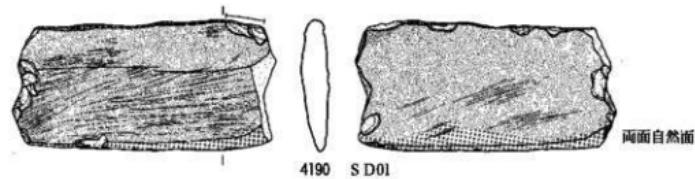
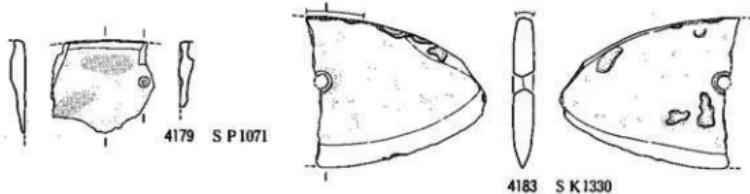
0 10cm

第44図 石包丁未製品 流紋岩製 6 (1/2)



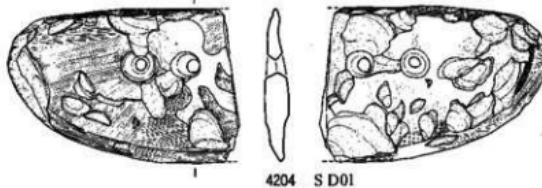
0 10cm

第45図 石包丁未製品 流紋岩製 7 (1/2)

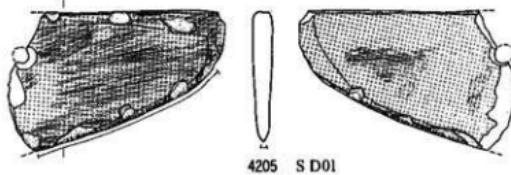


0 10cm

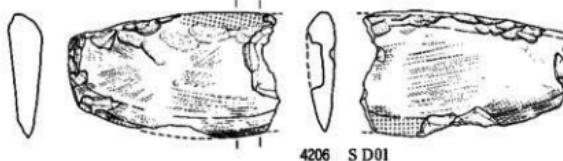
第46図 磨製石包丁 安山岩製 1 (1/2)



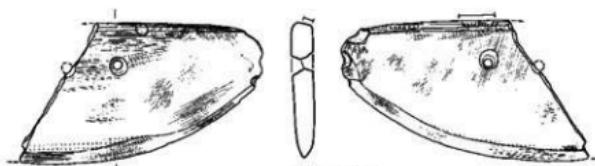
4204 S D01



4205 S D01



4206 S D01



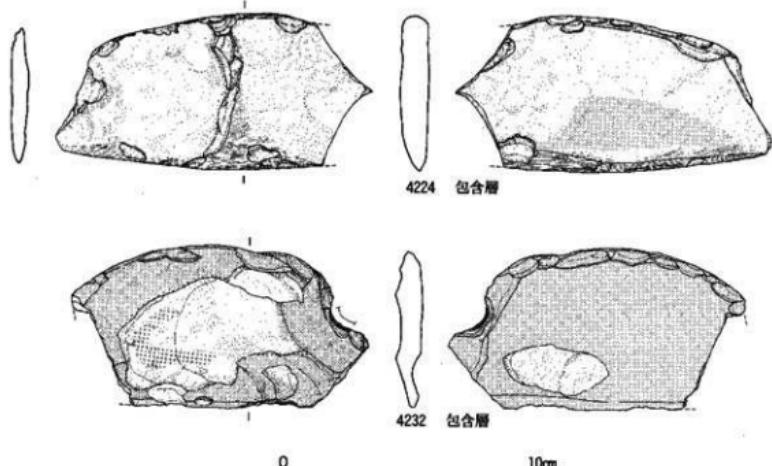
4214 包含層



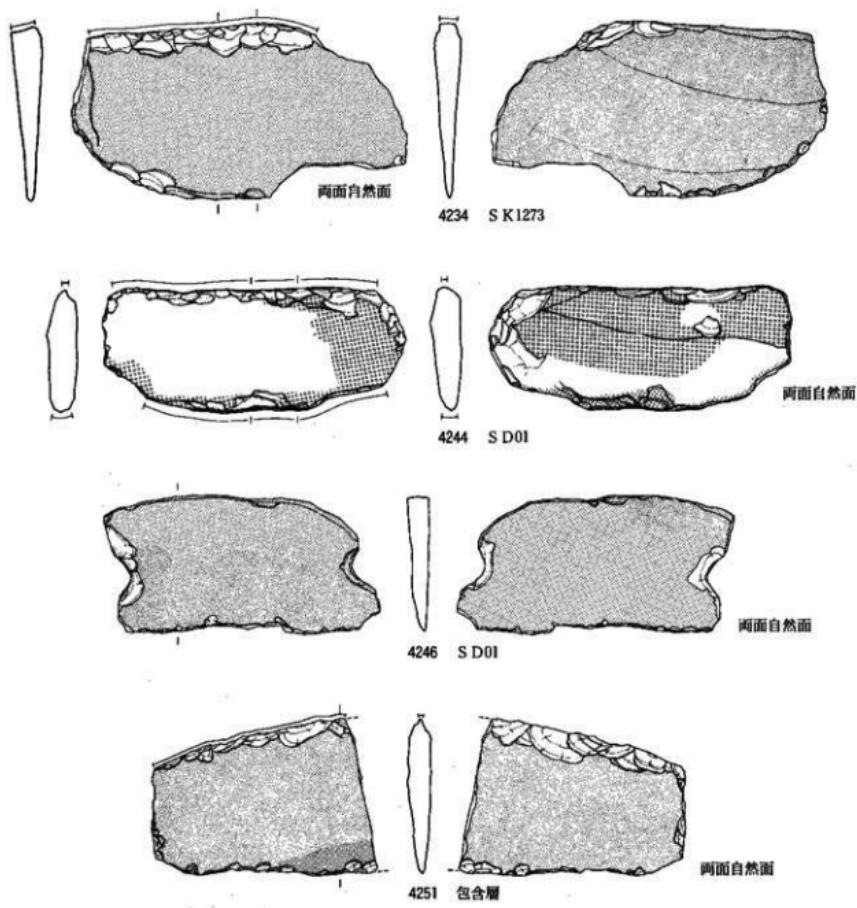
4217 包含層

兩面自然面？

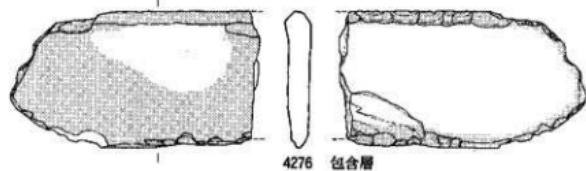
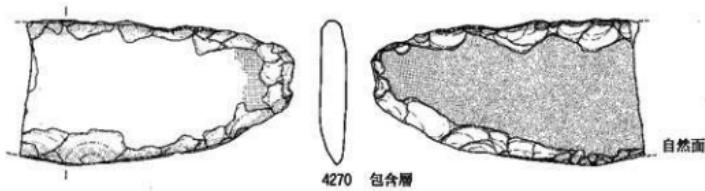
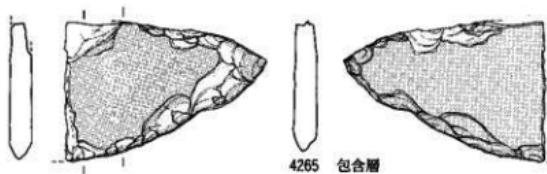
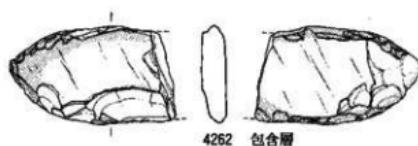
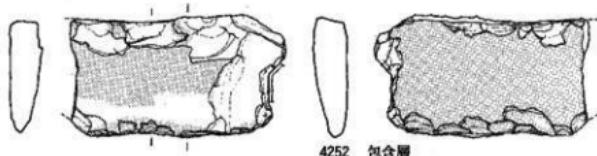
0 10cm  
第47圖 磨製石包丁 安山岩製 2 (1/2)



第48図 磨製石包丁 安山岩製 3 (1/2)

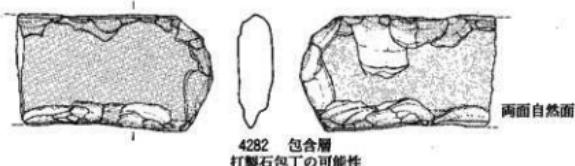


第49圖 打製石包丁 安山岩製 1 (1/2)



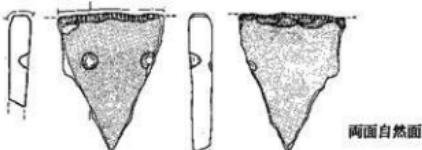
0 10cm

第50図 打製石包丁 安山岩製 2 (1/2)



4282 包含層  
打製石包丁の可能性

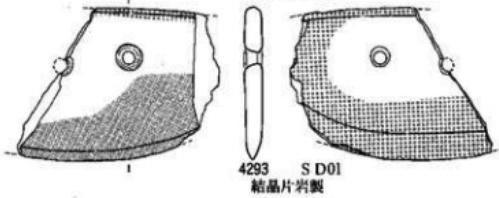
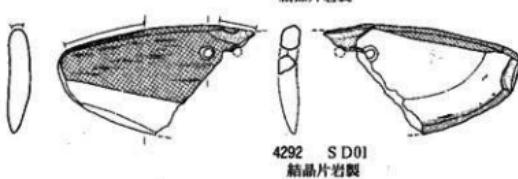
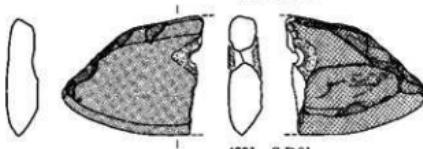
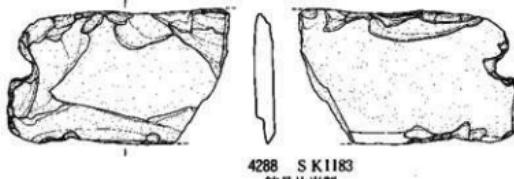
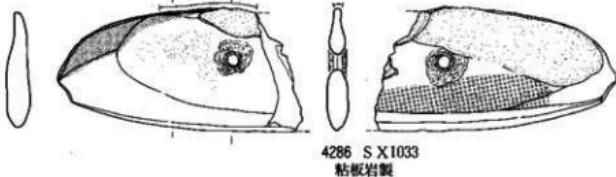
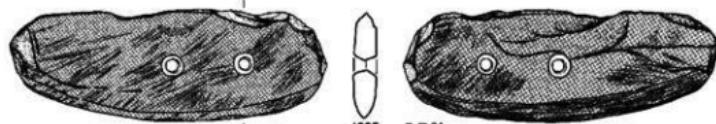
両面自然面



4284 包含層  
石包丁未製品または石包丁

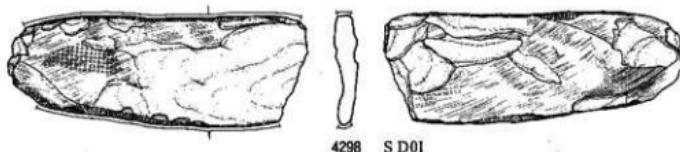
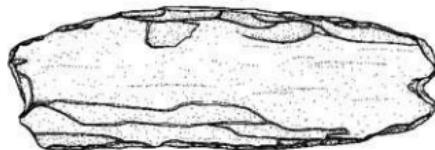
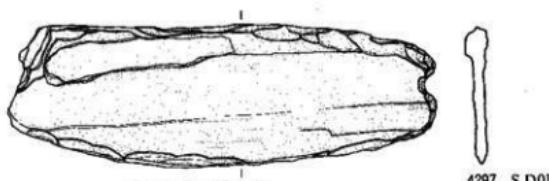
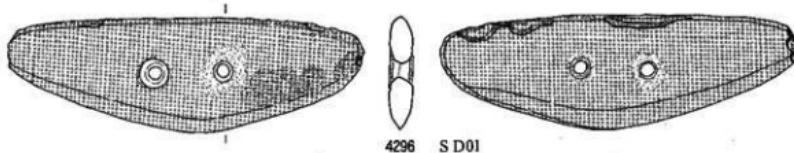
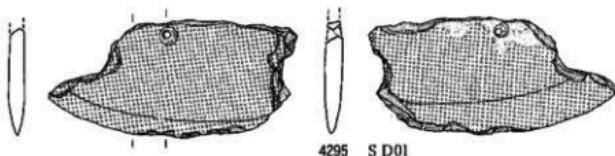
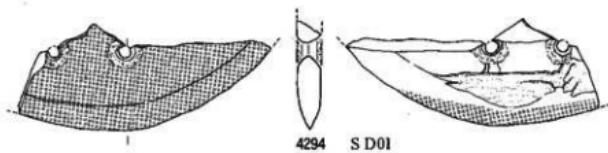
0 10cm

第51図 打製石包丁 安山岩製 3 石包丁未製品または石包丁 安山岩製 (1/2)



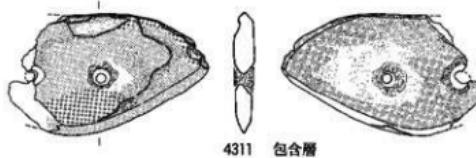
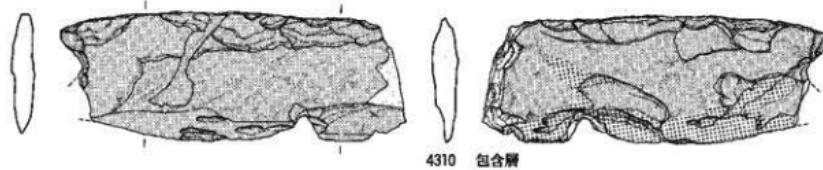
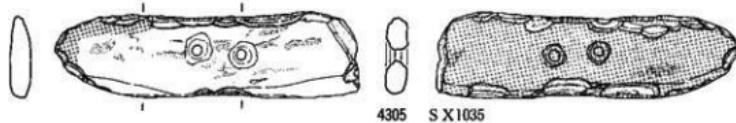
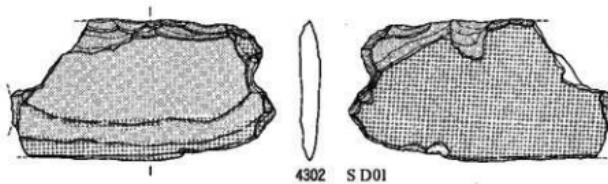
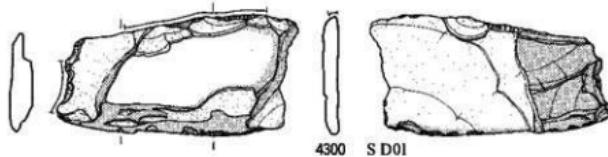
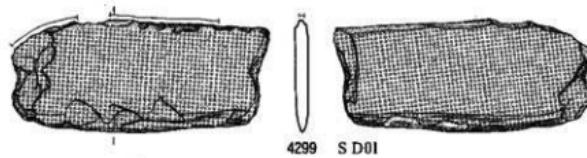
0 10cm

第52図 磨製石包丁 粘板岩製 磨製石包丁 結晶片岩製 1 (1/2)

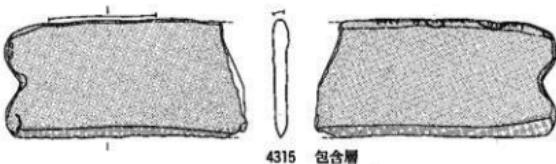


0 10cm

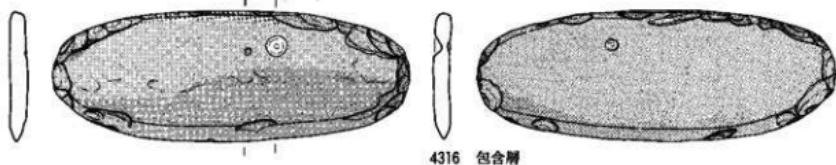
第53図 磨製石包丁 結晶片岩製 2 (1/2)



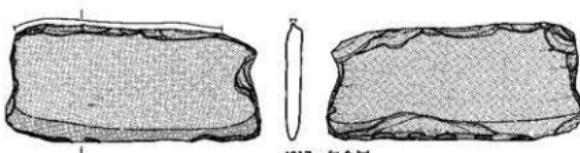
0 10cm  
第54図 磨製石包丁 結晶片岩製 3 (1/2)



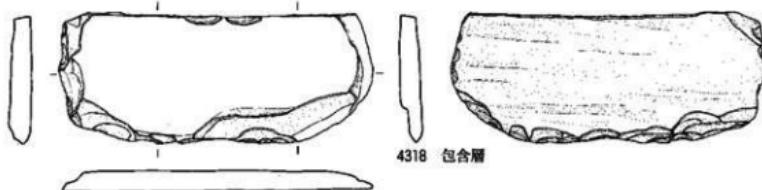
4315 包含層



4316 包含層



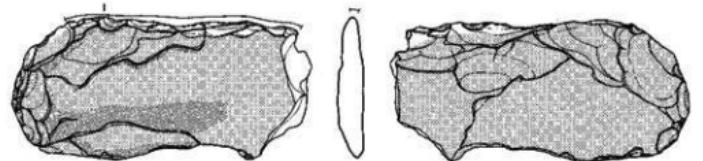
4317 包含層



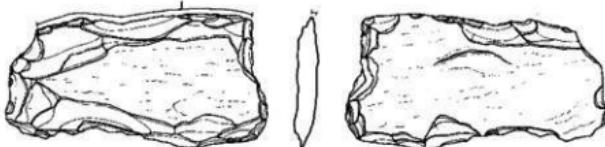
4318 包含層

0 10cm

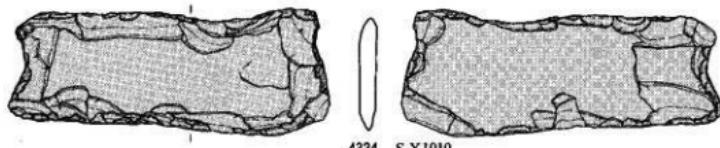
第55圖 磨製石包丁 結晶片岩製 4 (1/2)



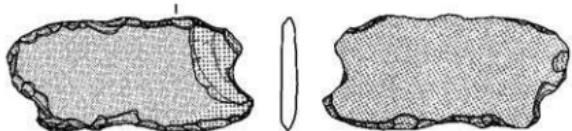
4321 S D01



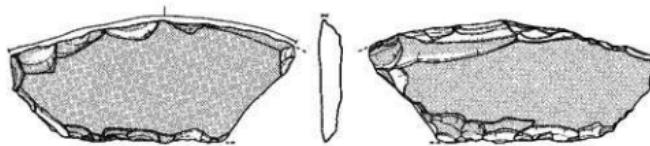
4323 S D01



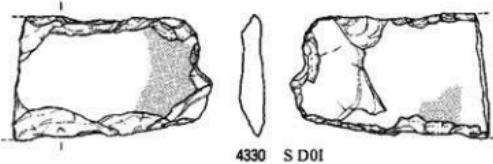
4324 S X1010



4325 S X1051

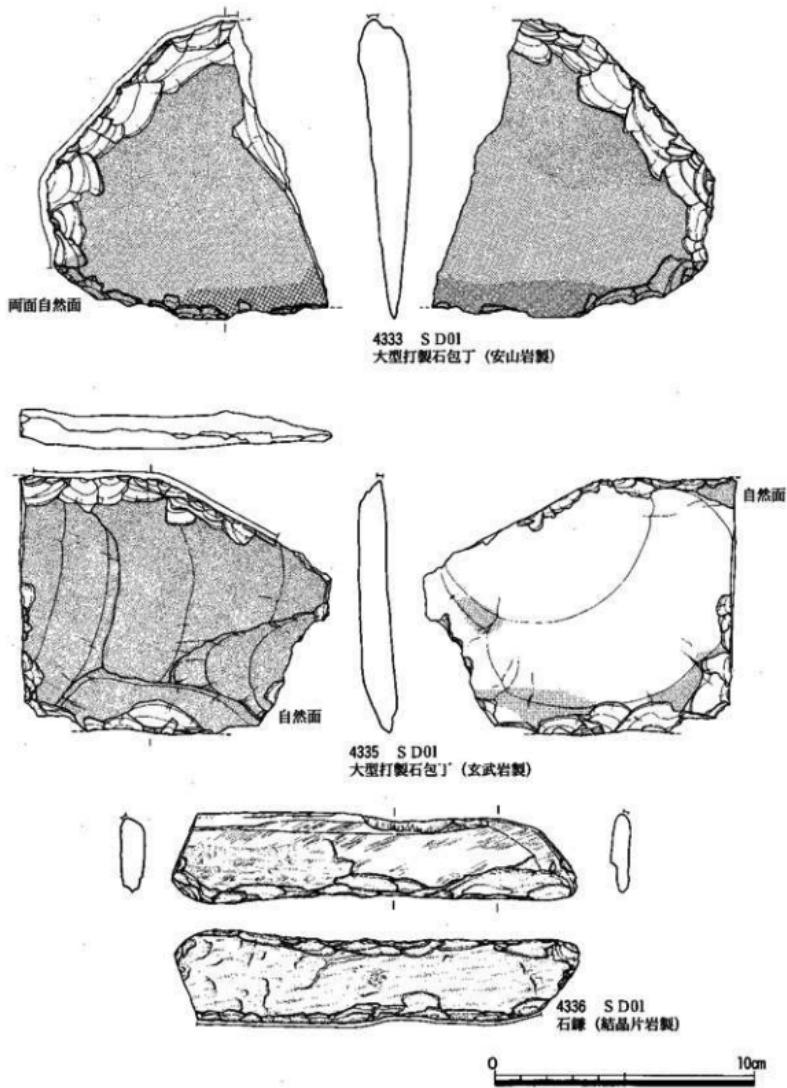


4326 包含層

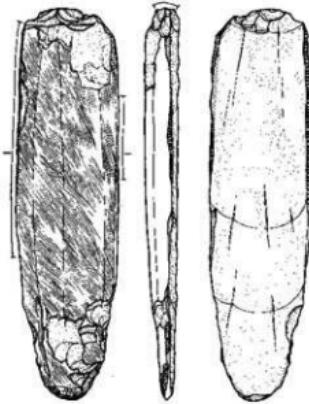


4330 S D01

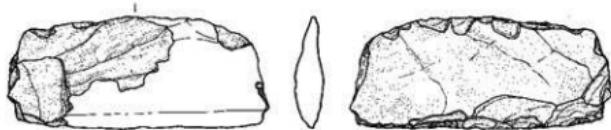
0 10cm  
第56図 打製石包丁 結晶片岩製 1 (1/2)



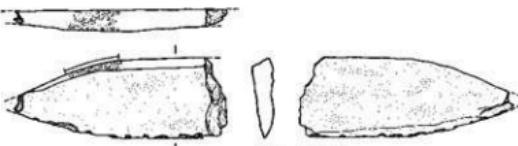
第57図 大型打製石包丁 安山岩製 大型打製石包丁 玄武岩製 石鎌 結晶片岩製 (1/2)



4339 S D01  
不明 (安山岩製)



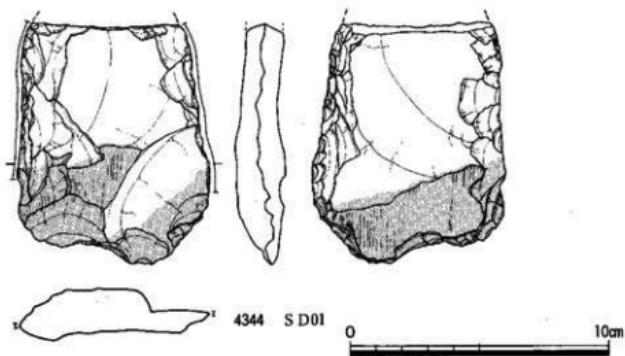
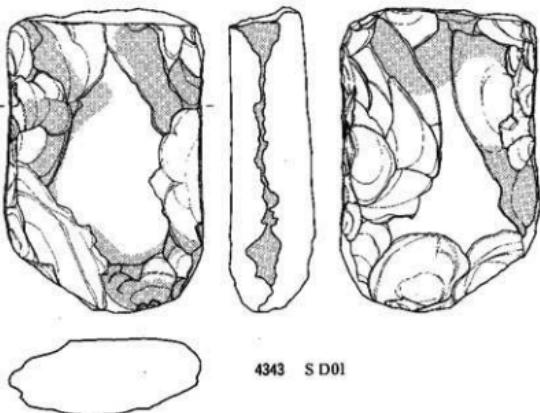
4340 S D01  
スクレイパー (結晶片岩製)



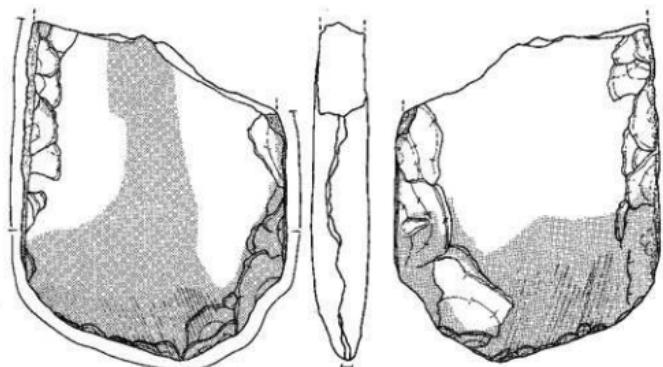
4341 包合層  
スクレイパー (結晶片岩製)



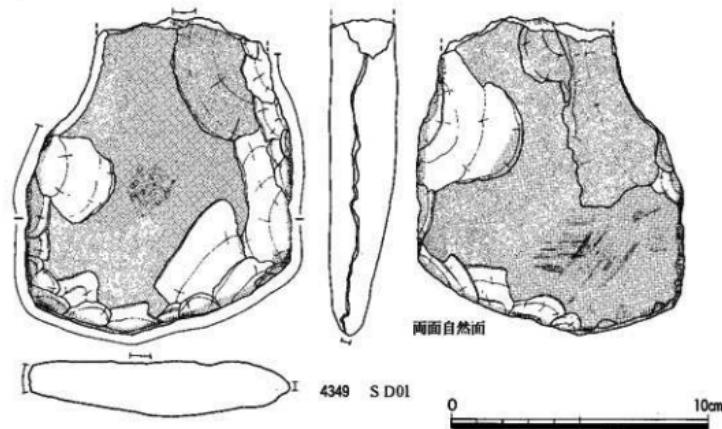
第58図 不明 安山岩製 スクレイパー 結晶片岩製 (1/2)



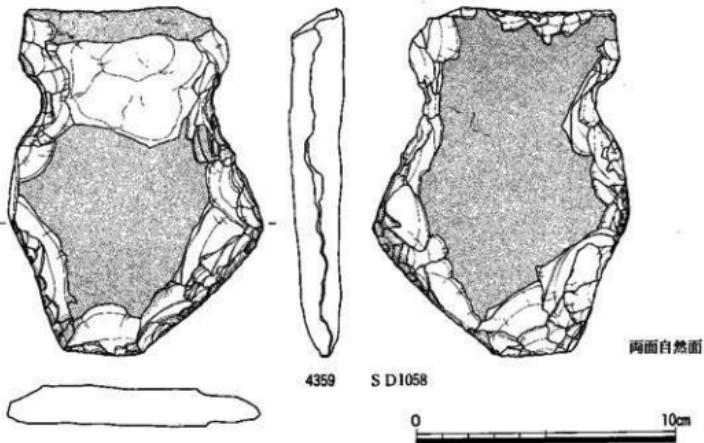
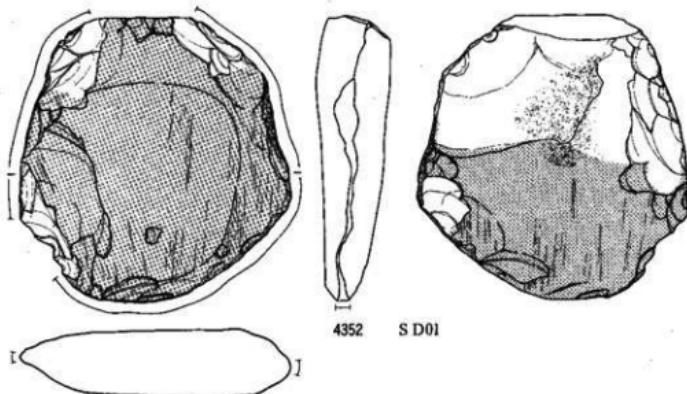
第59図 石鉄 安山岩製 1 (1/2)



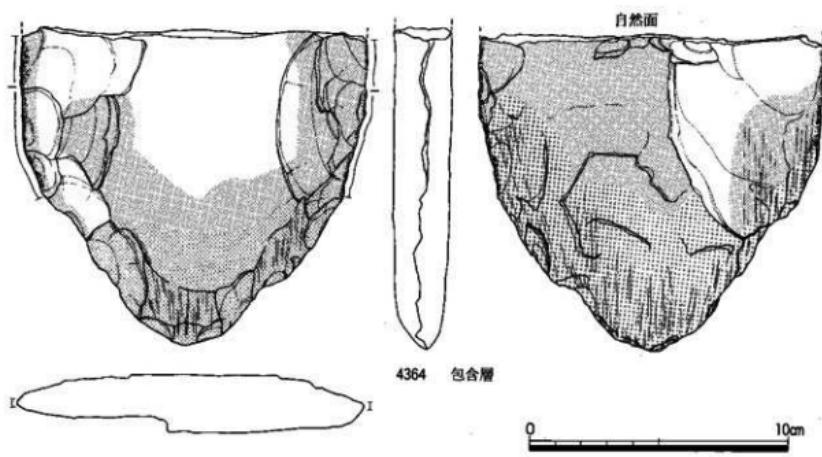
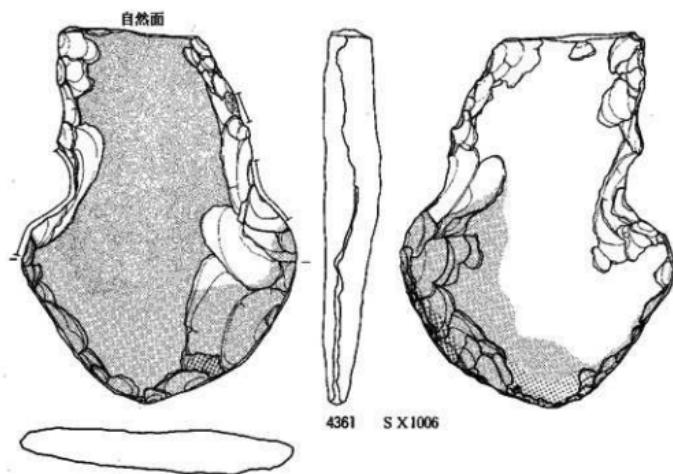
4347 S D01



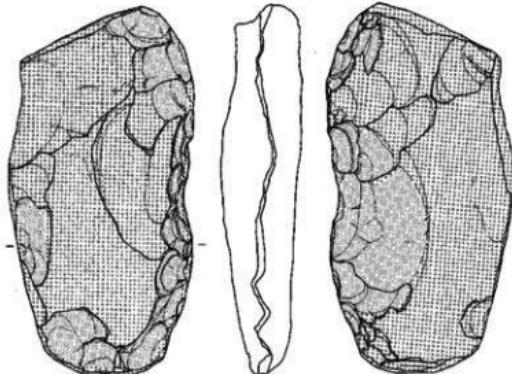
第60図 石鉱 安山岩製 2 (1/2)



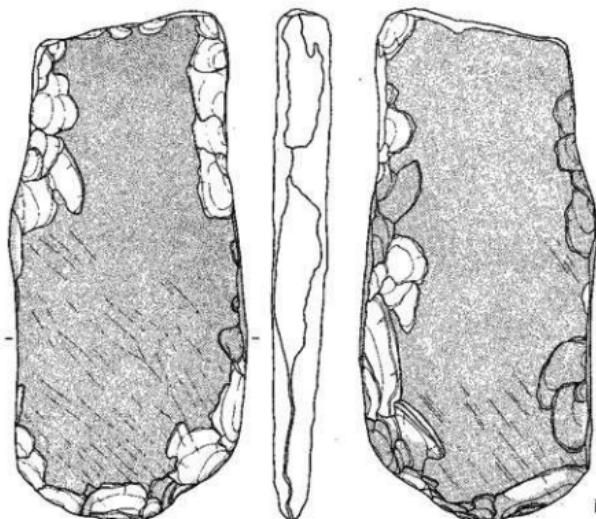
第61圖 石鋤 安山岩製 3 (1/2)



第62図 石鉄 安山岩製 4 (1/2)



4367 包含層

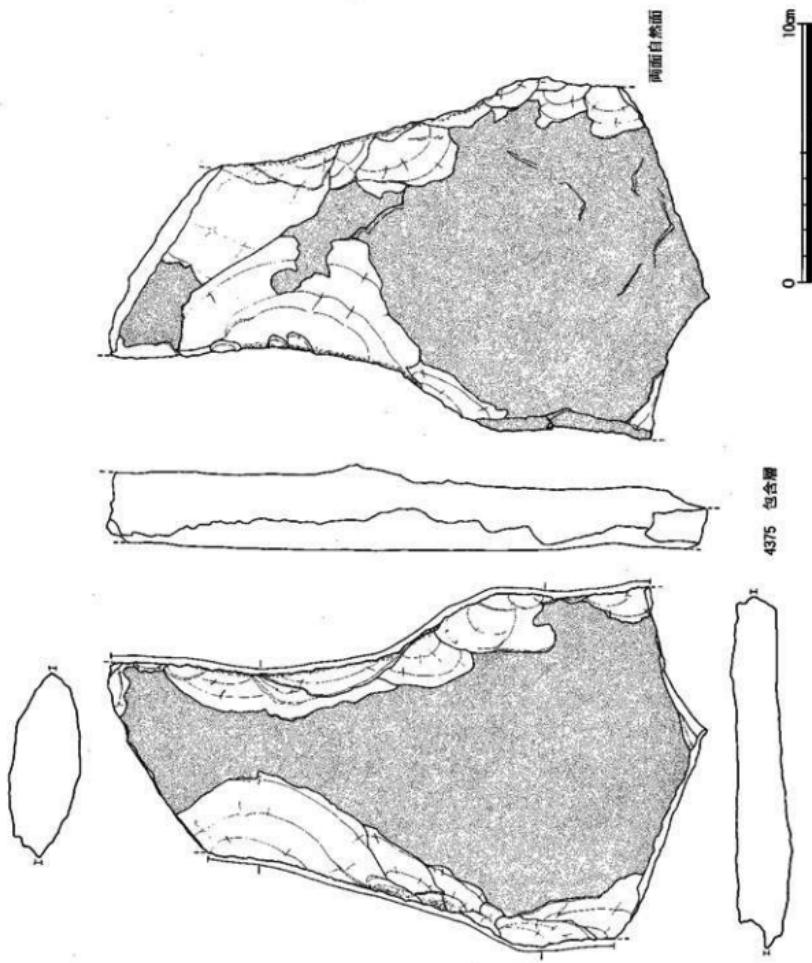


両面自然面

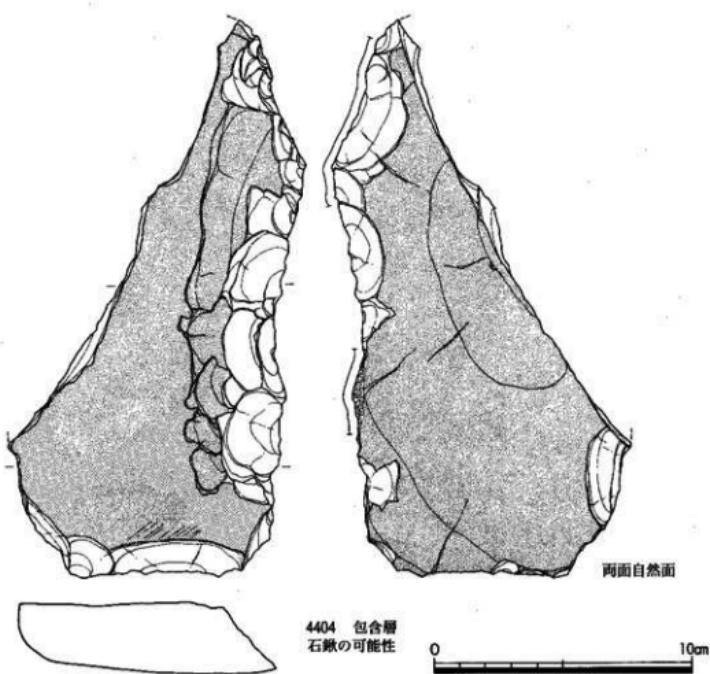
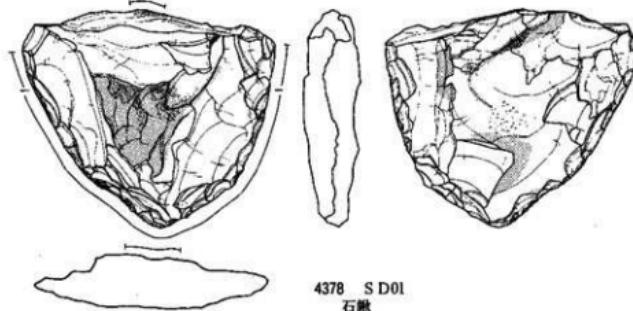
4377 包含層

0 10cm

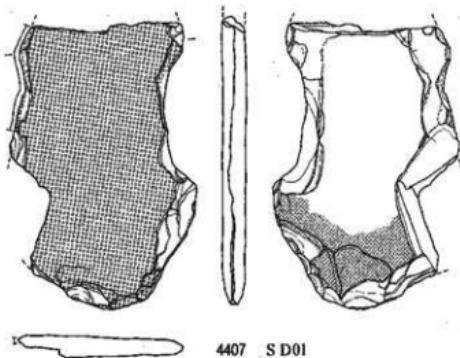
第63図 石鉄 安山岩製 5 (1/2)



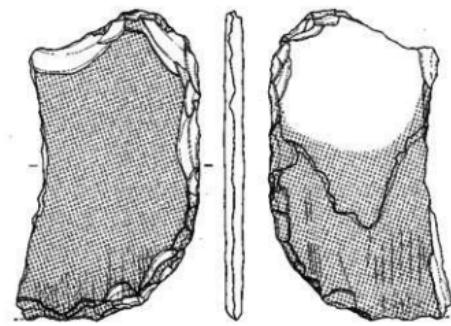
第64図 石鎚 安山岩製 6 (1/2)



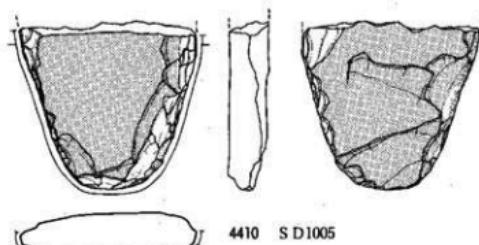
第65図 石器 安山岩製 7 石器の可能性 安山岩製 (1/2)



4407 S D01



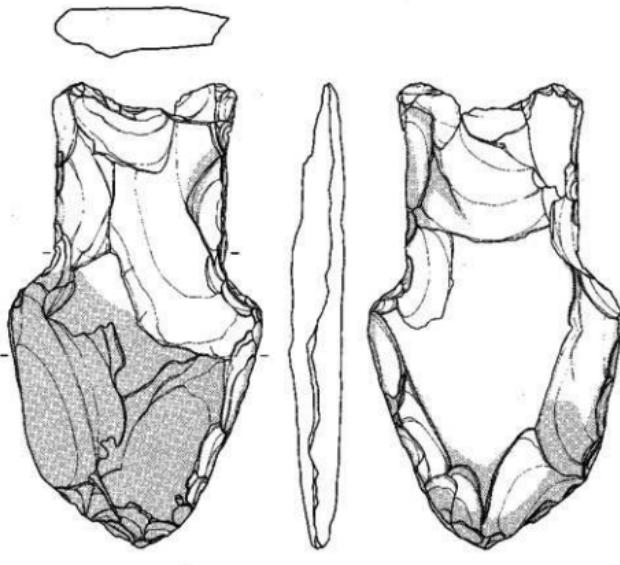
4408 S D01



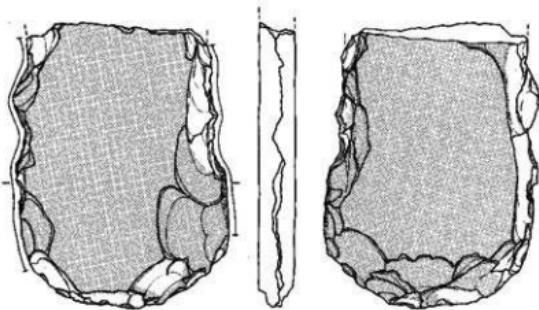
4410 S D1005

0 10cm

第66図 石鋸 結晶片岩製 1 (1/2)



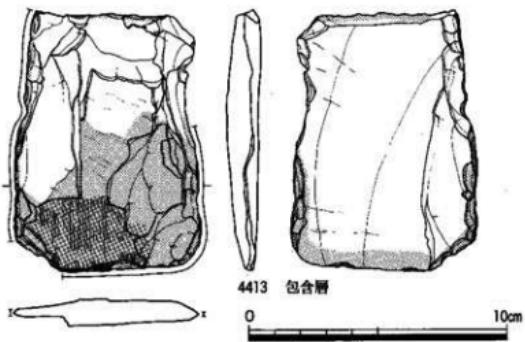
4411 SX1039



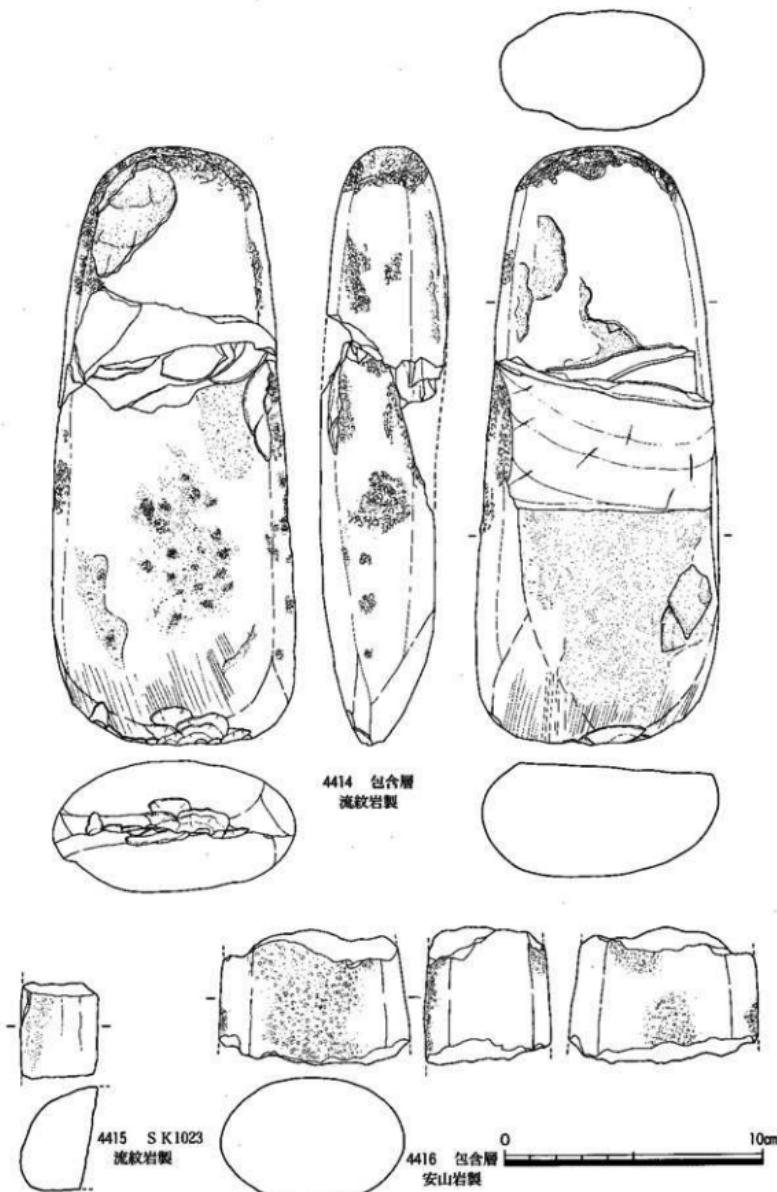
4412 包含層



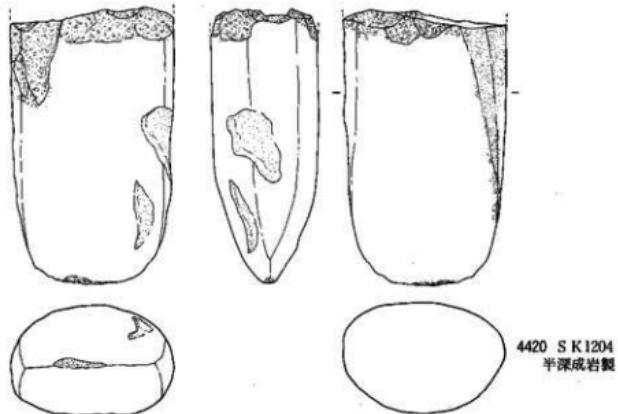
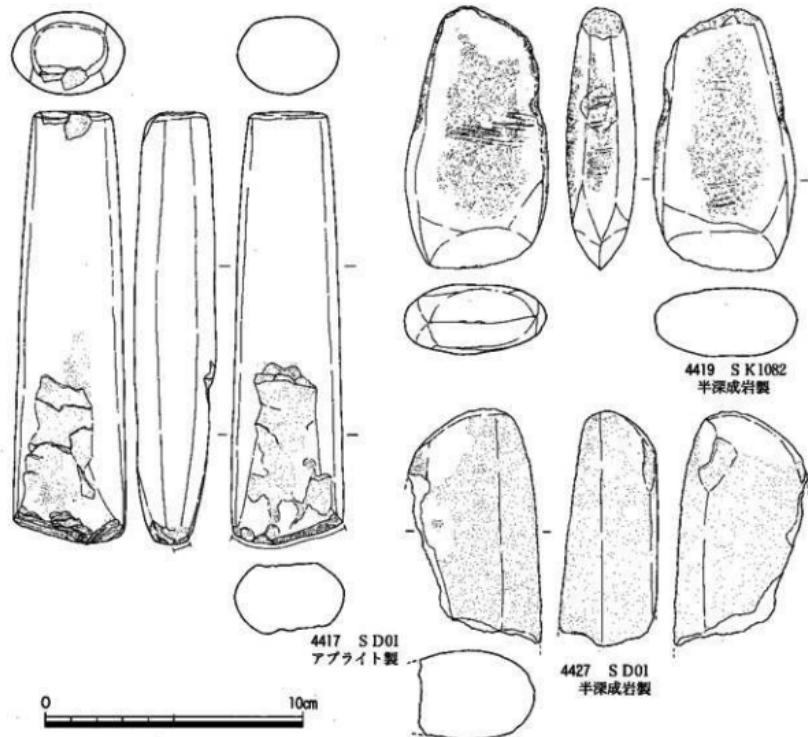
第67図 石鉛 結晶片岩製 2 (1/2)



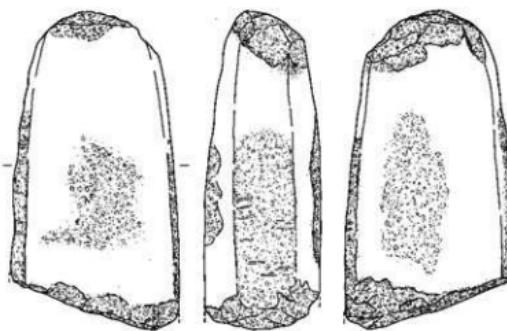
第68図 石鉋 結晶片岩製 3 (1/2)



第69図 大型鉈刃石斧 流紋岩製・安山岩製 (1/2)

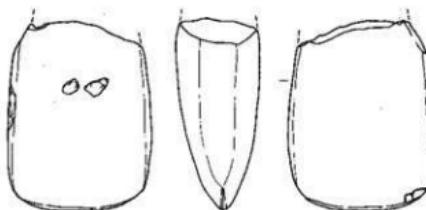


第70図 大型蛤刃石斧 アブライト製 大型蛤刃石斧 半深成岩製 1 (1/2)

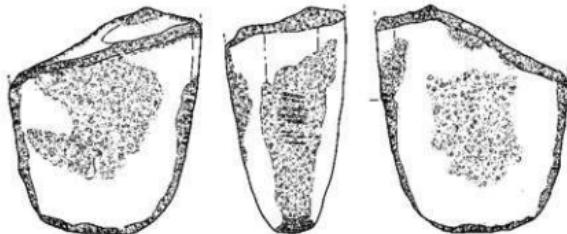


4422 S D01

0 10cm

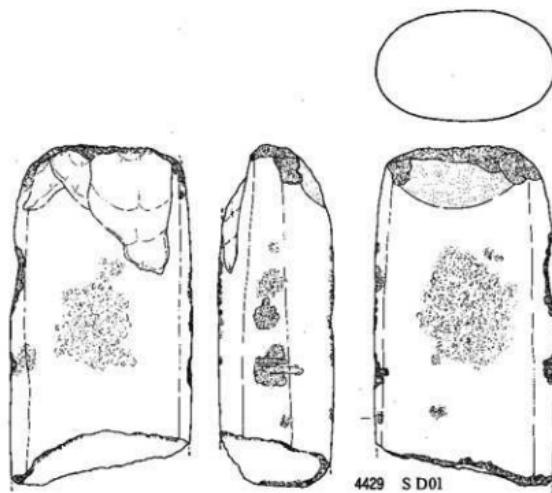


4430 S D01

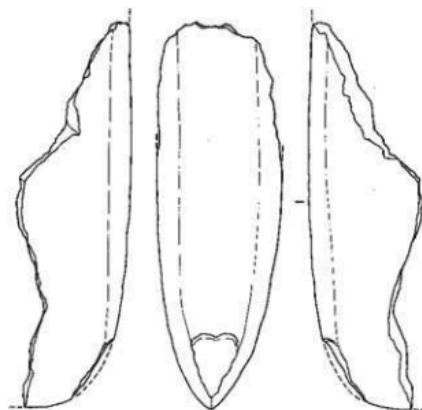


4431 S D01

第71図 大型蛤刃石斧 半深成岩製 2 (1/2)



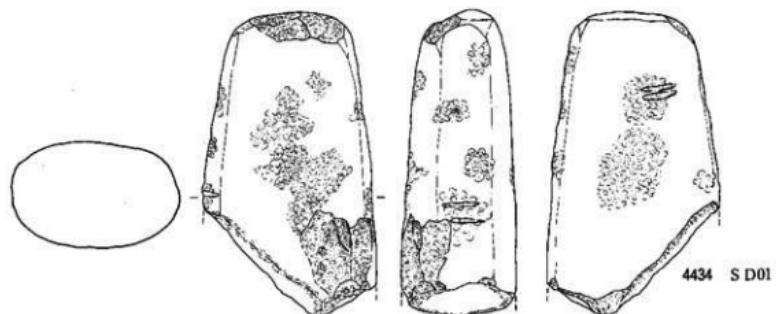
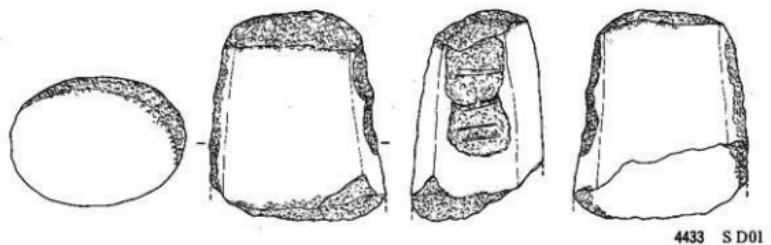
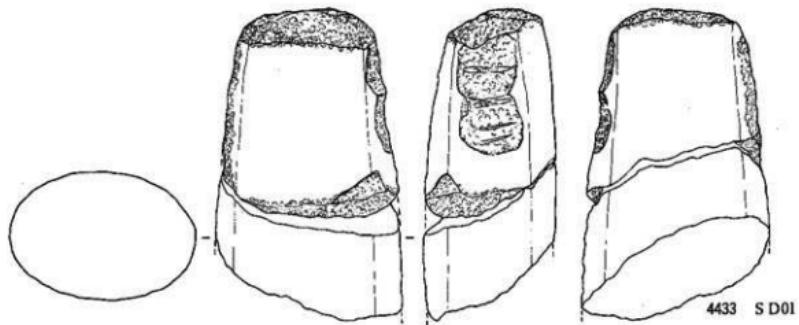
4429 S D01



4432 S D01

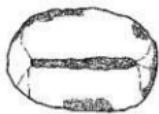
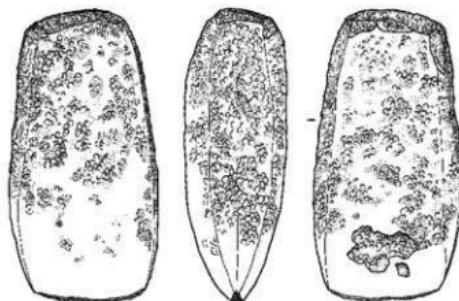


第72図 大型蛤刃石斧 半深成岩製 3 (1/2)

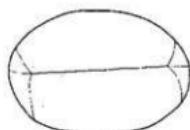
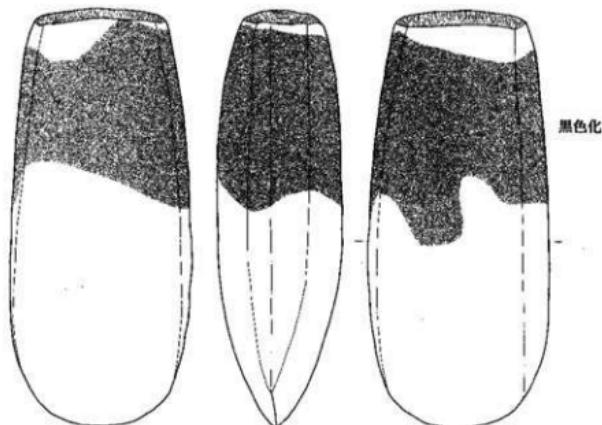


0 10cm

第73図 大型蛤刃石斧 半深成岩製 4 (1/2)



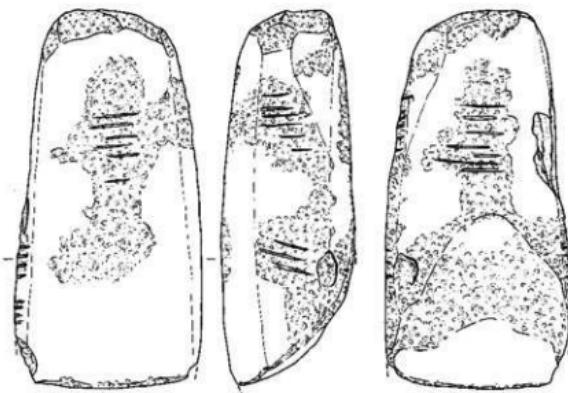
4435 S D01



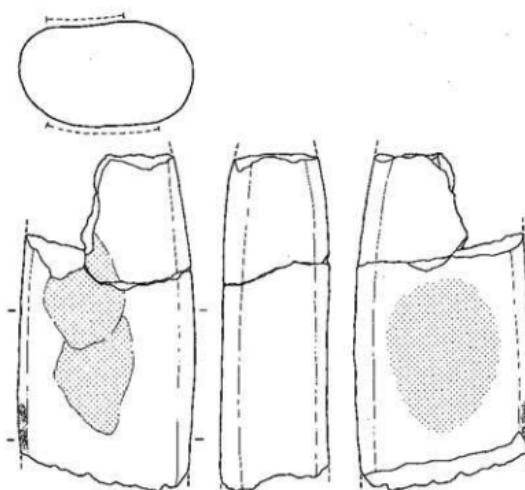
4437 S D01



第74図 太型蛤刃石斧 半深成岩製 5 (1/2)



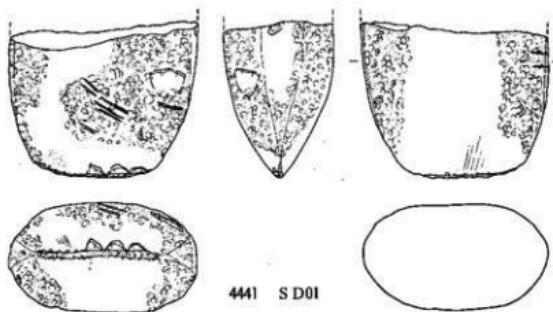
4438 S D01



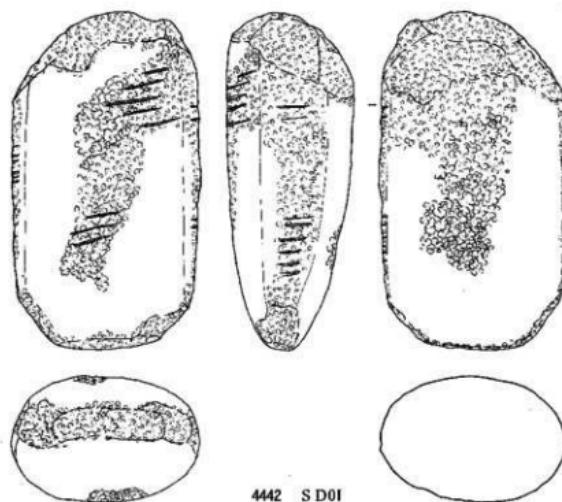
4440 S D01

0 10cm

第75図 大型蛤刃石斧 半深成岩製 6 (1/2)



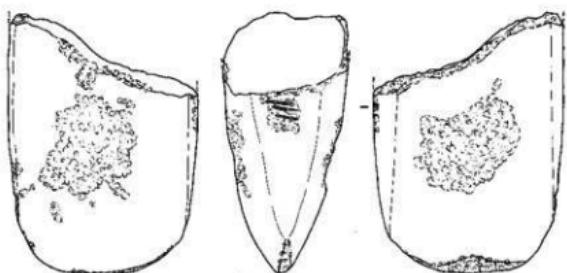
4441 S D01



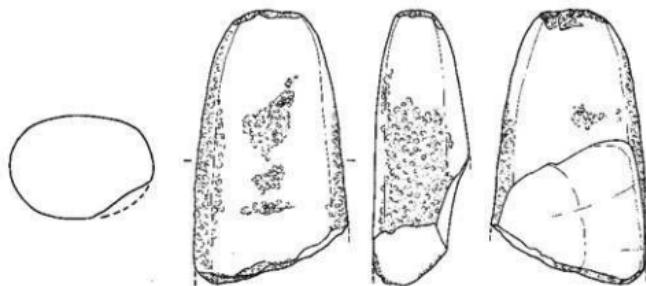
4442 S D01



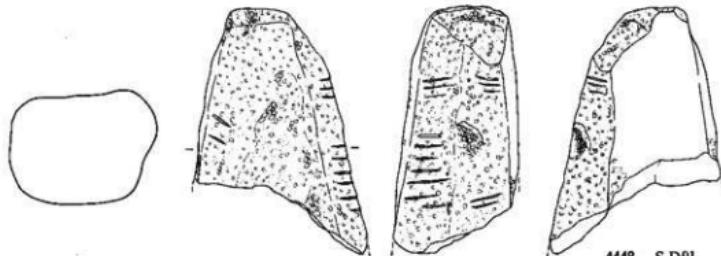
第76図 大型鉈刃石斧 半深成岩製 7 (1/2)



4446 S D01



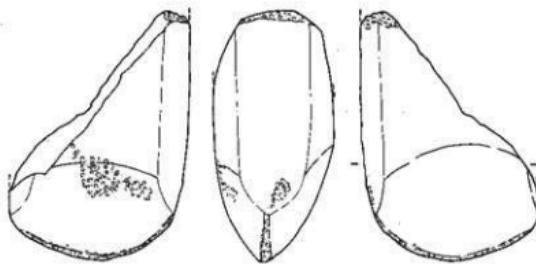
4447 S D01



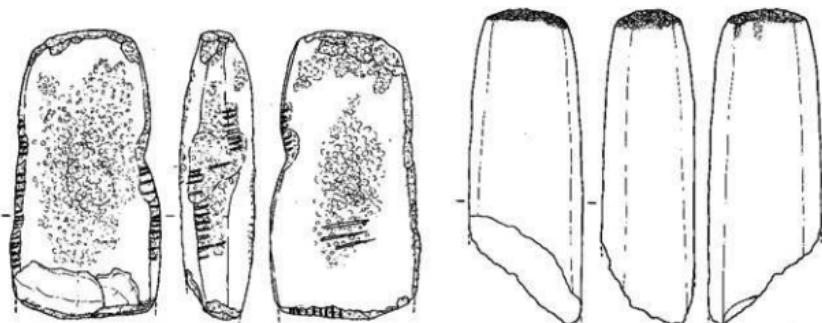
4448 S D01



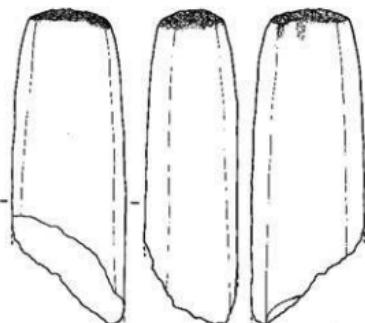
第77図 大型蛤刃石斧 半深成岩製 8 (1/2)



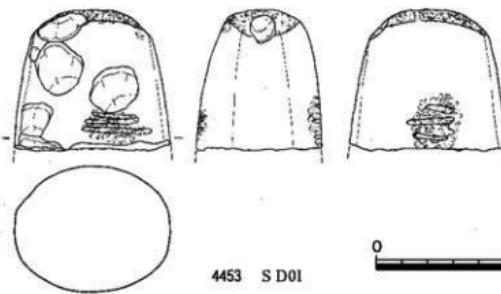
4451 S D01



4452 S D01



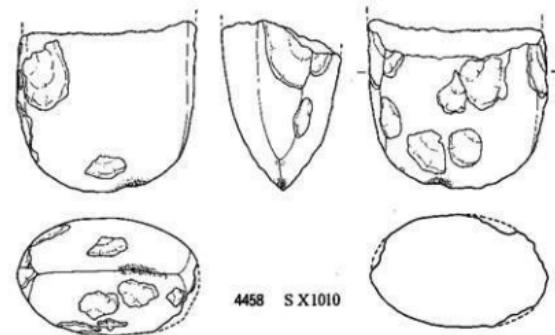
4454 S D01



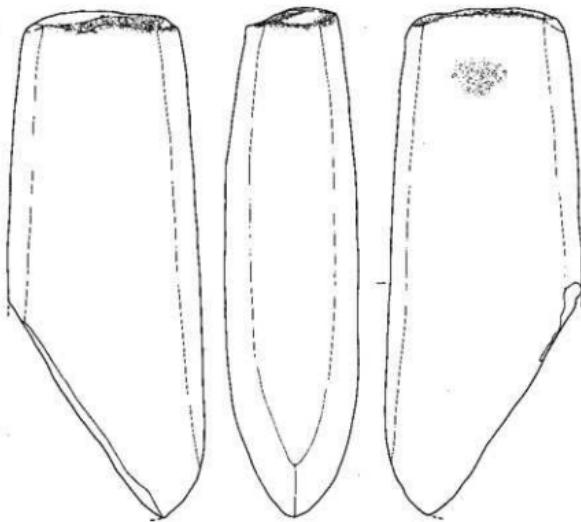
4453 S D01

0 10cm

第78図 大型蛤刃石斧 半深成岩製 9 (1/2)



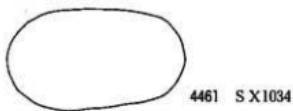
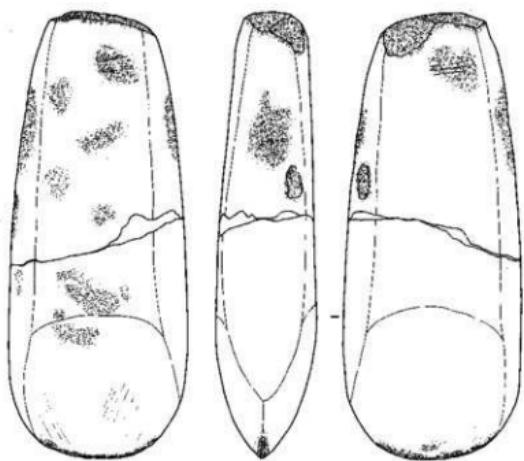
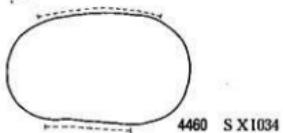
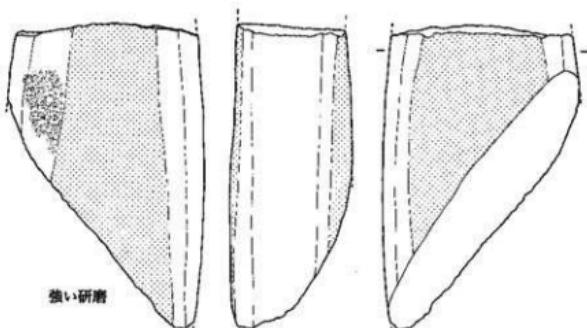
4458 SX1010



4455 SD1015

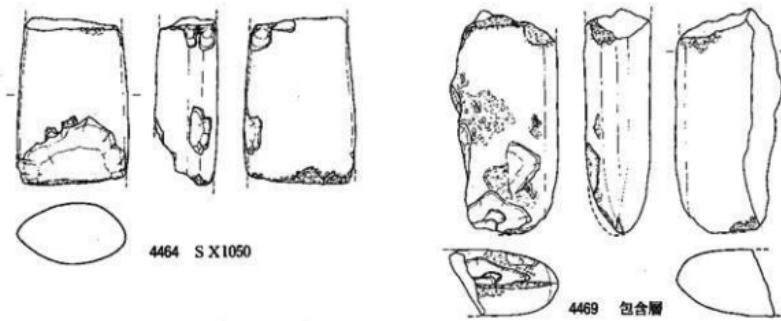
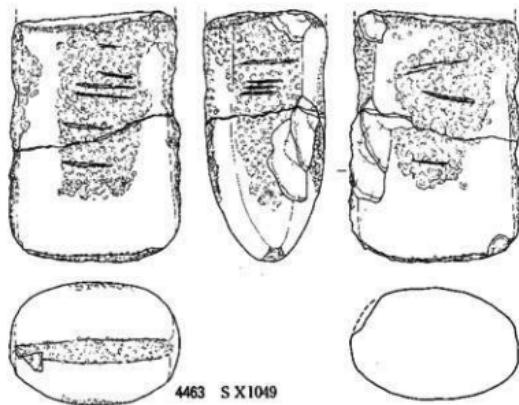
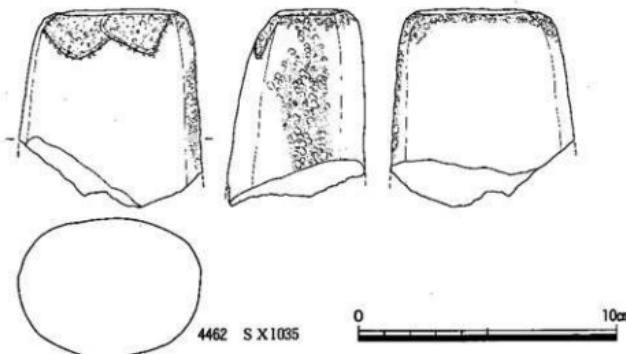


第79図 大型蛤刃石斧 半深成岩製 10 (1/2)

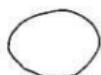
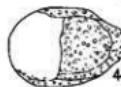
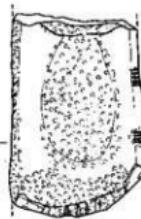
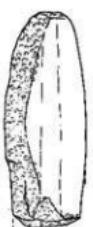
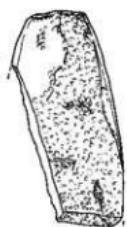


0 10cm

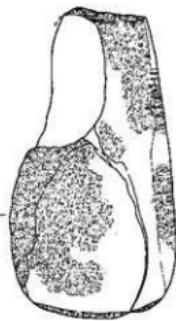
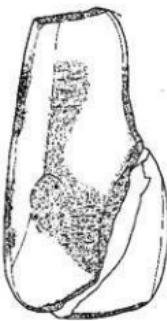
第80図 大型蛤刃石斧 半深成岩製 11 (1/2)



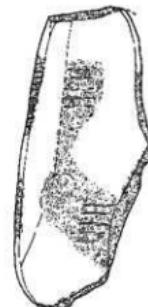
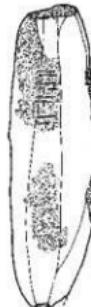
第81図 大型蛤刃石斧 半深成岩解 12 (1/2)



4479 包含層



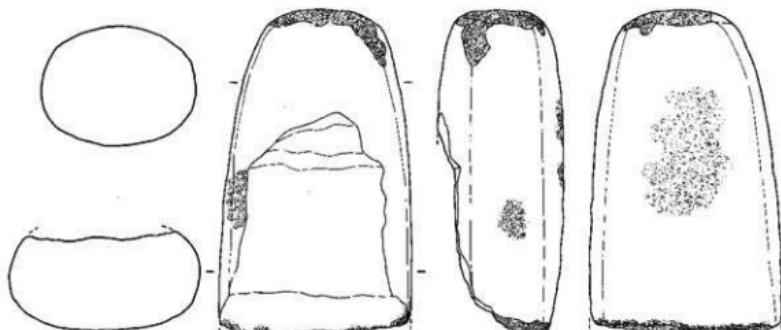
4480 包含層



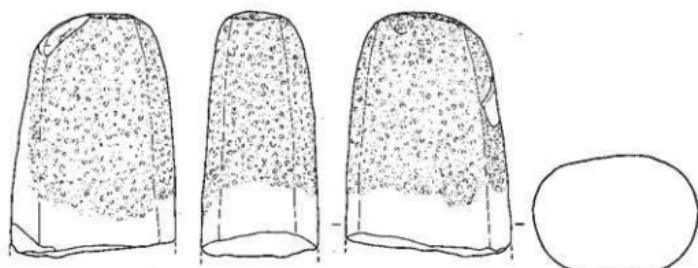
4480 包含層

0 10cm

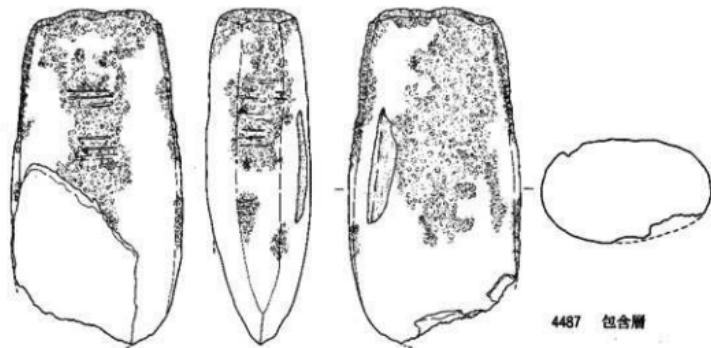
第82圖 大型蛤刃石斧 半裸成岩製 13 (1/2)



4483 包含層



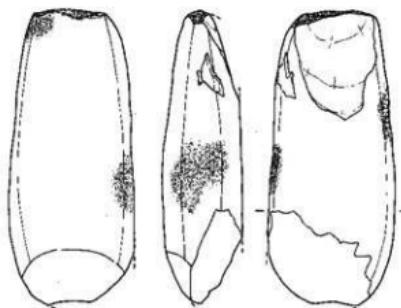
4484 包含層



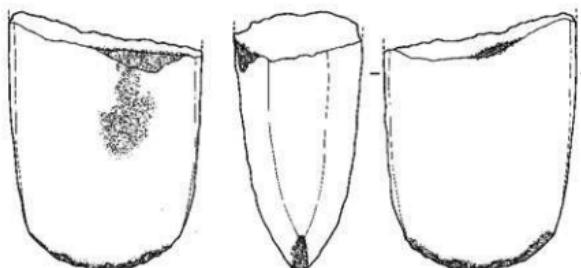
4487 包含層

0 10cm

第83図 大型始刃石斧 半深成岩製 14 (1/2)



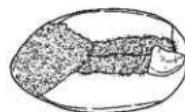
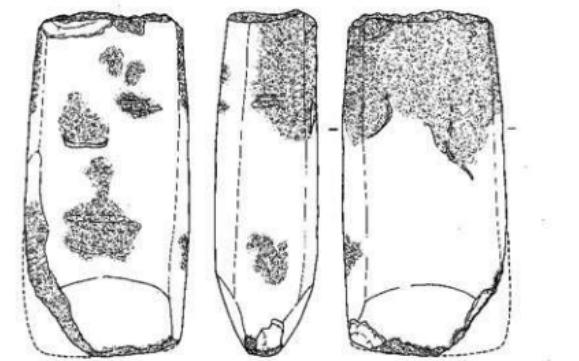
4488 包含層



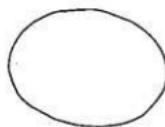
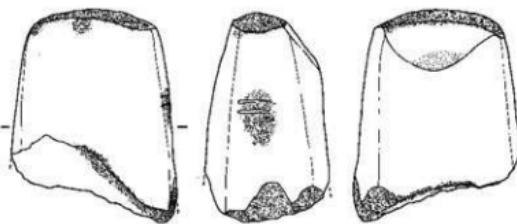
4490 包含層

0 10cm

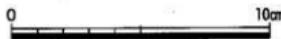
第84図 大型始刃石斧 半深成岩製 15 (1/2)



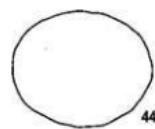
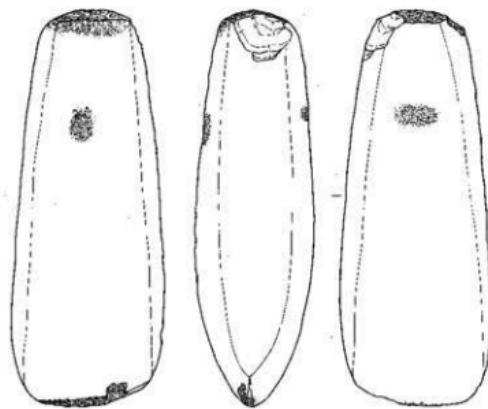
4494 包含層



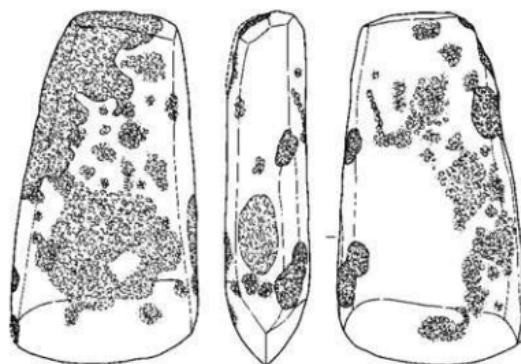
4495 包含層



第85図 太型始刃石斧 半深成岩製 16 (1/2)



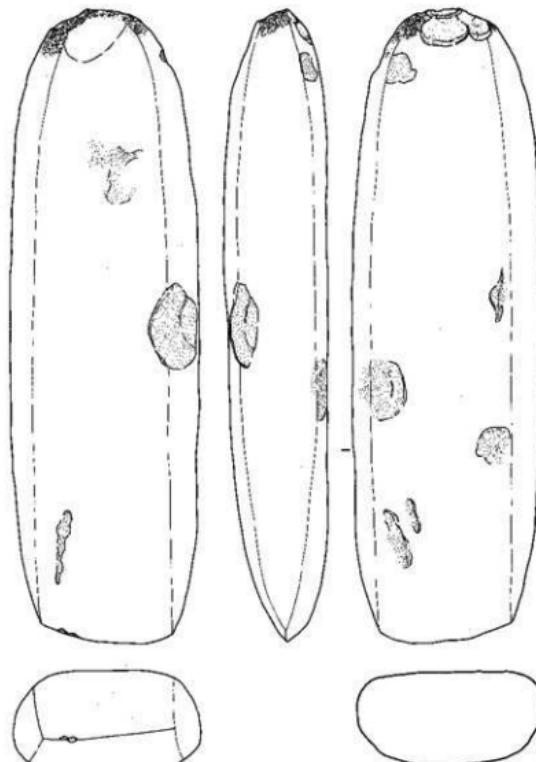
4498 包含層



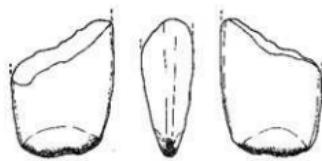
4500 包含層

0 10cm

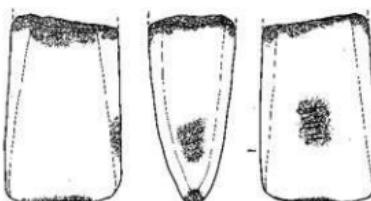
第86図 太型蛤刃石斧 半深成岩製 17 (1/2)



4501 包含層



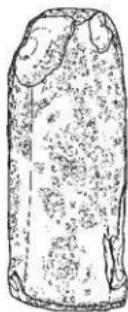
4502 包含層



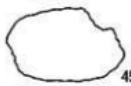
4503 包含層



第87図 大型蛤刃石斧 半済成岩製 18 (1/2)



4506 S D01



4504 S K1030



強い磨滅  
4507 S D01

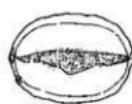
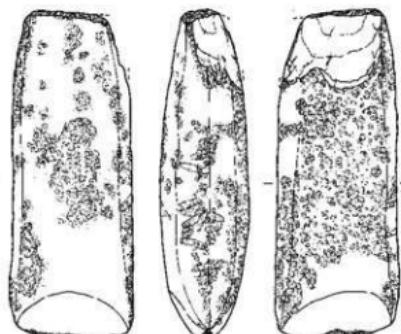


4508 S D01

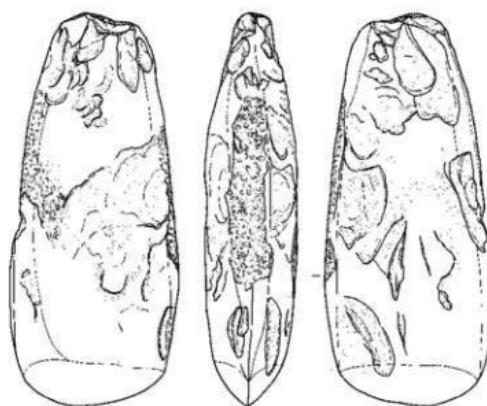
0 10cm

4505 S D01

第88図 大型蛤刃石斧 結晶片岩製 1 (1/2)



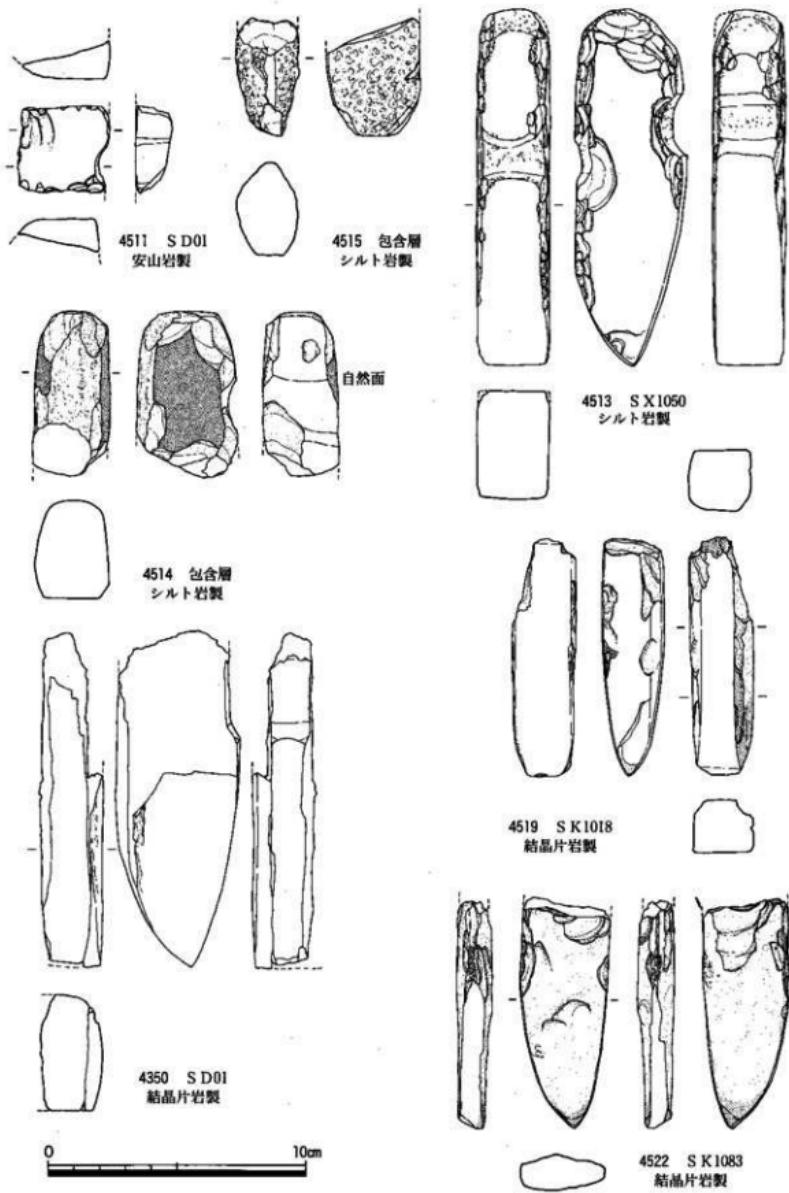
4509 包含層  
結晶片岩製



4510 包含層  
蛇紋岩製

0 10cm

第89図 太型蛤刃石斧 結晶片岩製 2 太型蛤刃石斧 蛇紋岩製 (1/2)

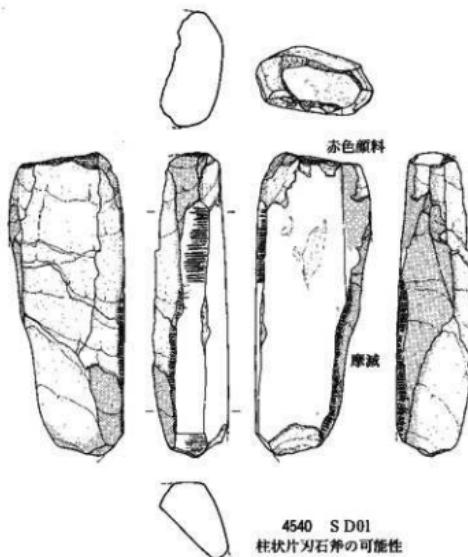


第90図 柱状片刃石斧 安山岩製・シルト岩製

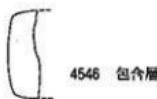
柱状片刃石斧 結晶片岩製 1 (1/2)



4533 S D01



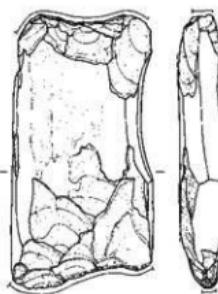
4540 S D01  
柱状片刃石斧の可能性



4546 包含層



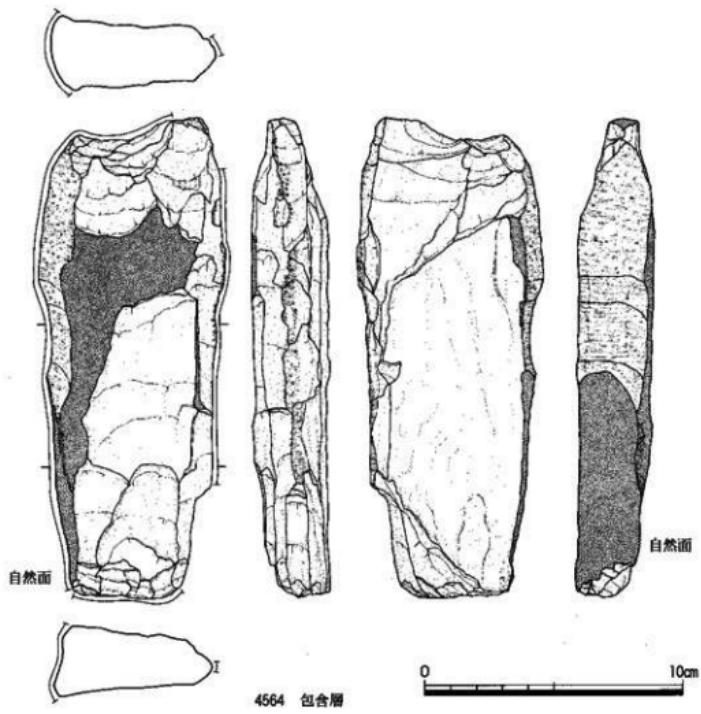
4556 包含層



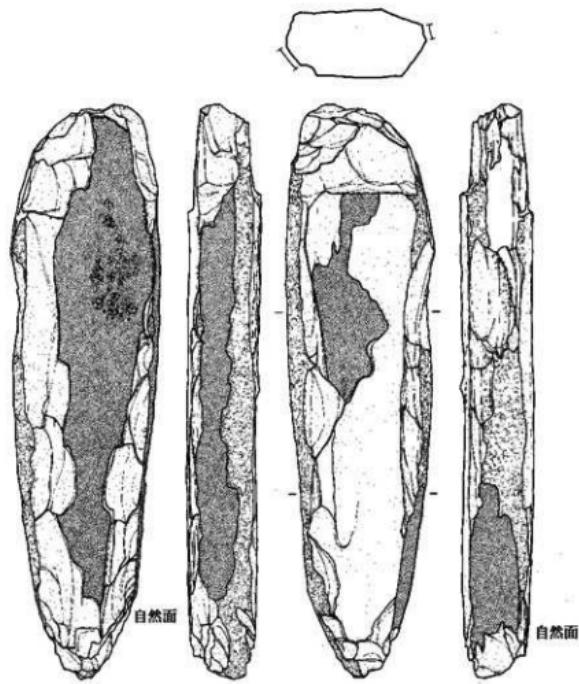
4563 S D01



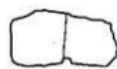
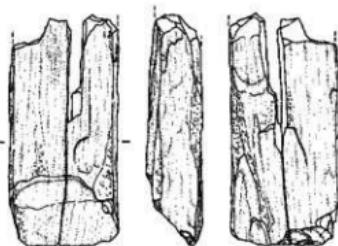
第91図 柱状片刃石斧 結晶片岩製 2 柱状片刃石斧の可能性 結晶片岩製 (1/2)



第92図 柱状片刃石斧未製品 晶片岩 1 (1/2)



4565 SK1309

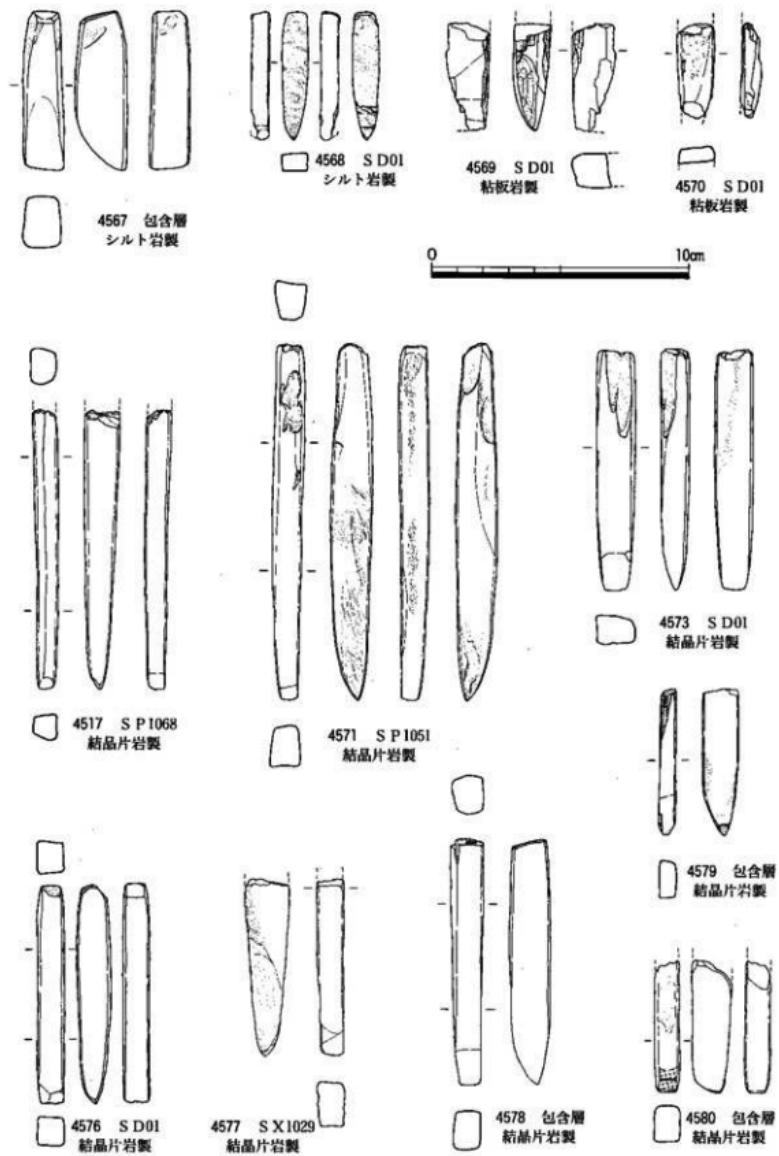


4566 SD01

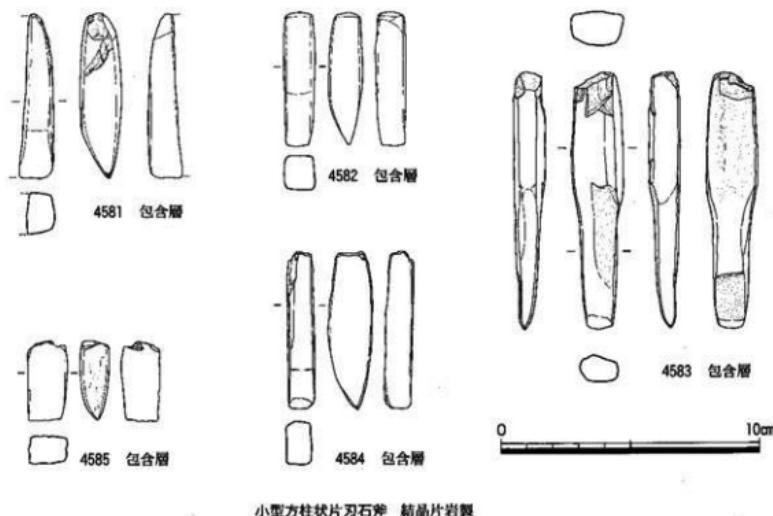
0

10cm

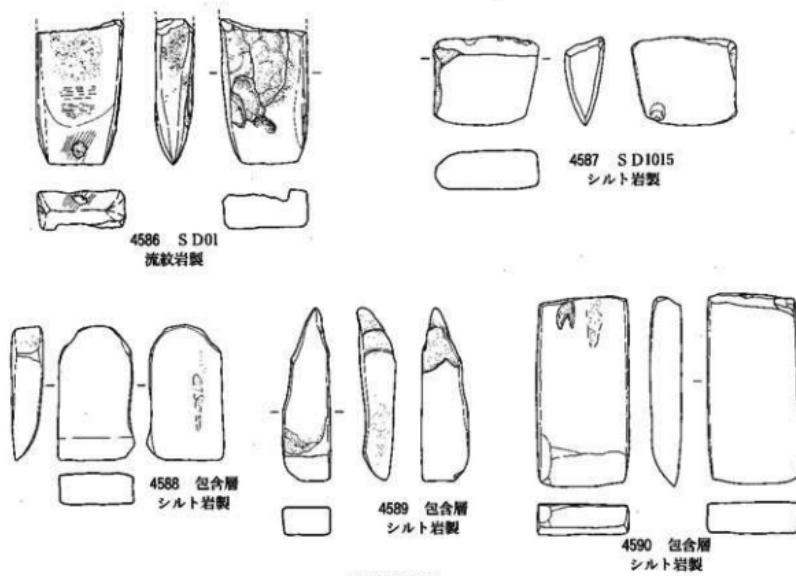
第93図 柱状片刃石斧未製品 結晶片岩製 2 禺平片刃石斧未製品 結晶片岩製 (1/2)



第94図 小型方柱状片刃石斧 シルト岩製・粘板岩製 小型方柱状片刃石斧 結晶片岩製 1 (1/2)

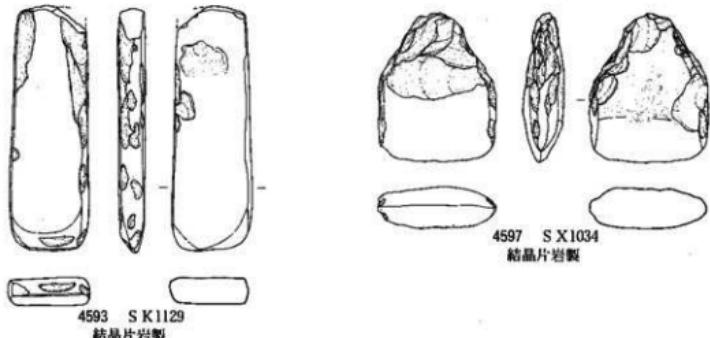
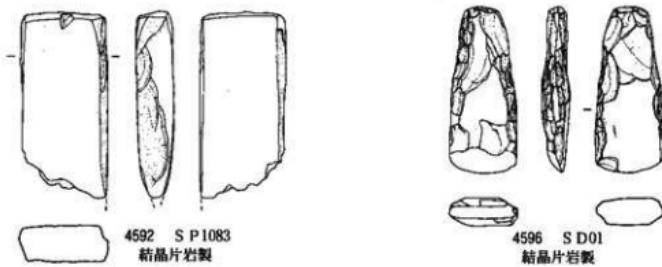
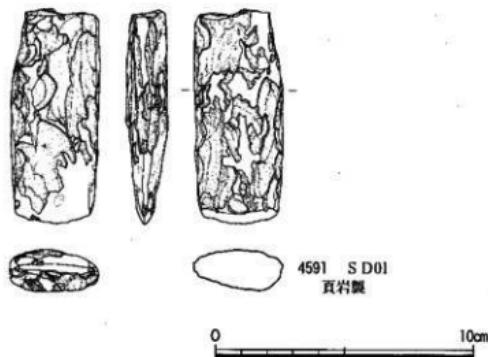


小型方柱状片刃石斧 結晶片岩製

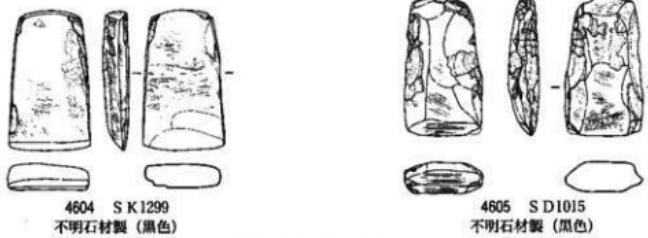
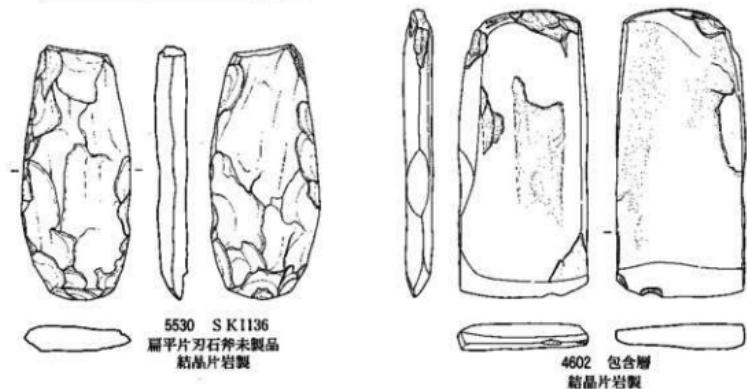
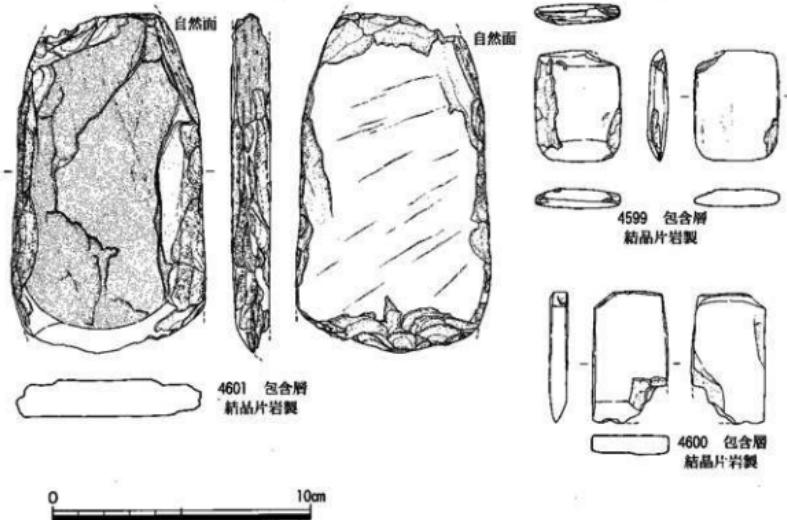


扁平片刃石斧

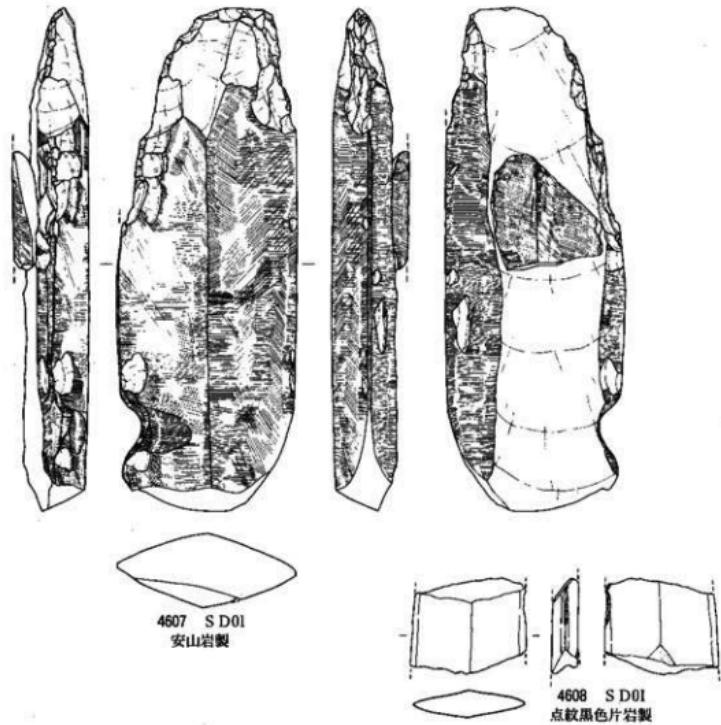
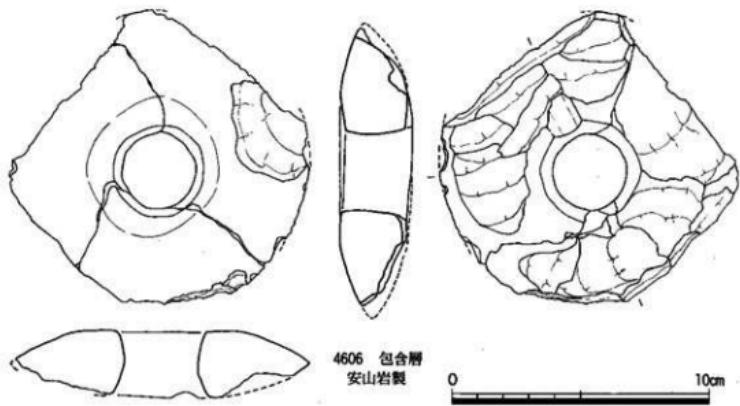
第95図 小型方柱状片刃石斧 結晶片岩製 2 扁平片刃石斧 流紋岩製・シルト岩製 (1/2)



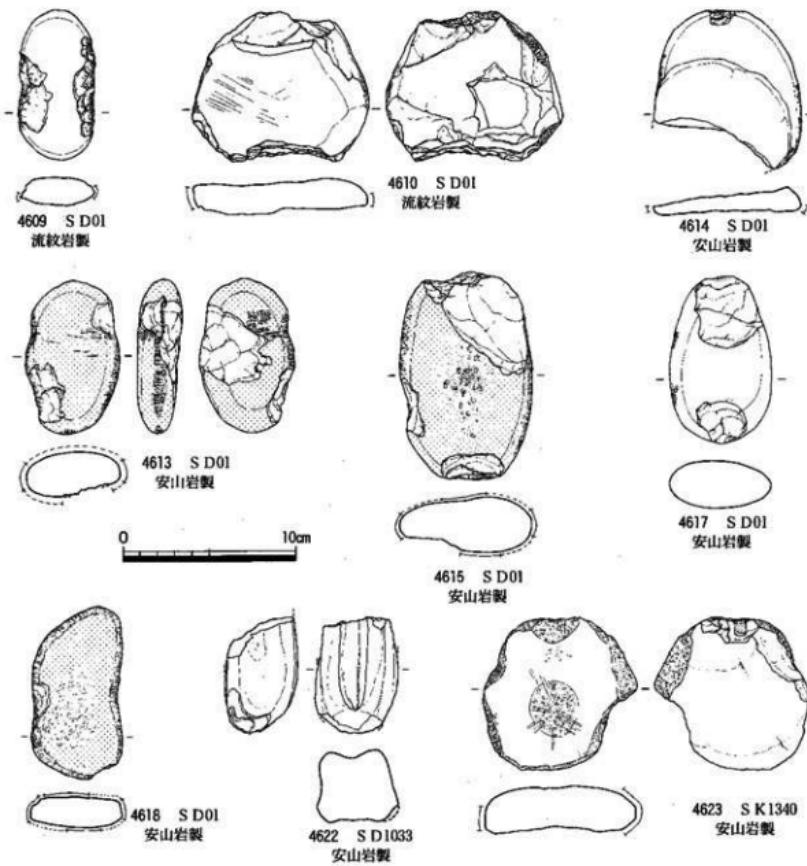
第96図 磨平片刃石斧 黃岩製 磨平片刃石斧 結晶片岩製 1 (1/2)



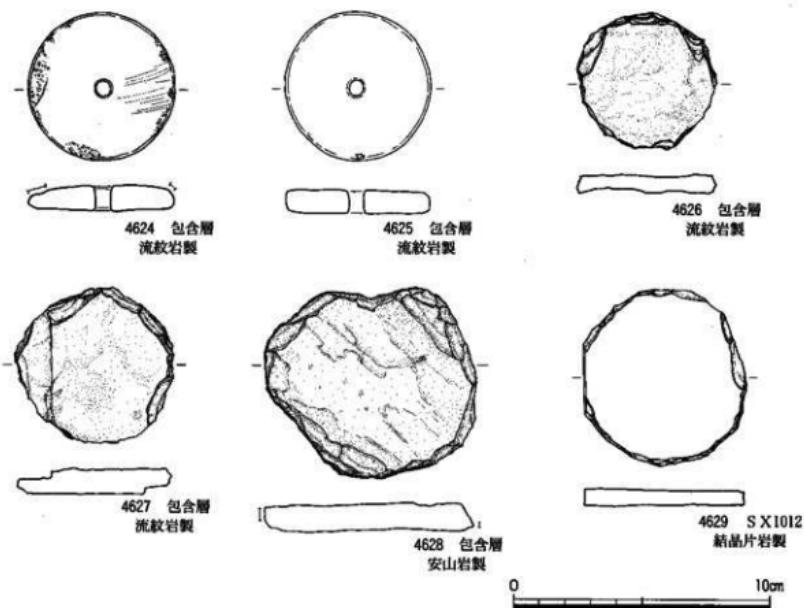
第97図 扁平片刃石斧 結晶片岩製 2 扁平片刃石斧未製品 結晶片岩製 扁平片刃石斧 不明石材製（1/2）



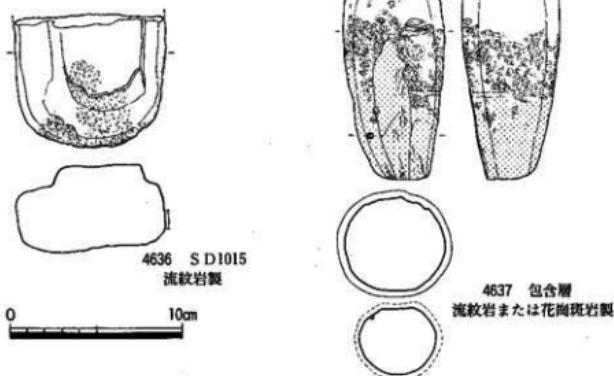
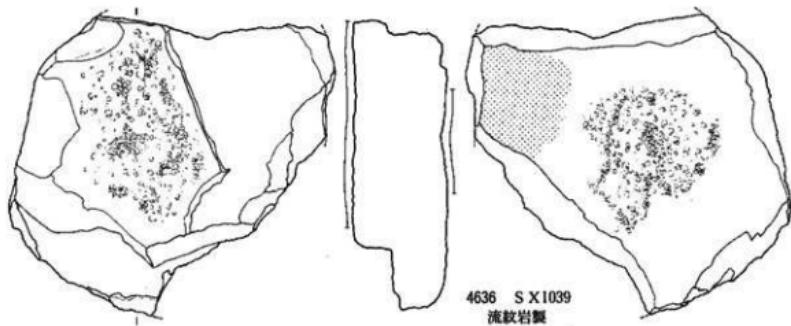
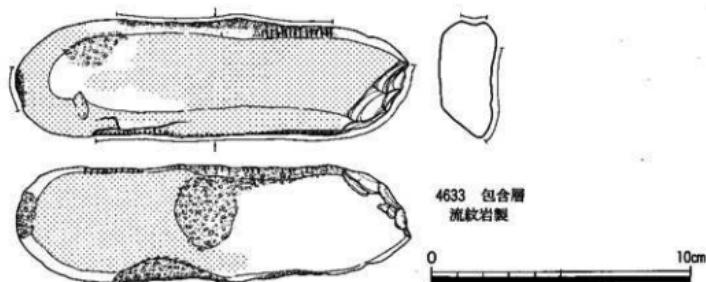
第98図 環状石斧 安山岩製 石劍 安山岩製・点紋黒色片岩製 (1/2)



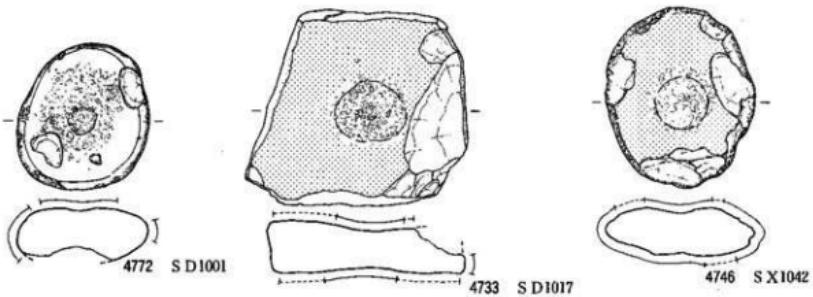
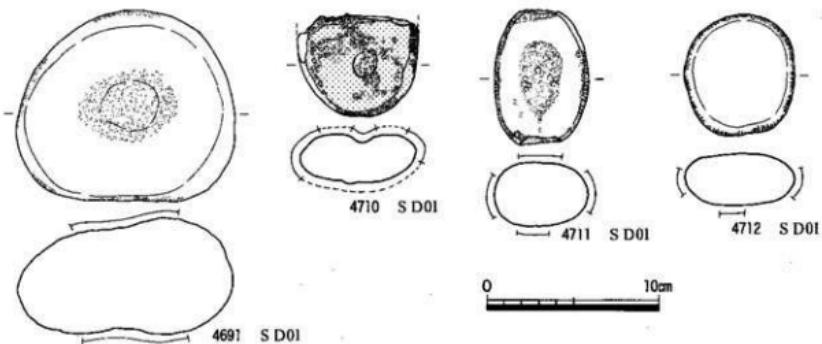
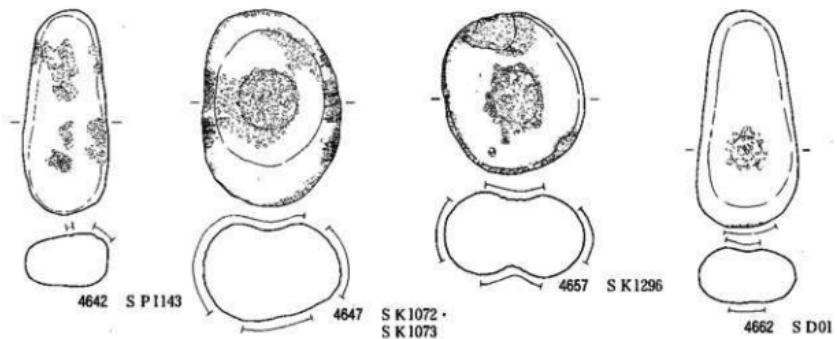
第99図 石錘・石錘の可能性 流紋岩製・安山岩製 (1/2)



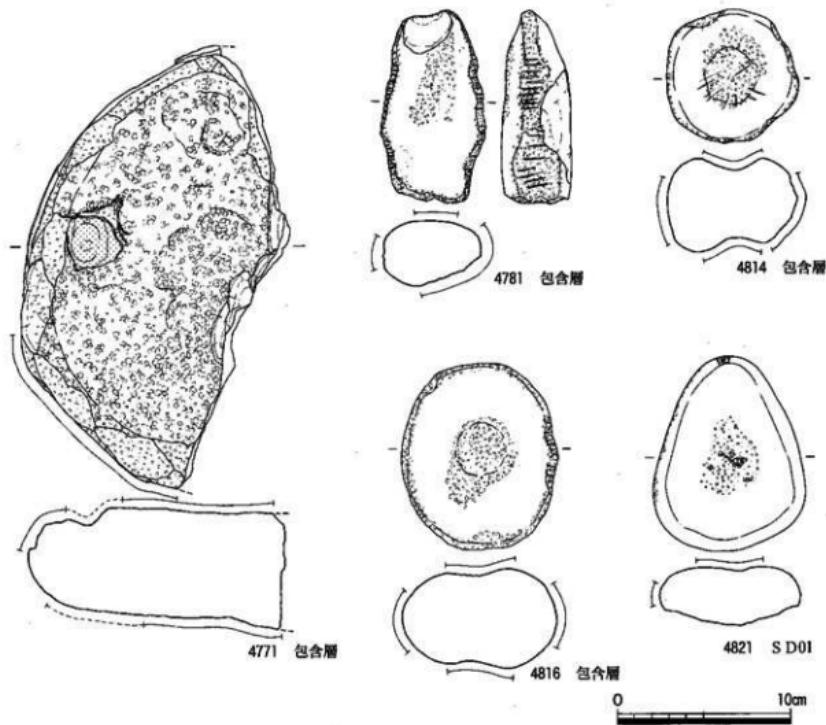
第100図 紡錘車・円盤状石製品 流紋岩製・安山岩製・結晶片岩製（1/2）



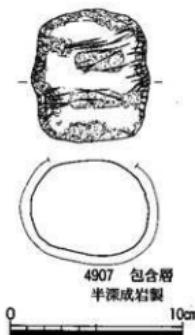
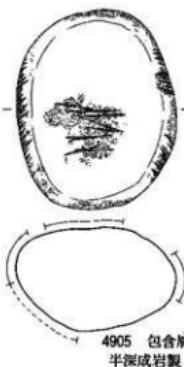
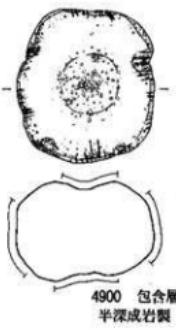
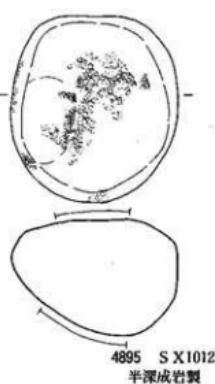
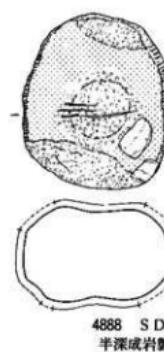
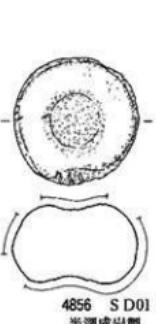
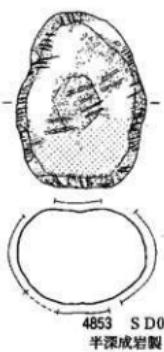
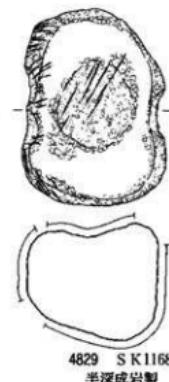
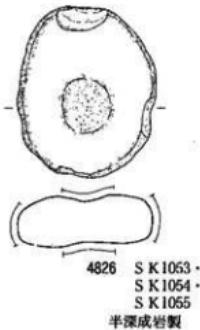
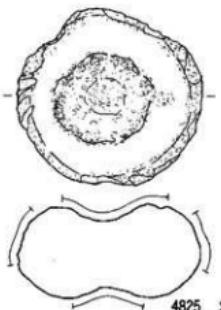
第101図 凹み石または叩き石 流紋岩製・流紋岩または花崗斑岩製 (1/2・1/3)



第102図 凹み石または叩き石 安山岩製 1 (1/3)

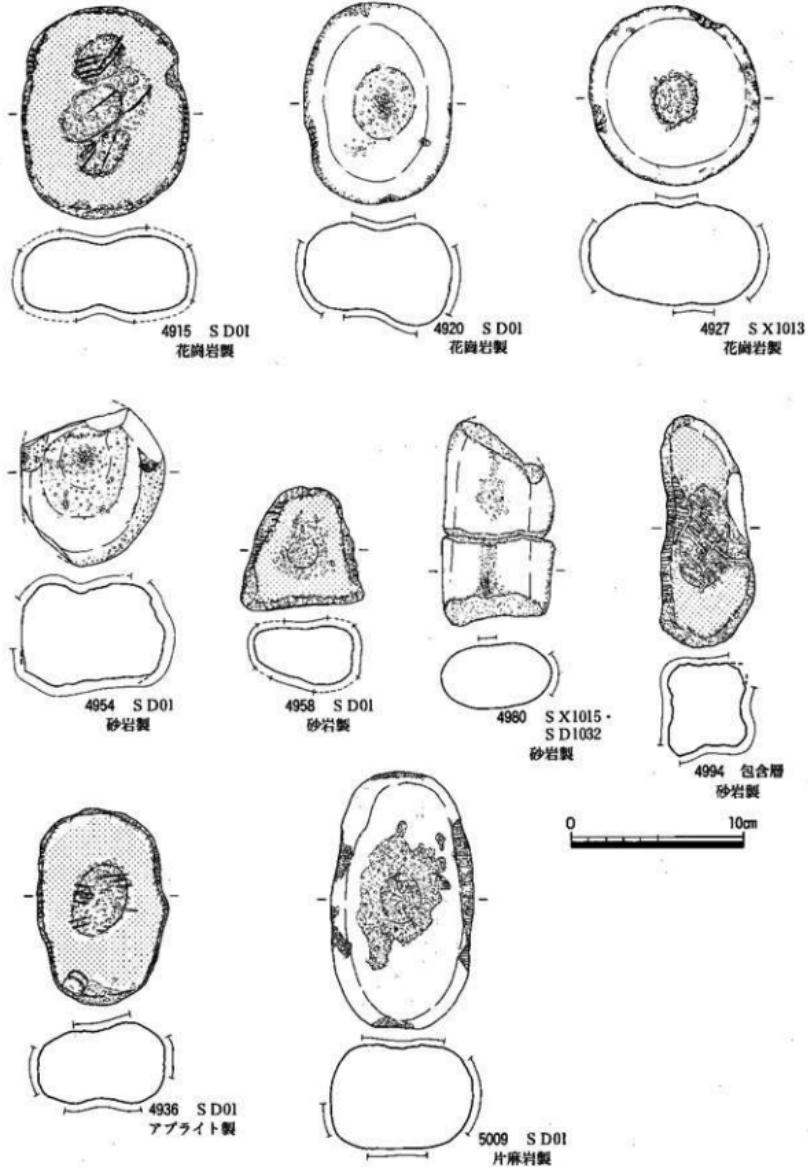


第103図 凹み石または叩き石 安山岩類 2 (1/3)

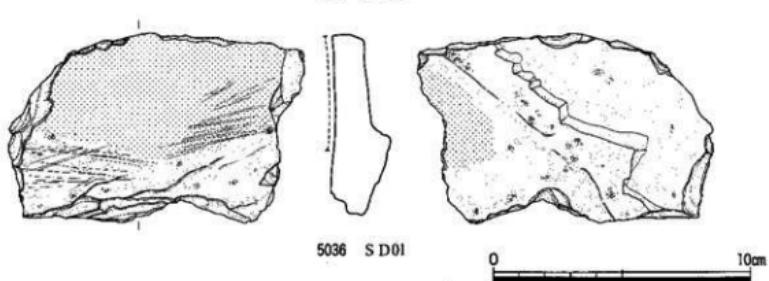
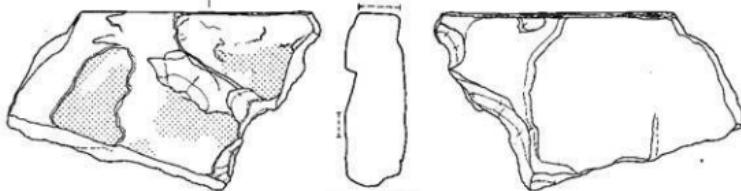
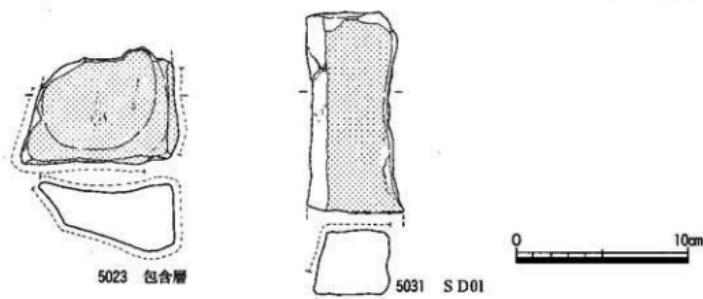
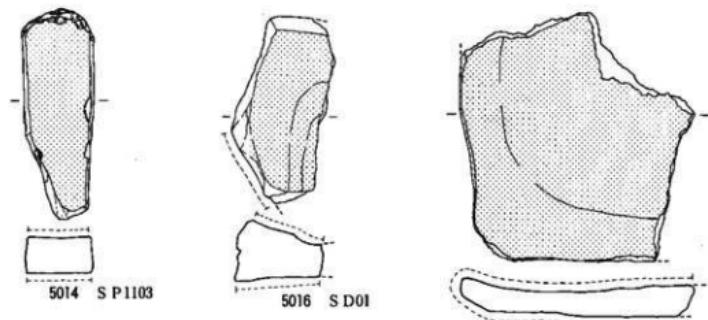


0 10cm

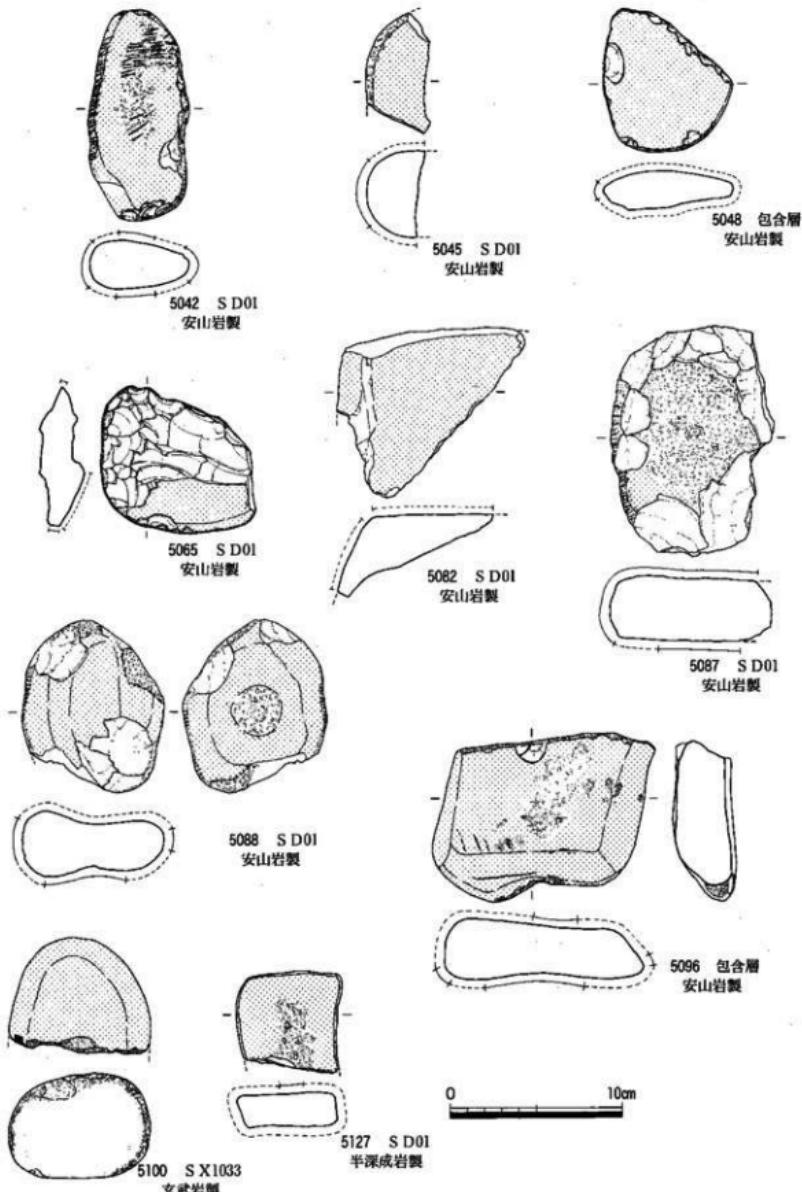
第104図 凹み石または叩き石 玄武岩製・半深成岩製 (1/3)



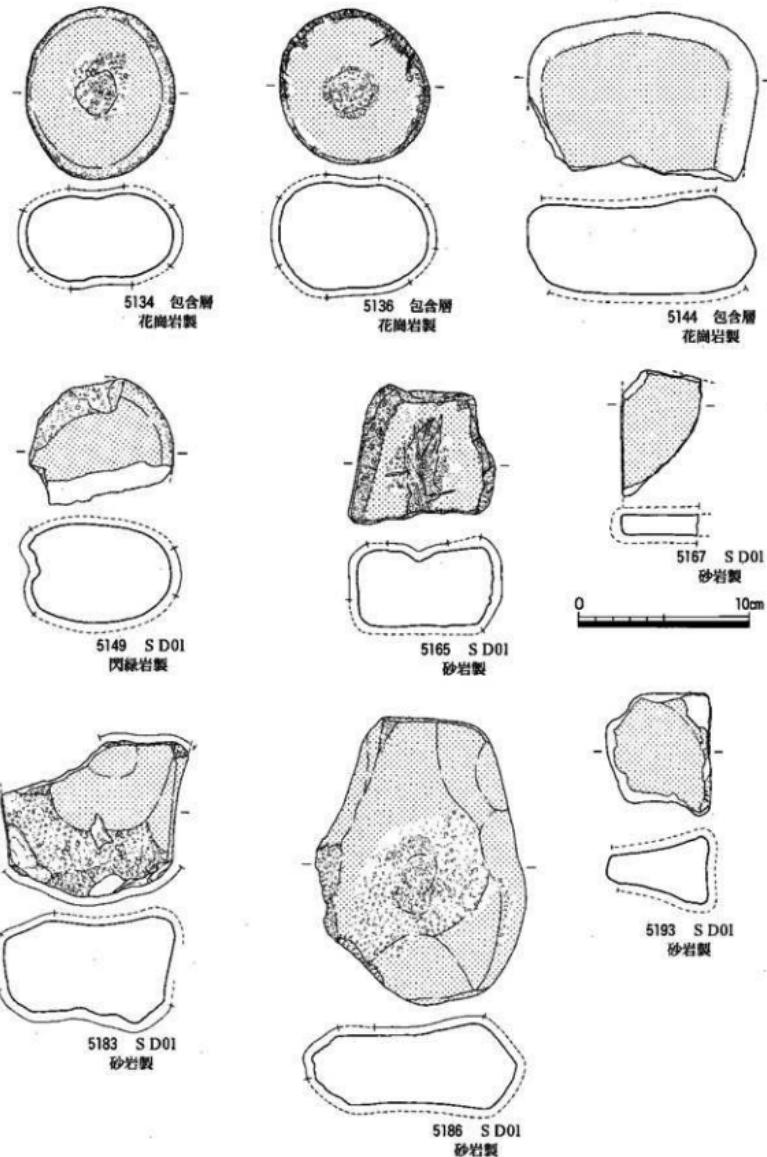
第105図 凹み石または叩き石 花崗岩製・砂岩製・アブライト製・片麻岩製 (1/3)



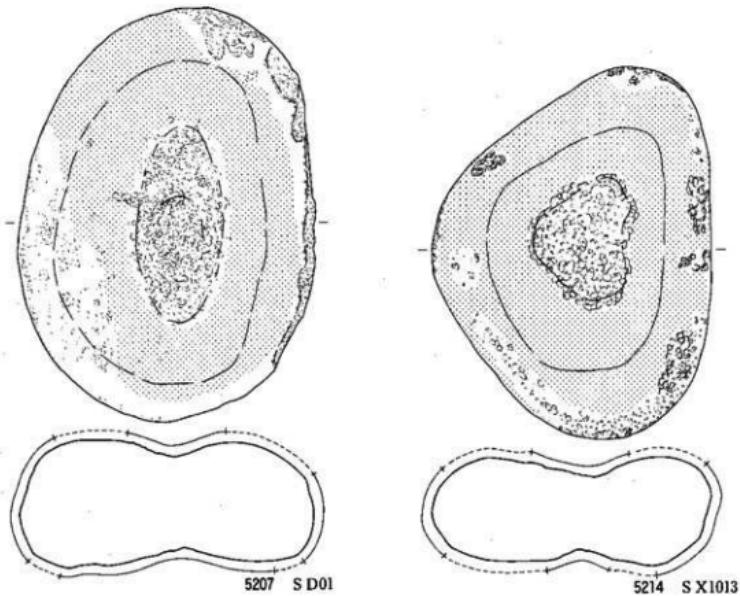
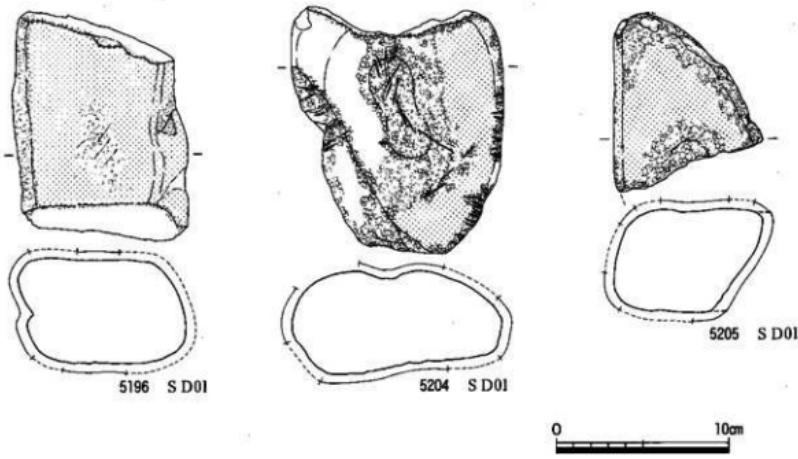
第106図 石皿または砥石 流紋岩製 1 (1/3・1/2)



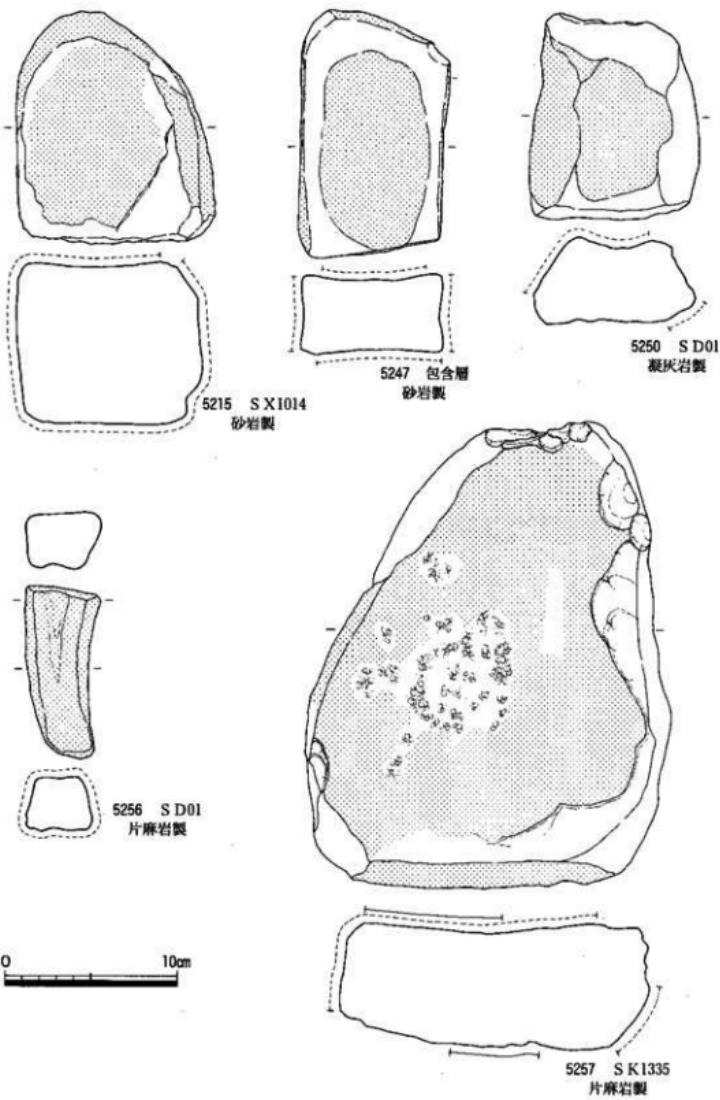
第107図 石皿または砥石・磨石 安山岩製・玄武岩製・半深成岩製 (1/3)



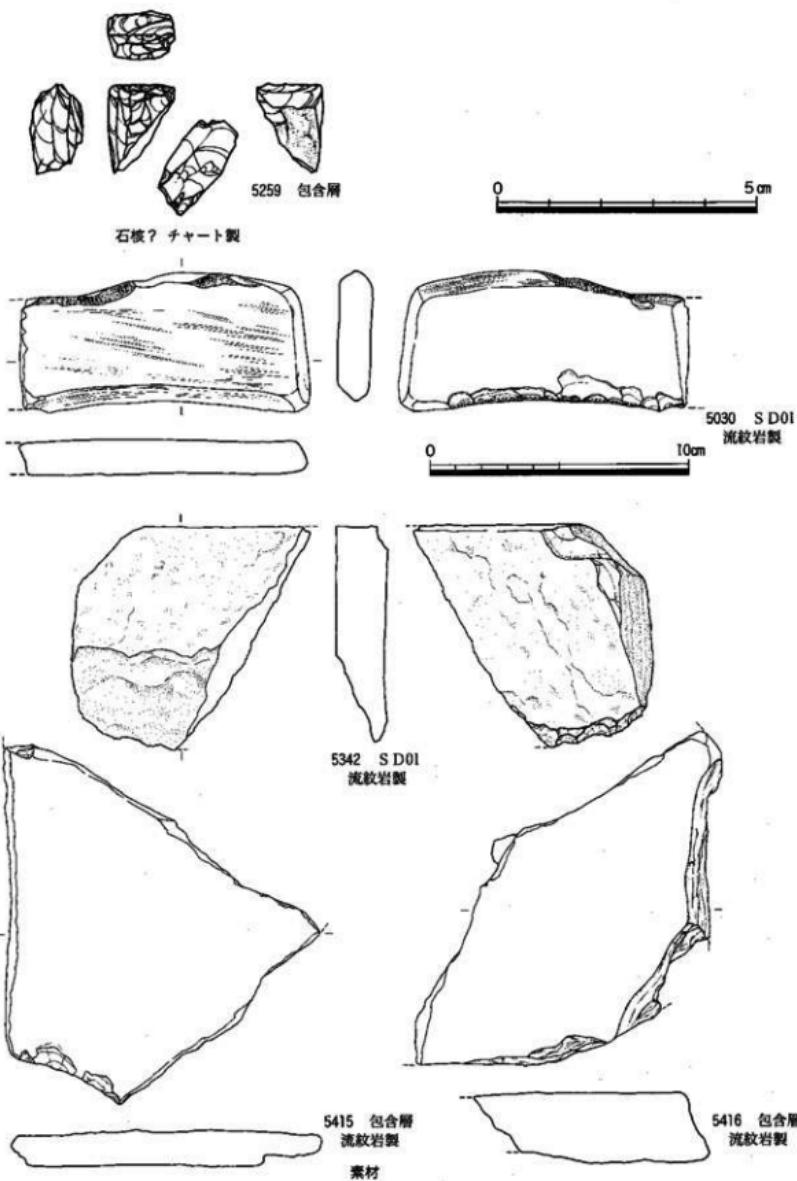
第106図 磨石・石皿または砾石 花崗岩製・閃綠岩製・砂岩製 (1/3)



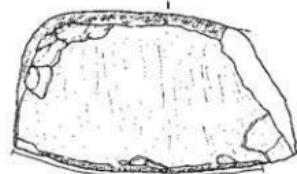
第109図 石皿または砾石 砂岩製 1 (1/3)



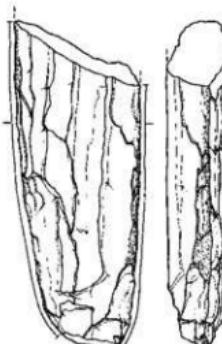
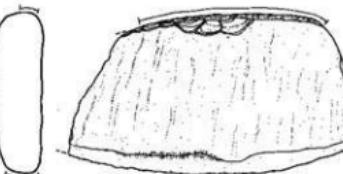
第110図 石皿または砥石 砂岩製 2 石皿または砥石 砂岩製・凝灰岩製・片麻岩製 (1/3)



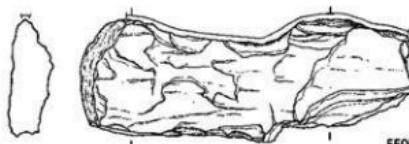
第111図 石核？ チャート製　素材　流紋岩製 1 (1/1・1/2)



5492 S D01  
流紋岩製



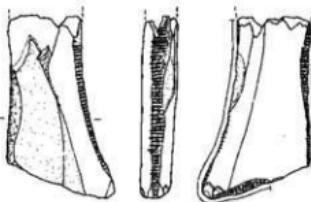
5492 S D01  
結晶片岩製



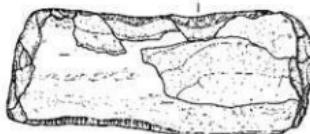
5505 S D01  
結晶片岩製

0 10cm

素材

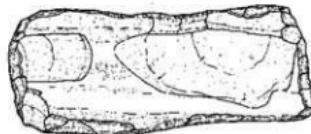


5532 S D01  
結晶片岩製



全周済れ

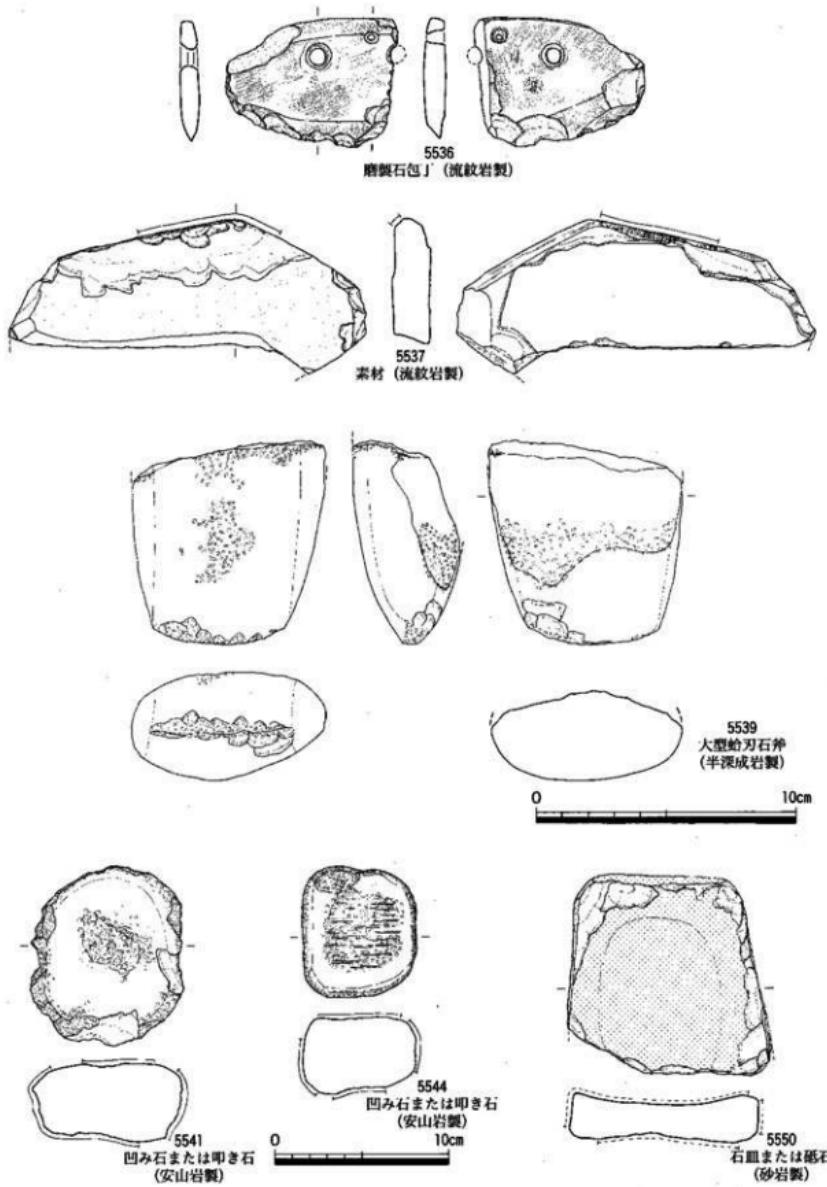
5531 S D01  
結晶片岩製



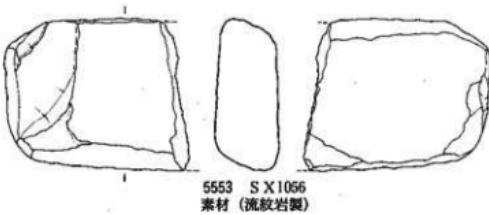
不明 結晶片岩製 (1/2)

第112図 素材 流紋岩製 2

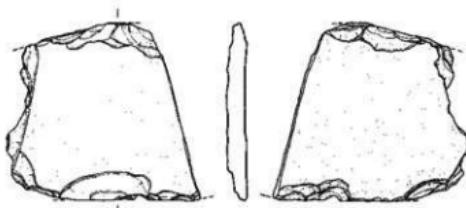
素材 結晶片岩製



第113図 弥生時代後期から古墳時代前期落ち込み S X 1056出土石器 1 (1/2・1/3)

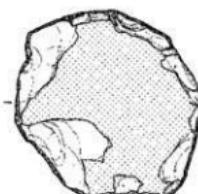


5553 S X1066  
素材(流紋岩製)



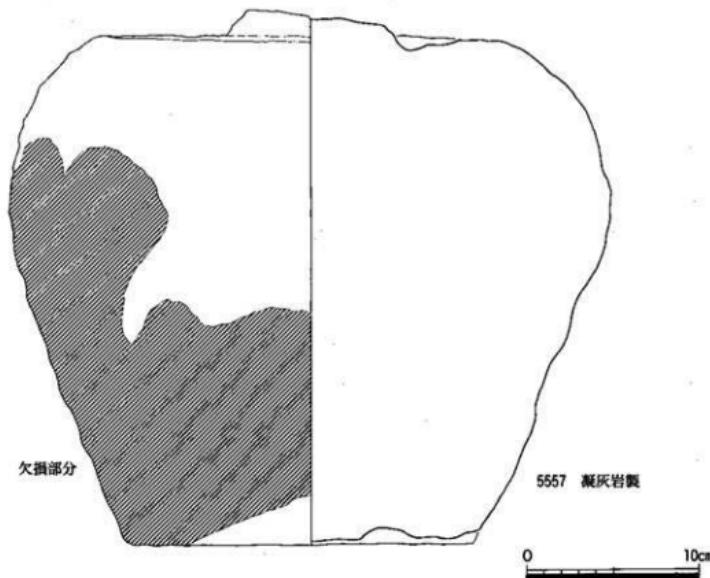
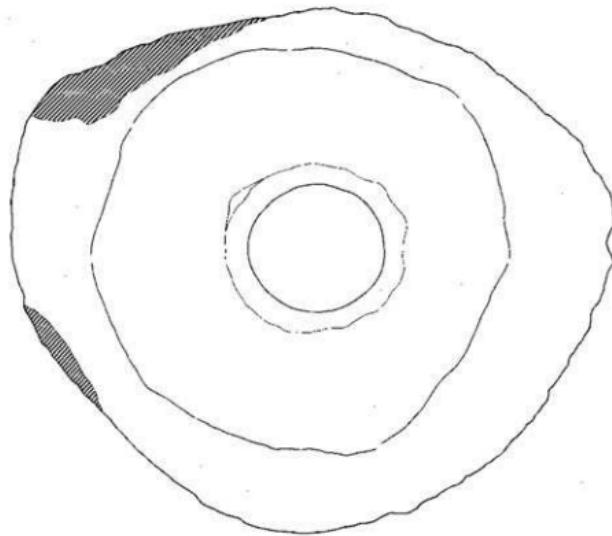
5555 S D1069  
石包丁未製品の可能性(流紋岩製)

0 10cm

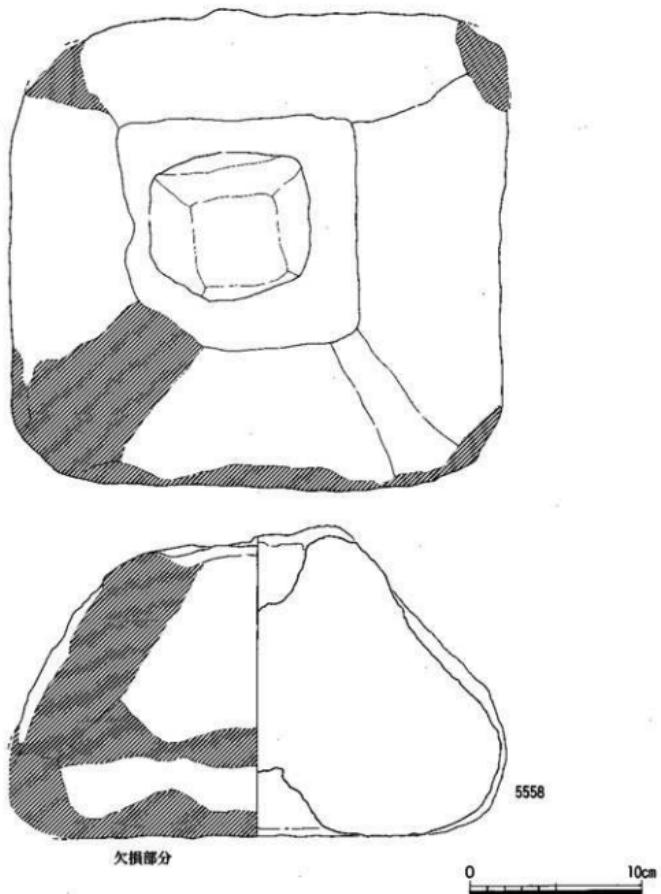


5556 S D1069またはS D1070  
円盤状石製品(安山岩製)

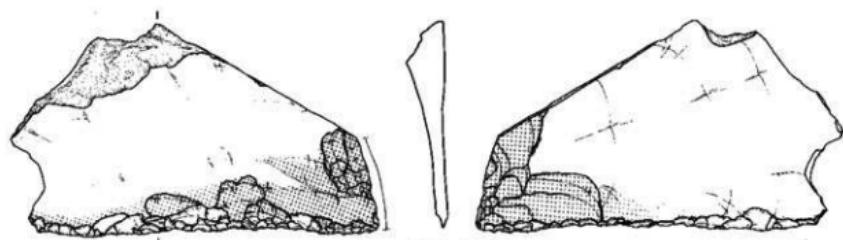
第114図 弥生時代後期から古墳時代前期落ち込み S X1066出土石器 2 平安時代満 S D1069・S D1070出土石器(1/2)



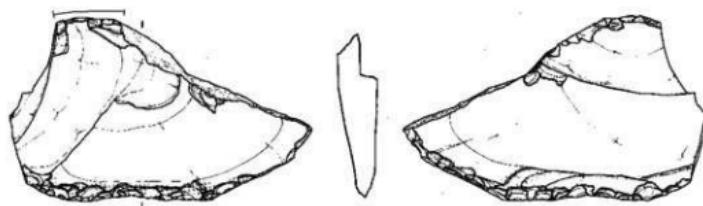
第115図 平安時代井戸 S E 1002出土五輪塔 1 (1/3)



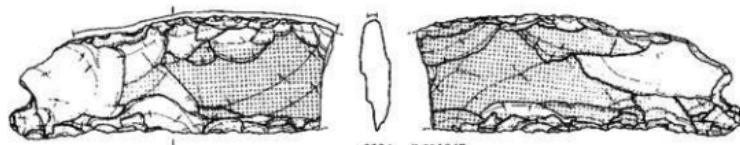
第116図 平安時代井戸 S E 1002出土五輪塔 2 (1/3)



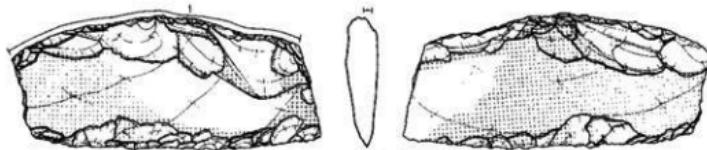
6001 S D01



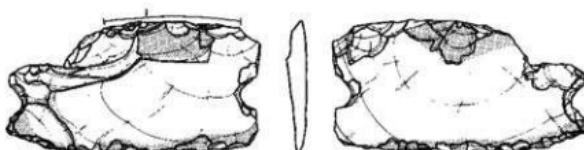
6002 S D1056



6004 S K1047



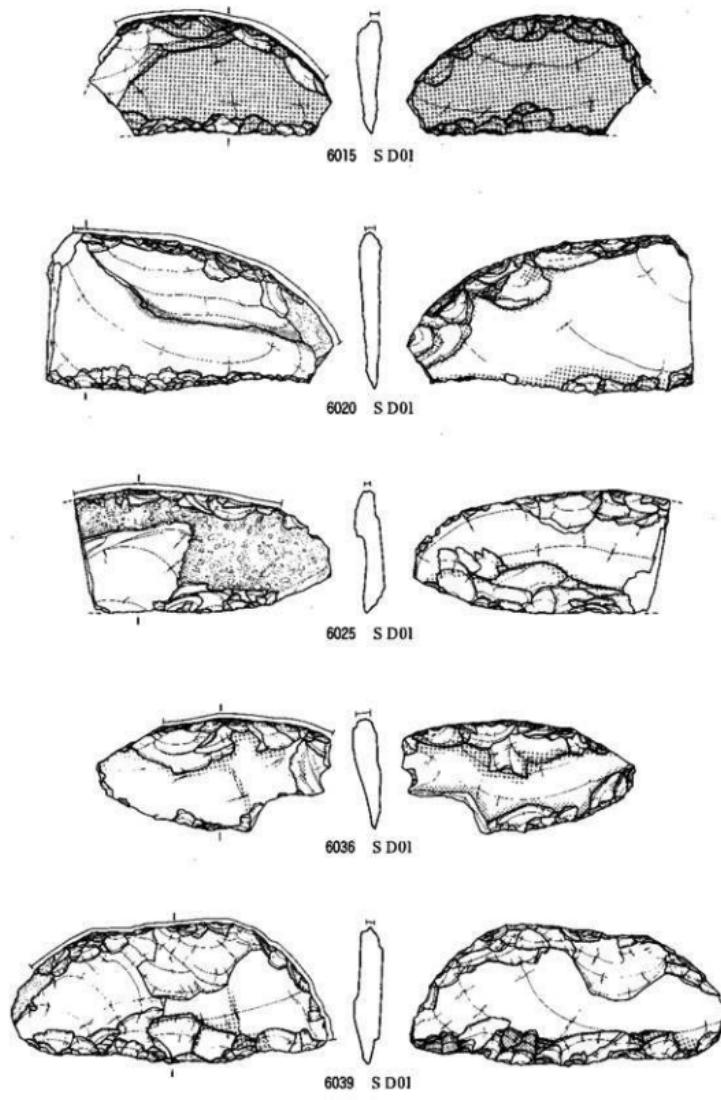
6007 S K1281 - S K1282 - S K1283



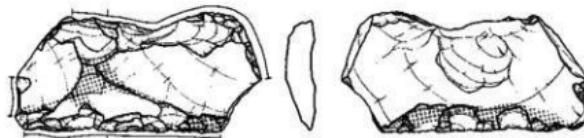
6010 S D01



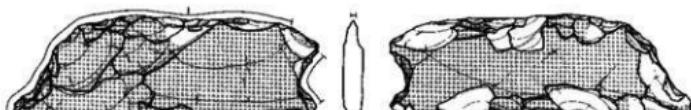
第117図 打製石包丁 サスカイト製 1 (1/2)



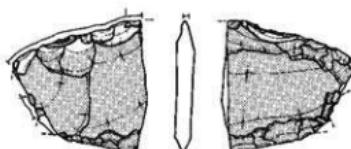
第118図 打製石包丁 サヌカイト製 2 (1/2)



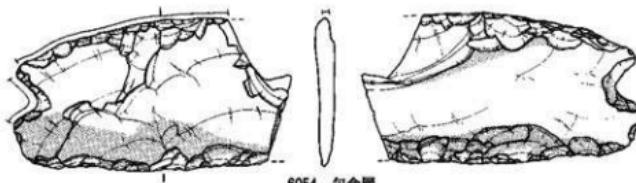
6044 S X1045



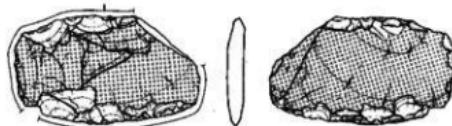
6047 包含層



6048 包含層



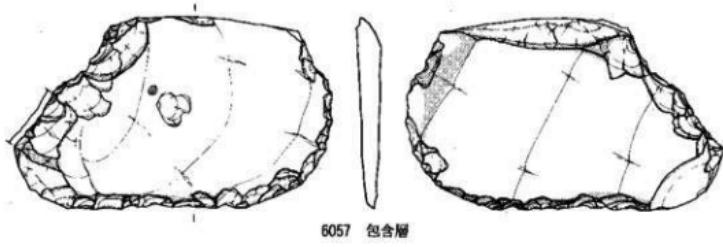
6054 包含層



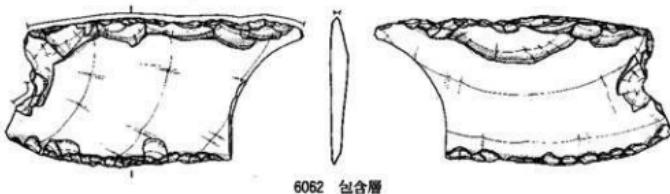
6056 包含層



第119図 打製石包丁 サヌカイト製 3 (1/2)



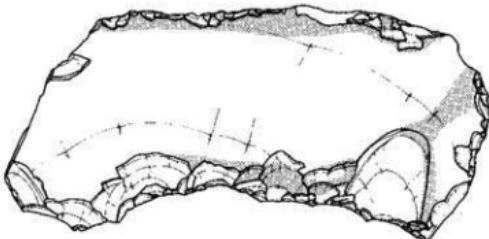
6057 包含層



6062 包含層

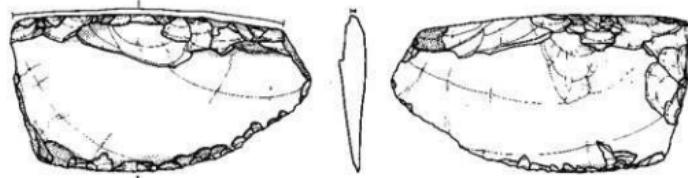


6068 包含層

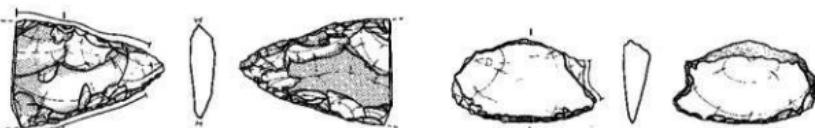


0 10cm

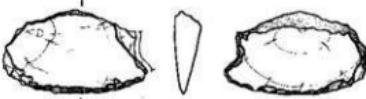
第120図 打製石包丁 サヌカイト製 4 (1/2)



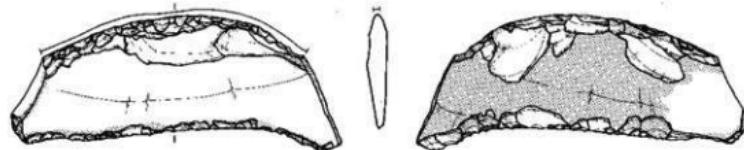
6081 包含層  
打製石包丁



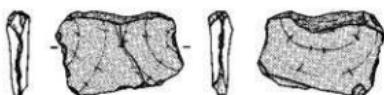
6083 包含層  
打製石包丁



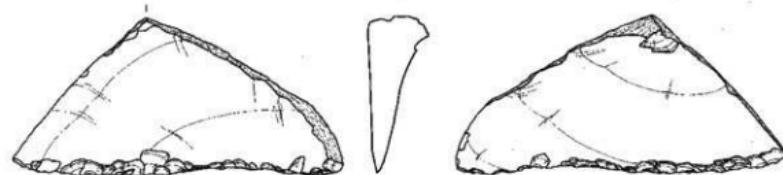
6084 包含層  
打製石包丁



6090 包含層  
石鏟



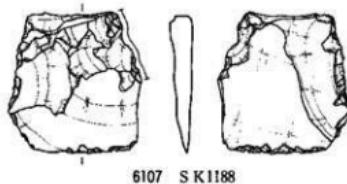
6092 包含層  
磨滅痕のある石器



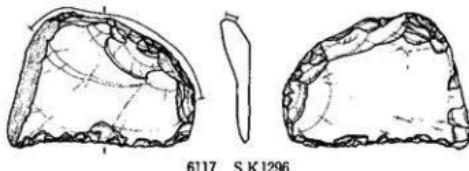
6094 SP1969  
スクレイパー



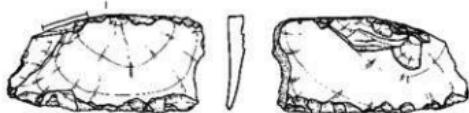
第121図 打製石包丁 5 石鏟 磨滅痕のある石器 スクレイパー 1 サヌカイト製 (1/2)



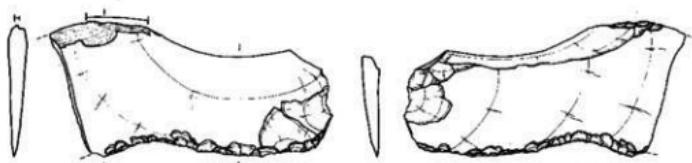
6107 SK1188



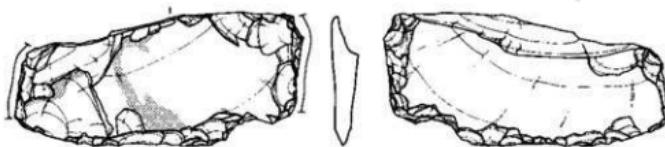
6117 SK1296



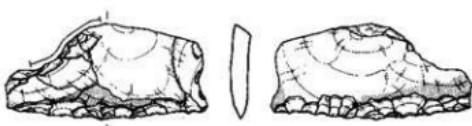
6118 SK1313



6126 SD01



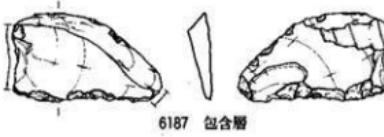
6145 SD01



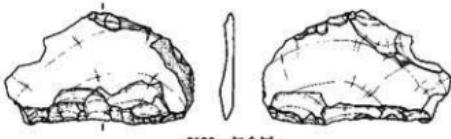
6186 包含層



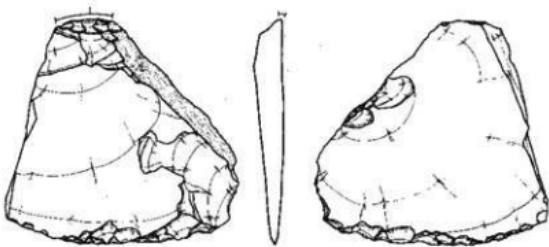
第122図 スクレイバー サヌカイト製 2 (1/2)



6187 包含層



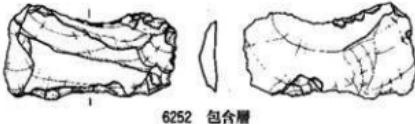
6190 包含層



6205 包含層



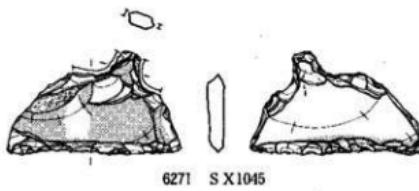
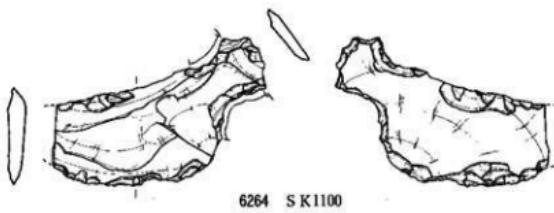
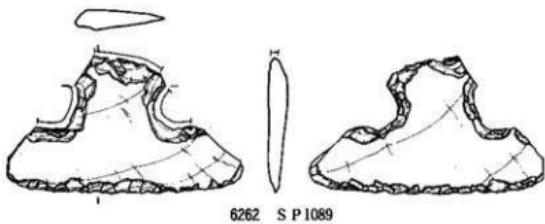
6215 包含層



6252 包含層

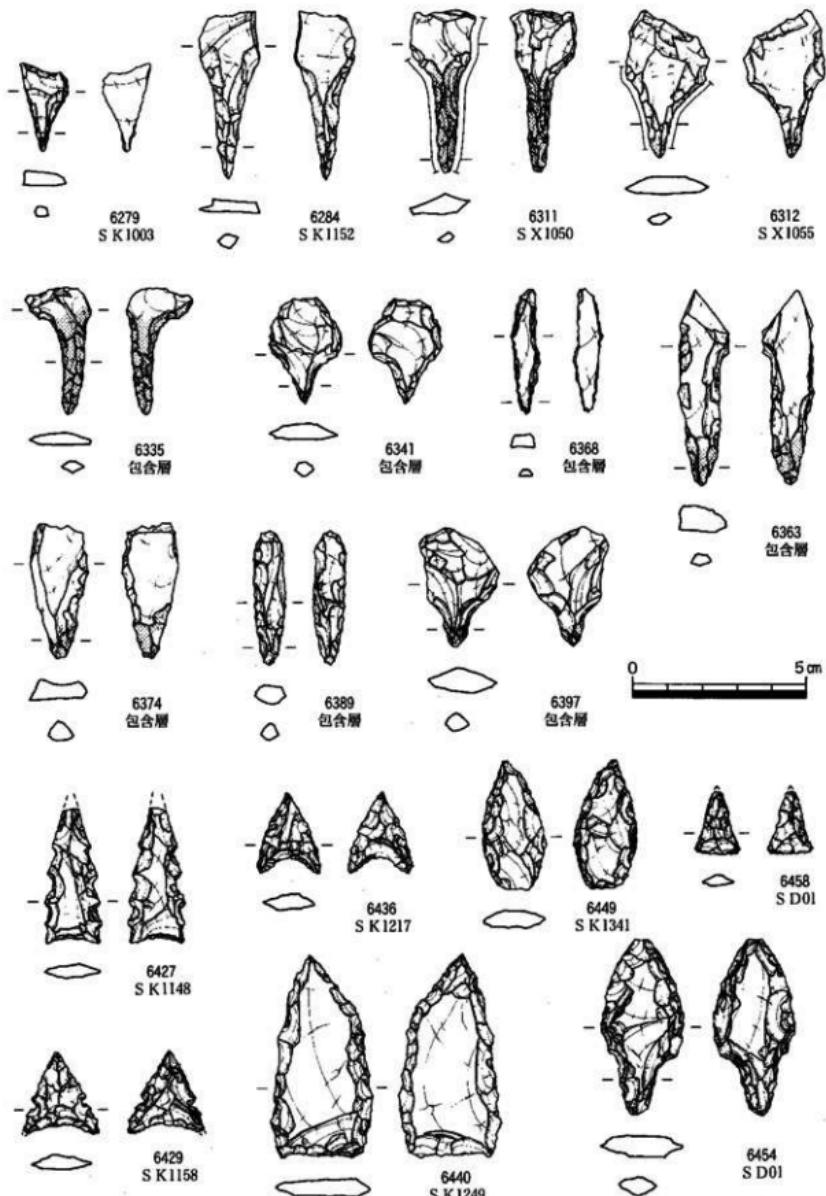


第123図 スクレイパー サスカイト製 3 (1/2)

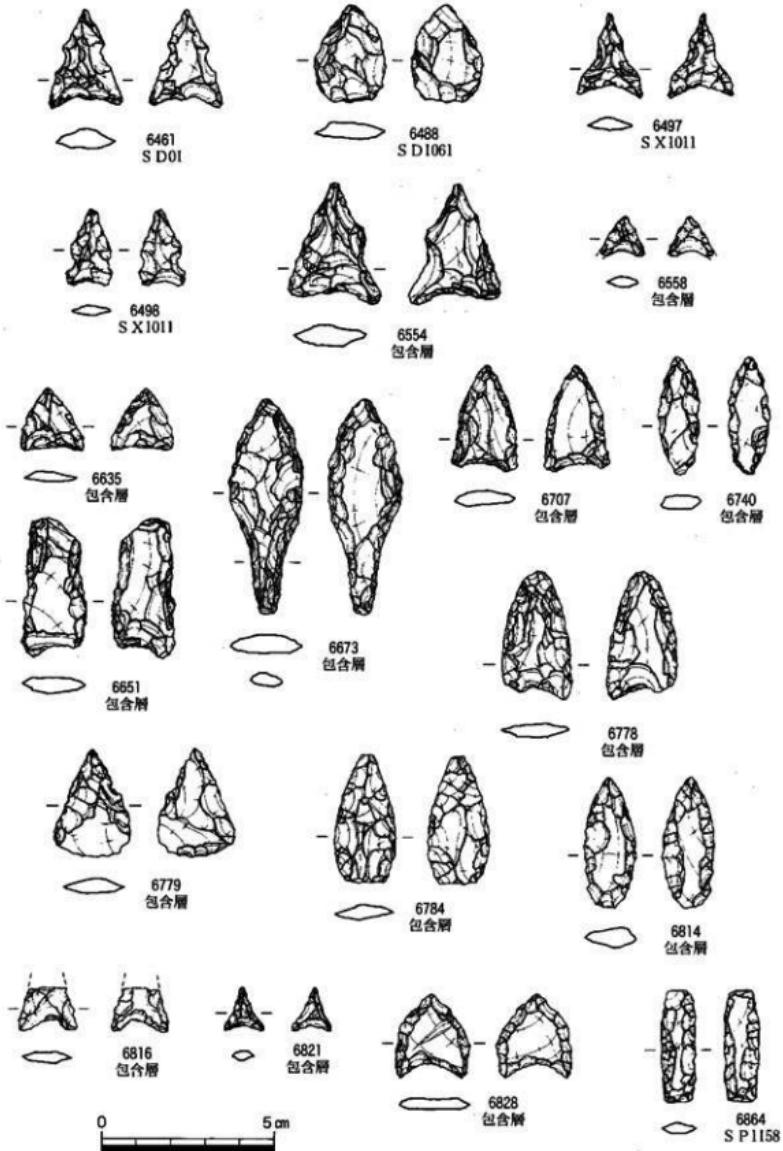


0 10cm

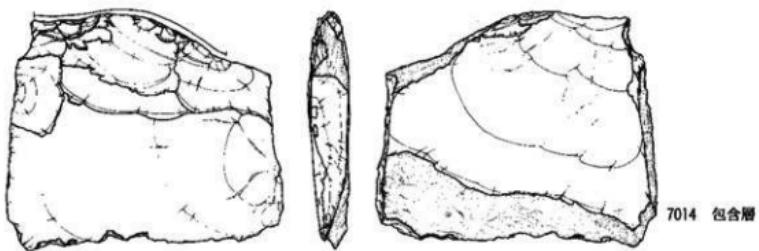
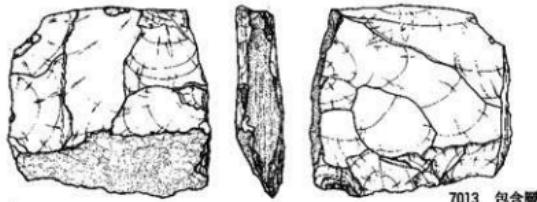
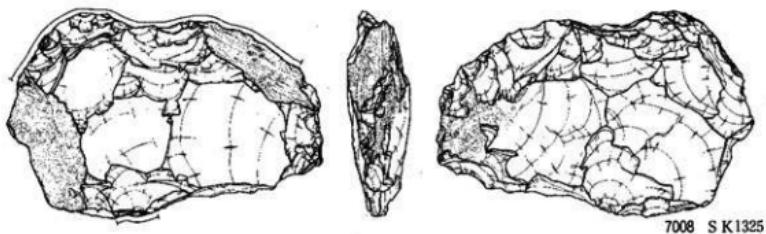
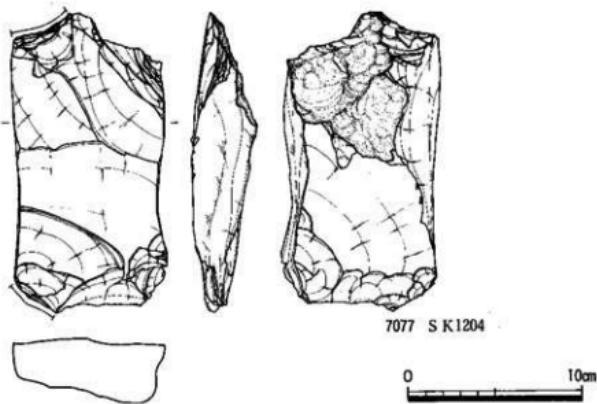
第124図 石匙 サヌカイト製 (1/2)



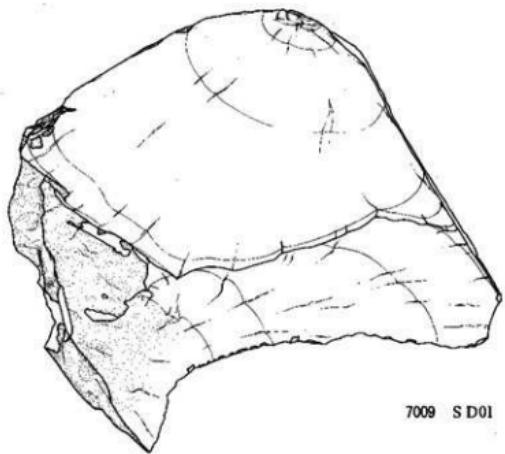
第125図 石錐・石鎌 サヌカイト製 (2/3)



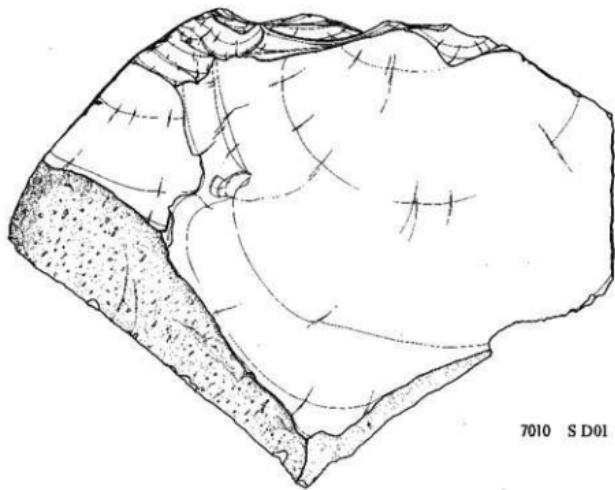
第126図 石鏃・石鏃未製品・不明石製品 サヌカイト層 (2/3)



第127図 大型盤状剥片 サスカイト製 1 (1/3)



7009 S D01

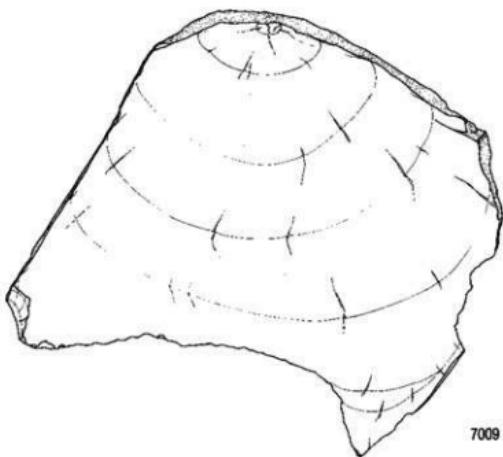


7010 S D01

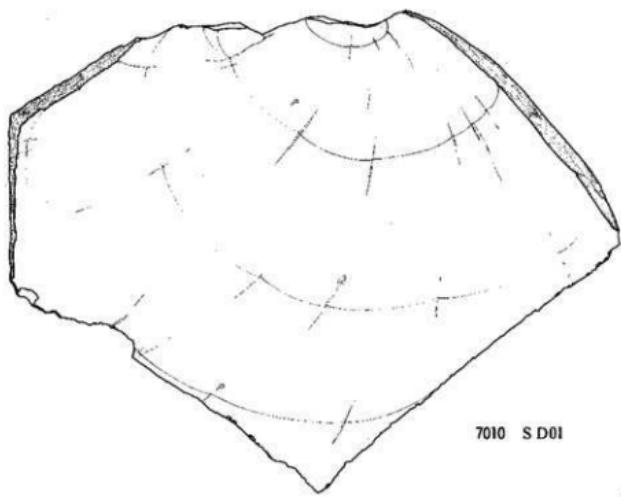


0 20cm

第128図 大型盤状剥片 サスカイト製 2 (1/3)



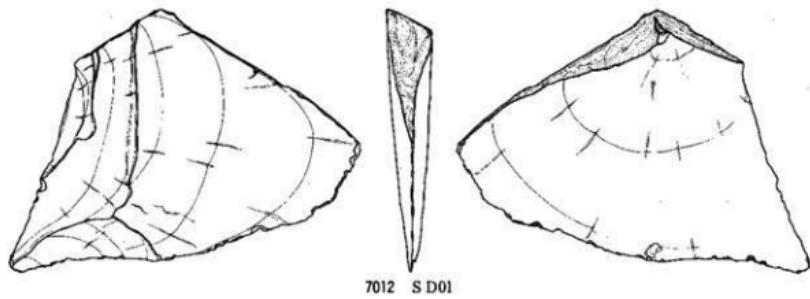
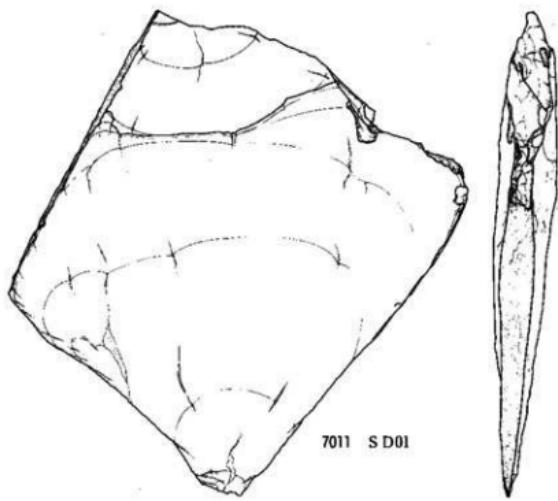
7009 S D01



7010 S D01

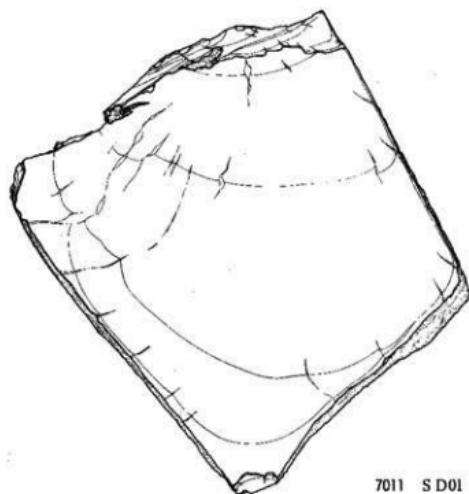
0 20cm

第129図 大型盤状剥片 サヌカイト製 3 (1/3)

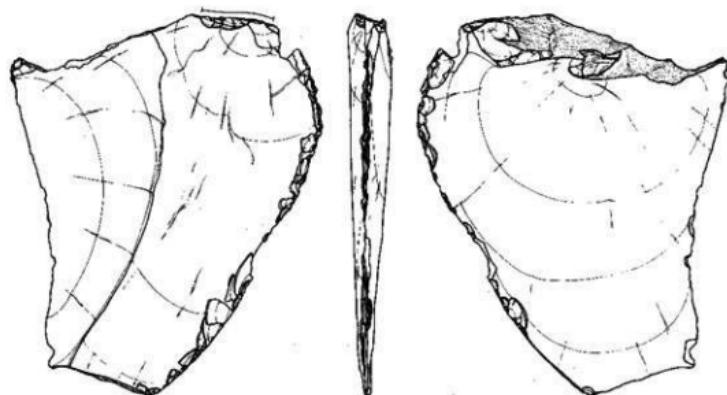


0 20cm

第130図 大型盤状剥片 サスカイト製 4 (1/3)



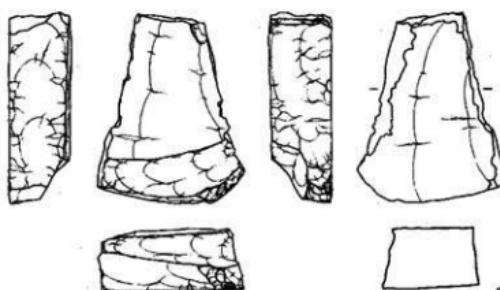
7011 S D01



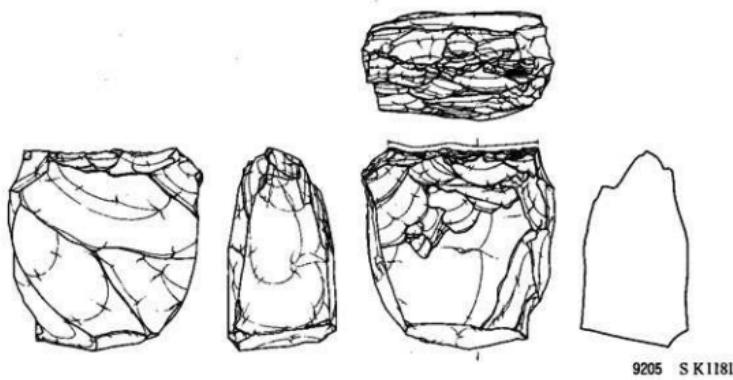
7015 包含層



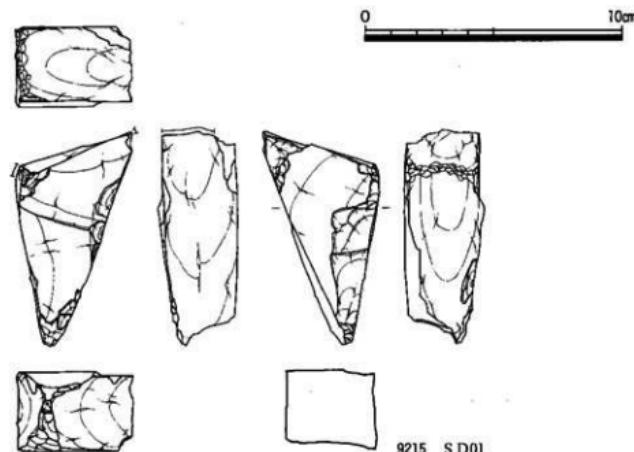
第131図 大型盤状剥片 サヌカイト製 5 (1/3)



9183 包含層

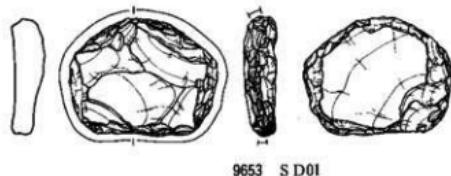
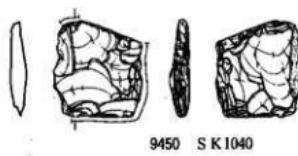
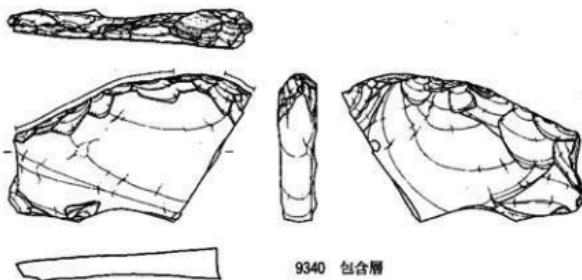
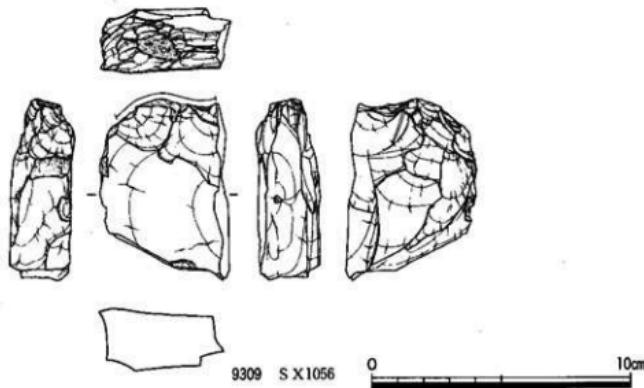


9205 SKII81

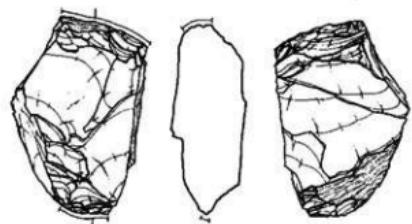


9215 SD01

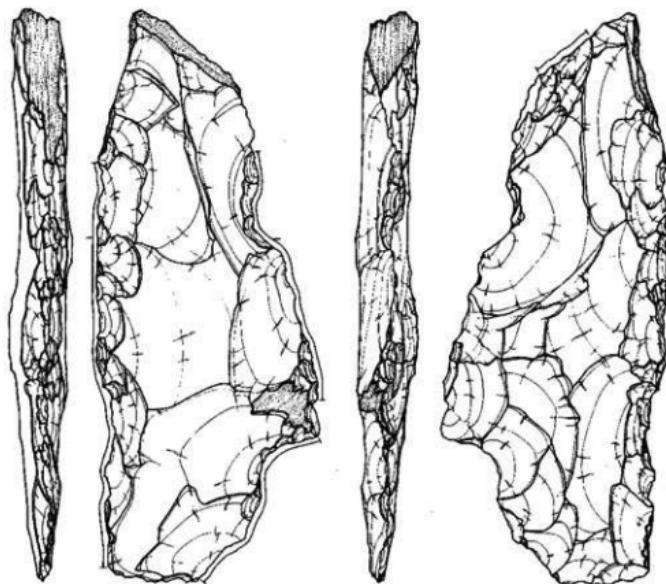
第132図 剥片B・分割素材 サヌカイト製 (1/2)



第133図 分割素材・楔形石器または石核 サスカイト製 1 (1/2)



10029 包含層



10134 包含層

0 10cm

第134図 横形石器または石核 サスカイト製 2 (1/2)

## 第3章 まとめ

### 第1節 S D01出土土器

S D01からは整理用コンテナ662箱に及ぶ土器が出土した。いずれも弥生時代前期を中心とするもので、最上層、上層、下層・最下層と層位ごとに出土土器の整理を行った。

岡化報告したS D01出土土器の文様を中心に観察して、層位別にまとめたのが第16表である。この表をみると、S D01出土土器は様々で、かなり時期幅をもつことがわかる。地区別にみると、2区では下層・最下層、上層、最上層のいずれの層からも、段・ヘラ描沈線文（少条～多条）、櫛描文を施すものが出土しており、出土土器の様相にかなり差異がみられるにもかかわらず、層位ごとの差はほとんどみられない。3区では出土土器の中で最も新しい様相をもつ櫛描文を施す土器は最下層・下層、上層からは出土しておらず、最上層だけにみられることから、櫛描文の時期に、S D01はかなり上のほうまで埋没していたと推定される。

S D01出土土器の中で古い様相をもつ土器は壺では口縁部が短く外反・屈曲し、段やヘラ描木葉文・ヘラ描重弧文、ヘラ描沈線文1～2条施すもの、甕では折り曲げ口縁（如意状）で、段やヘラ描沈線文1～2条施すものがある。古い様相をもつ土器は香川県普通寺市の龍川五条遺跡の時期区分で、前期中葉の龍川五条遺跡I式（前期Ic期）<sup>(2)</sup>に類似する。新しい様相をもつ土器は壺や甕に櫛描直線文・波状文を施文するものもあるが、中期前半の代表的な資料とされる香川県坂出市西又遺跡S D06出土資料<sup>(2)</sup>に含まれるような壺の口縁端部を拡張して施文するものは出土していない。したがって、S D01出土土器は弥生時代前期中葉から中期初頭に位置付けられ、S D01は弥生時代中期初頭に埋没したと考えられる。

地区	層位	種類	文様等
2区	下層・最下層	壺	段（跡取り沈線による）、ヘラ描有輪木葉文・ヘラ描重弧文・ヘラ描沈線文（1条～14条）、削出突帯第1種・貼付突帯文（1～3条）、櫛描内縁文・櫛描波状文
		無頸甕	ヘラ描沈線文（多条）、櫛描直線文・櫛描波状文
		甕	折り曲げ口縁、段・ヘラ描沈線文（1～15条）、追し字形口縫、ヘラ描沈線文（2～12条）、櫛描直線文・櫛描波状文
	上層	壺	段（跡取り沈線による）、ヘラ描直線文・ヘラ描重弧文・ヘラ描木葉文・ヘラ描沈線文（1～6条）、削出突帯第1種・削出突帯第2種（1～3条）、櫛描直線文・櫛描波状文
		無頸甕	ヘラ描沈線文（9条）
		甕	折り曲げ口縫、段・ヘラ描沈線文（1～10条）、櫛描直線文・追し字形口縫、ヘラ描沈線文（7～8条）、櫛描直線文・櫛描波状文
3区	下層・最下層	壺	段（跡取り沈線による）、ヘラ描重弧文・ヘラ描木葉文・ヘラ描沈線文（1～6条）、削出突帯第1種・削出突帯第2種（1条）、貼付突帯文（1条）
		甕	折り曲げ口縫、段またはヘラ描沈線文（1条）、ヘラ描沈線文（1～8条）、追し字形口縫、ヘラ描沈線文（5～14条）
		壺	段・ヘラ描木葉文・ヘラ描沈線文（3～4条）、貼付凸帯文（1条）
	最上層	甕	折り曲げ口縫、ヘラ描沈線文（1条）、追し字形口縫、ヘラ描沈線文（7条）
		壺	ヘラ描直線文・ヘラ描沈線文（1条・11条）、櫛描直線文・櫛描波状文
		甕	追し字形口縫、櫛描直線文

第16表 S D01出土土器の様相

## 第2節 集落の変遷

本遺跡からは弥生時代前期を中心とする多数の遺構が検出され、多量の土器が出土した。香川県普通寺市龍川五条遺跡は弥生時代前期を中心とする遺跡であるが、この遺跡は本遺跡とはほぼ同時期であることから、この遺跡の土器編年に基づき、本遺跡の出土土器の検討を行った。

環濠S D01・SD1067内外には多数の遺構が検出されている。これらの遺構から出土した土器群を龍川五条遺跡の土器編年（弥生時代前期を大きく2分し、その中を3小期に細分）に対応させて、以下のように土器の区分を行った。

鴨部・川田遺跡1期 前期I c期（龍川五条遺跡I式）

2期 前期II a期（龍川五条遺跡II式）

3期 前期II b期（龍川五条遺跡III式）

4期 前期II c期

鴨部・川田遺跡1～2期は弥生時代前期中葉、3期は前期後半、4期は前期末から中期初頭に当たる。1期は口縁部が短く屈曲し、段・削出突帯第1種・ヘラ描沈線文1～2条程度を施文する壺、口縁部の外反が弱く、段・ヘラ描沈線文1～2条程度施文する甕がある。2期は龍川五条遺跡SD49に併行する時期である。壺は1期に比べると口縁部がやや長くなり、緩やかに屈曲する。段はこの時期まで残るが、1期に比べると長く、下端が低い。そのほか、壺では削出突帯第2種少条、貼付突帯1条程度、ヘラ描沈線文2～3条程度を施文するものがある。甕は1期に比べると外反度がやや強い口縁部をもつものが多く、ヘラ描沈線文2～3条程度を施す。3期の壺は口縁部が大きく開き、ヘラ描沈線文・貼付突帯文を施文する。壺は折り曲げ口縁や逆L字形口縁で、4～9条程度のヘラ描沈線文を施すものがある。4期は大きくラッパ状に広がる口縁部をもち、多条のヘラ描沈線文や貼付突帯文を施す壺、多条のヘラ描沈線文を施す逆L字形口縁や折り曲げ口縁の甕、櫛描直線文・櫛描波状文を施す壺・甕がある。これらの分類基準に従って、平成2年度調査分を含めた鴨部・川田遺跡全体の遺構の時期を検討した結果、以下のようになった。この他にも出土土器が少量で、時期比定不可能な遺構も多数ある。

1期の遺構 SP1086・SP1108・SP1125・SP1132・SK1081・SK1082・SK1097・SK1112・SK1132・SK1136・SK1148・SK1168・SK1171・SK1172・SK1191・SK1192・SK1241・SK1250・SK1261・SK1264・SK1276・SK1279・SK1287・SK1288・SD1038・SD1056  
1期から2期の遺構 SD1067

2期 SP1021・SP1031・SP1032・SP1038・SP1041・SP1062・SP1072・SP1076・SP1079・SP1090・SP1102・SP1104・SP1107・SP1110・SP1120・SP1124・SP1126・SP1138・SP1142・SK1003・SK1050・SK1065・SK1107・SK1161・SK1180・SK1181・SK1188・SK1193・SK1194・SK1199・SK1209・SK1213・SK1218・SK1228・SK1229・SK1251・SK1256・SK1259・SK1263・SK1269・SK1293・SK1294・SK1296・SK1299・SK1313・SK1315・SK1329・SK1330・SD1031・SD1063・C区SD02・SP08・SP11

2期から3期の遺構 SK1335

3期の遺構 SD1006・SD1007・SP1002～SP1006・SP1009・SP1010・SP1015・SP1017・SP1020・SP1026・SP1028・SP1033～SP1035・SP1037・SP1043・SP1048～SP1050・SP1052・SP1054・SP1055・SP1061・SP1063・SP1069・SP1070・SP1077・SP1085・SP1097・SP1099・SP1115・SP1129・SP1130・SP1133・SP1140・SP1144・SP1149・SP1154・SP1155・SP1157・SP1159・SP1160・SP1162・SK1001・SK1002・SK1005・SK1006・SK1008・SK1012～SK1020・SK1022～SK1024・SK1026・SK1027・SK1029・SK1031・SK1034～SK1037・SK1039・SK1041・SK1042・SK1045・SK1051～SK1056・SK1059・SK1060・SK1062・SK1066・SK1067・SK1069・SK1071・

SK1074・SK1076～SK1078・SK1083・SK1088・SK1091・SK1093・SK1094・SK1099・SK1100・SK1103・SK1106・SK1110・SK1111  
・SK1113～SK1121・SK1124・SK1125・SK1128・SK1130・SK1133・SK1137・SK1140～SK1145・SK1154～SK1157・SK1162・SK  
1169・SK1170・SK1178・SK1185・SK1186・SK1195～SK1197・SK1204・SK1205・SK1207・SK1208・SK1210・SK1217・SK1223・  
SK1226・SK1233・SK1235～SK1237・SK1239・SK1240・SK1242～SK1246・SK1249・SK1255・SK1260・SK1266・SK1268・SK1272  
・SK1273・SK1290・SK1292・SK1298・SK1301・SK1303・SK1304・SK1311・SK1312・SK1314・SK1319・SK1323・SK1327・SK  
1331・SK1334・SK1337・SK1339・SK1342・SD1014・SD1022・SD1027～SD1029・SD1032～SD1034・SD1036・SD1040・SD1042  
～SD1044・SD1046・SD1047・SD1051・SD1053・SD1054・SD1058・SD1060～SD1062・SD1064・SD1065・SX1003～SX1005・SX  
1007・SX1023・SX1025～SX1027・SX1031・SX1032・SX1037・SX1042・SX1046・SX1049・SX1051・SX1053・SX1054・A区SD  
05・SD09・SP12・SP14・SH01・SH06・SK05・SK11・SK01・SX02、B区SD03・SK05・SK09・SK11・SP02・SP06～SP08、C区  
SH01～SH03・SH04・SH06～SH08・SK02・SK03・SK06・SP06・SP09、D区SP07

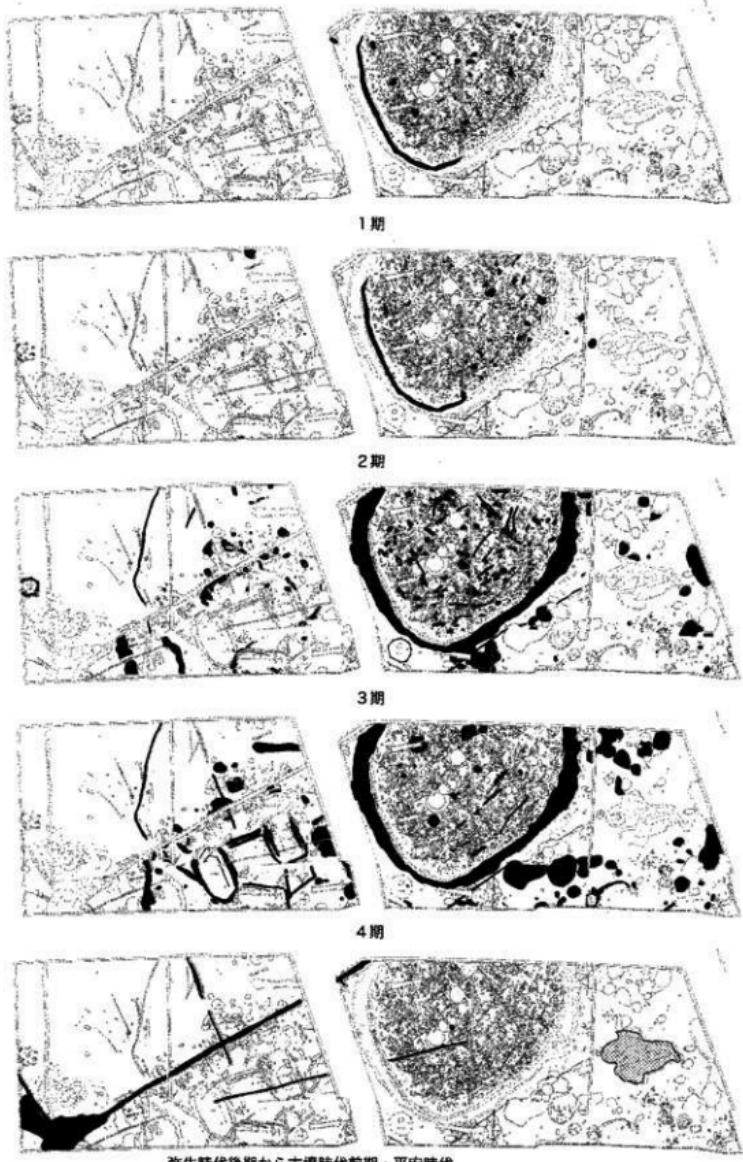
4期の遺構 SD1001～SD1005・SD1009・SB1003・SP1011・SP1080・SP1105・SP1150・SK1011・SK1021・SK1033・SK1040・  
SK1043・SK1044・SK1047・SK1048・SK1064・SK1101・SK1105・SK1109・SK1131・SK1138・SK1173・SK1175・SK1184・SK1202  
・SK1216・SK1258・SK1281～SK1285・SK1289・SK1295・SK1308・SK1309・SK1332・SK1336・SK1338・SK1340・SK1341・SD  
1011・SD1015～SD1019・SD1021・SD1024・SD1026・SD1035・SD1037・SD1041・SD1050・SD1052・SD1059・SD1066・SX1001・  
SX1002・SX1006・SX1008～SX1010・SX1017～SX1019・SX1024・SX1028・SX1030・SX1033～SX1036・SX1038～SX1040・SX10  
44・SX1045・SX1048・SX1050・SX1052・SX1055、A区SP08・SP11・SD04・SD06・SD08・SK02・SK03・SK06・SK13、B区SD  
01・SD02・SD05・SD07・SD09・SD10・SH01・SK02・SK03・SK17・SK18・SK19、C区SD03・SD05・SK04・SH05・SP03、D区  
SD02～SD04・SH02・SH04・SH05・SK13・SK16・SK18～SK20・SK22・SD04・SP12・SX01

弥生時代後期から古墳時代前期の遺構 SX1056

平安時代の遺構 SD1069・SD1070・A区SD12～SD14・SR01

本調査地のはば中央部には径50～60mの環濠SD01が巡るが、SD01の内側に平行して、弧を描くように溝SD1067が走る。SD1067は途中でSD01に重複しているが、土層堆積状況からSD01より古いことがうかがわれる所以、SD01に先行する時期の環濠であると考えられる。SD01は1期から4期の土器を含む。一方、SD1067出土土器は1期から2期のもので、SD01出土土器の古い様相をもつ土器群と同じ時期である。なお、SD1067の一部はSD01と重複しており、SD01の掘削時に削平を受けていることから、SD01には本来SD1067に埋没していた土器を含む可能性がある。すなわち、SD01出土土器の一部はSD1067の土器である可能性が強く、出土土器の時期がSD01の機能していた時期を示すわけではない。SD01の掘削時期は明確に断定できないが、SD01とSD1067の間は幅が狭く、同時期に2条の環濠が存在したとは考え難いことから、SD01は3期頃掘削されたと考えるほうがよいのではないかと思われる。

また、SD1067出土土器よりも古い可能性がある土器は2区SP1086出土壺(151)、2区SD1037出土壺(1841)があるが、数点だけであることから、本遺跡での集落の開始とほぼ同時に環濠SD1067が掘削されたと推定される。各時期の遺構分布図は第135図のとおりである。第135図をみると、1～2期は遺構数も少なく、環濠SD1067の内側にまとまっていることがわかる。3期では遺構数は増加し、環濠SD01の外側にも拡大する。4期も環濠内外に遺構が営まれる。鴨部・川田遺跡では弥生時代前期中葉に環濠SD1067が掘削され、まず、環濠の内側に集落が営まれた。前期後半にはSD1067の外側に環濠SD01が掘削されると同時に、環濠の外側にも集落が拡大していったと考えられる。



第135図 鶴部・川田遺跡の変遷

### 第3節 石器

本遺跡からは多量の石器が出土した。これらの石器は大部分が環濠S D01や包含層から出土したもので、遺構に伴うものが少ないが、先述した時期の明確な遺構から出土した石器やその石材について時期ごとの変遷を検討した。各時期の遺構から出土した石材または石器は第17表のとおりである。ここでは平成3年度調査分だけを対象として、凹み石・磨石・砥石は除外した。これらを除くと、時期比定可能な遺構から出土した石器の重量は35kg弱である。

まず、各時期の石器石材について検討する。1期と確定した遺構出土の石器の重量は全体で0.7kgと、小量である。サヌカイト以外に結晶片岩・半深成岩・流紋岩があるが、1~2点ずつである。2期の石器の重量は1.7kgと、1期の2倍以上で、遺構数も2倍増加している。サヌカイトが80%弱と圧倒的に多く、そのほかでは安山岩・結晶片岩・流紋岩がある。3期は最も遺構数の多い時期である。石器の重量は11.7kgと、2期の7倍近く増加する。サヌカイトが最も多いが、比率では2期よりも少なく、44%である。逆に、サヌカイト以外の石材は増加し、多種類の石材がみられる。の中でも多いのが安山岩で20%、次に流紋岩・結晶片岩で10%弱である。そのほかめのう（またはチャートまたは玉髓）・珪化木

時期	石材	重量 (g)	重量の比 率(%)	個数	種類
1 遺構数 包含土層数 119	サヌカイト	363.3	47.1	77	スクレイパー1 (6106)、石器1 (6281)、石器1 (6281)、石器4 (6422-6423-6426-6427)、剥片60、楔形石器 また石核1
	結晶片岩	73.2	9.5	1	扁平片岩石器製品1 (2500)
	半深成岩	252.1	32.7	1	大型刃物石器2 (4438)
	流紋岩	82.2	10.7	2	素材1、石器1 (6130)
2 遺構数 包含土層数 147	サヌカイト	1364.3	78.5	147	スクレイパー3 (6099)、石器7 (6132-6137-6148)、石器3 (6279-6287-6288)、石器5 (6416-6430-6433- 6441-6441)、剥片128、楔形石器または石核5、分割素材1
	安山岩	82.4	3.6	2	磨耗石刀T2 (4182-4183)
	結晶片岩	46.9	2.7	2	石砍削刃石器1 (4518)、剥片1
	不明(蛇文岩?)	34.4	2.0	1	扁平片岩石器1 (6064)
3 遺構数 包含土層数 951	流紋岩	230.1	13.2	5	石包丁石器製品1 (4131)、素材または剥片1
	サヌカイト	6210.7	44.5	800	打製石包丁2 (6005-6006)、スクレイパー11 (6102-6103-6105-6110-6112-6115-6156-6159-6163- 6173)、石器1 (6264)、石器6 (6280-6282-6283-6285-6301)、石器22 (6148-6421-6424-6425-6431- 6432-6434-6437-6439-6440-6444-6456-6458-6469-6302-6314-6316-6840) 加工痕ある剥片4 5、表面吸水性剥片4、大型刃物石器1、剥片128、分割素材1、楔形石器または石核5
	めのう、チャート、正體	722.7	6.2	6	素材または剥片6
	安山岩	2394.5	20.5	14	圓削石包丁1 (4180)、打製石包丁1 (4181-4244)、石器 (4342-4339-4380-4382-4394)、素材または剥片5
	珪化木	13.3	0.1	1	素材または剥片1
	鈣石	8.9	0.1	1	素材または剥片1
	結晶片岩	961.9	8.5	26	磨耗石包丁1 (4269)、磨耗石包丁1 (4319)、打製石包丁1 (4325)、柱状片岩石器7 (4519-4523-4525- 4526)、素材または剥片13、不明石器製品1 (5534)
	半深成岩	1026.3	8.8	2	大型刃物石器2 (4429-4463)
	片麻岩	258.3	2.6	1	素材または剥片1
	流紋岩	1004.0	8.7	28	磨削石包丁6 (4001-4006-4062)、石包丁石器6 (4069-4070-4065-4097-4099-4129)、素材または剥片10 11、表面吸水性剥片1 (4415)
4 遺構数 包含土層数 722	サヌカイト	8210.3	39.5	1187	打製石包丁9 (6004-6007-6040-6045-6089)、スクレイバー10 (6101-6109-6116-6120-6156-6157- 6165-6167-6168-6169-6171-6175-6181)、打製石器7 (1-6085)、石器2 (6271-6272)、石器30 (6291- 6292-6300-6302-6304-6306-6308-6310-6312-6314-6316-6318-6320-6322-6324-6326-6328-6330-6332- 6334-6336-6338-6340-6342-6344-6346-6348-6350-6352-6354-6356-6358) 分割素材21、楔形石器または石核28
	シルト岩	379.3	1.8	2	柱状片岩石器1 (4331)、扁平片岩石器1 (4367)
	安山岩	4213.4	20.3	3	磨削石包丁3 (4207-4208-4210)、打製石包丁1 (4209-4236-4254-4256)、石器2 (4337-4338-4360-4362- 4395-4397)、刀形2 (5131-5437)、石器3 (4611)、素材または剥片5、不明石器製品1 (5461)
	珪化木	13.3	0.1	1	剥片1
	矽灰岩	30.1	0.1	1	素材または剥片1
	鈣石	15.6	0.1	1	素材または剥片1
	結晶片岩	1521.0	7.3	17	磨削石包丁3 (4304-4306)、打製石包丁1 (4320)、石器3 (4409-4411)、柱状片岩石器1 (4544)、柱状片岩石 器-素材1 (4565)、磨削石包石器1 (5407)、素材または剥片2
	粘岩	51.7	0.2	1	磨削石包丁1 (4296)
	半深成岩	4004.9	19.3	8	大型刃物石器8 (4438-4456-4458-4462-4464)
	不明(蛇文岩?)	32.6	0.2	1	扁平片岩石器1 (4005)
5 遺構数 包含土層数 37	片麻岩	111.8	0.5	2	素材または剥片2
	流紋岩	2210.7	10.6	31	磨削石包丁7 (4007-4029-4031-4034-4096)、石包丁石器7 (4071-4096-4098-4100-4161-4163)、素 材または剥片37

第17表 1~4期の石器・石材 (平成3年度調査分)

・軽石・半深成岩がある。4期は石器の出土が最も多く、20.8kg出土した。3期同様多種類の石材がみられるが、サスカイト40%弱、安山岩20%強、半深成岩20%弱、流紋岩10%、結晶片岩7%である。半深成岩はいずれも重量の大きい太型蛤刃石斧である。

次に、1～4期の石器の形態を時期別に比較する。1期の石器は少量である。結晶片岩製の扁平片刃石斧未製品(5530)がある。5530は側縁や刃縁の平面形が丸く、繩文的な形態である。太型蛤刃石斧は1点ある。4419は半深成岩製で、断面形はやや扁平で、平面形台形を呈する(A断面中型a形態)。

2期には側縁・刃縁の平面形が直線的な扁平片刃石斧(4604 石材不明、蛇文岩?)がある。安山岩製の石包丁は2点で、4182は外湾刃半月形(A形態)、4183は杏仁形(C形態)である。

3期には安山岩製の磨製石包丁は4180がある。4180は杏仁形で抉りをもつ(G形態)。流紋岩製の磨製石包丁は6点認められるが、その中で形態のわかるものは2点ある。4002は外湾刃半月形(A形態)で、4004は杏仁形で抉りがある(G形態)。また、断面形が推定できるものは3点あるが、中央部が膨らむものは1点、直線的なものは2点である。流紋岩製石包丁未製品は6点で、4069は外湾刃半月形(A形態)の可能性が高い。4097は紐穴穿孔の際、回転穿孔以前に敲打を施す。結晶片岩製の磨製石包丁は4289の1点であるが、形態は不明である。サスカイト製の打製石包丁は2点であるが、いずれも形態は不明である。太型蛤刃石斧は半深成岩製2点と流紋岩製1点認められる。半深成岩製の4420はB断面大型c形態、4463は円に近い楕円形を呈するC断面大型c形態である。

4期には安山岩製の磨製石包丁は3点認められるが、小片で形態不明である。流紋岩製の磨製石包丁は7点ある。4029・4036は直線刃半月形(B形態)、4007・4035は杏仁形(C形態)、4034は杏仁形で抉りをもつ(G形態)。3期でみられた外湾刃半月形(A形態)は含まれていない。断面形がわかるものでは中央部が膨らむものは3点、直線的なものは3点で、3期に比べて中央部が膨らむものが増加する。結晶片岩製の磨製石包丁は3点ある。形態のわかるものは4305で、外湾刃半月形(A形態)である。そのほか、粘板岩製の磨製石包丁4286がある。断面形は中央部が膨れる。サスカイト製の打製石包丁は9点あるが、湾曲する背部と直線的な刃部をもつA形態は3点ないし4点、直線的な背部と刃部をもつB形態は2点で、形態が整っていないD形態は1点である。柱状片刃石斧では結晶片岩製4544とシルト岩製の4513、結晶片岩製の未製品4565がある。扁平片刃石斧では結晶片岩製の4597とシルト岩製の4587、石材不明(黒色、蛇紋岩?)の4605がある。太型蛤刃石斧は8点で、半深成岩製である。A断面大型a形態は4461、A断面中型b形態は4464、B断面大型b形態は4455・4460、C断面大型形態不明は4462がある。扁平なA断面も2点あるが、円に近い楕円形であるC断面も1点ある。

以上のように時期別に石器の形態を比較した。流紋岩製磨製石包丁では前期後半では外湾刃半月形がみられたが、前期末から中期初頭では外湾刃半月形ではなく、杏仁形が増加し、断面形も直線的なものから中央部が膨れるものが増加することがわかった。しかし、その他の石器については時期比定可能な遺構から出土した石器が少量であるため、形態の時期ごとの変化は明確にできなかった。

註

- (1) 森 格也「高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第7号 鳴谷・川出遺跡Ⅰ」香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・建設省四国地方建設局(1997)
- (2) 国木健司「西又遺跡」『香川県埋蔵文化財調査概報集』香川県教育委員会(1990)
- (3) 森下英治「龍川五条遺跡出土弥生土器の編年」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第29冊 龍川五条遺跡Ⅱ 鮎野東分山崎南遺跡』香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公团(1998)

第18表 土器類調査

番号	固版番号	器種	残存量	法面	色面	胎土	底形・測定		出土位置	層位
							外:摩滅、段、内:盤滅	外:摩滅、段、内:盤滅		
3001	1	壺	口縁部1.8 口径13.5cm	灰白 (10YR6/2)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 多量	粘土A類、花崗岩 (大・中) 多量	外:摩滅、段、内:盤滅	外:摩滅、段、内:盤滅	SD01	2区(南部最上層)
3002	1	壺	縁部1.4 口径15.6cm	外:黄灰 (2.5Y4/1)、内:灰白 (2.5Y7/1)	粘土A類、花崗岩 (大・中・小) 多量 長石 (大・中・小) 多量	粘土A類、花崗岩 (大・中・小) 多量 長石 (大・中・小) 多量	外:摩滅、ヘラ工具で押さえ込まれたことにより質を形成。内:ヘラミガキ、指揮え、摩滅	外:摩滅、ヘラ工具で押さえ込まれたことにより質を形成。内:ヘラミガキ、指揮え、摩滅	SD01	2区(中央2上層)
3003	1	壺	口縁部1.8 口径19.2cm	外:灰白 (10YR6/2)、内:にぶい黄灰 (10YR7/2)	粘土A類、灰白 (大・中) 多量	粘土A類、灰白 (大・中) 多量	外:摩滅取り沈線による段、ヘラミガキ、内:ヘラミガキ、指揮えナデ	外:摩滅取り沈線による段、ヘラミガキ、内:ヘラミガキ、指揮えナデ	SD01	2区(中央3下層)
3004	1	壺	縁部1.8 口径18.4cm前後	外:灰白 (5Y8/2)、内:灰白 (5Y7/2)	粘土A類、灰白 (大・中) 多量	粘土A類、灰白 (大・中) 多量	外:摩滅、ヘラ工具で押さえ込まれたことにより質を形成。内:ヘラミガキ、内:摩滅、ヘラミガキ	外:摩滅、ヘラ工具で押さえ込まれたことにより質を形成。内:ヘラミガキ、内:摩滅、ヘラミガキ	SD01	2区(中央2上層)
3005	1	壺	口縁部1.6 口径10.9cm	灰白 (2.5Y7/1)	粘土A類、長石・石英 (大・中) 多量 赤色鉄子 (中) 少量	粘土A類、長石・石英 (大・中) 多量 赤色鉄子 (中) 少量	外:新端部下方に押さえこむことにより質を形成。ヘラ抹拭痕文、内:板ナデ	外:新端部下方に押さえこむことにより質を形成。ヘラ抹拭痕文、内:板ナデ	SD01	2区(北部2下層)
3006	1	壺	体部1.4	外:灰白 (2.5Y8/2)、内:にぶい黄灰 (10YR7/2)	粘土A類、花崗岩 (大) 多量、赤色鉄子 (大) 多量	粘土A類、花崗岩 (大) 多量、赤色鉄子 (大) 多量	外:ヘラ抹拭痕文、ヘラ抹拭痕文、内:指揮え、ナデ	外:ヘラ抹拭痕文、ヘラ抹拭痕文、内:指揮え、ナデ	SD01	2区(中央2上層)
3007	1	壺	縁部1.8	外:灰白 (2.5Y8/2)、内:灰白 (10YR8/2)	粘土A類、長石・石英 (大・中・小) 多量	粘土A類、長石・石英 (大・中・小) 多量	外:ヘラ抹拭痕文、ヘラ抹拭痕文、内:摩滅	外:ヘラ抹拭痕文、ヘラ抹拭痕文、内:摩滅	SD01	2区(中央2上層)
3008	2	壺	体部破片	外:浅黄緑 (10YR8/3)、内:灰白 (10YR4/1)	粘土A類、長石・石英 (大・中・小) 多量	粘土A類、長石・石英 (大・中・小) 多量	外:摩滅取り沈線による段、ヘラ抹拭痕文 (3条)、内:板ナデ	外:摩滅取り沈線による段、ヘラ抹拭痕文 (3条)、内:板ナデ	SD01	2区(中央2下層)
3009	2	壺	体部破片	外:灰白 (2.5Y8/2)、内:灰白 (10YR7/1)	粘土A類、長石・石英 (大・中) 多量 赤色鉄子 (大) 少量	粘土A類、長石・石英 (大・中) 多量 赤色鉄子 (大) 少量	外:摩滅、點状擦れ取り沈線による段、ヘラ抹拭痕文 (3条)、内:摩滅	外:摩滅、點状擦れ取り沈線による段、ヘラ抹拭痕文 (3条)、内:摩滅	SD01	2区(中央1下層)
3010	2	壺	体部破片	外:灰白 (10YR6/2)、内:灰白 (10YR5/1)	粘土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・石英 (大・中) 多量	粘土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・石英 (大・中) 多量	外:ナデ摩拭痕文、ヘラ抹拭痕文 (3条)、内:ナデ	外:ナデ摩拭痕文、ヘラ抹拭痕文 (3条)、内:ナデ	SD01	2区(北部1下層)
3011	2・3	壺	体部1.8	灰白 (2.5Y9/1)	粘土A類、花崗岩 (中) 少量、長石・石英 (中) 少量	粘土A類、花崗岩 (中) 少量、長石・石英 (中) 少量	外:ヘラ抹拭痕文、ヘラ抹拭痕文、内:ナデ	外:ヘラ抹拭痕文、ヘラ抹拭痕文、内:ナデ	SD01	2区(北部1下層)
3012	2・3	壺	体部破片	外:灰白 (10YR8/2)、内:灰白 (10YR8/1)	粘土A類、花崗岩 (大・中・小) 多量 長石 (大・中・小) 多量	粘土A類、花崗岩 (大・中・小) 多量 長石 (大・中・小) 多量	外:ヘラ抹拭痕文 (現2条)、ヘラ抹拭痕文 (現2条)、内:ヘラ抹拭痕文	外:ヘラ抹拭痕文 (現2条)、ヘラ抹拭痕文 (現2条)、内:ヘラ抹拭痕文	SD01	2区(中央2上層)
3013	2・3	壺	体部破片	外:黄灰 (2.5Y4/1)、内:黒褐色 (2.5Y3/1)	粘土A類、花崗岩 (大) 少量	粘土A類、花崗岩 (大) 少量	外:ヘラ抹拭痕文、ヘラ抹拭痕文、内:板ナデ、ヘラ抹拭痕文、現3条、赤色鉄料付着、全体黒色鉄料付着、内:板ナデ	外:ヘラ抹拭痕文、ヘラ抹拭痕文、内:板ナデ、ヘラ抹拭痕文、現3条、赤色鉄料付着、全体黒色鉄料付着、内:板ナデ	SD01	2区(中央2下層)
3014	2・3	壺	体部破片	灰黄 (2.5Y7/2)			外:ヘラ抹拭痕文 (現2条)、内:ナデ	外:ヘラ抹拭痕文 (現2条)、内:ナデ	SD01	2区(中央2下層)
3015	2	壺	口縁部1.6 口径27.2cm	灰白 (10YR8/2)	粘土A類、花崗岩 (大) 多量 長石 (大) 多量	粘土A類、花崗岩 (大) 多量 長石 (大) 多量	外:ヘラミガキ、頭部削出突筋部1種、内:ヘラミガキ	外:ヘラミガキ、頭部削出突筋部1種、内:ヘラミガキ	SD01	2区(北部2上層)
3016	3・28	壺	口縁部1.3 口径16.2cm	にぶい黄緑 (10YR7/2)			外:摩滅、削出突筋部1種 (現存在)、内:ヘラミガキ、削出突筋部1種 (現存在)、内:摩滅、指揮え	外:摩滅、削出突筋部1種 (現存在)、内:ヘラミガキ、削出突筋部1種 (現存在)、内:摩滅、指揮え	SD01	2区(中央1上層)

番号	固版帶付	残存量	法量	色調	断面	出土位置	部位
3017	3	壺	颈部1/3	外: 洗素窓 (10YR6/3)、内: にぶい黄 色 (10YR7/2)	粘土A類、石英 (大) 多量	外: 雪泥、前出突起部1箇1条、内: 礫、指揮	SD01 2区北端上層
3018	3	壺	腹部1/6	口径15.6cm 外: 灰白 (10YR6/2)、内: 淡白 (2.5YR8/2)	粘土A類、花崗岩 (中) 少量、長石 (大) 石英 (大・中) 少量	外: 指揮え、ヘミガキ、頭部へラ指 沈縫文 (1条)、内: ナデ	SD01 2区中央上層
3019	28	壺	腹部完全	外: 厚黄 (2.5Y7/2)、内: 灰白 (10YR8/2)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 多量	外: 雪泥、体部へハケ日、堅品へラ指 沈縫文 (1条)、内: 指揮え後ナデ	SD01 2区北部1 最上層
3020	4	壺	颈部1/4	灰白 (10YR8/2)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 少量、長 石 (中) 少量	外: ナデ、ヘラ指沈縫文 (1条)、内: 指揮え、板ナデ	SD01 2区北部1 最上層
3021	4	壺	颈部1/6	外: 深黄 (2.5Y8/3)、内: にぶい黄 色 (10YR7/2)	粘土A類、長石・石英 (中) 多量 金雲母 (小) 多量	外: 板ナデ、颈部へア 指揮え (1条)、内: ナデ	SD01 2区北部2下層
3022	4	壺	颈部～ 体部1/4	外: 黄灰 (10YR4/1)、内: 灰 色 (10YR8/2)	粘土A類、花崗岩 (大) 少量、長石 (大・中・小) 石英 (小) 少量	外: 頭部へラ指沈縫文 (現存1条)、内: 指揮え後ナデ	SD01 2区中央上層
3023	4	壺	体部1/6	1.5m 黄縫 (10YR7/2)	粘土A類、長石・石英 (人・中) 少量	外: 雪泥、ヘラ指沈縫文 (1条)、内: 指揮え	SD01 2区南端最1層
3024	4	壺	体部1/6	灰白 (10YR8/2)	粘土A類、長石・石英 (人・中・小) 少量	外: 雪泥、ヘラ指沈縫文 (1条)、内: 指揮え後ナデ	SD01 2区北部上層
3025	28	壺	1.5m 黄縫 口徑12.0cm、底 高19.5cm、底 幅7.0cm	外: 1.5m 黄縫 (10YR7/2)、内: 淡黄 色 (10YR6/2)	粘土A類、長石・石英 (大) 多量	外: ハケ日後ヘミガキ、頭部へラ指 沈縫文 (2条)、現存1条、内: ナデ	SD01 2区中央3下層
3026	4	壺	颈部1/4	灰黄 (2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩 (人) 少量、長石 (人) 石英 (人・中・小) 多量、赤色紅子 (人) 少量	外: ヘミガキ、ヘラ指沈縫文 (2条)、 内: ヘミガキ	SD01 2区北部上層
3027	28	壺	口縫添7/6	口徑12.2cm	粘土A類、長石 (大) 多量、赤 色紅子 (中) 少量	外: 頭部へハケ日、ヘラ指沈縫文 (2条)、内: 現存、指揮え	SD01 2区北部上層
3028		壺	体部1/6	底径8.1cm	粘土A類、花崗岩 (大・中) 多量 石英 (大・中) 少量	外: 頭部へラ指沈縫文 (2条)、 内: 雪泥	SD01 2区北部下層
3029	4	壺	体部1/6	外: 灰灰 (2.5YR4/1)、内: 灰灰 (2.5Y5/2)	粘土A類、長石・石英 (大・中) 少量 石英 (中) 少量	外: ミガキ、ヘラ指沈縫文 (8条) 後へラ指沈縫文 (現存1条、内: 雪泥、指揮え	SD01 2区
3030	4	壺	体部1/6	外: 高灰 (2.5Y5/1)、内: 灰 (5Y6/1)	粘土A類、長石・石英 (人・中) 少量	外: ヘラ指沈縫文 (8条)、ヘラ 指沈縫文 (2条)、内: ナデ	SD01 2区北部下層
3031	1	壺	体部1/6	1.5m 黄縫 (10YR7/2)	粘土A類、花崗岩 (中) 少量、長石・ 石英 (大) 少量	外: ヘミガキ、ヘラ指沈縫文 (2条)、 内: ヘミガキ	SD01 2区北部上層
3032		壺	口縫部1/4	口徑16.7cm (2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 多量 石英 (大・中・小) 多量	外: 雪泥、ヘラ指沈縫文 (現存3条)、内: 指揮え、門脇部ヘミガキ、体部へラ指 沈縫文 (1条)、外: 腹	SD01 2区中央4 他上層
3033	5・6	壺	口縫部1/6	口径45.0cm 浅黄縫 (7.5YR8/6)	粘土A類 (大・中) 多量 石英 (人・中) 多量	外: 頭部へラ指沈縫文 (3条)、沈縫則目、 頭、ヘラ指沈縫文 (1条)、内: 雪泥	SD01 2区・3区
3034		壺	口縫部1/6	口径17.4cm 灰白 (2.5Y8/2)	粘土A類、長石・石英 (人・中) 多量	内: 雪泥、板ナデ	SD01 2区中央2下層

番号	回版番号	器種	保存量	法環	色調	胎土	成形・調整		出土位置	部位	
							外:「に」と書かず 内:「に」と書く (2.5Y7/2)	外:「に」と書かず 内:「に」と書く (10YR6/3)	外:「に」と書かず 内:「に」と書く (2.5Y6/3)		
3035	壺	底部完全	底径9.4cm	口徑13.3cm、底径 11.1cm	外:灰黃 内:灰黃 (2.5Y7/2)	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	SD01	2区南端下層
3036	壺	全体5/8	高39.5cm、底徑 9.0cm	外:灰黃 内:灰黃 (2.5Y6/3)	外:灰黃 内:灰黃 (2.5Y7/2)、内:黑褐色 (2.5Y8/1)	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	SD01	2区南端下層
3037	壺	全体完全	口徑15.2cm、底徑 9.0cm	外:灰黃 内:灰黃 (2.5Y7/2)	外:灰黃 内:灰黃 (2.5Y8/1)	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (中) 少量、長石 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (中) 少量、長石 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (中) 少量、長石 (大) 多量	SD01	2区南端下層
3038	壺	底部完全	口徑11.0cm、底徑 6.0cm	外:灰白 内:灰白 (2.5Y8/1)	胎土A類、長石、石英 (大) 少量	胎土A類、長石、石英 (大) 少量	胎土A類、長石、石英 (大) 少量	胎土A類、長石、石英 (大) 少量	胎土A類、長石、石英 (大) 少量	SD01	2区北部上層
3039	壺	底部完全	口徑21.2cm	外:灰白 内:灰白 (2.5Y8/1)	胎土A類、石英 (大) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 少量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 少量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 少量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 少量、長石 (中) 少量	SD01	2区北部上層
3040	壺	全体1/8	口徑20.0cm	外:灰黃 内:灰黃 (2.5Y8/4)	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	SD01	2区北部上層
3041	壺	全体1/4	口徑27.4cm	外:「に」と書かず 内:「に」と書く (2.5Y2/1)	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	SD01	2区北部上層
3042	壺	上部3/4	口徑20.0cm	外:灰黃 内:灰黃 (10YR4/1)	胎土A類、長石、石英 (大) 多量、赤色粒子 (小) 少量	胎土A類、長石、石英 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、長石、石英 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、長石、石英 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、長石、石英 (大) 多量、長石 (中) 少量	SD01	2区中央3下層
3043	壺	頭部1/3	口徑27.4cm	外:灰白 内:灰白 (2.5Y7/4)	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	SD01	2区北船2 底部上層
3044	壺	口縫部1/2	口徑12.6cm	外:橙 (5YR7/6)	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	SD01	2区北部上層
3045	壺	口縫部1/4	口徑25.4cm	灰白 (2.5Y8/1)	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	SD01	2区中央上層
3046	壺	底部完全	口徑18.5cm	浅黃橙 (7.5YR8/4)	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	SD01	2区南部上層
3047	壺	口縫部1/8	口徑17.7cm	外:灰白 (2.5Y8/1)	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	SD01	2区
3048	壺	頭部3/8	口徑12.6cm	灰白 (2.5Y7/1)	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	SD01	2区中央壁小室
3049	壺	上部3/4	口徑27.3cm	外:灰白 (5Y8/1)	胎土A類、長石、石英 (大) 多量	胎土A類、長石、石英 (大) 多量	胎土A類、長石、石英 (大) 多量	胎土A類、長石、石英 (大) 多量	胎土A類、長石、石英 (大) 多量	SD01	2区中央2 壁
3050	壺	壺部完全	口徑16.2cm	外:灰白 (2.5Y8/1)	胎土A類、石英 (大) 多量	胎土A類、石英 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、石英 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、石英 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、石英 (大) 多量、長石 (中) 少量	SD01	2区中央1上層
3051	5	壺	上部1/4	口徑18.8cm	にがい青橙 (10YR7/2)	胎土A類、花崗岩 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (中) 少量	SD01	2区4号2下層

番号	固版番号	解説	残存量	注意	色調	胎土	成形・調整	出土位置	部位	
3052	5	壺	体部1/6	外:黒褐(10YR21)、内:褐(7.5YR4/3) 白(人) 少量、花崗岩(人) 少量、長石・ 石英(大・中) 少量	外:板ナデ、ヘラ抹沈織文(3条)、 重複状(1)切欠文、ヘラ抹沈織文(4 条)、内:指押え後板ナデ	SD01	2区北端上層			
3053	5・6	壺	颈部1/4	外:黄灰(2.5Y5/1)、内:黑(2.5Y2/1) 胎土A類、長石・石英(中) 少量	外:頭部ヘラ抹沈織文(現有4条)、 外部:頭部日隈ヘラミガキ、ヘラ抹沈織文(現 有3条)、内:板ナデ	SD01	2区中央下層			
3054	壹	肩部1/6		外:黄灰(2.5Y7/1)、内:灰黄(2.5Y7/2) 胎土A類、長石・石英(大・中) 少量	外:ヘラ抹沈織文(9条)、ヘラ抹沈織文(現 有2条)、内:指押え後ヘラミガキ	SD01	2区北部2 最上層			
3055	壹	体部1/4		外:黑(2.5Y2/1)、内:黄灰(2.5Y4/1) 胎土A類、花崗岩(大) 少量、長石・ 石英(人・中・小) 多量	外:半軋竹管によるヘラ抹根巻山形文、 ヘラ抹根巻山形文(7条)、半軋竹管文(8 条)、三角形刻文、内:板ナデ	SD01	2区中段下層			
3056		壺	口縁部1/2	口縁部1/2 口径23.4cm 外:灰白(10YR5/2)、内:淡黄(2.5Y4/2) 胎土A類、花崗岩(人) 多量、赤色粒子(人) 少量 石英(人) 多量、黃胎土A類、長石・石英(人・中・小) 多量	口縫上・下端斜削刃、端面ヘラ抹沈織 文(15条)、内:盤面	SD01	2区北壁上層			
3057		壺	口縁部1/4	口径26.0cm 外:灰白(2.5Y5/1)、内:暗灰(2.5Y5/2)	外:ヘラ抹沈織文(7条)、ヘラ抹沈織文(11条)、内: ナデ	SD01	2区中央下層			
3058		壺	口縁部1/6	口径15.4cm 外:にぶい壺(7.5YR7/4)、内:浅黄胎土A類、長石・石英(大・中) 多量	外:頭部削出突起部1種、内:ヘラミ ガキ	SD01	2区中央下層			
3059		壺	腹部完存	口径14.25cm 外:(10YR4/1)	胎土A類、長石・石英(人) 多量	外:黑色顔料、帶狀に赤色顔料付着 ヘラミガキ、頭部貼付突起(1条)、 (2条)、内:ヘラミガキ、指ナデ	SD01	2区北部2下層		
3060	5・6	壺	腹部1/6	外:黒褐(10YR3/1)、内:にぶい黄胎土A類、長石・石英(大・中) 少量	外:ヘラミガキ、頭部貼付突起(1 条)、内:黑色顔料付着(1条)、 ヘラミガキ、指ナデ	SD01	2区中央下層			
3061	壹	体部~ 底品完存	口径15.2cm、底 径31.2cm、底 厚7.0cm	外:黒褐(10YR8/2) 胎土A類、花崗岩(中) 色粒子 (人) 少量	外:盤底、ヘラミガキ、ヘラ抹沈織文 (7-9条)、内:盤底、指押え	SD01	2区中央下層			
3062	壹	山根部1/4	口径11.3cm	外:黄灰(2.5Y5/1)、内:褐色(10YR4/1) 胎土A類、花崗岩(大) 少量、長石・ 石英(人) 多量	外:ヘラミガキ、貼付突起(現在1条)、 内:盤底	SD01	2K			
3063	壺	体部完存	底径6.6cm	外:灰黄(2.5Y7/2)、内:灰白(10YR7/1) 胎土A類、花崗岩(人・中) 多量、角閃石(中) 少量	外:頭部貼付突起(1条)、内:ヘラミ ガキ、指押え後板ナデ	SD01	2区中央下層			
3064	28	壺	口径20.0cm 口元	外:にぶい壺(7.5YR6/3)、内:ぶ い壺(7.5YR7/4)	外:盤底、指押え、頭部貼付突起(1 条)、内:盤底、指押え	SD01	2区中央下層			
3065	壹	体部完存	底径7.0cm	灰黄(2.5Y7/2)	外:頭部削出突起(2条)、ヘラミ ガキ、体部(人) ヘラ抹沈織文(1条)、竹管 文、ヘラ抹沈織文(1条)、竹管 文、内:ナデ?	SD01	2区中央下層			

番号	区段番号	器種	残存量	法面	色調	断土	地形・調整	出土位置	部位
3066	否	底部完存	口径14.8cm、底径6.6cm	灰質陶 (10YR6/2)	灰質陶	粘土A類、花崗岩 (大) 少量、長石 (外) ヘラミガキ、頭部點付剝離尖端 (2条)、体面部 (内) 突起 (2条)、赤色顔料 (2条)、ヘラミガキ、板ナメ、赤色顔料 (2条)、	外:ヘラミガキ、頭部點付剝離尖端 (3条)、内:指揮ス、ヘラミガキ、板ナメ、赤色顔料 (2条)、	SD01	2区南部上層 最下層
3067	否	頭部完存	口径20.0cm	外:灰 黃 (10YR6/2)	灰白 (2.5Y7/2)、内:灰 黄 (10YR8/2)	粘土A類、花崗岩 (大) 少量、長石 (大・中・小) 多量、赤色顔料 (内) 少量	外:ソケ日後ヘラミガキ、粘土A類、花崗岩 (大) 少量、長石 (2条)、内:ヘラミガキ (2条)、	SD01	2区南部上層
3068	28	壺	頭部完存	口径17.2cm	灰白 (10YR8/2)	粘土A類、長石・石英 (人) 多量	外:ヘラミガキ、ヘラジヤク文 (4条)、粘土A類、長石・赤色顔料 (内) 少量	SD01	2区北部下層
3069	否	頭部完存	口径28.4cm	灰白 (2.5Y6/2)	粘土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (大・中・小) 多量	外:ヘラミガキ、ヘラジヤク文 (2条)、内:ヘラミガキ (5条以上)、内:ヘラミガキ (2条)、	粘土A類、長石・石英 (大) 多量、長石 (大・中) 多量	SD01	2区北部下層
3070	否	口縁部1.6	口径28.8cm	灰白 (2.5Y6/2)	粘土A類、長石・石英 (人) 多量	外:把手 (田川窓) 陶舟1側 (腰窓)、ハチ口、内:指揮ス、粘土A類、長石・石英 (大) 多量、長石 (大・中) 多量	外:把手 (田川窓) 陶舟1側 (腰窓)、ハチ口、内:指揮ス、粘土A類、長石・石英 (大) 多量、長石 (大・中) 多量	SD01	2区北部上層
3071	否	口縁部1.6	口径28.2cm	灰白 (10YR8/2)	粘土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (大・中・小) 多量	外:壁城、ハケ口 (内) 三角形刻要文、貼付受筒 (現保存条件)	粘土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (大・中・小) 多量	SD01	2区北部上層
3072	否	体部1.6	口径28.2cm	灰白 (10YR7/3)	粘土A類、長石・石英 (人) 多量	外:壁城、ハケ口 (内) 三角形刻要文、貼付受筒 (現保存条件)	粘土A類、長石・石英 (人) 多量	SD01	2区北部上層
3073	否	口縁部3.8	口径13.2cm	外:灰 黃 (2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩 (大・中・小) 多量、長石・石英 (大・中・小) 多量	外:壁城、ハケ口 (内) 三角形刻要文、貼付受筒 (現保存条件)	粘土A類、花崗岩 (大・中・小) 多量、長石・石英 (大・中・小) 多量	SD01	2区北部上層
3074	否	頭部1.4	口径16.5cm	外:灰 黃 (10YR6/4)、内:灰 黃 (10YR6/2)	粘土A類、長石・石英 (大・中・小) 外:壁城、内:指揮ス、ナデ	外:口縫部指揮ス、頭部ナデ、斯波ヘラミガキ、内:指揮ス (後付)、ナデ	粘土A類、長石・石英 (大・中・小) 多量、長石・石英 (大・中・小) 多量	SD01	2区中央上層
3075	否	口縁部1.4	口径9.4cm	外:灰 黃 (2.5Y7/3)、内:灰 黃 (10YR6/1)	粘土A類、花崗岩 (大・中・小) 多量、長石・石英 (大・中・小) 外:壁城、内:指揮ス、ナデ	外:口縫部指揮ス、頭部ナデ、斯波ヘラミガキ、内:指揮ス (後付)、ナデ	粘土A類、花崗岩 (大・中・小) 多量、長石・石英 (大・中・小) 多量	SD01	2区中央上層
3076	否	口縁部3.8	口径11.0cm	外:灰 黃 (2.5Y7/1)、内:灰 黃 (2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩 (中) 少量、角閃石 (内) 少量	外:口縫部指揮ス、頭部ナデ、斯波ヘラミガキ、内:指揮ス (後付)、ナデ	粘土A類、花崗岩 (中) 少量、角閃石 (内) 少量	SD01	2区中央上層
3077	否	体部完存	器高8.0cm、底径5.8cm	外:灰 黃 (2.5Y5/2)、内:灰 黃 (2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 少量	外:赤色顔料 (内) 指揮ス (後付)、ナデ	粘土A類、花崗岩 (大・中) 少量	SD01	2区中央上層
3078	否	底部完存	底径6.2cm	灰 黃陶 (10YR5/2)	粘土A類、花崗岩 (人) 少量、石英 (外) 板ナメ、ヘラミガキ (内) 板ナメ、ヘラミガキ (内) 指揮ス、ナデ	粘土A類、花崗岩 (人) 少量、石英 (外) 板ナメ、ヘラミガキ (内) 板ナメ、ヘラミガキ (内) 指揮ス、ナデ	粘土A類、花崗岩 (人) 少量、石英 (外) 板ナメ、ヘラミガキ (内) 板ナメ、ヘラミガキ (内) 指揮ス、ナデ	SD01	2区南部下層
3079	否	体部完存	底径6.1cm	灰白 (10YR8/2)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 多量	外:ヘラミガキ、長石 (外) ハケ口 (内) 指揮ス (後付)、ナデ	粘土A類、花崗岩 (大・中) 多量	SD01	2区中央上層
3080	否	体部~底部完存	底径7.6cm	外:灰 黃 (2.5Y5/2)、内:灰 黃 (2.5Y7/2)	粘土A類、長石・石英 (人・中) 多量	外:板ナメ後ヘラミガキ、内:指揮ス、ナデ	粘土A類、長石・石英 (人・中) 多量	SD01	2区中央上層
3081	否	体部~底部完存	底径6.6cm	灰白 (10YR8/2)	粘土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (外) ハケ口 (内) 指揮ス (後付)、ナデ	粘土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (外) ハケ口 (内) 指揮ス (後付)、ナデ	粘土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 (外) ハケ口 (内) 指揮ス (後付)、ナデ	SD01	2区中央上層
3082	否	体部完存	底径8.0cm	外:灰 黃 (5YR7/3)、内:浅黃陶 (10YR8/4)	粘土A類、花崗岩 (中) 少量	外:板ナメ後ヘラミガキ、内:指揮ス (後付)、ナデ	粘土A類、花崗岩 (中) 少量	SD01	2区中央下層
3083	否	底部5.8	底径7.0cm	外:灰 黃 (10YR8/2)、内:灰 白 (2.5Y7/1)	粘土D類、長石・石英 (大) 多量、灰色砂粒 (大) 多量	外:壁城、内:指揮ス	粘土D類、長石・石英 (大) 多量、灰色砂粒 (大) 多量	SD01	2区中央下層

番号	西版番号	蓋種	残存量	法量	色調	断土	断面・調査	出土位置	層位
3084		壺	底部存	底径11.7cm	外：浅黄 (2.5Y7/3)、内：にぶい黄褐 (10YR5/3)	粘土A類、花崗岩 (tp) 多量、長石・石英 (中) 少量	外：ヘラミガキ、内：ボナマ後ヘラミガキ	SD01	2区南端上層
3085	5・6	壺	口縁部18cm	口径26.0cm	外：黒 粘 (10YR3/1)、内：黄 灰 (2.5Y4/1)	粘土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・石英 (大・中・小) 多量	外：口縫端部ヘラミガキ沈積文 (1条) 横刻日、底部海藻直線文 (4条) 平位、5単位以上、ヘラミガキ、内：ボナマ後ヘラミガキ	SD01	2区中央2下層
3086	29	壺	口縁部3.4cm	口径20.0cm	外：黒 灰 (2.5Y3/1)、内：新灰 (2.5Y4/2)	粘土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・石英 (tp) 少量	外：複合口縫部海藻直線文 (1条)、内：ハケ日後頭部海藻直線文 (現存16条)、内：削減、ハケ目	SD01	2区中央2下層・2区中央2上層・2区中央北端試掘トレーンチ
3087	7	壺	口縁部12cm	口径9.2cm	外：粘 (5Y6/6)、内：にぶい灰 (5Y6/4)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 多量、長石・石英 (大・中) 多量	外：口縫滅、海藻直線文 (15条程度)、内：削減	SD01	2区北35始上層
3088	7	壺	体部1.8	体部1.8	外：灰 黄 (2.5Y7/2)、内：新灰 (2.5Y5/2)	粘土A類、花崗岩 (大) 多量、長石・石英 (大) 多量	外：口縫滅、海藻直線文 (現存23条)、削減直線文 (3条)、内：指印え、ナデ	SD01	2区北35始上層
3089	7	壺	瓶	瓶部1.2	褐色 (10YR4/1)	粘土A類、長石・石英 (人・中・小) 多量	外：削減状文 (6条)、海藻直線文 (多条)、内：指印え、ナデ	SD01	2区中央2上層
3090	7	壺	体部1.4	体部1.4	外：灰褐 (7.5YR4/2)、内：にぶい黄 (10YR6/3)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 少量、長石・石英 (tp) 多量	外：ハケ日後削減状文 (現存10条)、削減直線文 (20条程度)、内：指印え、ナデ	SD01	2区中央2下層
3091	7	壺	体部1.8	体部1.8	外：黒 (10YR7/1)、内：灰褐 (2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・石英 (大・中・小) 多量	外：削減直線文 (12条)、削減直線文 (6条)、内：指印え、ナデ	SD01	2区中央2下層
3092	7	壺	体部1.4	体部1.4	にぶい黄 (10YR7/2)	粘土A類、花崗岩 (中) 少量、内：四石 (中) 少量、石英 (中) 少量	外：削減直線文 (現存25条)、削減波状文 (5条)、削減山形文 (16条)、内：削減波状文 (5条)、削減山形文 (16条)、内：削減直線文 (5条)、内：指印え、ナデ	SD01	2区中央1下層
3093	7	壺	体部1.8	1.0	灰 褐 (2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 多量、長石・石英 (大・中) 多量	外：削減直線文 (現存47条)、削減波状文 (5条)、内：指印え、ナデ	SD01	2区中央2上層
3094	7	無縫壺	口縁部1.0	口径18.2cm	外：褐色 (10YR4/1)、内：にぶい黄 (10YR7/3)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 多量、長石・石英 (大) 多量	外：削減直線文 (15条)、削減波状文 (4条)、内：ハケ日後削減直線文と三角形削減文 (2条)、内：指印え	SD01	2区中央1下層
3095	8	無縫壺	体部1.4	1.77cm	外：褐色 (10YR4/1)、内：にぶい黄 (10YR7/3)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 多量、長石・石英 (大) 多量	外：ハケ日後削減直線文と三角形削減文 (2条)、内：指印え	SD01	2区中央2下層
3096		無縫壺	(1)足元存	口径10.1cm、器高11.5cm、底径6.5cm	外：灰白 (2.5Y5/8/2)、内：淡黄 (2.5Y8/3)	粘土A類、長石・石英 (大・中) 多量、赤色絞了 (小) 少量	外：口縫部把手 (H2.2個) 2個・外：摩滅、板ナデ、内：指印え後ボナマ	SD01	2区中央2下層
3097	8	無縫壺	口縁部1.8	口径12.7cm	外：灰 黃褐 (10YR5/2)、内：灰 黄 (2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩 (人) 少量、長石・石英 (大) 多量	外：三角形削減文、ヘラミガキ沈積文 (11条)、内：三角形削減文、ヘラミガキ沈積文 (11条)、内：指印え後ヘラミガキ	SD01	2区北端上層

番号	回収番号	器種	保存量	法量	色調	断面	成形・調整	出土位置	部位
3088	8・9	甕	口縁部1/8 口径1.0cm	外：明褐色 (7.5YR7/1)	胎土A類、花崗岩(中)少量、長石(人・中・小)多量、赤色的程度(中)少量	胎土A類、花崗岩(中)少量、長石(人・中・小)多量、赤色的程度(中)少量	折り返し口縁または底に山型輪郭削日、外へラ指捺沈綴文(1条)、内：板ナデ後ヘミガキ	SD01	2区中2下層
3089	8	甕	系部1/10 口径21.0cm	灰白(2.5Y8/2)	胎土A類、花崗岩(大・中)多量	胎土A類、花崗岩(大・中)多量	山型輪郭削日、外へラ指捺沈綴文(1条)、内：板ナデ後ヘミガキ	SD01	2区南部上層
3100	8	甕	口縁部1/8 口径20.2cm	外：にぶい黒(7.5YR6/5)、内：にぶい黄(10YR7/2)	胎土A類、花崗岩(人・中)多量、長石(人・中)少量	胎土A類、花崗岩(人・中)多量、長石(人・中)少量	山型輪郭削日による段、ヘラミガキ、内：板ナデ	SD01	2区中2上層
3101	8	甕	口縁部1/8 口径19.1cm	橙(2.5Y6/6)	胎土A類、花崗岩(大・中)少量	胎土A類、花崗岩(大・中)少量	山型輪郭削日、外へラ指捺沈綴文(1条)、内：板ナデ	SD01	2区南部上層
3102		甕	系部1/4 口径15.1cm	外：墨(7.5YR3/1)、内：胎土A類、花崗岩(大・中)多量 (2.5YR3/1)	胎土A類、花崗岩(大・中)多量	胎土A類、花崗岩(大・中)多量	外：ナデ、内：ナデ	SD01	2区北部下層
3103	8・9	甕	口縁部1/7 口径14.7cm	にぶい黄(7.5YR6/3)	胎土A類、花崗岩(大・中・小)多量、赤色粒子(中)少量	胎土A類、花崗岩(大・中・小)多量、赤色粒子(中)少量	口縫輪郭削日、外へラ指捺沈綴文(2条)、内：ナデ	SD01	2区
3104	8	甕	口縁部1/7 口径22.9cm	外：灰褐色(7.5YR6/2)、内：にぶい黄(10YR7/2)	胎土A類、花崗岩(大・中)多量	胎土A類、花崗岩(大・中)多量	口縫輪郭削日、外へラ指捺沈綴文(2条)、内：ナデ	SD01	2区北部上層
3105	差	甕	口縁部1/6 口径7.7cm	外：黒褐色(10YR3/1)、内：にぶい黄褐色(10YR7/2)	胎土A類、花崗岩(中)少量、長石(人)多量	胎土A類、花崗岩(中)少量、長石(人)多量	口縫輪郭削日、外へラ指捺沈綴文(2条)、内：ナデ	SD01	2区中4出1
3106	差	甕	口縁部1/8	橙(2.5YR6/6)	胎土A類、花崗岩(大・中・小)多量	胎土A類、花崗岩(大・中・小)多量	口縫輪郭削日、外へラ指捺沈綴文(2条)、内：ナデ	SD01	2区南部下層
3107	差	甕	口縁部1/8 口径50.8cm	外：灰白(2.5Y7/1)、内：糊灰(10YR4/1)	胎土A類、花崗岩(大・中)多量、長石(人)少量	胎土A類、花崗岩(大・中)多量、長石(人)少量	口縫輪郭削日、外へラ指捺沈綴文(3条)、内：ナデ	SD01	2区中4出4
3108	差	甕	底部1/4 口径21.2cm、底径8.0cm	胎土A類、花崗岩(10YR5/2)	胎土A類、花崗岩(大・中・小)多量	胎土A類、花崗岩(大・中・小)多量	口縫輪郭削日、外へラ指捺沈綴文(3条)、内：ナデ	SD01	2区中4下層
3109	8	甕	口縁部1/6 口径23.0cm	外：にぶい黄(10YR7/3)、内：灰黃(10YR4/2)	胎土A類、花崗岩(中)少量、長石(人)多量	胎土A類、花崗岩(中)少量、長石(人)多量	折り曲げ口縁、口縫輪郭削日、外：ナデ	SD01	2区北部上層
3110	9	甕	口縁部1/6 口径20.2cm	外：灰黃褐色(10YR5/2)、内：灰黃褐色(10YR4/2)	胎土A類、花崗岩(人)微量、長石(人)多量	胎土A類、花崗岩(人)微量、長石(人)多量	外へラ指捺沈綴文(6条)、内：指捺え後ナデ	SD01	2区北部上層
3111	8	甕	口縁部 缺片	外：にぶい黄(10YR6/3)、内：灰黃褐色(10YR8/4)	胎土A類、花崗岩(大)少量、長石(人・中・小)多量	胎土A類、花崗岩(大)少量、長石(人・中・小)多量	外：ヘラ筋挖削文(1条)、内：ナデ	SD01	2区南部上層
3112	差	甕	口縁部1/4 口径25.3cm	外：にぶい黒(7.5YR5/3)、内：灰黃褐色(7.5YR5/2)	胎土A類、花崗岩(人・中)多量、長石(人・中)微量	胎土A類、花崗岩(人・中)多量、長石(人・中)微量	外：ヘラ指捺沈綴文(9条)、内：ナデ	SD01	2区中央部上層
3113	差	甕	口縁部1/7 口径22.2cm	外：黒(7.5YR3/1)、内：灰黃褐色(7.5YR3/3)	胎土A類、花崗岩(人)少量	胎土A類、花崗岩(人)少量	口縫輪郭削日、外へラ指捺沈綴文(1条)、内：ナデ	SD01	2区中4下層
3114	9	甕	口縁部1/8 口径17.4cm	外：灰黃褐色(10YR5/2)、内：灰黃褐色(2.5Y6/2)	胎土A類、花崗岩(人・中)少量	胎土A類、花崗岩(人・中)少量	山形口縁、外：当世竹管へラ指捺沈綴文(3条)、内：指捺え後板ナデ	SD01	2区南部上層

番号	固版番号	岩種	現存量	法面	色調	粒度	成形・調整	出土位置	層位
3115	變	口縫部 14才完存	口径20.0cm 高200.0cm	外：灰褐色 (2.5Y7/6)	粘土A類、花崗岩 石英（大・中）多量	長石・外：指揮え後ナ テ	SD01	2区中央3 最上層	
3116	變	完形 6才	口径13.9cm、 高11.3cm、底径 6.7cm	外：灰褐色 (2.5YR6/6)	粘土A類、長石・石英（大・中・小）多量	外：灰褐色、内：灰 色	SD01	2区南部上層	
3117	變	1才縫部16才 6才	口径26.8cm 高13.6cm、底径 6.7cm	外：灰褐色 (10YR7/3)	粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量	長石・ 粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量	SD01	2区中央3下層	
3118	變	口縫部 縫片	口径16.0cm 高13.6cm	外：灰褐色 (10YR6/2)	粘土A類、長石・石英（大・中・小）多量	長石・ 粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量	SD01	2区北部下層	
3119	變	1才縫部16才 6才	口径49.0cm 高22.0cm	外：浅黃褐色 (10YR8/3)、内：灰 白石英（大・中）多量	粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量	長石・ 粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量	SD01	2区南部最上層	
3120	29	變	口縫部55才 1才	口径21.4cm (10YR6/1)	粘土A類、花崗岩 石英（大・中）多量	長石・ 粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量	SD01	2区北部1 最上層	
3121	變	口縫部16才 6才	口径18.0cm (2.5Y7/2)	外：暗灰褐色 (2.5Y7/1)、内： 灰褐色 (10YR6/3)	粘土A類、長石・石英（大・中）少量	長石・ 粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量	SD01	2才	
3122	9・29	赤	口縫部 縫片	口径22.0cm 高20.4cm	外：黑褐色 (10YR6/3)	粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量、 角砾石（小）少量	長石・ 粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量、 角砾石（小）少量	SD01	2区中央2下層
3123	變	底部完存 7才	口径27.1cm、 高20.4cm、底径 7.4cm	外：浅黃褐色 (2.5Y7/1)、内： 灰褐色 (2.5Y7/2)	粘土A類、長石・石英（大・中・ 少量）	長石・ 粘土A類、長石・石英（大・中・ 少量）	SD01	2区中央3下層	
3124	變	1才縫部 16才	口径21.4cm 高20.4cm	外：浅黃褐色 (10YR7/3)	粘土A類、花崗岩 石英（大・中）多量	長石・ 粘土A類、花崗岩 石英（大・中）多量	SD01	2区中央3下層	
3125	變	1才縫部 完存	口径11.0cm 高16.0cm	外：灰褐色 (10YR7/3) 外：暗灰褐色 (2.5Y6/2)	粘土A類、長石・石英（大・中・小）多量	長石・ 粘土A類、花崗岩 石英（大・中・小）多量	SD01	2区南部1層	
3126	變	1才縫部16才 6才	口径16.0cm (2.5Y6/2)	外：暗灰褐色 (2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩 石英（大・中・小）多量	長石・ 粘土A類、花崗岩 石英（大・中・小）多量	SD01	2区南部1層	
3127	變	1才縫部16才 6才	口径27.2cm 高20.4cm	外：浅黃褐色 (10YR8/3)	粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量	長石・ 粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量	SD01	2区中央2下層	
3128	變	1才縫部16才 6才	口径24.2cm 高22.0cm	浅黃褐色 (10YR8/3)	粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量	長石・ 粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量	SD01	2区北部1層	
3129	變	1才縫部16才 6才	口径22.0cm 高22.0cm	外：灰褐色 (2.5Y7/2)、内： 灰褐色 (2.5Y8/2)	粘土A類、長石・石英（人・中）多量 赤色花子（中）少量	長石・ 粘土A類、長石・石英（人・中）多量 赤色花子（中）少量	SD01	2区中央1下層	
3130	變	口縫部16才 6才	口径21.3cm 高22.0cm	外：灰褐色 (2.5YR5/2)	粘土A類、長石・石英（大・中） 石英（大・中）多量	長石・ 粘土A類、長石・石英（大・中） 石英（大・中）多量	SD01	2区中央2下層	
3131	變	口縫部16才 6才	口径25.9cm 高22.0cm	外：黑褐色 (2.5YR6/3)	粘土A類、花崗岩 石英（大・中・小）多量	長石・ 粘土A類、花崗岩 石英（大・中）少量	SD01	2区中央3下層	
3132	10	變	口縫部 1/10	口径23.0cm 高23.0cm	外：灰褐色 (2.5Y7/1)、内： 灰褐色 (2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩 石英（大・中）多量	長石・ 粘土A類、花崗岩 石英（大・中）多量	SD01	2区中央3上層

番号	固版番号	器種	残存量	法縫	色調	船上	底上	底形・調査	出土位置	層位
3133	10	甌	17種部1/8	口径15.4cm (2.5Y4/2)	外：黒褐 (2.5Y3/0)、内：暗黄灰 (2.5Y4/2)	粘土A類、長石・石英 (大・中) 多量	外：ハケ日後横幅直線文 (5条)、内： 横波状文 (3条)、内：ヘラミガキ、内： 指押え後ヘラミガキ	SD01	2区中央下層	
3134	10・30	甌	17種部1/4	口径20.0cm	外：黒白 (10YR3/1)、内：にぶい黄 (10YR5/5)	粘土A類、花崗岩 (中) 少量、長石・ 石英 (中) 多量	外：3角形斜文 (3条)、内： 指押え後ヘラミガキ	SD01	2区中央下層	
3135		甌	口縫部1/4	口径17.6cm	外：灰白 (2.5Y8/2)、内：灰 黄 (2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・ 石英 (中) 少量	外：横海船刻印、内： 横直線文 (9条)、内：指押え後ヘラミ ガキ	SD01	2区北部1上層	
3136	10 1/2	甌	口縫部 底部	口径8.0cm	にぶい黄 (10YR6/3) 外：灰 (2.5YR7/6)、内：灰 黄 (10YR6/2)	粘土A類、長石・石英 (大・中) 少量、 長石・石英 (大) 多量、 灰 (人) 多量、 灰色、黑色砂粒 (中) 多量	外：横直線文 (9条)、内： 指押え後ヘラミガキ	SD01	2区中央2下層	
3137		甌	底部3/7		外：灰 (2.5YR7/6)、内：灰 黄 (10YR6/2)	粘土A類、長石・石英 (大) 多量、 長石・石英 (人) 多量、 灰 (人) 多量、 灰色、黑色砂粒 (中) 多量	外：横直線文 (9条)、内： 指押え後ヘラミガキ	SD01	2区南部上層	
3138	10	(底部)	底部完存	底径8.6cm	外：灰 黄 (2.5Y7/2)、内：淡 黄 (2.5Y8/3)	粘土A類、長石・石英 (大) 多量	外：体部凹凸、底部弱痕、内： 指押え後ナデ	SD01	2区中央3上層	
3139		甌	底部完存	底径6.8cm	外：灰 黄 (2.5Y6/2)、内：淡 黄 (2.5Y7/3)	粘土A類、長石・石英 (大・中) 少量	外：ハケ日後板ナデ、内： ヘラミガキ	SD01	2区北部1上層	
3140		甌	底部完存	口径16.2cm、底径 高20.7cm、底径 7.0cm	器外：灰青褐色 (10YR6/2)、内： にぶい黄 (10YR7/2)	粘土A類、長石・石英 (大・中) 多量	底部強度優れ孔外、ヘラミガキ文 (5条)、体部細弱孔外、ヘラミガキ 孔、内：指押え後板ナデ	SD01	2区中央2下層	
3141		甌	底部完存	底径7.1cm	外：にぶい黄 (10YR6/4)、内： にぶい黄 (10YR6/3)	粘土D類、長石・石英 (大・中) 多量	底部強度優れ孔外、ヘラミガキ 孔、内：指押え後板ナデ	SD01	2区中央4上層	
3142		甌	底部完存	底径8.2cm	灰黄 (2.5Y7/2)	粘土D類、長石・石英 (大) 多量	燃成強烈孔外、ヘラミガキ文 (5条)、内：体部ヘラミガキ 孔、内：指押え後板ナデ	SD01	2区中央4上層	
3143		甌	底部 1/2光存	底径6.5cm	外：淡 黄 (2.5Y8/4)、内： 2.5Y7/3)	粘土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・ 石英 (大) 多量	外：燃成、内：指押え後ヘラミガキ 孔、内：燃成強烈孔外、ヘラミガキ 孔、内：指押え後板ナデ	SD01	2区中央3下層	
3144		甌	底部2/3	口径20.8cm、底径 高14.2cm、底径 6.4cm	器外：灰白 (10YR7/1)、内： にぶい黄 (10YR7/2)	粘土A類、長石・石英 (小) 少量	外：板ナデ、内：板ナデ後底部附近 ヘラミガキ	SD01	2区中央2下層	
3145		甌	口縫部3/4	口径19.6cm、底 高13.5cm、底径 7.5cm	にぶい黄 (10YR7/2)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 少量、 長石・石英 (中) 少量、角閃石 (中) 多量	外：ヘラミガキ、内： 指押え後板ナデ	SD01	2区中央1上層	
3146		甌	口縫部3/3	口径24.0cm	黒褐色 (10YR3/1)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 多量、 長石・石英 (大・中) 多量	外：板ナデ、内： 板ナデ	SD01	2区中央3下層	
3147		甌	口縫部3/8	口径19.6cm	外：灰青褐色 (10YR6/2)、内： 7.5cm (7.5YR5/4)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 多量、 長石・石英 (大・中) 多量	外：ヘラミガキ文 (1条)、ナデ、内： ヘラミガキ	SD01	2区北部上層	
3148		甌	体部2/8	口径20.7cm、底 高13.7cm、底径 9.4cm	にぶい黄 (2.5Y6/3)、内：黄灰 (2.5Y4/1)	粘土A類、長石・石英 (中) 多量	外：指押え後ヘラミガキ、内：ヘラ ミガキ	SD01	2区中央1上層	
3149		甌	底部3/4	口径18.6cm、底 高14.1cm、底径 7.7cm	灰 (5YR7/6)、内：棕 (5YR7/8)	粘土A類、花崗岩 (人・中) 多量、 長石・石英 (大・中) 多量	口輪強度弱目、弊滅	SD01	2区南部上層	

番号	固有名	器種	残存部	法量	色調	断土	風形・彫飾	出土位置	場所
3150	斧	体部	A8	口径45.5cm、器外：にぶい黄褐色 (10YR8/4)、内：浅黄色 (10YR8/4)	白	泥	泥土A類、花崗岩 (大) 多量、長石・外：指揮え後板ナデ、内：板ナデ	SD01	2区北端2層
3151	10 鋸または鎌 (柳竹)	底盤完存	底盤部近7.3cm	外：にぶい黄褐色 (10YR6/3)、内：浅黄色 (2.5Y7/3)	黄	泥	泥土A類、長石・石英 (人) 多量 外：ヘラ指流置文 (男有4条)、ハゲ目、底盤付指揮え、内：板ナデ	SD01	2区北端3層
3152	蓋	天井部1/4	口縁11.8cm	外：黒 (2.5Y2/1)、灰青褐色 (10YR7/2)	黑	泥	泥土A類、長石・石英 (大・中) 少量 外：ヘラ指流置文 (男有4条)、ハゲ目、底盤付指揮え	SD01	2区北端下層
3153	蓋	口縁部7/8	口径10.6cm	外：褐 (10YR6/1)、灰青褐色 (10YR6/2)	褐	泥	泥土A類、長石・石英 (大) 多量 外：ヘラ指流置文 (男有4条)、ハゲ目、底盤付指揮え	SD01	2区北端下層
3154	蓋	底盤部3/4	底盤13.7cm、底径9.0cm	外：褐 (10YR7/2)、内：にぶい黄褐色 (2.5Y6/3)	褐	泥	泥土A類、花崗岩 (大) 多量、長石・外：指揮え後板ナデ	SD01	2区北端上層
3155	蓋	山根部1/8	口径19.5cm、器外：灰黄 (2.5Y7/2)、内：浅黄色 (10YR8/3)	黄	白	泥	泥土A類、花崗岩 (人) 少量、長石・外：指揮え、ヘラミガキ 内：工具痕、ヘラミガキ	SD01	2区南端最上層
3156	蓋	天井部4/5	口径19.0cm、底盤6.0cm	外：灰黄 (2.5Y7/2)、内：浅黄色 (7.5YR5/2)	黄	泥	泥土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・外：指揮え、ヘラミガキ 内：工具痕、ヘラミガキ	SD01	2区中央上層
3157	蓋	体部完存	口径19.2cm、底盤9.0cm、天井部5.0cm	外：灰黄 (2.5Y7/2)、内：にぶい黄褐色 (7.5YR6/3)	黄	泥	泥土A類、長石・石英 (大) 多量 外：ヘラミガキ、内：指揮え、ヘラミガキ	SD01	2区中央上層
3158	蓋	土範	口径19.2cm、底盤9.0cm、天井部5.0cm	外：灰黄 (2.5Y7/2)、内：にぶい黄褐色 (7.5YR6/3)	黄	泥	泥土A類、長石・石英 (大) 多量 外：ヘラミガキ、内：指揮え、ヘラミガキ	SD01	2区中央上層
3159	11 指揮 土範	指揮部	口径2.2cm、底盤6.4cm	灰白 (10YR8/1)	白	泥	泥土A類、長石・石英 (大・中) 少量 外：指揮え後板ナデ	SD01	2区北端1層
3160	11 指揮 土範	指揮部欠損	口径2.2cm、底盤4.6cm	灰白 (10YR8/1)	白	泥	泥土A類、長石・石英 (大・中) 少量 外：指揮え後板ナデ、ヘラミガキ	SD01	2区中央下層
3161	11・12・ 33 二子ユニア 上器蓋	体部～ 底盤完存	底盤4.4cm	灰青褐色 (10YR4/2)	青	泥	泥土A類、長石・石英 (大・中) 少量 外：指揮え後板ナデ、ヘラミガキ	SD01	2区北端1層
3162	11・12・ 33 二子ユニア 十器蓋	底盤完存	底盤6.0cm、底径3.8cm	灰青褐色 (10YR8/2)	青	泥	泥土A類、長石・石英 (大) 多量 外：指揮え、ヘラミガキ	SD01	2区中央上層
3163	11・12・ 33 土器蓋	底盤完存	底盤7.7cm、底径3.0cm	灰青褐色 (10YR8/3)、外：浅黄色 (7.5YR8/3)	青	泥	泥土A類、長石・石英 (人) 少量 外：指揮え後板ナデ、ヘラミガキ、内：指揮え後板ナデ	SD01	2区北端1層
3164	11・12・ 33 十器蓋	底盤完存	底盤3.9cm	外：灰黄 (2.5Y6/2)、内：黄	黄	泥	泥土A類、長石・石英 (大・中) 多量 外：ヘラ指流置文 (2条)、ヘラミガキ 内：指揮え後板ナデ	SD01	2区北端上層
3165	11・12・ 33 二子ユニア 十器蓋	底盤	口径8.8cm、底径6.6cm、底径2.8cm	外：灰黄 (2.5Y6/2)	黄	泥	泥土A類、長石・石英 (人) 多量、 外：指揮直置文 (焼成前孔)、外：指揮直 置文 (7本程度)、内：指揮直置文 (2条)、 指揮え後板ナデ、内：指揮え後板ナデ	SD01	2区中央上層
3166	11・12・ 33 二子ユニア 十器蓋	底盤	口径6.0cm、底径5.4cm	灰白 (10YR8/2)	白	泥	泥土A類、長石・石英 (大・中) 多量 外：ヘラミガキ、板ナデ、内：坏部 内：指揮え後板ナデ	SD01	2区中央下層
3167	13 二子ユニア 上器	底盤完存	底盤径3.2cm	灰白 (2.5Y8/2)	白	泥	泥土A類、長石・石英 (大・中) 少量 外：指揮え後板ナデ	SD01	2区中央下層

番号	圆版番号	器種	残存部	法量	色調	断土	成形・調整	出土位置	層位
3168	13・33	三・七 アト器 蓋	法部完存 口 高5.8cm、底 径5.8cm	口 159.9cm、器 底 外: 黄 内: 淡黄 (2.5Y7/1)	白、淡黄 (10YR8/3)、内: 灰白	施土A類、石英 少量、長石、外: 漂砾、ナメ 石英(大・中)多量	手縫打綱文(手縫 竹管カラ2条、ヘラ打綱文(2条)、 内:漂砾、内:漂砾、 指押え後ナメ 外: 指押え後ハラミガキ、内: 漂砾	SD01 2区中央上層	
3169	13	三・七 アト器 蓋	全体~ 底部完存 口 高5.2cm、底 径4.5cm	口 158.3cm、器 底 外: 黑 内: 白 (10YR8/1)	白、黑 (10YR3/2)、内: 灰白	施土A類、長石・石英(大・中・小)少量 施土A類、長石・石英(大・中・小)少量	SD01 2区中央下層		
3170	13	三・七 アト器 蓋	全体完存 口 高5.1cm、底 径3.1cm	口 157.7cm、器 底 外: 黑 内: 白 (2.5Y7/1)	白、黑 (2.5Y7/3)	施土A類、長石・石英(中・小)少量 施土A類、長石・石英(大・中・小)少量	SD01 2区中央下層		
3171	13	三・七 アト器 蓋	底部完存 口 高5.0cm、底 径3.2cm	口 156.8cm、器 底 外: 黑 内: 白 (2.5Y7/3)	白、黑 (2.5Y7/3)	施土A類、長石・石英(中・小)少量 施土A類、長石・石英(大・中・小)少量	SD01 2区中央下層		
3172	13	三・七 アト器 蓋	底部完存 口 高5.0cm、底 径2.7cm	口 156.4cm、器 底 外: 黑 内: 白 (2.5Y8/1)	白、黑 (2.5Y7/2)	施土A類、長石・石英(大・中・小)少量 施土A類、長石・石英(大・中・小)少量	SD01 2区中央下層		
3173	33	三・七 アト器 蓋	法部完存 口 高5.0cm、底 径3.0cm	口 155.8cm、器 底 外: 黑 内: 白 (2.5Y8/1)	白、黑 (2.5Y7/2)	施土A類、長石・石英(大・中・小) 少量、赤色粒子(小)微量	SD01 2区北部下層		
3174	13	三・七 アト器 蓋	法部完存 口 高5.0cm、底 径3.3cm、底 高4.6cm	口 153.3cm、器 底 外: 黑 内: 白 (2.5Y7/2)	白、黑 (2.5Y7/2)	施土A類、長石・石英(大・中・小) 少量、赤色粒子(中・小)微量	SD01 2区北部下層		
3175	13	三・七 アト器 蓋?	法部完存 口 高4.7cm	口 152.3cm、器 底 外: 黑 内: 白 (10YR8/2)	白、黑 (10YR8/2)	施土A類、長石・石英(大・中・中) 多量	SD01 2区中央下層		
3176	13	三・四 アト器 蓋?	法部完存 口 高4.7cm	口 151.6cm、器 底 外: 黑 内: 白 (10YR8/2)	白、黑 (10YR8/2)	施土A類、長石・石英(大・中・小) 多量、赤色粒子(中・小)微量	SD01 2区南部上層		
3177	13	五・四 アト器 蓋	法部完存 口 高4.7cm	口 151.0cm、器 底 外: 黑 内: 白 (10YR8/2)	白、黑 (10YR8/2)	施土A類、長石・石英(大・中・中) 多量	SD01 2区南部上層		
3178	13	六・四 アト器 蓋	一部欠損 法部完存 口 高4.0cm	口 150.4cm、器 底 外: 黑 内: 白 (2.5Y6/1)	白、黑 (2.5Y6/1)	施土A類、長石・石英(大・中・小) 少量	SD01 2区北部下層		
3179	13	四・四 アト器 蓋	法部完存 口 高3.9cm	口 149.5cm、器 底 外: 黑 内: 白 (2.5Y6/1)	白、黑 (2.5Y6/1)	施土A類、長石・石英(大・中・中) 多量、黑色砂粒(大)微量	SD01 2区中央下層		
3180	13	四・四 アト器 蓋	法部完存 口 高3.9cm	口 148.7cm、器 底 外: 黑 内: 白 (2.5Y7/2)	白、黑 (2.5Y7/2)	施土A類、長石・石英(大・中・中) 多量	SD01 2区南部最上層		
3181	13	四・四 アト器 蓋	法部完存 口 高3.9cm	口 147.7cm、器 底 外: 黑 内: 白 (2.5Y7/2)	白、黑 (2.5Y7/2)	施土A類、長石・石英(大・中・中) 多量	SD01 2区中央下層		
3182	13	四・四 アト器 蓋	法部完存 口 高3.9cm	口 147.0cm、器 底 外: 黑 内: 白 (2.5Y7/2)	白、黑 (2.5Y7/2)	施土A類、長石・石英(大・中・中) 多量	SD01 2区中央下層		
3183	13	四・四 アト器 蓋	法部完存 口 高3.9cm	口 146.4cm、器 底 外: 黑 内: 白 (5Y8/1)	白、黑 (5Y2/1)、内: 灰白 (5Y7/1)	施土A類、長石・石英(大・中・中) 多量	SD01 2区中央下層		

番号	固版番号	器種	現存量	法量	色調	断面	形状・測定	出土位置	部位	
3184	円盤 状土器 器皿	口縁 付元仔	横 幅4.8cm、 厚0.8cm	輪上A型、 長石・石英 (2.5Y7/2) 少量	輪上A型、 長石・石英 (大・中・小)	土器片を再利用、外：ハケ目、内：ナ デ	SD01	2区中央上層		
3185	円盤 状土器 器皿	口縁 付元仔	横 幅4.6cm、 厚1.1cm	輪上A型、 長石・石英 (10YR6/1)、内： にぶい黄褐色 (10YR7/2)	輪上A型、 長石・石英 (大・中・小)	土器片を再利用、ナデ	SD01	2区北端2ト層		
3186	円盤 状土器 器皿	口縁 付元仔	横 幅4.6cm、 厚0.9cm	輪上A型、 長石・石英 (10YR6/4)、内： 灰黃 (2.5Y7/2)	輪上A型、 長石・石英 (大・中・小)	土器片を再利用、外：海殼立線文、横 指斜線文、内：壺底	SD01	2区北部 1段上層		
3187	円盤 状土器 器皿	口縁 付元仔	横 幅3.2cm、 厚0.6cm	輪十A型、 長石・石英 (10YR7/4)、内： にぶい黄褐色 (7.5Y7/6)	輪十A型、 長石・石英 (大・中・小)	土器片を再利用、等底	SD01	2区中央1ト層		
3188	32	土偶 人体彫刻	横 幅6.5cm、 奥行11.0cm	外：灰 (2.5Y7/2)	ナデ		SD01	2区4号火 下層、蓋下層		
3189	30	壺	口縁部 口径12.4cm	外：灰 (10YR8/2)、内： 灰 (7.5Y4/2)	輪上A型、 長石・石英 (中) 濃重	外：ヘラ指捺線文(1条)後へラミガキ 半、一部剥落、内：指押痕後へラミガキ 半	SD01	3区北端中央北 最下層		
3190	20	壺	口縁部16cm 口径17.4cm	にぶい黄褐色 (10YR7/2)	輪上A型、 長石・石英 (大・中) 多量	外：輪上部立線文後へラミガキ、赤色 による斑、根元へラミガキ、内：ヘラミガキ 剥離後、内：ヘラミガキ	SD01	3区南端部下層		
3191	14・15	壺	口縁部18cm 口径16.0cm	灰白 (2.5Y8/2)	輪十A型、 長石・石英 (大・中) 多量	輪十A型、 長石・石英 (大・中) 多量	外：ヘラミガキ、輪部剥離後立線文によ る院、内：ヘラミガキ	SD01	3区北端中央北 最下層	
3192	14	壺	口縁部18cm 口径14.0cm	外：灰 (10YR8/2)、内： 灰 (2.5Y8/1)	輪上A型、 長石・石英 (中) 少量	外：ハケ目、底、内：削痕、ヘラミガ キ、指押痕	SD01	3区中央東下層		
3193	14	壺	口縁部18cm 口径12.0cm	灰黃褐色 (10YR5/2)	輪上A型、 花崗岩 (中) 少量、 外：四角 (小) 石英 (中) 少量	口縁部剥離前立線文2層、外：ナデ、段 の下部はヘラ指工具で擦り方違に押さ え込む、内：ヘラミガキ	SD01	3区北端中央北 最下層		
3194	14・15	壺	口縁部14cm 口径17.4cm	灰白 (2.5Y8/1)	輪十A型、 長石・石英 (大・中) 多量	輪十A型、 長石・石英 (大・中) 多量	外：削痕、底、内：削痕	SD01	3区中央東下層	
3195	14・15	壺	口縁部18cm 口径18.4cm	外：灰 (2.5Y7/2)	輪土A型、 長石・石英 (大・中・小)	外：削痕、指押痕、段、内：削痕、指 押痕	SD01	3区中央東1ト層		
3196	16	壺	口縁部 110 体部底 110	外：灰 (10YR8/2)、内： 灰 (2.5Y8/2)	輪土A型、 花崗岩 (中) 少量、 外：四角 (小) 石英 (中) 少量	外：粘土貼り付けによる段、指押痕 及ナデ、内：ナデ、内：削痕	SD01	3区中央 最下層		
3197	16	壺	体部底 110	外：褐灰 (2.5Y7/2)	輪土A型、 花崗岩 (大) 少量	外：ヘラ指捺線文(2条)、内：ヘラミガキ 底	SD01	3区南端部下層		
3198	16	壺	体部11cm 口径7.0cm	灰黃 (2.5Y8/3)	輪土A型、 花崗岩 (大・中) 少量	外：指押痕、ナデ、糊かへラ指捺線文 (2条)、内：円弧文、内：板ナデ	SD01	3区北端中央北 最下層		
3199	16	壺	体部底 110	淡黃 (2.5Y8/3)	輪土A型、 長石・石英 (大・中) 多量	外：段 (4段)へラミガキ後立線文(2条)、内： ヘラミガキ剥離後立線文、内：ヘラ ミガキ	SD01	3区北端中央北 最下層		
3200	17	壺	体部底 110	外：にぶい黄褐色 (10YR7/3)	輪土A型？、 花崗岩 (大・中) 少量、 長石・石英 (大) 少量	外：ヘラ指捺線文(塊存1条)、内：ナ デ、内：ヘラミガキ	SD01	3区中央東下層		

番号	圆版番号	器種	表面	法量	色調	胎土	造形・調査	出土位置	場位
3201	17	壺 体部破片	残存部 外縁部	外・壺底 (10YR41)、内・黄灰 (2.5Y4/1) 外・壺底 (10YR41)、内・黄灰 (2.5Y4/1)	胎土A類、花崗岩 (中) 少量、長石 胎土A類、花崗岩 (中) 少量	外・ヘラミガキ、輪廓へラ抹沈織文 (現 存1条)、体表へラ抹沈織文 (現存2条)、側脚突起、内; 外・ヘラミガキ後へラ抹沈織文 (1条)、 側脚突起、内; ヘラミガキ、ナメ	SD01	3区北端中央北 西	
3202	17	壺 体部破片	底白	外・底白 (10YR8/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外・ヘラ抹沈織文 (2条)、内; 外・ヘラ抹沈織文 (現存1条)、ヘラ抹 沈織文、内; ナメ	SD01	3区中央南下層	
3203	17・18	壺 体部破片	外・底白 (2.5Y8/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外・ヘラ抹沈織文 (現存2条)、ヘラ抹 沈織文、内; ナメ	SD01	3区南部上層		
3204	17・18	壺 体部破片	底白	外・浅黃褐色 (2.5Y8/2)	胎土A類、長石・石英 (人・中・小) 胎土A類、長石・石英 (人・中・小)	外・ヘラ抹沈織文 (現存1条)、ヘラ抹 沈織文、内; ナメ	SD01	3区中央南下層	
3205	17・18	壺 体部破片	外・浅黃褐色 (2.5Y8/3)	胎土A類、長石・石英 (人・中・小) 胎土A類、長石・石英 (人・中・小)	外・ヘラ抹沈織文 (2条)、ヘラ抹沈織文、 内; ナメ	SD01	3区中央南下層		
3206	17・18	壺 体部破片	外・にぶい檻 (7.5YR6/4)、内・にぶい檻 (10YR7/3)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外・断取り沈織文による段、ヘラ抹沈織文 (2条)、内; ヘラミガキ	SD01	3区北端中央北 西		
3207	17・18	壺 体部破片	灰黃	外・淡黃褐色 (2.5Y7/2)	胎土A類、長石・石英 (人・中・小) 胎土A類、長石・石英 (人・中・小)	外・ヘラ抹沈織文 (現存3条)、ヘラ抹 沈織文、内; 細縫、ヘラミガキ	SD01	3区北端中央北 東下層	
3208	17・18	壺 体部破片	外・淡黃褐色 (2.5Y5/1)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外・ヘラミガキ、ヘラ抹沈織文 (現存 2条)、ヘラ抹沈織文 (3条)、内; ナメ	SD01	3区南端最上層		
3209	17	体部破片	外・淡黃褐色 (10YR8/3)、内・にぶい檻 (10YR7/3)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・少量)	外・板ナナ後斜面へラ抹沈織文 (2条) 内; 板ナナ後斜面へラ抹沈織文 (2条)	SD01	3区北端中央北 西		
3210	17	瓶 瓶部破片	外・檻 (2.5Y6/6)、内・にぶい赤褐色 (5M5/3)	胎土A類、花崗岩 (中) 少量、長石・石英 (中) 少量 胎土A類、花崗岩 (中) 少量、長石・石英 (中) 少量	外・口部目口ナヂ、ヘラ抹沈織文、内; ガギ、内; 板ナナ	SD01	3区北端中央北 東下層		
3211	30	壺	「縁部」14cm 口径17.6cm	外・灰白 (N7)、内・灰白 (2.5Y8/1)	胎土A類、花崗岩 (大・中・少量) 胎土A類、花崗岩 (大・中・少量)	外・口部目口ナヂ、ヘラ抹沈織文 (3条)、 ガギ、内; 板ナナ	SD01	3区北端中央北 東下層	
3212	19	壺	素面部14cm 口径16.2cm	底白 (2.5Y7/1)	胎土A類、長石・石英 (人) 多量、赤 色粒子 (中) 少量、雲母 (大) 難観 胎土A類、長石・石英 (人) 多量、赤 色粒子 (中) 少量、雲母 (大) 難観	外・指脚と輪郭へラ抹沈織文 (3条)、 内; ナメ	SD01	3区南部下層	
3213	19	壺	外・系 (10R5/6)、内・にぶい赤褐色 (10R6/4)	胎土A類、長石・石英 (中) 少量	外・断取り沈織文による削山突筋、板ナ ヂ、内; 指脚と後ナヂ	SD01	3区中央南 最下層		
3214	19・30	壺	「縁部」16cm 口径17.2cm	底白 (2.5Y8/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (中) 少量	外・断取り沈織文 (2条)、内; 指脚と後ナヂ	SD01	3区北端中央北 東下層	
3215	19	壺	「縁部」16cm 口径19.3cm	灰黃褐色 (10YR5/2)	胎土A類、花崗岩 (大・中・少量) 長石・石英 (中) 少量	外・ヘラミガキ、断取り沈織文による削 山突筋、内; ナメ	SD01	3区南部下層	
3216	19	壺	「縁部」16cm 口径24.6cm	外・淡黃褐色 (2.5Y8/3)、内・灰白 (2.5Y8/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (人) 多量	外・壁減、指脚と後ナヂ、輪郭 へラ抹沈織文 (7条)、内; ナメ または削出突筋Ⅱ面条、内; ナメ ガキ、塗装	SD01	3区北端中央北 東下層	

番号	固有名	岩相	残存量	法面	色調	胎土	成形・焼成	出土位置	層位
3217	30 晩 貝殻	口縫部1/2 口縫17.8cm	灰白(2.5Y8V1)	胎土A類、長石、石英(大・中) 多量	胎土A類、長石、石英(大・中) 少量	外：板ミガキ、頭部取付 内：板ミガキ 外：板ミガキ 内：板ミガキ	SD01 3区中央北下層		
3218	20 晩 貝殻	口縫部1/9 口縫22.6cm	外：灰 黄褐色(10YR5/2)、内：黄褐色(2.5Y5/1) 外：灰白色(2.5Y8/2)、内：淡黃(2.5Y8/3)	胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小)	胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小)	外：指印え後脚ナデ、削出突部第1脚、内：指印え後脚ナデ、削出突部第1脚 1条、ヘラミガキ、内：ヘラミガキ 1条、ヘラミガキ、内：ヘラミガキ 1条、ヘラミガキ、内：ヘラミガキ 1条、ヘラミガキ、内：ヘラミガキ	SD01 3区中央北下層		
3219	20 晩 貝殻 貝殻片	口縫部1/8 口縫23.7cm	外：褐色(10YR4/1)、内：淡黃(2.5Y8/1)	胎土A類、長石、石英(人・中・小) 胎土A類、長石、石英(人・中・小) 胎土A類、長石、石英(人・中・小) 胎土A類、長石、石英(人・中・小)	胎土A類、長石、石英(人・中・小) 胎土A類、長石、石英(人・中・小) 胎土A類、長石、石英(人・中・小) 胎土A類、長石、石英(人・中・小)	外：ヘラミガキ、頭部へラ粘液文(1条)、 内：ヘラミガキ、頭部へラ粘液文(1条)、 内：ヘラミガキ、頭部へラ粘液文(1条)、 内：ヘラミガキ、頭部へラ粘液文(1条)、	SD01 3区北部中央北 下層		
3220	20 晩 貝殻	口縫部1/8 口縫23.7cm	外：褐色(10YR4/1)、内：淡黃(2.5Y8/1)	胎土A類、長石、石英(人・中・小) 胎土A類、長石、石英(人・中・小) 胎土A類、長石、石英(人・中・小) 胎土A類、長石、石英(人・中・小)	胎土A類、長石、石英(人・中・小) 胎土A類、長石、石英(人・中・小) 胎土A類、長石、石英(人・中・小) 胎土A類、長石、石英(人・中・小)	外：ヘラミガキ、内：ヘラミガキ 外：ヘラミガキ、内：ヘラミガキ 外：ヘラミガキ、内：ヘラミガキ 外：ヘラミガキ、内：ヘラミガキ	SD01 3区北部中央北 下層		
3221	14・15 晩 貝殻	口縫部1/4 口縫15.4cm	外：灰白色(2.5Y8/2)、内：灰白色(2.5Y8/1)	胎土A類、長石、石英(人・中) 胎土A類、長石、石英(人・中) 胎土A類、長石、石英(人・中) 胎土A類、長石、石英(人・中)	胎土A類、長石、石英(人・中) 胎土A類、長石、石英(人・中) 胎土A類、長石、石英(人・中) 胎土A類、長石、石英(人・中)	外：板ミガキ、ヘラ粘液文(1条)、 内：板ミガキ、ヘラ粘液文(1条)、 外：板ミガキ、ヘラ粘液文(2条)、 内：板ミガキ、ヘラ粘液文(2条)、	SD01 3区北部中央北 下層		
3222	20 晩 貝殻	口縫部1/8 口縫15.4cm	外：灰 白(10YR7/2)、内：灰 白(10YR7/1)	胎土A類、長石、石英(人・中) 胎土A類、長石、石英(人・中)	胎土A類、長石、石英(人・中) 胎土A類、長石、石英(人・中)	外：海藻、頭部へラ粘液文(2条)、 内：海藻、指印え 外：海藻、頭部へラ粘液文(2条)、 内：海藻、指印え	SD01 3区北部中央北 下層		
3223	14 晩 貝殻	口縫部1/4 口縫14.4cm	外：淡黃(2.5Y6/3)、内：灰黃(2.5Y6/2)	胎土A類、長石、石英(人・大) 胎土A類、長石、石英(人・大)	胎土A類、長石、石英(人・大) 胎土A類、長石、石英(人・大)	外：ハゲ日、頭部へラ粘液文(2条)、 内：ナデ、指印え	SD01 3区北部中央北 下層		
3224	20 晩 貝殻	口縫部1/8 口縫17.4cm	外：灰黃(2.5Y7/2)、内：灰白(2.5Y8/1)	胎土A類、花崗岩(大・中) 胎土A類、花崗岩(大・中)	胎土A類、花崗岩(大・中) 胎土A類、花崗岩(大・中)	外：板ナデへラ粘液文(1条)、 内：板ナデへラ粘液文(1条)、 外：板ナデへラ粘液文(1条)、 内：板ナデへラ粘液文(1条)	SD01 3区付部象上層		
3225	21 晩 貝殻	口縫部1/8 口縫22.6cm	外：灰黃(2.5Y7/2)、内：灰白(2.5Y8/2)	胎土A類、長石、石英(人・大) 胎土A類、長石、石英(人・大)	胎土A類、長石、石英(人・大) 胎土A類、長石、石英(人・大)	外：板ナデへラ粘液文(1条)、 内：板ナデへラ粘液文(1条)、 外：板ナデへラ粘液文(1条)、 内：板ナデへラ粘液文(1条)	SD01 3区南部下層		
3226	21・30 晩 貝殻	口縫部1/4 口縫15.1cm	灰白(10YR8/2)	胎土A類、花崗岩(大・中) 胎土A類、花崗岩(大・中)	胎土A類、花崗岩(大・中) 胎土A類、花崗岩(大・中)	外：板ナデへラ粘液文(2条)、 内：板ナデへラ粘液文(2条)、 外：板ナデへラ粘液文(2条)、 内：板ナデへラ粘液文(2条)	SD01 3区		
3227	21 晩 貝殻	口縫部1/8 口縫14.7cm	外：オリーブ黒(5Y7/2)、内：灰白色(2.5Y8/2)	胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小)	胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小)	外：ヘラミガキ、体部へラ粘液文(2条)、 内：指印え後ヘラミガキ、板ナデ 外：ヘラミガキ、体部へラ粘液文(2条)、 内：指印え後ヘラミガキ、板ナデ	SD01 3区北部中央北 下層		
3228	14 晩 貝殻	口縫完全 口縫12.7cm、底径 7.4cm	外：灰 白(2.5Y7/2)、器外：灰白(2.5Y7/1)、内：灰白(2.5Y8/1)	胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小)	胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小)	外：海藻、頭部へラ粘液文(2条)、 内：海藻、指印え 外：海藻、頭部へラ粘液文(3条)、 内：海藻、指印え	SD01 3区中央北下層		
3229	21 晩 貝殻	口縫部1/4 口縫13.6cm	外：灰 白(2.5Y7/2)、内：暗灰褐色(2.5Y5/2)	胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小)	胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小)	外：ヘラミガキ、頭部へラ粘液文(3条)、 内：ヘラミガキ、赤色絵料付 外：ヘラミガキ、頭部へラ粘液文(3条)、 内：ヘラミガキ、赤色絵料付	SD01 3区北部中央北 下層		
3230	14 晩 貝殻 底部完全	口縫部1/4 底径7.2cm	外：黑褐色(2.5Y3/1)、内：灰白色(10YR8/2)	胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小)	胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小)	外：海藻、ハゲ日後ヘラ粘液文(4条)、 内：海藻、赤色絵料付 外：海藻、体部上半へラ粘液文(4条)、 内：海藻、赤色絵料付	SD01 3区		
3231	14 晩 貝殻完全 底径6.5cm	外：黑褐色(2.5Y3/1)、内：灰白色(10YR8/2)	胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小)	胎土A類、長石、石英(大・中・小) 胎土A類、長石、石英(大・中・小)	外：板ミガキ、頭部へラ粘液文(3条)、 内：板ミガキ、内：板ミガキ 外：板ミガキ、頭部下半へラ粘液文(4条)、 内：板ミガキ、内：板ミガキ	SD01 3区中央北上層			
3232	14 晩 貝殻	口縫部1/8 口縫18.8cm	灰白色(10YR7/2)	胎土A類、長石、石英(大・中・小)	胎土A類、長石、石英(大・中・小)	外：板ナデ後ヘラミガキ、頭部へラ粘 液文(4条)、体部下半へラ粘液文(4条)、 内：板ナデ後ヘラミガキ、頭部へラ粘 液文(4条)、体部下半へラ粘液文(4条)	SD01 3区中央北下層		

番号	固版番号	岩種	残存量	法量	色調	粘土	地形・調整	出土位置	層位
3233		砂	颗粒物/4	口径16.8cm 高さ1.8cm	外:「E」の黄褐色 (10YR7/2)、内:「E」の黄褐色 (7.5YR7/3)	粘土A類、花崗岩 (大) 多量 石英 (大) 多量	外:「E」の黄褐色 (10YR7/2)、内:「E」の黄褐色 (4条)、内: 指揮又は後板ナメ 内:磨滅、ヘラ指揮線文 (4条)、内: 指揮又は後板ナメ	SD01	3区中央北下層
3234	空	口縁部1/2	口径26.0cm	外:「E」の黄褐色 (7.5YR7/3)	粘土A類、花崗岩 (人・中) 少量 石英 (人・中) 多量	外:磨滅、長石・石英 (大・中) 少量	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (4条)、内: 指揮又は後板ナメ 内:磨滅、ヘラ指揮線文 (4条)、内: 指揮又は後板ナメ	SD01	3区中央北上層
3235	壺	口縁部	口径17.2cm	底白	外:「E」の黄褐色 (10YR7/3)	粘土A類、長石・石英 (人・中) 多量	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (6条)、内: ヘラミガキ、頭部へラ指揮線文 (4条)、内: ヘラミガキ、ナマ	SD01	3区中央北 最下層
3236	壺	全体部 完形 底部完存	口径10.4cm、器外:黒褐色 高さ20.0cm、底径 8.6cm	外:「E」の黄褐色 (2.5YR3/1)、内:黒 (10YR2/1)	粘土A類、花崗岩 (大・中) 少量 石英 (大) 多量	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (6条)、内: ヘラミガキ、ナマ	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (4条)、内: ヘラミガキ、ナマ	SD01	3区中央北下層
3237	壺	底部完存	口径14.7cm	外:「E」の黄褐色 (10YR6/3) 内:「E」の黄褐色 (10YR7/2)	粘土A類、長石・石英 (人・中) 少量	外:磨滅、長石・石英 (人・中) 少量	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (4条)、内: ヘラミガキ、ナマ	SD01	3区中央北下層
3238	壺	底部完存	口径12.3cm	外:「E」の黄褐色 (10YR7/2)	粘土A類、花崗岩 (中) 少量 石英 (人・中) 多量、赤色粒子 (中)	外:磨滅、長石・石英 (人・中) 少量	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (4条)、内: ヘラミガキ、ナマ	SD01	3区北部下層
3239	壺	底部完存	口径10.0cm	浅黃 (2.5Y7/3)	粘土A類、長石・石英 (大・中) 多量	外:磨滅、長石・石英 (人・中) 多量	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (4条)、内: ヘラミガキ、ナマ	SD01	3区北端下層
3240	壺	全体部1/2	口径16.0cm	外:「E」の黄褐色 (10YR7/2)	粘土A類、長石・石英 (大) 多量 色粒 (人) 緩出	外:磨滅、長石・石英 (大) 少量 石英 (人) 緩出	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (5条)、内: ヘラミガキ、指揮又は後板ナメ	SD01	3区北部中央北 下層
3241	壺	全体部1/4	口径2.5cm	「E」の黄褐色 (2.5Y6/3)	粘土A類、長石・石英 (大) 多量 色粒 (人) 緩出	外:磨滅、長石・石英 (大) 少量 石英 (人) 緩出	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (5条)、内: ヘラミガキ、指揮又は後板ナメ	SD01	3区北部中央北 最下層
3242	壺	全体部1/4	口径1.8cm	「E」の黄褐色 (10YR7/2) (10YR7/2)	粘土A類、長石・石英 (大) 多量 少量	外:磨滅、長石・石英 (大) 少量	外:磨滅、長石・石英 (大) 少量 水色、褐色面斜面有 内:ヘラミガキ	SD01	3区北部中央北 最下層
3243	壺	全体部1/4	口径1.8cm	浅黃 (2.5Y7/2)	粘土A類、長石・石英 (大) 多量	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (4条)、内: ヘラミガキ、ナマ	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (4条)、内: ヘラミガキ、ナマ	SD01	3区中央北 下層、板下層
3244	壺	全体部1/6	口径2.2cm	浅黃 (2.5Y7/3)	粘土A類、長石・石英 (大) 多量	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (4条)、内: ヘラミガキ、体部磨耗部又は後板ナメ	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (4条)、内: ヘラミガキ、ナマ	SD01	3区南部最高上層
3245	壺	口縁部1/4	口径22.2cm	外:灰黃 (2.5Y7/2)、内:灰黃 (2.5Y6/2)	粘土A類、花崗岩 (中) 少量 石英 (大) 多量	外:磨滅、長石・石英 (人・中) 少量	外:磨滅、ヘラ指揮線文 (11条)、 ナマ	SD01	3区中央北 最上層
3246	壺	口縁部3/8	口径29.4cm	底白 (10YR8/2)	粘土A類、長石・石英 (人) 故量	外:磨滅孔2列 (地或前隙孔)、外:「E」線上、 内:磨き痕又は前隙孔	外:磨滅孔2列 (地或前隙孔)、外:「E」線上、 内:磨き痕又は前隙孔	SD01	3区中央北下層
3247	壺	口縁部1/8	口径22.8cm	外:暗灰黃 (2.5Y5/2)、灰黃 (2.5Y6/2)	粘土A類、花崗岩 (山) 少量、角石 (中) 少量	外:磨滅、ヘラミガキ、點付帶突 (1条)、 ナマ	SD01	3区中央北下層	
3248	壺	口縁部1/4	口径22.0cm	灰黃 (2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩 (人・中) 少量、 石英 (人) 多量	外:磨滅、内:ナマ	外:磨滅、内:ナマ	SD01	3区北部中央北 下層

番号	固版番号	岩層	残存量	注記	鉱土	撮影・測量	出土位置	場所
3249	帶	口縫部J4	口径17.2mm	外:灰白(2.5YR8/0), 内:灰白(10YR8/2)	粘土質、長石・石英(大・中・小) 多量、赤色泥岩(中) 少量	外:指揮え、砕石、ヘラミガキ、頭部付後部 内:指揮え、砕石(1条)、ヘラミガキ	SD01	3区北端中央北 下層
3250	蓋	体部完存		外:灰黃(2.5Y7/2) 内:にぶい黃(2.5Y6/3)	粘土質、長石・石英(人) 少量	外:ヘラミガキ、頭部貼付斜(1条)、砕石 内:ヘラミガキ、頭部貼付斜(1条)、砕石	SD01	3区中央東北 下層
3251	帶	体部J4		外:にぶい黃(2.5Y6/3)、内:浅黄(2.5Y7/3)	粘土質、長石・石英(大・中・小) 多量	外:頭部付斜(1条)、砕石(1条)、ヘラミガキ 内:指揮え、後取ナデ、ヘラミガキ	SD01	3区北部中央北 下層
3252	蓋	瓶部完存		1.5cm小貴賀(10YR7/3)	粘土A類、長石・石英(大・中・小) 多量	内:ナデ、貼付斜(2条) 内: ナデ、貼付斜(2条) (2条)、 ナデ	SD01	3区中央北下層
3253	帶	頭部J4		1.5cm小貴賀(10YR6/3)	粘土A類、長石・石英(人) 多量、青白(人) 少量	外:ヘラミガキ、頭部付斜(1条)、砕石 内:ヘラミガキ、頭部付斜(1条)、砕石	SD01	3区南部下層
3254	蓋	頭部J4	口径16.2mm	灰白(2.5Y7/1)	粘土A類、花崗岩(人) 少量、長石・石英(人) 少量	外:ハサウエ後取ナデ 内:ナデ、ヘラミガキ	SD01	3区北部中央北 下層
3255	21・22	蓋	口縫部28口径21.4cm	外:灰白(2.5Y8/2)、内:にぶい黃(2.5Y8/2)	粘土A類、赤色泥岩(人) 少量、赤色泥岩(人) 多量	外:指揮え、後取ナデ、ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	SD01	3区中央東北 下層
3256	21	帶	頭部J4	灰黃(2.5Y5/2)	粘土A類、長石・石英(人) 多量	外:貼付斜(1条)、ヘラミガキ 内:指揮え、後取ナデ	SD01	3区北端中央北 下層
3257	帶	体部完存	底径5.6cm	浅黃岩(10YR8/3)	粘土A類、花崗岩(人) 多量、長石・石英(人) 多量	外:頭部付斜(1条)、ヘラミガキ 内:指揮え、後取ナデ	SD01	3区中央北上層
3258	蓋	瓶部完存	底径5.5cm	外:にぶい黃(10YR7/3)、内:浅黄(7.5YR8/4)	粘土A類、長石・石英(大・中・小) 多量	外:頭部付斜(1条)、ヘラミガキ 内:指揮え、後取ナデ	SD01	3区中央北下層
3259	蓋	体部~ 瓶部完存	底径2cm	灰黃(2.5Y7/2)	粘土A類、長石・石英(人) 多量、赤色泥岩(人) 少量	外:ヘラミガキ、頭部付斜(1条)、砕石 内:ナデ	SD01	3区南部下層
3260	蓋	体部~ 瓶部完存	底径4.6cm	黑褐色(2.5Y3/1)	粘土A類、長石・石英(人・中・小) 外:頭部 内:ナデ	内:指揮え、後取ナデ	SD01	3区中央北下層
3261	21・22	帶	體部J4	灰黃(2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩(大) 少量、長石・石英(人・中・小) 少量	外:ヘラミガキ、砕石 内:指揮え、後取ナデ	SD01	3区北端中央北 下層
3262	21	蓋	口縫部16口径18.6cm	灰黃(2.5Y7/2)	粘土A類、長石・石英(人・中・小) 少量	焼成前穿孔(2条)、砕石 内:指揮え、後取ナデ	SD01	3区北部最上層
3263	帶	体部完存	底径6.9cm	浅黃(2.5Y7/3)	長石・石英(大・中・小) 多量、ナデ	外:ヘラミガキ、塵埃、内:指揮え、 ナデ	SD01	3区南邊近不詳
3264	蓋	体部23		外:淺黃(10YR8/4)、内:にぶい黃(10YR7/2)	粘土D類、長石・石英(人) 多量	内:指揮え、後取ナデ	SD01	3区中央北下層
3265	蓋	瓶部完存	底径8.4cm	灰白(2.5Y8/2)	粘土A類、長石・石英(大・中・小) 多量	摩滅、板ナデ	SD01	3区北部下層
3266	蓋	尖形	口径10.2cm、底径6.4cm	灰白(2.5Y8/2)	粘土D類、長石・石英(大・中・小) 多量、片岩(大・中) 少量	外:塵埃、ヘラミガキ、内:指揮え、 ナデ	SD01	3区中央南上層 または下層

番号	固液分号	器種	器種	異存量	注量	色調	胎土	成形・調整	出力位置	部位
3267	壺	体部完存	底径7.0cm 高さ1.0cm	外：に赤い黄緑 (10YR5/3)、内：に 少量 5.5. 黄緑 (10YR7/3)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 外：ハケ日後ハラミガキ、内：板ナ テ	外：ハケ日後ハラミガキ、内：板ナ テ	SD01	3区北端不詳		
3268	壺	体部～ 底部完存	口径10.4cm、器 高さ2.4cm、底 径7.6cm (10YR4/2)	外：黒褐色 (10YR3/2)、内：灰黃褐色 外：黒褐色 (2.5Y6/2)、内：暗灰 (N3)	胎土A類、長石・石英 (大・中) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外：土壤部板ナデ、体部ハラミガキ、 内：板ナデ、板ナデ 外：板ナデ後ハラミガキ、内：板ナ テ、指押え 外：板ナデ後ハラミガキ、内：板ナ テ、指押え	SD01 SD01 SD01	3区中央北 板下層 板下層		
3269	壺	体部～ 底部完存	口径8.4cm、器 高さ4.6cm、底 径5.4cm	外：灰黃 (2.5Y6/2)、内：暗灰 (2.5Y7/2)、内：灰白 (5Y7/1)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外：板ナデ後ハラミガキ、内：板ナ テ、指押え 外：板ナデ後ハラミガキ、内：板ナ テ、指押え 外：板ナデ後ハラミガキ、内：板ナ テ、指押え	SD01	3区北端不詳		
3270	壺	底部完存	器高14.9cm、底 径5.9cm	外：灰黃 (2.5Y7/2)、内：灰白 (5Y7/1)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外：板ナデ後ハラミガキ、内：板ナ テ、指押え 外：板ナデ後ハラミガキ、内：板ナ テ、指押え 外：板ナデ後ハラミガキ、内：板ナ テ、指押え	SD01 SD01 SD01	3区北端中央北 板下層 板下層		
3271	壺	口縁部/1/4	口径10.6cm	外：灰黃 (2.5Y7/2)、内：灰白 (5Y7/1)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外：板ナデ後ハラミガキ、内：板ナ テ、指押え 外：板ナデ後ハラミガキ、内：板ナ テ、指押え	SD01	3区中央北 板下層		
3272	壺	全体・底部 完全存	底径3.3cm	外：灰・白 (10YR8/2)、内：灰白 (10YR8/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外：板ナデ後ハラミガキ、内：板ナ テ、指押え 外：板ナデ後ハラミガキ、内：板ナ テ、指押え	SD01	3区南端壁不詳		
3273	壺	1/3完存	口径7.5cm、器 高さ11.8cm、底 径5.5cm	外：洗黄褐 (10YR6/2) 外：洗黄褐 (10YR6/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外：板ナデ、ハラミガキ、内：指押 え、指ナデ 外：板ナデ、ハラミガキ、内：指押 え、指ナデ	SD01	3区北部下層		
3274	三才子7 土器壺	1/3完存	口径6.4cm、器 高さ11.8cm、底 径5.5cm	外：灰黃 (10YR8/3)、内：灰白 (10YR8/3)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外：板ナデ、ハラミガキ、内：指押 え、指ナデ	SD01	3区北部試掘 トレンチ		
3275	三才子7 土器壺	1/2完存	底径6.0cm	灰黃 (2.5Y7/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外：壁城、指押え、ハラミガキ、内： 壁城、指押え 外：指押え後ハラミガキ、頭錠竹管 外：指押え、内：指押え、ナデ	SD01	3区中央北 板下層		
3276	30	三才子7 土器壺	1/2完存	底径5.0cm	外：灰黃 (10YR5/2)、灰 外：灰白 (10YR5/2)	胎土A類、花崗岩 (大・中・小) 胎土A類、花崗岩 (大・中・小)	SD01	3区中央北 板下層		
3277	壺	底盤完存	底径8.4cm	外：灰白 (10YR8/2)、内： (10YR5/2)	胎土A類、花崗岩 (大・中・小) 胎土A類、花崗岩 (大・中・小)	外：ハラミガキ、内：板ナデ	SD01	3区中央北 板下層		
3278	壺	底部完存	底径16.1cm	外：褐長 (10YR7/6) (10YR7/6)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外：盤減、内：盤減、内：指押え 外：盤減、内：指押え	SD01	3区中央北 板下層		
3279	壺	底部完存	底径11.2cm 10YR1.7/1	外：灰・白 (10YR8/2)、内：灰 外：灰 (10YR8/1)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	板ナデ後ハラミガキ 板ナデ、内：板ナデ	SD01	3区中央南 下層、最上層		
3280	壺	底部完存	底径6.0cm	外：灰白 (10YR3/1)、内：灰 外：2.5Y7/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、花崗岩 (大・中・小)	外：板ナデ、内：ハラミガキ 外：板ナデ、内：ハラミガキ	SD01	3区中央北 板下層		
3281	壺	底部完存	底径13.0cm	外：洗・黃 (2.5Y7/3)、内：灰 外：2.5Y7/1)	胎土A類、花崗岩 (大・中・小) 胎土A類、花崗岩 (大・中・小)	外：板ナデ後ハラミガキ 外：板ナデ後ハラミガキ	SD01	3区中央南 下層、最下層		
3282	壺	底盤34	底径6.0cm	外：に赤い黄緑 (10YR5/3)、淡 外：2.5Y7/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	盤減、外：ハラミガキ 盤減、外：ハラミガキ	SD01	3区中央北 板下層		
3283	壺	底部完存	底径5.5cm	外：に赤い黄緑 (10YR5/3)、淡 外：2.5Y7/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外：板ナデ後ハラミガキ 外：板ナデ後ハラミガキ	SD01	3区中央南 下層		
3284	壺	底部完存	底径20.7cm	外：灰白 (2.5Y6/2)、内：灰 外：2.5Y7/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	外：ハラミガキ、内：板ナデ 外：ハラミガキ、内：ナデ	SD01	3区中央南上層 または下層		
3285	22	(底盤)	底盤1/4	底径8.7cm	外：灰・黃 (2.5Y3/2)、内：灰 外：2.5Y7/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 胎土A類、長石・石英 (大・中・小)	SD01	3区北端底不詳		
3286	壺	底部完存	底径8.1cm	外：灰・黃 (2.5Y7/2)、内：淡 外：2.5Y7/3)	胎土A類、花崗岩 (大・中・小) 胎土A類、花崗岩 (大・中・小)	外：ハラミガキ、底盤外側ヘラ記号、 内：板ナデ	SD01	3区南部下層		

番号	図版番号	図版	色調	基上	形状・調整	出上位置	部位		
3287	無頭 茎	灰存量 部底元脊 口横部1/8	外：深灰 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、花崗岩 石・石英 (大・中) 多量	把手 (12.5YR7/1) 外；握把、後板ミガキ 内；握把、後板ミガキ	SD01	3区中央北下層		
3288	無頭 茎	口横部1/8 口横部15.8cm	外：黑褐 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、長石・石英 (大・中) 多量	把手 (現存1個孔2個)、麻糸、内； 指揮えく、ヘラ抹拭	SD01	3区北部中央北 最下層		
3289	22・23 茎	口横部 鏡片	外：灰褐 (7.5YR6/2)、内；灰白 (7.5YR6/2)	灰土A類、花崗岩 (大・中) 多量 石・石英 (大・中) 多量	把手 (12.5YR6/2) 外；握把、後板ミガキ 内；握把、後板ミガキ (1枚) ことにより浅い段？ ヘラ抹拭	SD01	3区南部下層		
3290	22・23 茎	口横部1/8 口横部19.4cm	外：褐灰 (10YR7/3)、内；灰 (10YR7/3)	灰土A類、長石・石英 (大・中) 少量 黑色砂粒 (大・中) 多量	把手 (10YR5/1)、内；灰 (10YR3/1)、内；灰 (10YR5/2)	把手 (12.5YR6/2) 外；握把、指揮えく 内；握把、指揮えく	SD01	3区北部中央北 最下層	
3291	22・23 茎	口横部1/8 口横部20.8cm	外：灰褐 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、長石・石英 (大・中) 多量	把手 (10YR4/2)、内；灰 (10YR7/2)	把手 (12.5YR6/2) 外；握把、指揮えく 内；握取え洗練による段、板ナデ、 内；握取え後板ナデ	SD01	3区北部中央北 最下層	
3292	22・23 茎	口横部1/8 口横部22.7cm	外：灰褐 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、長石・石英 (大・中) 多量	把手 (10YR3/1)、内；灰 (10YR5/3)	把手 (10YR3/1) 外；灰 (10YR7/2) 内；灰 (10YR7/2) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区北部中央北 最下層	
3293	茎	口横部 1/10	口横部21.6cm 口横部1/8 (N4)	外：黑褐 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、長石・石英 (大・中) 多量	把手 (10YR7/2) 外；灰 (10YR7/2) 内；灰 (10YR4/3)	把手 (10YR7/2) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区中央北 最下層
3294	茎	口横部1/4 口横部1/4	口横部23.2cm (N4)	外：灰 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、長石・石英 (大・中) 多量	把手 (10YR7/2)、内；灰 (10YR7/2) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区中央北 最下層	
3295	31	口横部1/4 口横部1/4	口横部22.4cm (N4)	外：灰 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、長石・石英 (大・中) 多量	把手 (10YR7/2)、内；灰 (10YR7/2) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区中央北 最下層	
3296	茎	口横部1/4 口横部1/4	口横部22.4cm (N4)	外：灰 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、長石・石英 (大・中) 多量 赤色粒 (大・中) 多量	把手 (10YR7/2)、内；灰 (10YR7/2) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区北部中央北 最下層	
3297	茎	口横部1/4 口横部1/4	口横部20.7cm (N4)	外：灰 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、長石・石英 (大・中) 多量	把手 (10YR4/1)、内；灰 (10YR6/3)	把手 (10YR4/1) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区北部中央北 最下層
3298	茎	口横部1/6 口横部1/6	口横部14.9cm 口横部27.9cm (N4)	外：灰 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、長石・石英 (大・中) 多量	把手 (10YR7/2)、内；灰 (10YR6/3)	把手 (10YR7/2) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区北部中央北 最下層
3299	茎	口横部 1/10	口横部27.9cm (N4)	外：灰 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、長石・石英 (大・中) 多量 赤色粒 (大・中) 多量	把手 (10YR7/3)、内；灰 (10YR6/3)	把手 (10YR7/3) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区北部中央北 最下層
3300	茎	口横部1/2 口横部1/2	口横部22.6cm (N4)	外：黑 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、長石・石英 (大・中) 多量	把手 (10YR2/1)、内；灰 (10YR5/3)	把手 (10YR2/1) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区中央北下層
3301	茎	口横部4/5 口横部4/5	口横部21.1cm 口横部23.4cm	外：黑褐 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、長石・石英 (大・中) 多量	把手 (10YR3/1)、黑褐 (10YR7/2)、内；灰 (10YR7/3)	把手 (10YR3/1) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区北部中央北 最下層
3302	22	茎	口横部1/3 口横部1/3	口横部23.4cm 口横部22.0cm	外：灰 石・石英 (大・中) 多量	把手 (10YR7/2)、内；灰 (10YR5/2)	把手 (10YR7/2) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区北部中央北 最下層
3303	茎	口横部1/8 口横部1/8	口横部22.6cm 高23.8cm 底 9.2cm	外：灰 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、花崗岩 (大・中) 多量	把手 (2.5YR6/2)、内；灰白 (2.5YR6/2)	把手 (2.5YR6/2) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区中央南 最下層
3304	茎	口横部1/4 口横部1/4	口横部27.8cm (N4)	外：灰 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、花崗岩 (大・中) 多量	把手 (10YR7/2)	把手 (10YR7/2) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区中央北上層
3305	茎	口横部1/4 口横部1/4	口横部27.8cm (N4)	外：灰 石・石英 (大・中) 多量	灰土A類、花崗岩 (大・中) 多量	把手 (10YR7/2)	把手 (10YR7/2) 外； 指揮えく後板ナデ、 内；板ナデ	SD01	3区中央北上層

番号	図版番号	器種	残存量	法地	色調	粘土	出土位置	層位
3306	毫	口縁部1/6	口径24.2cm	外：褐色 (10YR3/1)	胎土A類、長石・石英 (大・少)	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(5条)、 胎土上部起毛部の段段の下部はヘラ拭 工具で摩耗文流れ、内：指捺痕端文	SD01	3区中央南 最下層
3307	毫	口縁部1/2	口径20.2cm	外：黒褐色 (10YR4/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・少)	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(3条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区北部中央北 最下層
3308	毫	口縁部～ 全体部は2 完存	口径22.0cm	外：黒褐色 (2.5Y3/1) (10YR4/2)	胎土A類、花崗岩 (中) 多量、長石 石英 (中) 少量	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(2条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区中央南 下層
3309	毫	口縫部3/4	口径17.2cm	外：黒褐色 (2.5Y8/2)	胎土A類、花崗岩 (大) 少量、長石 石英 (大・中) 多量	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(6条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区北生不詳 又は下層
3310	毫	口縫部1/4	口径18.7cm	外：にぶい 巻 (5YR7/6)	胎土A類、花崗岩 (大・中) 多量、 長石・石英 (大・中) 多量	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(6条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区北生不詳 又は下層
3311	毫	口縫部1/4	口径18.0cm	外：黒褐色 (10YR4/2)	胎土A類、花崗岩 (大) 多量、長石 石英 (大) 少量	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(6条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区北部下層
3312	毫	体部1/2	口径23.0cm	外：黒褐色 (10YR4/2)	胎土A類、長石・石英 (人・中・少)	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(6条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区中央南上層 又は下層
3313	毫	口縫部1/6	口径20.8cm	外：黒褐色 (2.5Y3/1) (10YR4/2)	胎土A類、花崗岩 (大) 少量、長石 石英 (人・中) 多量	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(6条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区北部中央北 最下層
3314	毫	口縫部1/4	口径19.4cm	外：黒褐色 (10YR7/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中) 多量	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(6条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区上層
3315	毫	口縫部1/4	口径26.0cm	外：黒褐色 (10YR3/2)	胎土A類、長石・石英 (人・中・少)	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(6条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区中央北下層
3316	毫	口縫部3/8	口径16.0cm	外：黒褐色 (10YR7/3)	胎土A類、長石・石英 (大・中) 多量	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(6条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区北部中央北 最下層
3317	毫	口縫部1/6	口径21.8cm	外：浅黒褐色 (10YR4/1)	胎土A類、長石・石英 (大・中・少)	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(6条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区中央北下層
3318	毫	体部完存	口径20.4cm	外：黒褐色 (10YR7/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・少) 多量、赤色粒子 (人) 離量	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(6条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区中央北 最下層
3319	毫	口縫部1/2	口径25.8cm	外：黒褐色 (2.5Y6/2) (10YR7/3)	胎土A類、長石・石英 (大・中・少) 多量	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(11条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区中央南下層 下層
3320	毫	口縫部1/3	口径32.1cm	外：黒褐色 (2.5Y8/2) (10YR7/3)	胎土A類、長石・石英 (大・中・少) 多量	口縫端部剥り口外：ヘラ拭き端文(14条)、 胎土A類、内：指捺痕端文	SD01	3区中央南下層 下層
3321	毫	体部1/10	口径48.8cm	にぶい 巻 (10YR7/3)	胎土A類、長石・石英 (2.5Y7/3)	口縫端部剥り口外：把手 (曳子1個)、板ナデ、内：指 捺痕端文	SD01	3区北部中央北 最下層
3322	毫	口縫部1/5	口径46.2cm	外：黒褐色 (10YR5/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中) 少量	口縫端部剥り口外：把手 (曳子1個)、ハケ日、内：板 ナデ	SD01	3区北部下層
3323	毫	口縫部1/2	口径31.8cm、高 さ38.9cm	にぶい 巻 (10YR7/3)	胎土A類、花崗岩 (人・中・少) 多量	口縫端部剥り口外：把手 (曳子1個)、ハケ日、内：指捺痕板 ナデ	SD01	3区北部下層

番号	固版番号	断面	残存量	法貫	色調	断土	断形・測量	出土位置	部位
3224	要	口縁部1/4	口径15.0cm	外：灰白 (2.5YR6/3) (10YR6/3)	内：にぶい黄褐色	胎土A類、反石・石英 (大・中・小) 少量	把手 (H2.4cm) 現存部・外；胎 内：指揮え後板ナデ	SD01	3区北側中央北 最下層
3225	要	口縁部1/5	口径12.1cm	外：黑褐色 (2.5Y3/1)、内：灰黄	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 少量	胎土A類、反石・石英 (大・中・小) 少量	外：ヘラミガキ、胎城、内：指揮え後 板ナデ	SD01	3区北側中央北 最下層
3226	要	完全	口径13.3cm、器外；所1 (10YR8/1)、所2 (12.5Y8/2)	胎土A類、反石・石英 (大・中・小) 高15.7cm、底径6.4cm	胎土A類、反石・石英 (大・中・小) 多量	胎土A類、反石・石英 (大・中・小) 多量	外：指揮え後板ナデ、ヘラミガキ、内： ヘラミガキ	SD01	3区中央北 最下層
3227	要	口縁部1/4	底径19.0cm	外：輪 底 (10YR4/1)、内：(10YR3/1)	胎土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・ 石英 (大・中) 多量、黑色砂粒 (人)	胎土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・ 石英 (大・中) 多量	口縫端部よりやや下がった位置に則 日當部 (1条) 訓付、指揮え後板ナデ	SD01	3区南部下層
3228	24	要	口縁部1/6	口径13.4cm	外：複底 (10YR5/1)、内：(10YR7/6)	胎土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・ 石英 (大・中) 多量	山形口縫、外：點付帶状 (1条)、ハゲ 日、内：指揮え後板ナデ	SD01	3区北側 中央北上海
3229	要	口縁部1/4	口径12.8cm	外：(2.5) 黄褐色 (10YR7/2)、内：灰黄	胎土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・ 石英 (大・中・小) 多量	胎土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・ 石英 (大・中・小) 多量	山形口縫、外：點付割文 (1条)、ハ ミガキ	SD01	3区中央南下層
3330	要	口縁部1/4	口径22.0cm	外：(2.5) 黄褐色 (10YR7/4)、内：灰 色帶 (10YR6/3)	胎土A類、花崗岩 (中) 多量、長石・ 石英 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (中) 多量、長石・ 石英 (大) 多量	口縫端部剥落、外：壁滅、ヘラ指沈 記文または櫛筋直線文 (16条)、内：海 底、指揮え	SD01	3区中央南 下層
3331	要	口縁部1/8	口径25.0cm	外：(2.5) 黄褐色 (7.5YR5/3)	胎土A類、花崗岩 (大) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 少量	口縫端部剥落、外：櫛筋直線文 (33条)、三 角形剥落	SD01	3区北部兼上層
3332	要	底部完全	底径9.6cm	灰黄 (2.5Y6/2)	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 多量	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 多量	外：板ナデ後ヘルミガキ、内：板ナデ	SD01	3区中央北上海 最下層
3333	要	口縁部1/4	口径21.7cm、器外；灰黄	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 高25.8cm、底径6.3cm	胎土A類、長石・石英 (大・中・小) 多量	胎土A類、花崗岩 (大・中) 少量、長 石・石英 (人) 多量	口縫端部剥落、外：ハケ日後ヘラ指沈 記文 (6条)、内：指揮え後板ナデ	SD01	3区北側中央北 下層
3334	胎	底部1/2	底径7.1cm	内：(2.5) 黄褐色 (10YR7/3)	胎土A類、花崗岩 (大・中) 多量	胎土A類、花崗岩 (大・中) 多量	地盤後剥落孔、外：壁滅、ヘラミガキ、 内：壁滅、指揮え後板ナデ	SD01	3区南部下層
3335	胎	底部完全	底径2.2cm	外：(2.5) 黄褐色 (10YR7/1)、内：灰 色帶 (10YR7/4)	胎土A類、花崗岩 (人) 多量、(2.5) 黄 色帶 (大) 少量	胎土A類、花崗岩 (人) 多量、(2.5) 黄 色帶 (大) 少量	底盤後剥落孔、外：板ナデ、内：ヘ ラミガキ	SD01	3区中央南上層 最下層
3336	胎	底部完全	底径9.2cm	外：輪 底 (10YR3/2)	胎土A類、花崗岩 (大) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 少量	底盤後剥落孔、外：板ナデ	SD01	3区中央南上層 最下層
3337	要	底部完全	底径5.8cm	外：胎 (SYR6/6)、内：(10YR7/3)	胎土A類、花崗岩 (人) 多量、(2.5) 黄 色帶 (大) 少量	胎土A類、花崗岩 (人) 多量、(2.5) 黄 色帶 (大) 少量	底盤後剥落孔 (穿孔途中)、体 部ハケ日、内：壁滅	SD01	3区中央南下層
3338	24・25	鉢?	口縁部 破片	外：泥漬 (2.5Y4/2)、内：灰黄 1/10	胎土A類、花崗岩 (大・中・小) 多量	胎土A類、花崗岩 (大・中・小) 多量	外：壁取り沈縮による段、壁城、内： 壁城、ヘラミガキ	SD01	3区北側中央北 下層
3339	24・25	鉢	口径17.8cm 1/10	外：黒褐色 (10YR2/1)、内：黑 色帶 (2.5Y6/2)、内：(10YR7/2)	胎土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・ 石英 (大・中・小) 少量	胎土A類、花崗岩 (大) 少量、長石・ 石英 (大・中・小) 少量	外：ヘラミガキ、段、内：ヘラミガキ	SD01	3区北側中央北 下層
3340	鉢	底部完全	口径27.0cm、器外；底径 11.6cm	外：胎 (2.5Y6/3)、内：灰 色帶 (2.5Y7/2)、内：(2.5Y7/2)	胎土A類、花崗岩 (人) 多量、(2.5) 黄 色帶 (大) 多量	胎土A類、花崗岩 (人) 多量、(2.5) 黄 色帶 (大) 多量	外：指揮え後板ナデ、内： 指揮え後板ナデ	SD01	3区中央南 最下層
3341	鉢	口縁部 完全	口径19.0cm、底径 8.0cm	外：灰黄 (10YR7/2)、内：(10YR7/2)	胎土A類、花崗岩 (中) 多量	胎土A類、花崗岩 (中) 多量	外：ヘラ指沈縮文 (5条)、ハケ日後ヘ ラミガキ、内：ヘラミガキ	SD01	3区中央北 下層

番号	国版番号	恐種	残存量	法量	軸	色調	断土	成形・調査	出土位置	層位
3342		鉢	口縁部	口径29.4cm H1.0	灰白	(2.5Y8/2)	粘土A類、花崗岩(中)少量、長石、 石英(大・中・小)多量	口輪部輪郭部へラ描绘文(1巻)外; 押出し後ヘラガキ、ヘラ描り線文 (1巻)内; ヘラミガキ	SD01	3区北端中央北 最下層
3343	24・30	鉢	口縁部23cm	口径11.0cm、底 高6.9cm、底 5.0cm	灰黄	(2.5Y7/2) 内: 灰 (5Y4/1)	粘土A類、花崗岩(中)少量、 赤色粘土子(中)少量	口輪部輪郭部外; ヘラ描绘 文(1巻)外、ヘラ描り線文(1巻)、 輪郭部輪郭部内: ヘラ描波 文(12巻)、板ナテ、内: 板ナテ	SD01	3区中央西 下層、最下層
3344		壺	底部完存	口径7.2cm	灰	(7.5Y4/1)、内: 灰黄 (2.5Y8/4)	粘土A類、長石; 石英(大・中)多量、 黒石(大)多量	ややいびつな輪郭部外; 槌打 文(12巻)、板ナテ、内: 板ナテ	SD01	3区中央北 最下層
3345	24・31	鉢	底部完存	口径12.3cm、器 高14.5cm、底 6.4cm	白	(2.5Y8/2)、内: 淡 黃	粘土A類、花崗岩(大・中)少量、 長石、石英(大・中)多量	外: 槌打、内: 槌打 文(7条)、板ナテ	SD01	3区中央北 最上層
3346		鉢	底部完存	底径6.0cm	灰	(2.5Y7/2)	外: 灰黄褐色(10YR6/2)、内: に赤い 黄(10YR7/2)	粘土A類、長石、石英(人・中)少量	SD01	3区北部中央北 最下層
3347	31	鉢	体部1/3	底径15.6cm	外: 灰 (7.5YR5/2)	内: 灰 (5Y8/2)	粘土A類、花崗岩(大・中)多量、 長石、石英(人・中)少量	外: 槌打輪郭文(現存1巻)、赤色 輪郭文(1巻)内: 指揮え後板ナテ、赤 色輪郭文(1巻)	SD01	3区北端中央北 最下層、北北 最上層
3348	23・24	鉢	底部完存	器高4.8cm	外: に赤い黄(10YR6/3)、 5.5cm、内: 黄(10YR7/2)	内: 灰 (2.5Y7/3)、内: 灰 (2.5Y6/1)	粘土A類、花崗岩(大)少量、長石、 石英(人・中・小)多量	外: ヘラミガキ、内: 指揮え後 板ナテ	SD01	3区北部中央北 最下層
3349	23・24	不明	底部1/4	底径8.0cm	外: 浅 黄	(10YR6/1)	粘土A類、長石、石英(人)少量	外: ヘラミガキ、内: 指揮え後 板ナテ	SD01	3区北端中央北 最下層
3350	23	蓋	山縁部1/4	口径4.8cm、 高2.7cm	外: 灰 (2.5Y6/1)	内: 黄 (2.5Y7/1)、内: 黄 (2.5Y6/1)	粘土A類、長石、石英(人)少量	外: ヘラミガキ、内: 指揮え後 板ナテ	SD01	3区南部下層
3351	23	蓋	天井部 裏片		灰黄	(2.5Y7/2)	粘土A類、長石、石英(人・中)少量	外: ヘラ描木朱文、内: 指揮え後 板ナテ	SD01	3区中央南下層
3352		蓋	口縁部3/4	口径8.6cm、器 高1.9cm	外: 灰 白	(10YR7/2)、内: 灰 (10YR7/1)	粘土A類、花崗岩(大)少量、長石、 石英(大・中)多量	外: 天井部輪郭文(2巻)外; 天井部 輪郭文(1)内: ヘラミガキ	SD01	3区中央南下層
3353	23	蓋	天井部 完存		灰	(2.5Y5/2)、内: 灰 (2.5Y6/2)	粘土A類、長石、石英(人・中)少量	外: 天井部輪郭文(1)内: ヘラミガキ	SD01	3区北端中央北 最下層
3354		蓋	口縁部3/4	口径12.8cm、 高5.4cm	灰 青	灰黄褐色(10YR6/2)	粘土A類、長石、石英(大・中)少量	外: 天井部輪郭文(1)内: ヘラミガキ	SD01	3区中央北下層
3355		蓋	体部完存	底径6.9cm	灰 青	に赤い黄(10YR7/3)	粘土A類、長石、石英(人・中)少量	外: ヘラミガキ、内: 板ナ テ	SD01	3区中央北下層
3356	25・33	三チユア 土器皿	口縁部	口径5.1cm、 高9.8cm、底 4.8cm	灰 青	に赤い黄(10YR7/2)	粘土A類、長石、石英(大・中)少量	外: 指揮え、内: 指揮え、ナテ	SD01	3区北部最下層
3357	25	三チユア 土器皿	口縁部 完存	口径6.2cm	灰黄	(2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩(人)微量、長石、 石英(大)少量	外: 指揮え後ハナテ、内: 指揮え後 ナテ	SD01	3区中央北 最下層
3358	25・33	三チユア 土器皿	体部~ 底部完存	底径2.5cm	暗灰 青	(2.5Y5/2)	粘土A類、長石、石英(中・小)少量	指揮え、ナテ	SD01	3区北端中央北 最下層
3359	26	三チユア 土器皿	体部1/4	口径8.4cm	灰黄	(2.5Y7/2)	粘土A類、花崗岩(人・中)少量、 長石、石英(中)少量	口輪部上輪竹管文、外: ヘラミガキ、 内: 指揮え後ナテ	SD01	3区上層

番号	測量番号	器種	現存量	法量	色調	成形・調整		出土位置	層位
						粘土A類、長石・石英(大・中・小)	指揮え、ナデ		
S380	26	ミチエ7 土器鉢	全体	口径4.7cm、器底白 高3.8cm、底 径2.8cm	口 径6.2cm、器 底4.5cm、天 井部 幅3.0cm	粘土A類、長石・石英(大・中・小)	多量	SD01	3区北端中央北 下層
S381	26	ミチエ7 土器壺	天井部 完存	口径6.0cm、 底4.5cm、天 井部 幅3.0cm	口径6.2cm、器 底4.5cm、天 井部 幅3.0cm	粘土A類、長石・石英(大・中・小)	多量	SD01	3区北端東下層
S382	26	匙状 土製品	一部欠損	現存 長6.0cm、 幅2.2cm、 人手厚1.3cm	現存 長6.0cm、 幅2.2cm、 人手厚1.3cm	粘土A類、長石・石英(小)	少量	SD01	3区中央北上層
S383	26	匙状 土製品	一部欠損	現存 長6.0cm、 幅4.1cm、 人手厚1.5cm	現存 長6.0cm、 幅4.1cm、 人手厚1.5cm	粘土A類、長石・石英(大・中・小)	多量	SD01	3区南壁不詳
S384	26	匙状 土製品	一部欠損	現存 長8.1cm、 幅4.1cm	現存 長7.3cm、 幅3.6cm	粘土A類、長石・石英(大・中・小)	多量	SD01	3区南部下層
S385	26	匙状 土製品	所漏部 欠損	現存 長5.0cm、 幅5.0cm、 人手厚1.1cm	現存 長5.0cm、 幅5.0cm、 人手厚1.1cm	粘土A類、長石・石英(大・中・小)	多量	SD01	3区中央北上層
S386	31	不明 土製品	一部欠損	現存 長4.4cm、 幅3.8cm、 人手厚1.6cm	現存 長4.4cm、 幅3.8cm、 人手厚1.6cm	粘土A類、長石・石英(大・中・小)	多量	SD01	3区北端中央北 下層
S387	26・27	不明 土製品	完存	現存 長2.4cm、 幅2.3cm	現存 長2.4cm、 幅2.3cm	粘土A類、長石・石英(大・中・小)	多量	SD01	3区北壁不詳
S388	26・27	ミチエ7 土器鉢?	全体	現存 長5.3cm、 幅5.1cm、 孔径6.0cm	現存 長5.3cm、 幅5.1cm、 孔径6.0cm	粘土A類、長石・石英(大・中・小)	少量	SD01	3区中央南 最下層
S389	26・27	柄鍤	全体	現存 長5.3cm、 幅5.1cm、 孔径6.0cm	現存 長5.3cm、 幅5.1cm、 孔径6.0cm	粘土A類、長石・石英(大・中・小)	多量	SD01	3区南壁不詳
S390	26・27	柄鍤	全体	現存 長5.3cm、 幅5.1cm、 孔径6.0cm	現存 長5.3cm、 幅5.1cm、 孔径6.0cm	粘土A類、長石・石英(大・中・小)	多量	SD01	3区北端中央北 下層
S371	26・27	柄鍤	1/2完存	現存 長1.8cm、 幅1.3cm 0.7cm前後	現存 長1.8cm、 幅1.3cm 0.7cm前後	粘土A類、長石・石英(中・小)	少量	SD01	3区中央北下層
S372	26・27	柄鍤	1/2完存	現存 長3.7cm、 幅0.8cm	現存 長3.7cm、 幅0.8cm	粘土A類、長石・石英(大)	少量	SD01	3区北端中央北 下層
S373	26・27	柄鍤	1/2完存	現存 長4.9cm、 幅1.3cm	現存 長4.9cm、 幅1.3cm	粘土A類、長石・石英(大)	多量	SD01	3区北端中央北 下層
S374	26・27	柄鍤	1/2完存	現存 長4.6cm、 幅0.6cm	現存 長4.6cm、 幅0.6cm	粘土A類、長石・石英(大・中・小)	多量	SD01	3区北端中央北 下層
S375	26・27	柄鍤	1/2完存	現存 長4.1cm、 幅0.7cm (10YR8/2)	現存 長4.1cm、 幅0.7cm (10YR8/2)	粘土A類、長石・石英(大・中・小)	少量	SD01	3区南壁不詳
S376	26	円錐状 土製品	完存	現存 長5.3cm、 幅5.0cm	現存 長5.3cm、 幅5.0cm	粘土A類、長石・石英(中・小)	少量	SD01	3区北端最下層

番号	固版番号	器種	保存量	法量	色調	船上	底面、調整	出土位置	層位
3377	円盤状 土器	大・浅鉢 底大厚0.5cm	12枚 完存	外：灰青 内：灰青(2.5YR6/2)、内：にぶい黄 (2.5Y6/3)	大・灰 底大厚0.5cm	胎土A類、花崗岩(大)少量、長石(小)少量 石英(大・中)少量	七型片を再利用、外：ヘラミガホ、 内：板子テ	SD01	3区北部山尖北 下西
3378	円盤状 土器	大・浅鉢 底大厚0.5cm	12枚 完存	外：灰 内：灰青(2.5YR6/3)	大・灰 底大厚0.5cm	胎土A類、花崗岩(大)少量、長石(小)少量 石英(大)多量	胎土A類、花崗岩(大)少量、長石(小)少量 外：ヘラミガホ、頭部ヘラ類沈没文 (1条)、内：ヘラミガホ	SD01	3区北部山尖北 下南
3379	26・27	壺	圓錐168	外：灰 内：灰 (10YR6/1) (5Y6/1)	外：灰 内：灰 (10YR8/4)、内：灰 (10YR8/2)、内：灰 (2.5YR9/1)	胎土A類、花崗岩(中)少量、長石(大・中)少量 石英(中)少量	胎土A類、花崗岩(中)少量、長石(大・中)少量 外：灰、ヘラミガホ、頭部ヘラ類沈没文 (現存2条)、内：ヘラミガホ	SD01	2区・3区
3380	26・27	壺	口縁部16.6cm 口径16.7cm	外：灰 内：灰 (10YR8/3)、内：灰 (10YR8/2)、内：灰 (2.5YR9/1)	胎土A類、長石・石英(大・中)多量 胎土A類、長石・石英(大・中)多量	胎土A類、長石・石英(大・中)少量 胎土A類、長石・石英(大・中)少量	胎土A類、長石・石英(大・中)少量 外：灰、頭部ヘラ類沈没文 (現存2条)、内：灰、頭部ヘラ類沈没文 (現存2条)、内：灰	SD01	2区・3区
3381	26・27	壺	口縁部16.7cm	外：灰 内：灰 (10YR8/3)、内：灰 (10YR8/2)、内：灰 (2.5YR9/1)	胎土A類、長石・石英(大・中)多量 胎土A類、長石・石英(大・中)多量	胎土A類、長石・石英(大・中)多量 胎土A類、長石・石英(大・中)多量	胎土A類、長石・石英(大・中)多量 外：ヘラミガホ、断面リ沈没縫を上下 に施すことにより削出凸帯第1槽、 内：壁底、指揮文	SD01	2区・3区
3382	壺	口縁部14 口径13.3cm	外：浅黃 (10YR8/2)	胎土A類、花崗岩(大・中)多量、 胎土A類、花崗岩(大・中)多量	胎土A類、花崗岩(大・中)多量、 胎土A類、花崗岩(大・中)多量	胎土A類、花崗岩(大・中)多量、 胎土A類、花崗岩(大・中)多量	胎土A類、花崗岩(大・中)多量、 胎土A類、花崗岩(大・中)多量	SD01	2区・3区
3383	甕	口縁部1.8 口径18.0cm	外：にぶい 内：灰 (7.5YR5/4) (5YR6/5)	胎土A類、花崗岩(大・中)多量、 胎土A類、花崗岩(大・中)多量	胎土A類、花崗岩(大・中)多量、 胎土A類、花崗岩(大・中)多量	胎土A類、花崗岩(大・中)多量、 胎土A類、花崗岩(大・中)多量	胎土A類、花崗岩(大・中)多量、 胎土A類、花崗岩(大・中)多量	SD01	2区・3区
3384	(底部)	底部3/4	底径8.0cm	淡赤褐色 (2.5YR7/4)	胎土A類、花崗岩(大・中)少量、 胎土A類、花崗岩(大・中)多量	胎土A類、花崗岩(大・中)少量、 胎土A類、花崗岩(大・中)多量	胎土A類、花崗岩(大・中)少量、 胎土A類、花崗岩(大・中)多量	SD01	2区・3区
3385	(底部)	底部完全	底径7.4cm	外：灰 内：灰 (2.5YR8/1) (2.5YR8/2)	胎土A類、長石・石英(大・中)少量、 胎土A類、長石・石英(大・中)多量	胎土A類、長石・石英(大・中)少量、 胎土A類、長石・石英(大・中)多量	胎土A類、長石・石英(大・中)少量、 胎土A類、長石・石英(大・中)多量	SD01	2区・3区
3386	(底部)	底部完全	底径6.2cm	灰白 (10YR8/2)	胎土A類、花崗岩(大)多量、 胎土A類、花崗岩(大)少量	胎土A類、花崗岩(大)多量、 胎土A類、花崗岩(大)少量	胎土A類、花崗岩(大)多量、 胎土A類、花崗岩(大)少量	SD01	2区・3区
3387	(底部)	底部完全	底径5.0cm	灰白 (10YR8/2)	長石・石英(大・中)多量、赤色粒 子(大)多量	長石・石英(大・中)多量、赤色粒 子(大)多量	長石・石英(大・中)多量、赤色粒 子(大)多量	SD01	2区・3区

第19表 燃粘土壤觀測表

番号	田版番号	特種	重量(g)	現存長(cm)	最大幅(cm)	板厚(cm)	道標名	層位
3501	33	燃粘土塊	37.93	3.6	3.8	3.1	SD01	3区中央北 上層
3502	33	燃粘土塊	36.19	3.7	3.3	3.2	SD01	3区外側 下層
3503	33	燃粘土塊	7.68	3.1	2.3	1.7	SD01	3区南端 下層
3504	33	燃粘土塊	42.66	4.9	4.2	3.3	SD1009	
3505	33	燃粘土塊	16.95	3.9	3.1	1.7	SD1009	
3506	33	燃粘土塊	20.18	3.5	3.6	2.4	SD1009	
3507	33	燃粘土塊	8.31	3.3	2.0	2.1	SD1009	
3508	33	燃粘土塊	24.75	3.2	3.6	3.0	不明	
3509	33	燃粘土塊	14.03	3.0	2.7	2.0	SD01	2区北端2 最上層
3510	33	燃粘土塊	45.54	5.2	4.1	3.0	SD01	2区SD01中央3 下層
3511	33	燃粘土塊	18.13	3.9	3.5	2.5	SD01	2区外側 上層
3512	33	燃粘土塊	49.26	5.0	3.9	4.2	SK1021	
3513	33	燃粘土塊	44.53	5.1	3.5	3.6	SK1113	
3514	33	燃粘土塊	12.05	2.9	2.6	2.4	SK1283	
3515	33	燃粘土塊	35.34	4.9	4.1	2.2	SK1335	
3516	34	燃粘土塊	16.31	5.0	2.5	2.0	SK1335	
3517	34	燃粘土塊	13.23	2.7	2.6	1.9	SK1022	
3518	34	燃粘土塊	9.99	3.0	2.6	1.2	包含層	
3519	34	燃粘土塊	43.57	3.4	2.5	1.2	包含層	
3520	34	燃粘土塊	16.96	3.4	5.0	3.4	包含層	
3521	34	燃粘土塊	12.06	3.4	3.1	2.3	包含層	
3522	34	燃粘土塊	4.62	2.5	3.1	2.1	包含層	
3523	34	燃粘土塊	57.01	4.5	2.3	1.2	包含層	
3524	34	燃粘土塊	55.41	5.0	3.5	3.6	包含層	
3525	34	燃粘土塊	52.35	5.8	3.9	3.5	包含層	
3526	34	燃粘土塊	180.68	16.4	14.3	9.6	包含層	

第20表 石製品觀察表

番号	特徴番号	図版番号	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	現存厚(cm)	残存状況	技法学	備考	遺物名	部位	遺跡の位置
4001	36	磨製石包丁	流紋岩	3.5以上	3.5以上	0.6	7.7	体部~背部一部残存 刃	孔2面、研磨	SK1052	2区SD01内側		
4002	35	磨製石包丁	流紋岩	9.5以上	5.4	0.7	4.13	側縁欠損	孔2面、体部研磨不十分、 刃部半減、光沢	SK1069	2区SD01内側		
4003	36	磨製石包丁	流紋岩	3.0以上	3.3以上	0.5	5.7	刃部一端残存	孔1面、体部未研磨	SK1113	2区SD01内側		
4004	35	磨製石包丁	流紋岩	13.1	5.9	1.5	13.2	はざ完存	抉り(未研磨)、体部研磨 中央部磨らぐ	SK1115	2区SD01内側		
4005	36	磨製石包丁	流紋岩	5.4以上	4.4以上	0.5	18.5	体部一部残存 刃部欠損	孔2面、体部研磨不十分、 刃部半減	SK1217	3区SD01内側		
4006	35	磨製石包丁	流紋岩	7.5以上	4.8	0.8	37.6	半分欠損	孔2面、体部一部研磨不十分、 刃部欠損	SK1247	3区SD01内側		
4007	35	磨製石包丁	流紋岩	11.2	5.0	1.0	65.6	完存	孔2面、体部一部研磨不十分、 刃部一部半減、中央部磨らぐ	SK1322	4区		
4008	35	磨製石包丁	流紋岩	11.4	5.0	0.8	62.0	はざ完存	孔2面、刃部研磨、偏刀刃、断面形 光沢	SD01	3区北壁下層	3区	
4009	37	磨製石包丁	流紋岩	8.7以上	4.8	1.1	54.3	半分欠損	孔1面、刃部研磨、偏刀刃、断面形 光沢	SD01	3区北壁上層	3区	
4010	38	磨製石包丁	流紋岩	3.3以上	5.3	0.6	16.4	側縁欠損	孔1面、背筋、刃部研磨	SD01	3区南壁最上層	3区	
4011	38	磨製石包丁	流紋岩	2.7以上	2.6以上	0.8	8.1	背部~体部一部 刃部欠損	孔1面、研磨、片面 研磨不十分	SD01	3区北壁上層	3区	
4012	38	磨製石包丁	流紋岩	4.7以上	4.3	0.8	22.4	側縁欠損	孔2面、体部 研磨不十分	SD01	3区北壁上層	3区	
4013	38	磨製石包丁	流紋岩	6.3以上	5.2	0.8	31.4	側縁残存	孔1面、全体半減、光沢	SD01	3区南壁上層	3区	
4014	38	磨製石包丁	流紋岩	6.4以上	5.8	0.7	36.6	側縁欠損	孔1面、全体研磨不十分、 刃部半減	SD01	3区上層	3区	
4015	38	磨製石包丁	流紋岩	4.7以上	5.8	0.7	17.9	刃部一部残存	孔1面、片面一部 研磨	SD01	3区北部~中 北壁下層	3区	
4016	36	磨製石包丁	流紋岩	5.9以上	5.5	0.9	33.4	半分欠損、側縁一部 刃部欠損	孔2面、偏刀刃、断面形 光沢直線	SD01	3区北端~中 央部下層	3区	
4017	36	磨製石包丁	流紋岩	10.7以上	5.0	0.8	47.9	半分欠損	孔2面、はざ全体半減、光 沢	SD01	3区北端~中 央部下層	3区	
4018	39	磨製石包丁	流紋岩	8.4以上	4.8	1.1	54.1	側縁欠損	抉り(未研磨)、孔2面、 偏刀刃、断面形直線	SD01	3区北端~中 央部下層	3区	
4019	39	磨製石包丁	流紋岩	5.2以上	5.4	1.2	37.0	刃部一部残存	孔2面、研磨、片面 研磨不十分、抉り	SD01	2区中央2下 層	3区	
4020	39	磨製石包丁	流紋岩	1.21	5.7	1.0	90.1	はざ完存	体部研磨不十分、 刃部半減、光沢	SD01	3区中央下層	3区	
4021	36	磨製石包丁	流紋岩	8.9以上	5.1	1.0	62.5	半分欠損	抉り(未研磨)、体部、 部分的に偏刀刃、SD01	SD01	3区南壁下層	3区	

卷号	釋名番号	回収番号	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	現存厚等(cm)	重量(g)	残存状況	技法等	備考	遺跡名	等級	遺物の位置
4022	40	焼製石包丁	流紋岩	5.2以上	4.6	0.6	206	両側斜久損	孔1個、刃部・背部研磨 直線的	刃面阿刀、断面形 直線的	SD01	3区南壁不詳	3区	
4023	36	40	焼製石包丁	流紋岩	8.2以上	5.2	1.1	59.8	半分欠損	孔1個、刃部・背部研磨 直線的	刃面阿刀、断面形 直線的	SD01	2区・北部1上	2区
4024	40	焼製石包丁	流紋岩	4.2以上	3.5以上	0.8	14.9	刃部・部残存	孔2個、研磨 直線的	刃面阿刀、断面形 直線的	SD01	2区・中央1上	2区	
4025	40	焼製石包丁	流紋岩	5.6以上	6.7	0.6	28.5	両側斜欠損	刃部・背部研磨 直線的	刃面阿刀、断面形 直線的	SD01	2区・中央4上	2区	
4026	40	焼製石包丁	流紋岩	5.0以上	5.2	0.6	21.3	体部一部～刃部	孔2個、刃部研磨 直線的	刃面阿刀、断面形 直線的	SD01	2区・中央3下	2区	
4027	36	41	焼製石包丁	流紋岩	6.5以上	5.0	0.9	27.7	両側斜残存	体部・部残滅、光沢 直線的	刃面阿刀、断面形 直線的	SD01	2区・中央2下	2区
4028	41	焼製石包丁	流紋岩	6.6以上	4.2	0.6	24.6	半分残存	孔1個、刃部・背部研磨 直線的	部分的に彌月刃形、断面形 直線的	SD01	2区・北壁下端	2区	
4029	41	焼製石包丁	流紋岩	7.6以上	5.2	0.8	33.3	半分残存	孔1個、体部・部研磨不十 分、(注)全体光沢 直線的	部分的に彌月刃形、断面形 直線的	SD009	1区		
4030	41	焼製石包丁	流紋岩	4.3以上	5.1	0.5	11.9	両側斜欠損	孔1個、刃部・背部研磨 直線的	部分的に彌月刃形、断面形 直線的	SX010	2区(SD01)内側		
4031	41	焼製石包丁	流紋岩	3.3以上	2.4以上	0.6	5.9	刃部一部残存	片面体部研磨不十分	片側刃面阿刀、断面形 直線的	SX010	2区(SD01)内側		
4032	41	焼製石包丁	流紋岩	4.5以上	3.7以上	0.5	11.0	両部一部～体部	孔1個、背部・骨部、体部一端研 磨	孔1個、体部研磨不十分	SX012	2区(SD01)内側		
4033	41	焼製石包丁	流紋岩	3.7以上	4.5	0.6	8.0	刃部一部	孔1個、体部研磨不十分	孔1個、体部研磨不十分	SX013	2区(SD01)内側		
4034	42	焼製石包丁	流紋岩	3.5以上	4.1	0.4	8.3	側縁・部残存	孔1個、刃部・背部研磨 直線的	孔1個、刃部・背部研磨 直線的	SX024	2区(SD01)内側		
4035	37	42	焼製石包丁	流紋岩	10.3以上	5.4	1.1	80.5	半分欠損	孔2個、体部・部研磨不十 分、一部部残存、光沢 直線的	孔2個、体部・部研磨不十 分、一部部残存、光沢 直線的	SX035	3区(SD01)外側	
4036	42	焼製石包丁	流紋岩	6.1以上	5.2	0.7	26.2	半分欠損	孔1個、背部・部研磨不十 分、背部一端残滅、光沢 直線的	孔1個、背部・部研磨不十 分、背部一端残滅、光沢 直線的	SX050	4区		
4037	37	42	焼製石包丁	流紋岩	7.5以上	5.1	1.1	60.0	半分欠損	孔2個	孔1個、背部・部研磨 直線的	SD001	1区	
4038	42	焼製石包丁	流紋岩	3.9以上	2.0以上	0.7	6.0	両部一部残存	孔1個、背部・骨部、部研 磨	孔1個、背部・骨部、部研 磨	SD001	1区		
4039	43	焼製石包丁	流紋岩	3.5以上	4.6	0.7	12.8	両側斜欠損	孔不一分	側縁刃面阿刀、断面形 直線的	SD001	4区		
4040	43	焼製石包丁	流紋岩	5.0以上	4.2	0.9	21.5	両側斜欠損	体部・部研磨不一分	側縁刃面阿刀、断面形 直線的	SD001	4区		
4041	43	焼製石包丁	流紋岩	4.4以上	4.6以上	0.6	13.3	背部・部残存	背部・一部・体部一端研磨 直線的	背部・一部・体部一端研磨 直線的	SD001	4区		
4042	43	焼製石包丁	流紋岩	6.2以上	4.3以上	0.6	16.5	背部・部残存	孔1個、背部研磨 直線的	孔1個、背部研磨 直線的	SD001	3区		
4043	43	焼製石包丁	流紋岩	3.7以上	5.7	0.8	23.1	両側斜欠損	孔2個、片面研磨不十分	側縁刃面阿刀、断面形 直線的	SD001	3区		
4044	43	焼製石包丁	流紋岩	4.7以上	4.6以上	0.4以上	10.0	体部一部・刃部	孔1個、背部・部残存、光沢 直線的	孔2個	混合層	3区		
4045	44	焼製石包丁	流紋岩	8.1以上	5.6	0.7以上	33.2	両側斜欠損、片面	孔2個	側縁刃面阿刀、断面形 直線的	SD001	3区		

番号	番号	地質学的名	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	奥存厚(cm)	重量(g)	残存状況	技法等	構造	遺跡名	部位	遺構の位置
4045	44	海綿石包丁	海綿岩	4.0以上	2.1以上	0.7	6.7	万部一部残存	体部研削不十分	均整刃、断面形包含層	不明		3区	
4047	44	海綿石包丁	海綿岩	6.6以上	5.1	0.7	26.6	両側端欠損	孔1箇、刃部・背部研削	均整刃、断面形包含層	直線的		2区	
4048	44	海綿石包丁	海綿岩	5.1以上	5.0	0.8	18.6	両側端欠損	孔1箇、片面削痕無	均整刃、断面形包含層	直線的		2区	
4049	44	海綿石包丁	海綿岩	5.1以上	4.7	0.7	17.0	両側端欠損	体部研削不十分、万部・背	均整刃、断面形包含層	直線的		2区	
4050	44	海綿石包丁	海綿岩	3.2以上	4.5	0.9	16.7	両側端欠損	部研削、光沢	均整刃、断面形包含層	直線的		2区	
4051	37	44	海綿石包丁	海綿岩	6.0以上	5.8	0.8	42.4	半分欠損	孔1箇、刃部・背部研削	均整刃、断面形包含層	直線的		2区
4052	44	海綿石包丁	海綿岩	4.8以上	3.6	0.9	22.2	両側端欠損	孔1箇、扶り、一部	均整刃、断面形包含層	直線的		2区	
4053	37	44	海綿石包丁	海綿岩	7.2以上	5.3	1.3	63.6	半分欠損	孔2箇、体部一側削痕不十分、刃部一部研削	均整刃、断面形包含層	直線的		2区
4054	37	45	海綿石包丁	海綿岩	6.2以上	5.0	0.9	36.6	半分欠損	孔1箇、背部・体部研削不十分、部分的に偏右側刃部研削	均整刃、断面形包含層	直線的		1区
4055	45	海綿石包丁	海綿岩	5.3以上	4.8	0.6	21.0	両側端欠損	孔1箇、背部・体部研削不十分	均整刃、断面形包含層	直線的		1区	
4056	37	45	海綿石包丁	海綿岩	13.6	4.8	1.0	82.7	は完全	孔2箇、背部削痕、中央部研削、光沢	均整刃、断面形包含層	直線的		出土位置不明
4057	38	45	海綿石包丁	海綿岩	8.7以上	4.4	0.8	39.1	半分欠損	孔1箇、片面削痕、一部斜	均整刃、断面形包含層	直線的		出土位置不明
4058	38	46	海綿石包丁	海綿岩	12.4以上	4.7	0.9	80.2	半分欠損	孔2箇(深打)、後刃(横打)、背部研削、光沢	均整刃、断面形包含層	直線的		出土位置不明
4059	38	47	海綿石包丁	海綿岩	6.7以上	5.5	0.9	37.4	半分欠損	孔1箇(後刃)、背部研削、光沢	均整刃、断面形包含層	直線的		3区中央北東
4060	47	海綿石包丁	海綿岩	5.9以上	4.9	0.9	25.8	両側端欠損	刃部・背部研削、体部片面部削痕、背部研削、光沢	均整刃、断面形包含層	直線的		1箇	
4061	38	47	海綿石包丁	海綿岩	1.20	6.0	1.1	110.9	両側端欠損	孔1箇(後刃)、背部研削、体部未研削	均整刃、断面形包含層	直線的		2区中央2上
4062	47	海綿石包丁	海綿岩	4.5以上	4.2以上	0.5以上	10.1	体部一部・片面孔1箇	孔1箇(後刃)、背部研削、体部未研削	均整刃、断面形包含層	直線的		2区北東1下	
4063	47	海綿石包丁	海綿岩	2.8以上	3.0以上	0.8	9.8	万部一部残存	孔1箇(後刃)、背部研削、体部未研削	均整刃、断面形包含層	直線的		2区SD01片側	
4064	38	46	海綿石包丁	海綿岩	1.22	5.2	0.8	70.7	は完全	片方扶り、圓錐・体部・側縫、側縫、光沢	均整刃、断面形包含層	直線的		2区南端最上
4065	46	海綿石包丁	海綿岩	6.6	4.5	1.2	34.7	両側端欠損	体部研削不十分、刃部・側縫、背部研削	均整刃、断面形包含層	直線的		3区	
4066	46	海綿石包丁	海綿岩	7.4以上	3.5以上	0.7	12.4	万部一部残存	体部未研磨	片刃	SD01	3区中央南端	下層	

番号	標本番号	種類	石材	現行長(cm)	現存幅(cm)	現存厚(cm)	重量(g)	現存状況	技法等	備考	遺構名	部位	遺構の位置
4067	48	石包丁未製 品	流紋岩	3.3以上	4.4	0.7	13.7	両側縁欠損	体部未研磨、刃部滑溜整 形、背部・片側自然面 部・一部自然面	SP1001	1区		
4068	48	石包丁未製 品	流紋岩	6.2以上	4.3以上	0.6	23.2	両部一部欠損	刃部・一部滑溜整形、端 部・一部自然面	SK1038	1区		
4069	39	48	石包丁未製 品	流紋岩	16.5	5.7	1.4	120.0	1/4完存	体部片面・背部自然面、刃 部滑溜整形一部研磨、体 部高光研磨	SK1076	2区SD01内側	
4070	39	48	石包丁未製 品	流紋岩	6.5以上	7.4	1.0	53.6	半分欠損	背部微打、体部未研磨、 片面一部自然面	SK1185	3区SD01外側	
4071	49	石包丁未製 品	流紋岩	6.6以上	4.4以上	0.5以上	11.3	体部一部～刃部一 部欠損、片面欠損	刃部滑溜整形後、局部切 削、体部未研磨	SK1289	3区SD01内側		
4072	39	49	石包丁未製 品	流紋岩	11.9	5.2	1.1	97.8	1/2完存	背部・体部・背筋部一部分 研磨、削除、背部未研磨	SD01	3区中央北下 層	3区
4073	39	49	石包丁未製 品	流紋岩	13.9	5.7	1.2	142.3	1/4完存	背部・刃部微打痕、背部一 部自然面未研磨、背部一 部自然面	SD01	3区中央北下 層	3区
4074	49	石包丁未製 品	流紋岩	6.4以上	5.4以上?	0.8以上?	26.9	両部一部欠損、片 面欠損?	刃部片面研磨、片面状態 (片面欠損か? 片面刀部 整形なし)、体部未研 磨	SD01	3区中央南 層	3区	
4075	40	50	石包丁未製 品	流紋岩	7.6以上	4.9	0.7	37.4	両側縁欠損	両部片面研磨、両部・体部 片面研磨、背部自然面 部・一部研磨	SD01	3区中央南 層	3区
4076	40	50	石包丁未製 品	流紋岩	8.2以上	6.3	1.7	123.5	半分欠損	両面研磨、両部・背部 片面研磨	SD01	3区上層	3区
4077	40	50	石包丁未製 品	流紋岩	11.1以上	5.3	1.4	111.2	両側縁欠損	両部微打痕、背部・一部研 磨	SD01	3区上層	3区
4078	40	50	石包丁未製 品	流紋岩	5.8以上	5.9	0.9	36.0	半分欠損	背部・刃部滑溜整形、体部 未研磨	SD01	3区北部・中 央下層	3区
4079	51	石包丁未製 品	流紋岩	8.4以上	4.0	0.8	33.5	両側縁欠損	片面研磨、片面 未研磨	SD01	3区北側身上 層	3区	
4080	51	石包丁未製 品	流紋岩	5.7以上	5.2	0.6	21.2	両側縁欠損	背部・刃部・研磨、刃部 整形、背部未研磨	SD01	3区中央北 部	3区	
4081	51	石包丁未製 品	流紋岩	11.5以上	6.2	1.6	139.1	両側縁欠損	背部・刃部滑溜整形、体部 未研磨	SD01	3区北部身上 層	3区	
4082	40	51	石包丁未製 品	流紋岩	11.4以上	7.4	1.4	134.2	両側縁欠損	両部研磨、背部・刃部滑溜整 形、背部一部自然面	SD01	3区東南下層	3区
4083	41	52	石包丁未製 品	流紋岩	9.5以上	5.9	0.8	75.4	両側縁欠損	抉り・背部・抉り研磨、 背部・刃部・研磨、背部 未研磨	SD01	2区北部1 層	2区
4084	41	52	石包丁未製 品	流紋岩	11.9以上	5.9	1.2	86.1	半分欠損	背部一部自然面、背部一 部滑溜整形、刃部・研磨	SD01	2区北部1上 層	2区

番号	仲四番弓	四番番弓	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	現存厚(cm)	重量(g)	残存状況	技法等	備考	遺構名	層位	遺構の位置
4085	41	52	石包丁未製 品	流紋岩	10.5以上	5.8	0.9	76.0	側縫欠損	背面部自然面、周面部 自然面、刃部斜面 部分磨擦整形	SD01	2区 北部上	2区	
4086		53	石包丁未製 品	流紋岩	3.8以上	4.7以上?	0.9	14.8	側縫残存、片面 損?	背面部自然面、刃部斜 面研磨	SD01	2区 北部上	2区	
4087	41	53	石包丁木製 品	流紋岩	11.7以上	5.3	1.0	83.2	側縫欠損	背部・一部・刃部斜面 部分磨擦整形、背部 未研磨、背部片面研 磨	SD01	2区 中央上	2区	
4088	41	53	石包丁未製 品	流紋岩	7.6以上	4.6	0.8	41.2	半分欠損	体部侧面自然面、刃部斜 面研磨	SD01	2区 北部下	2区	
4089	42	53	石包丁未製 品	流紋岩	9.8	5.6	1.1	72.5	はざ完存	背部・刃部斜面打痕、未研磨、 片面一面 部口上面	SD01	2区 北部下	2区	
4090	42	54	石包丁未製 品	流紋岩	11.3以上	5.2	1.3	104.2	側縫欠損	背部・一部・刃部斜面 研磨整形、体部未研磨	SD01	2区 北部下	2区	
4091		54	石包丁未製 品	流紋岩	5.8以上	4.7	1.4	38.5	側縫残存	背部侧面自然面、刃部斜面 からか、弱い研磨か? 未研磨	SD01	2区 中央下	2区	
4092		54	石包丁未製 品	流紋岩	8.4以上	5.9	0.8	37.1	半分残存	背部削離整形、体部一部 研磨	SD01	2区 中央2下	2区	
4093	42	54	石包丁未製 品	流紋岩	8.8以上	6.5	1.2	72.7	側縫欠損	背部・一部研磨、体部一面 研磨、背部自然面	SD01	2区 中央2下	2区	
4094		55	石包丁未製 品	流紋岩	6.4	6.1	1.2	52.2	側縫残存	背部削離整形、背面一面 自然面、片面自然面、全 体未研磨	SD01	2区 北部最上	2区	
4095	42	55	石包丁未製 品	流紋岩	12.1	5.6	1.5	145.0	完存	両面部斜面打痕(側縫斜打) 片面自然面	SD001		1区	
4096	42	55	石包丁未製 品	流紋岩	8.4以上	5.5	0.8	54.3	半分欠損	抉り・背部削離整形、刃 部研磨	SK1010		2区(SD01)内側	
4097	43	55	石包丁木製 品	流紋岩	10.7以上?	4.5	1.0	68.4	側縫欠損?	背部・刃部斜面打痕(半刀用)、体部 一部・刃部一部研磨	SK1023		2区(SD01)内側	
4098	43	56	石包丁未製 品	流紋岩	11.5	5.4	2.1	163.5	はざ完存	側縫打痕(側縫斜打)、 体部未研磨、片面 自然面	SK1034		3区(SD01)外側	
4099		56	石包丁未製 品	流紋岩	6.0以上	3.3以上	0.7	15.9	背部一面	背部・体部片面研磨	SK1051		4区	
4100		56	石包丁未製 品	流紋岩	7.2以上	5.2	1.3	54.6	側縫一部	片面・側縫自然面、刃 部・背部・刃部斜面整形、 背部片面研磨	SK1055		4区	
4101		56	石包丁未製 品	流紋岩	6.0以上	4.6	0.8	26.2	半分残存	背部・背部斜面整形、 背部片面研磨	SK1056		4区	
4102		56	石包丁未製 品	流紋岩	3.8以上	4.0以上	0.7	10.0	刃部一部	刃部研磨、背部未焼毛	SK1057		4区	
4103	43	56	石包丁未製 品	流紋岩	7.2以上	4.5	1.2	55.2	半分欠損	刃部研磨、背部一部研 磨、体部未研磨	SK1058		4区	

番号	標本番号	種類	木材 石包丁未製 品	現存長(cm)	現存幅(cm)	重量(g)	残存状況	技法等	備考	遺傳名	層位	遺傳の位置
4101	43	56	石包丁未製 品	14.3	5.7	1.2	106.1 はざま完存	背部一部自然面、背部一 筋打痕、刃部研磨、背部一 筋打痕、刃部削整形	背部一部自然面、背部一 筋打痕、刃部研磨、背部一 筋打痕、刃部削整形	包含層	4区	
4105		57	石包丁未製 品	6.1以上	4.4	1.3	26.7 側縫保存	背部一部自然面、背部一 筋打痕、刃部研磨、背部一 筋打痕、刃部削整形	背部一部自然面、刃部削 整形	包含層	4区	
4106	43	57	石包丁未製 品	9.6以上	5.5	1.1	81.8 側縫欠損	背部・刃部削打痕(縫状 凹凸)、刃部・側縫等	背部・刃部削打痕(縫状 凹凸)、刃部・側縫等	包含層	4区	
4107	43	57	石包丁未製 品	11.0以上	5.1	0.7	46.2 側縫欠損	背部・刃部削打痕 研磨、背部未研磨	背部・刃部削打痕 研磨、背部未研磨	包含層	4区	
4108		57	石包丁未製 品	3.6以上	5.1	0.6	17.8 側縫缺損	背部削打痕、背部未研 磨	背部削打痕、背部未研 磨	包含層	4区	
4109		57	石包丁未製 品	7.6以上	5.9	1.1	45.9 半分欠損	背部自然面、刃部打痕、 背部削整形、背部未研磨	背部自然面、刃部打痕、 背部削整形、背部未研磨	包含層	3区	
4110	44	58	石包丁未製 品	11.1	6.0	0.8	79.3 はざま完存	背部削打痕、背部削整 形、背部未研磨	背部削打痕、背部削整 形、背部未研磨	包含層	3区	
4111		58	石包丁未製 品	10.2以上	5.8	0.9	64.7 側縫欠損	背部・刃部研磨、背部部分 的に研磨	背部・刃部研磨、背部部分 的に研磨	包含層	3区	
4112		58	石包丁未製 品	5.2以上	5.8	0.9	32.6 側縫大破	背部削整形、全体未研 磨	背部削整形、全体未研 磨	包含層	3区	
4113		58	石包丁未製 品	8.9	5.2	1.7	103.1 はざま完存	側縫打痕、背部面自 然面	側縫打痕、背部面自 然面	包含層	3区	
4114	44	59	石包丁未製 品	13.0	7.7	1.4	182.6 はざま完存?	未研磨、背部一部自然面、 刃部削整形、一部微打 痕	未研磨、背部一部自然面、 刃部削整形、一部微打 痕	包含層	3区	
4115		59	石包丁未製 品	4.8以上	4.3以上	1.1	12.6 刀部一部	側縫、刃部削整形	側縫、刃部削整形	包含層	3区	
4116		59	石包丁未製 品	6.7以上	5.9	1.4	52.0 半分欠損	背部・刃部・ 側縫一部研磨	背部・刃部・ 側縫一部研磨	包含層	3区	
4117		59	石包丁未製 品	7.3以上	6.8	0.9	40.0 半分欠損	背部未研磨	背部未研磨	包含層	3区	
4118	44	60	石包丁未製 品	12.9	6.1	1.8	204.3 完存	背部・刃部削打痕(縫狀 凹凸)、片面自然面・片 面白然面	背部・刃部削打痕(縫狀 凹凸)、片面自然面・片 面白然面	包含層	3区	
4119		60	石包丁未製 品	6.6以上	5.6以上	0.8以上	35.9 側縫、片面欠損	刃部研磨、背部一部研磨 削整形、片面欠損	刃部研磨、背部一部研磨 削整形、片面欠損	包含層	3区	
4120		60	石繖	安川呂	9.3以上	5.7以上	1.5	124.3 刀部・側縫存 在	側縫・刃部削整形、片面 縫状	側縫・刃部削整形、片面 縫状	包含層	2区
4121		60	柔材まつは 剥片	安川呂	6.1	4.7	0.7	23.6 片面・端面	背部・体部一部研 磨	背部・体部一部研 磨	包含層	2区
4122		60	石包丁未製 品	6.6以上	4.8	1.6	69.2 半分欠損	背部・体部一部研 磨	背部・体部一部研 磨	包含層	2区	

番号	標高番号	断面番号	種類	石材	現在厚(cm)	現有幅(cm)	残存厚(cm)	重量(g)	残存状況	機号	運搬名	場所	運搬の位置
4123	61	素材または剥片	流紋岩	流紋岩	8.1以上	8.1以上	1.6	106.6	万能切削・幅	包含層	包含層	2区	
4124	61	打裂石包丁	安山岩	安山岩	8.2以上	5.0以上	1.5	55.2	万能切削・幅	万能切削	包含層	2区	
4125	61	石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	5.9以上	5.5	1.0	34.1	兩端欠損	万能切削、端部未研磨、歯孔切込2箇 体部未研磨、未貫通	包含層	1区	
4126		石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	5.4以上	6.3	1.1	46.5	端部欠損	側面・刃削彫造整形、背部 自然面、刃削未研磨	包含層	3区	
4127		素材または剥片	流紋岩	流紋岩	6.4	4.7	1.1	25.4		端部自然面、片面・部	SP1001	1区	
4128	62	素材または剥片	流紋岩	流紋岩	7.5以上	4.8以上	0.6	26.6		片面自然面、背面自然 面	SK102	2区SD01内側	
4129	45	石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	9.4以上	6.5	1.1	73.8	端部欠損	端部刃削新自然面、刃部 削彫造整形	SK1113	2区SD01内側	
4130	62	石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	8.5以上	5.7	1.2	55.6	端部欠損	側面削面	SK1136	2区SD01内側	
4131	62	石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	5.5以上	6.0	0.8	24.5	端部欠損	万能切削整形?	SK1209	3区SD01内側	
4132	62	石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	6.1以上	5.7	0.9	28.0	端部欠損	端面・片面自然面	SD01	3区北部最上層	3区
4133	63	石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	8.5以上	5.5	1.1	50.7	端部欠損	片面・端面双边自然面、片 面削面	SD01	3区中央北最上層	3区
4134	63	石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	1.5以上	7.0	1.5	181.6	端部欠損	端部刃削新自然面、側面平坦 (自然面)?、端面一部削 打抜	SD01	3区下層	3区
4135		石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	3.7以上	5.6	1.4	36.8	兩端部欠損	片面自然面?	SD01	3区北部上層	3区
4136	63	素材または剥片	流紋岩	流紋岩	4.9	3.9	1.1	22.0		端面一部自然面、他は削 削面	SD01	3区北部上層	3区
4137	63	素材または剥片	流紋岩	流紋岩	6.4以上	6.1	2.9	160.9	半分欠損	端面一部自然面、他は削 削面	SD01	3区上層	3区
4138	44	64	石包丁未製品	流紋岩	8.5以上	6.9	0.7	40.2	兩端部欠損	22.9端部整形	SD01	3区北部・中央	3区
4139	64	素材または剥片	流紋岩	流紋岩	7.9以上	5.5	1.1	43.8	端部欠損	端部2箇自然面、前面削薄 面	SD01	3区垂直下層	3区
4140	64	石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	6.1以上	5.0	1.2	41.7	半分欠損	側面削面	SD01	2区北部最上層	2区
4141	64	素材または剥片	流紋岩	流紋岩	8.以上	5.4	0.7	31.9	端部欠損	端面削面?片面削 薄面	SD01	2区北部下層	2区
4142	64	素材または剥片	流紋岩	流紋岩	5.6以上	5.2以上	1.5	55.0	23.0端部欠損	端面削面	SD01	2区北側2上層	2区
4143	64	石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	6.3以上	6.1	1.2	51.3	端部端部欠損	片面自然面の可能性、片 面削面	SD01	2区北側2上層	2区
4144	65	素材または剥片	流紋岩	流紋岩	9.4以上	5.9	0.9	38.7	半分欠損	片面自然面の可能性、片 面削面	SD01	2区北側2上層	2区
4145	65	素材または剥片	流紋岩	流紋岩	5.7以上	5.2以上	0.5	17.4	1.2端部欠 損	端面片面自然面	SD01	2区中央3上層	2区
4146	65	石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	4.5以上	5.1	1.3	28.2	端部端部欠 損	片面自然面	SD01	2区中央4上層	2区
4147	65	石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	6.1以上	5.6	0.9	30.4	端部端部欠 損	未研磨	SD01	2区南部上層	2区
4148	65	素材または剥片	流紋岩	流紋岩	5.5以上	4.6	1.3	41.8	半分欠損	端部自然面、背面自 然面	SD01	2区北部1下層	2区
4149	65	石包丁未製品	流紋岩	流紋岩	4.8以上	4.2	0.8	18.5	端部端部欠 損	片面端部	SD01	2区北部1下層	2区

番号	海図番号	固有番号	種類	石群	現存厚(cm)	底存厚(cm)	現存厚(cm) 重畠(%)	底存厚(cm) 重畠(%)	現存状況	底存状況	技術等	備考	遺存名	層位	遺構の位置	
4150	65	石包丁未製品 の可能性	流紋岩	2.7以上	4.4	0.8	9.7	9.7	側面残存?	側面自然面? 1面横一部?			SD01	2区北端2下層	2区	
4151	65	石包丁未製品 の可能性	流紋岩	6.1以上	5.0	0.8	23.8	23.8	側面残存?	側面自然面? 1面横一部?			SD01	2区中央1下層	2区	
4152	66	石包丁未製品 片	流紋岩	6.4以上	3.0	0.7	16.0	16.0	側面残存?	側面自然面? 1面横一部?	万葉割		SD01	2区中央2下層	2区	
4153	66	素材または 片	流紋岩	6.8以上	5.5	0.5	21.4	21.4	側面残存?	側面自然面?			SD01	2区中央2下層	2区	
4154	66	素材または 片	流紋岩	9.4以上	6.5	1.2	69.0	69.0	側面残存?	側面自然面?			SD01	2区中央2下層	2区	
4155	66	素材または 片	流紋岩	5.2以上	6.8	1.5	47.2	47.2	側面残存?	側面自然面?			SD01	2区北端上層	2区	
4156	66	素材または 片	流紋岩	6.6以上	5.7	1.2	26.4	26.4	側面残存?	側面自然面?			SD01	2区	2区	
4157	66	素材または 片	流紋岩	5.8以上	4.9	1.3	35.4	35.4	側面残存?	側面自然面?			SD1015	1区		
4158	67	素材または 片	流紋岩	4.3以上	4.4	1.6	28.5	28.5	側面残存?	側面自然面?			SX1006	1区		
4159	67	素材または 片	流紋岩	6.2以上	6.8以上?	2.0	77.7	77.7	側面残存?	側面自然面?	弱い研磨?	強打?	SX1010	2区SD01内側		
4160	67	石包丁未製品	流紋岩	11.3	8.4	1.9	213.5	213.5	側面残存?	側面自然面?	3辺側面?	3辺側面?	SX1011	2区SD01内側		
4161	67	石包丁未製品	流紋岩	6.5以上	4.3以上	1.5	58.3	58.3	側面残存?	側面自然面?	1辺強打?	1辺強打?	SX1033	3区SD01外側		
4162	67	石包丁未製品 片	流紋岩	6.3以上	3.3	0.9	17.9	17.9	側面残存?	側面自然面?	皆強打?	皆強打?	SX1033	3区SD01外側		
4163	67	石包丁未製品 片	流紋岩	6.8以上	6.7	1.1	57.2	57.2	側面残存?	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	SX1044	4区		
4164	68	素材または 片	流紋岩	6.4以上	5.1以上	1.6	69.9	69.9	側面残存?	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	包含層	4区		
4165	68	石包丁未製品	流紋岩	5.7以上	6.1	1.2	46.0	46.0	側面残存?	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	包含層	4区		
4166	68	石包丁未製品	流紋岩	10.5	6.1	2.0	117.9	117.9	側面残存?	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	包含層	4区		
4167	68	石包丁未製品 片	流紋岩	5.0以上	5.8	1.6	51.1	51.1	側面残存?	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	包含層	4区		
4168	68	素材または 片	流紋岩	5.7以上	6.4	1.3	65.0	65.0	側面残存?	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	包含層	4区		
4169	69	石包丁未製品	流紋岩	10.3以上	5.7	0.9	71.2	71.2	側面残存?	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	包含層	4区		
4170	69	石包丁未製品 片	流紋岩	15.4	8.1	1.9	197.8	197.8	側面残存?	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	包含層	3区		
4171	69	石包丁未製品 片	流紋岩	6.1以上	5.8	1.2	49.4	49.4	半分欠損	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	包含層	3区		
4172	70	素材または 片	流紋岩	12.0以上	5.8	0.3	38.8	38.8					包含層	3区		
4173	69	石包丁未製品	流紋岩	6.3以上	4.8	1.0	43.2	43.2	側面欠損	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	包含層	1区		
4174	70	素材または 片	流紋岩	9.4	4.6	0.9	41.0	41.0	側面欠損	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	包含層	4区		
4175	45	70	素材または 片	流紋岩	9.6	5.0	1.4	103.6	103.6	側面欠損?	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	包含層	3区	
4176	70	石包丁未製品	流紋岩	9.2以上	6.8	1.1	84.6	84.6	側面欠損	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	包含層	3区		
4177	45	71	石包丁未製品 片	流紋岩	8.5以上	5.9	1.4	95.0	95.0	半分欠損	側面自然面?	側面自然面?	側面自然面?	包含層	2区	

番号	種類	固有番号	種類	石材	現在長(cm)	現在幅(cm)	現在厚(cm)	重量(g)	残存状況	技術等	備考	遺構名	場所	遺構の位置	
4178	71	磨製石包丁	安山岩	6.2以上		4.8	1.0	28.8	前面削欠損	刃部研磨、体部・背部刃部研磨、体部	均整刃刀、断面形 内凹	SP1059	2区SD01内側		
4179	46	71	磨製石包丁	安山岩	3.9以上	3.6以上	0.6以上	10.3	背面付近一部残存	体部・背部刃部・背部 体部・背部・背部	均整刃刀、断面形 内凹	SP1071	2区SD01内側		
4180	71	磨製石包丁	安山岩	5.4以上		4.5	1.1	31.6	側縁残存	体部・背部・背部	均整刃刀、断面形 SK1045		1区		
4181	72	打製石包丁	安山岩	7.6以上	7.3以上	7.0	37.4	万里一部残存	刃部微細削除、刃部 刃部・刃部	均整刃刀、断面形 SK1077		2区SD01内側			
4182	71	磨製石包丁	安山岩	5.2以上		4.5	0.8	16.7	側縁一部残存	体部研磨不十分、体部・背部 体部・背部	均整刃刀、断面形 SK1269		3区SD01内側		
4183	46	71	磨製石包丁	安山岩	7.0以上	5.9	0.8	45.7	側縁欠損	刃部・刃部	均整刃刀、断面形 SK1330		3区SD01内側		
4184	72	磨製石包丁	安山岩	9.0以上		5.1	1.2	71.9	半分欠損	背部・背部・背部 背部・背部・背部	均整刃刀、断面形 SD01	3区北止不詳	3区		
4185	72	磨製石包丁	安山岩	4.9以上		5.1	0.9	34.4	側縁欠損	背部・背部・背部 背部・背部・背部	均整刃刀、断面形 SD01	3区中央北上	3区		
4186	72	磨製石包丁	安山岩	3.4以上	4.2以上	0.9	11.7	万里一端	万能拿破、光沢	万能拿破、光沢	均整刃刀、断面形 SD01	3区中央北上	3区		
4187	73	磨製石包丁	安山岩	7.6以上		6.1	1.1	57.6	半分欠損	全体研磨や体部・背部 全体研磨や体部・背部	均整刃刀、断面形 SD01	3区中央北上	3区		
4188	73	磨製石包丁	安山岩	4.9以上	4.6以上	0.7以上	13.8	背面・体部・背部	体部・背部・背部 体部・背部・背部	均整刃刀、断面形 SD01	3区北止上層	3区			
4189	73	磨製石包丁	安山岩	7.3以上		4.9	0.8	35.2	半分欠損	全体・背部・背部 全体・背部・背部	均整刃刀、断面形 SD01	3区中央北上	3区		
4190	46	73	磨製石包丁	安山岩	10.1	5.1	1.1	84.4	完存	刃部・背部・背部 刃部・背部・背部	均整刃刀、背部・背部 均整刃刀、背部・背部	均整刃刀、断面形 SD01	3区北部・中 央北下層	3区	
4191	73	磨製石包丁	安山岩	8.0以上		5.2	1.1	69.9	側縁欠損	刃部・背部・背部 刃部・背部・背部	均整刃刀、断面形 SD01	3区北部・中 央北下層	3区		
4192	73	磨製石包丁	安山岩	3.6以上		4.1	0.9	14.8	側縁欠損	刃部・背部・背部 刃部・背部・背部	均整刃刀、断面形 SD01	2区北部上	2区		
4193	74	磨製石包丁	安山岩	4.3以上	4.3以上	1.0	19.9	側縁残存	片面体部研磨、刃部 片面体部研磨、刃部	均整刃刀、断面形 SD01	2区中央2下	2区			
4194	46	74	磨製石包丁	安山岩	11.3以上		6.3	1.3	103.2	側縁欠損	刃部・背部・背部 刃部・背部・背部	均整刃刀、断面形 SD01	2区中央2下	2区	

番号	標因番号	岩層名	石材	現着長(cm)	現存幅(cm)	現存厚(cm)	重量(g)	残存状況	技法等	備考	遺物名	部位	遺物の位置
4195	74	磨製石包丁	安山岩	5.7以上	5.3以上	1.0	39.9	背部・部端 脊	片面体添一添焼	SD01	2区 中央下	2区	
4196	46	74	磨製石包丁	安山岩	8.8以上	4.0	0.8	33.7 半分欠損	孔1箇 片面全体 体添一添焼	SD01	3区 北部下	3区	または最下 限
4197	74	磨製石包丁	安山岩	5.0以上	4.1以上	0.8	14.1	背部一部残存	孔1箇 体部研磨不十分 背面	SD01	3区 北部下	3区	
4198	74	磨製石包丁	安山岩	4.1以上	4.8	0.6	12.4	両側縫欠損 体穿孔	孔1箇 体部研磨不十分、全 部直線的	SD01	3区 中央北上	3区	
4199	74	磨製石包丁	安山岩	3.5以上	3.6以上	1.1	11.8	背部・体部 残存	孔1箇 背部、刃部研磨 一部穿孔、光沢、偏刃 所刃	SD01	3区 北部・中	3区	
4200	46	75	磨製石包丁	安山岩	13.6以上	6.6	0.7	77.6 両側欠損	孔1箇 背部、刃部研磨 一部穿孔、研磨 所刃	SD01	3区 北部・中	3区	火北ド哥
4201	75	磨製石包丁	安山岩	5.0以上	4.8	0.8	22.4 両側欠損	孔1箇	均整刃刀、断面形 直線的	SD01	2区 中央上	2区	
4202	75	磨製石包丁	安山岩	4.1以上	4.5	0.8	16.8 両側欠損	孔1箇 体部研磨不十分、全 部直線的	SD01	2区 南部上	2区		
4203	75	磨製石包丁	安山岩	4.9以上	5.0	1.1	28.0 両側残存	両側刃、頭、打ち垂、快 利?	孔1箇 均整刃刀、断面形 直線的	SD01	2区 南部上	2区	
4204	47	75	磨製石包丁	安山岩	8.9以上	6.0	1.0	102.1 両側欠損	孔1箇 背部研磨不十分、一 部穿孔	SD01	2区 北部下	2区	
4205	47	75	磨製石包丁	安山岩	8.4以上	5.4	0.8	51.6 半分欠損	万形鑿・光打 所刃	SD01	2区 中央下	2区	
4206	47	76	磨製石包丁	安山岩	8.2以上	4.9	1.3	58.8 両側欠損	体部系直通三眼、刃而燃、 刃部・一部半穿孔、光沢 直線的	SD01	3区 中央南	3区	
4207	76	磨製石包丁	安山岩	4.3以上	3.5以上	0.8	14.6 背部 一部残存	孔1箇 体部研磨不十分	SX1010	2区 SD01	14期		
4208	76	磨製石包丁	安山岩	3.5以上	6.1以上	0.7	17.8 両側欠損	孔1箇 体部研磨不十分	SX1010	2区 SD01	17期		
4209	76	打製石包丁	安山岩	5.8以上	3.6	0.5	14.3 両側欠損	刃部削盤、背部、 刃部穿孔	SX1033 SX1034	3区 SD01	外側		
4210	76	磨製石包丁	安山岩	2.2以上	2.5以上	0.5	3.5 丸棒一部残存	体部研磨不十分 片面	SD05	3区 SD01	外側		
4211	76	磨製石包丁	安山岩	4.3以上	6.1	0.7	16.3 両側欠損 片面	孔1箇 片面欠損	-	危介所	2区・3区		
4212	76	磨製石包丁	安山岩	5.1以上	5.0	0.8	20.5 両側残存	万部・背部穿孔	SD01	4区			
4213	77	磨製石包丁	安山岩	8.4以上	4.4	0.7	28.0 両側欠損	孔2箇 体部研磨や不 分明、断面形直線 部分、背部・刃部半穿孔 所刃	SD01	3区			
4214	47	77	磨製石包丁	安山岩	9.4以上	5.5	0.9	63.1 両側欠損	孔2箇 背部・刃部打撲(継 打撲)、背部・刃部一部 直線的	SD01	3区		

番号	特徴番号	岡版番号	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	現存厚(cm)	重量(g)	残存状況	技法等	備考	遺構名	層位	遺構の位置	
4215	77	磨製石包丁	安山岩	5.0以上	4.0以上	0.9	23.2	両側斜欠損	背部大削後使用(摩滅)、刃部研削やや不分	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	3区		
4216	77	磨製石包丁	安山岩	3.4以上	3.1	0.6	8.6	両側斜欠損	刃部研削やや不分	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	3区		
4217	47	磨製石包丁	安山岩	8.5以上	4.6	0.8	38.3	側斜欠損	刃部研削やや不分	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	3区		
4218	77	磨製石包丁	安山岩	5.9以上	4.9	1.0	29.0	両側斜欠損	刃部研削、体部木研 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	3区		
4219	78	磨製石包丁	安山岩	6.3以上	4.4	0.9	28.4	両側斜欠損	刃部研削やや研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	2区		
4220	78	磨製石包丁	安山岩	6.9以上	4.5以上	1.1	42.6	背面・両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	1区		
4221	78	磨製石包丁	安山岩	6.9以上	4.4	0.8	29.8	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	2区		
4222	78	磨製石包丁	安山岩	5.5以上	4.6	0.8	33.4	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	4区		
4223	78	磨製石包丁	安山岩	4.1以上	5.5	0.9	25.1	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	4区		
4224	48	磨製石包丁	安山岩	12.2以上	6.1	1.2	87.8	側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	3区		
4225	79	磨製石包丁	安山岩	3.5以上	4.8	0.8	21.3	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	3区		
4226	79	磨製石包丁	安山岩	4.8以上	3.9以上	0.7	15.5	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	3区		
4227	79	磨製石包丁	安山岩	5.2以上	6.5	1.0	33.4	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	3区		
4228	79	磨製石包丁	安山岩	5.6以上	6.0以上	0.7	19.4	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	2区・3区		
4229	79	磨製石包丁	安山岩	5.9以上	5.1以上	0.7	27.0	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	2区		
4230	79	磨製石包丁	安山岩	5.9以上	3.5以上	0.4	8.8	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	2区		
4231	79	磨製石包丁	安山岩	6.0以上	5.2以上	1.1	35.3	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	3区		
4232	48	80	磨製石包丁	安山岩	11.5以上	6.3	1.0	93.5	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	3区	
4233	80	打製石包丁	安山岩	8.0以上	4.5	1.5	82.9	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	SP1018		
4234	49	80	打製石包丁	安山岩	13.0	6.9	1.1	118.9	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	SK1273	
4235	80	打製石包丁	安山岩	4.9以上	4.3以上	0.5	12.1	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	SK254		
4236	81	打製石包丁	安山岩	6.2以上	5.2	1.0	43.6	両側斜欠損	刃部木研削、刃部研磨 背面	直線的	磨滅刃、断面形	包含層	SD1015		

番号	採集場所	採取番号	種類	石材	現在長(cm)	奥行き(cm)	現在厚(cm)	重さ(g)	現状状況	標考	通鑑名	部位	遺物の位置
4237	打製石包丁	81	安山岩	安山岩	8.4以上	7.5	1.3	78.1	側縫欠損	背部・刃部不明、両側滅、 前面自然面	SD01	2区南船下層	2区
4238	打製石包丁	81	安山岩	安山岩	6.72以上	5.6	1.1	48.8	側縫欠損	背部または刃部摩滅、両 面自然面	SD01	2区北船上層	2区
4239	打製石包丁	81	安山岩	安山岩	4.8以上	5.5	0.9	23.6	側縫一部残存	体部・刃部一部やや摩滅、 背面自然面?	SD01	2区北船最上層	2区
4240	打製石包丁	81	安山岩	安山岩	8.1以上	5.9	2.1	106.6	半分欠損	背部・刃部研磨、背面打 痕、片面自然面?	SD01	2区北船2下層	2区
4241	打製石包丁	82	安山岩	安山岩	7.4以上	8.3	1.8	145.6	側縫残存	片面自然面? 体部・深溝 打痕、背面・刃部、片面自然面	SD01	3区中央南下層	3区
4242	打製石包丁	82	安山岩	安山岩	4.4以上	5.7	1.5	45.8	側縫一部残存	背部・刃部一部摩滅、片面自然面	SD01	2区北船2下層	2区
4243	打製石包丁	82	安山岩	安山岩	8.以上	4.7	1.0	50.1	半分欠損	刃部一部摩滅、片面自然面?	SD01	2区南部下層	2区
4244	打製石包丁	49	安山岩	安山岩	11.8	4.9	1.2	90.7	ほぼ完存	背部敲打痕、刃部摩滅、光 沢、体部一面摩滅・光沢、 片面自然面?	SD01	3区北部最上層	3区
4245	打製石包丁	83	安山岩	安山岩	6.5以上	4.9	0.8	31.8	半分欠損	背部長いまほ全体摩 滅、光沢	SD01	3区北船・中央 北下層	3区
4246	打製石包丁	83	安山岩	安山岩	10.6	5.4	1.0	69.1	ほぼ完存	刃部ほぼ全体摩滅、両 面自然面	SD01	2区南部最上層	2区
4247	打製石包丁	83	安山岩	安山岩	5.7以上	5.7	0.8	32.7	側縫欠損	刃部付近摩滅、光沢	SD01	2区北船上層	2区
4248	打製石包丁	83	安山岩	安山岩	9.2以上	5.7	1.1	69.3	側縫欠損	両部摩滅・光沢	SD01	2区北船中層	2区
4249	打製石包丁	83	安山岩	安山岩	6.3以上	5.4	1.1	48.9	半分欠損	刃部摩滅、両面自然面	SD01	2区北船中層	2区
4250	打製石包丁	84	安山岩	安山岩	8.5以上	5.0	0.9	45.6	側縫欠損	背部敲打痕、刃部微摩滅 ・光沢	SD01	2区北船中層	2区
4251	打製石包丁	84	安山岩	安山岩	8.7以上	6.1	0.9	61.1	側縫欠損	背部敲打痕、体部一面摩 滅、両部付近摩滅・光沢、 片面自然面	SD01	2区北船中層	2区
4252	打製石包丁	84	安山岩	安山岩	8.4以上	4.8	1.4	77.9	側縫欠損	片面自然面	SD01	2区	2区
4253	打製石包丁	84	安山岩	安山岩	6.1以上	5.4	1.0	41.4	半分欠損	刃部・背部打痕、両部 摩滅、刃部摩滅、両面自然面	SD01	2区	2区
4254	打製石包丁	85	安山岩	安山岩	4.7以上	5.1	1.1	23.5	側縫残存	体部・刃部・刃部摩滅、 片面自然面	SX1001	2区	1区
4255	打製石包丁	85	安山岩	安山岩	4.9以上	4.4	1.1	31.8	側縫残存	刃部・背部打痕、両部 摩滅、刃部摩滅、両面自然面	SX1006	3区SD01外側	1区
4256	打製石包丁	85	安山岩	安山岩	5.4以上	5.0	1.2	31.5	刃部残存	刃部一面やや摩滅、両面 自然面	SX1033	3区SD01外側	1区
4257	打製石包丁	85	安山岩	安山岩	5.1以上	4.9	1.1	42.2	側縫欠損	背部一部摩滅、刃部摩滅 ・光沢	SD01	2区	1区
4258	打製石包丁	85	安山岩	安山岩	5.5以上	6.2	1.0	39.0	側縫残存	背部または刃部摩滅 ・光沢	SD01	2区	1区
4259	打製石包丁	85	安山岩	安山岩	6.0以上	4.5	1.2	38.2	半分残存	刃部・背部または刃部摩滅 ・光沢	SD01	2区	1区

番号	地図番号	測量番号	種類	石材	現存幅(cm)	現存高(cm)	現存幅(cm)	現存高(cm)	残存状況	備考	遺構名	層位	造様の位置	
4259	85	打製石包丁	安山岩	3.8以上	2.4以上		0.7	5.9 体部～刃部 部	刃部剥離、体部・刃部一 塊	包含層	4K			
4261	86	打製石包丁	安山岩	6.1以上	5.0	1.5	47.0	側縁残存 挟み	挟み、刃部・背部摩滅、 背部・刃部摩滅、体部一部 摩滅、光沢	包含層	3K			
4262	50	86	打製石包丁	安山岩	6.5以上	3.8	1.0	34.5 半分欠損	背部・刃部摩滅、体部一部 摩滅、光沢	包含層	3K			
4263	86	打製石包丁	安山岩	5.4以上	4.8	1.3	33.8	側縁残存 挟み	挟み、刃部・背部・混やや 摩滅	包含層	3K			
4264	86	打製石包丁	安山岩	6.2以上	3.7以上	0.9	20.4	刃部または背部 残存	刃部または背部やや摩滅、 背面自然面	包含層	3K			
4265	50	86	打製石包丁	安山岩	7.8以上	5.5	0.9	49.5 半分欠損	背部・側縁残 挟み	背部・側縁やや摩滅、 背部・体部やや摩 滅、両面自然面	包含層	3K		
4266	86	打製石包丁	安山岩	7.2以上	5.5	1.3	56.5	半分欠損	背部・側縁 挟み	背部・側縁やや摩 滅、両面自然面	包含層	3K		
4267	87	打製石包丁	安山岩	5.9以上	7.4	1.2	55.4	両側縁欠損	刃部・側縁 挟み、両面自然面	包含層	3K			
4268	87	打製石包丁	安山岩	9.8以上	5.4	1.2	99.3	側縁欠損	刃部・側縁 挟み	刃部・側縁 挟み、両面自然面	包含層	3K		
4269	87	打製石包丁	安山岩	5.5以上	4.8	0.6	18.1	側縁残存 挟み	背部・側縁 挟み	背部・側縁やや摩 滅、背部・刃部・混 合部・混	包含層	3K		
4270	50	87	打製石包丁	安山岩	10.6以上	5.7	1.0	95.6	側縁欠損 一部摩滅	背部・側縁 挟み	背部・側縁やや摩 滅、背部・刃部・混 合部・混	包含層	3K	
4271	87	打製石包丁	安山岩	7.9以上	6.0	1.1	67.2	半分欠損	背部・側縁 挟み	背部・側縁やや摩 滅、背部・一部両面裁打 級(半孔)	包含層	3K		
4272	88	打製石包丁	安山岩	4.4以上	6.2	1.3	30.9	側縁一部残存 両面自然面	刃部・側縁やや摩滅、 両面自然面	刃部・側縁やや摩 滅、両面自然面	包含層	2K		
4273	88	打製石包丁	安山岩	5.0以上	4.0	0.8	16.6	刃部一部残存 両面自然面	刃部やや摩滅、 両面自然面	刃部やや摩滅、 両面自然面	包含層	2K		
4274	88	打製石包丁	安山岩	5.0以上	5.2	1.0	29.1	刃部一部残存 両面自然面	刃部やや摩滅、 両面自然面	刃部やや摩滅、 両面自然面	包含層	2K		
4275	88	打製石包丁	安山岩	4.5以上	6.0	0.8	22.7	側縁一部残存 両面自然面	刃部細部剥離、 刃部やや摩滅、 両面自然面	刃部やや摩滅、 両面自然面	包含層	1K		
4276	50	88	打製石包丁	安山岩	9.6以上	5.4	1.0	79.1	側縁欠損 一部摩滅	背部・側縁 挟み	背部・側縁・背部 摩滅、両面自然面	包含層	1K	
4277	88	打製石包丁	安山岩	6.7以上	4.8	1.0	24.1	刃部一部残存 両面自然面	刃部一部・側縁 摩滅、両面自然面	刃部一部・側縁・背部 摩滅、両面自然面	包含層	4K		
4278	89	打製石包丁	安山岩	5.9以上	7.1	1.1	52.5	側縁残存 両面自然面	刃部・側縁 摩滅	刃部・側縁やや摩 滅、両面自然面	包含層	3K		
4280	89	打製石包丁	安山岩	7.5以上	7.2以上	1.1	55.6	側縁欠損 両面自然面	刃部やや摩滅、 両面自然面	SK102	1K			
4281	89	打製石包丁	安山岩	9.9以上	3.1以上	1.1	40.0	側縁一部・残存 両面自然面	背部剥れ、両面自然面 端邊一端摩滅、両面自然面	SDD1	3K(南部最上層)	3K		
4282	51	89	打製石包丁	安山岩	7.5以上	4.5	1.4	71.3	側縁欠損	背部・刃部摩滅、 両面自然面	包含層	1K		
4283	89	打製石包丁	安山岩	6.8以上	5.8以上	1.2	43.6	側縁欠損 残存	背部剥れ、両面自然面 背部剥離(側縫被打破)、 背部・刃部・混	包含層	3K			
4284	51	89	白包丁未製	安山岩	4.1以上	5.3以上	0.9	22.6	背部～体部 部 品または石 包丁	背部・刃部・混 合	包含層	4K		

番号	種類	標本番号	現存高さ(cm)	現存幅(cm)	現存厚(cm)	残存状況	技術等	備考	遺傳名	層位	遺構の位置	
4285	52	90	削製石包丁	石材	12.3	4.4	0.9	72.8	14.1完存	孔2脚、背部一部研磨不十分 中央部丸らむ	2区 北壁下	2区
4286	52	90	削製石包丁	粘板岩	9.5以上	4.8	0.8	51.7	半分欠損	孔2脚、(削打後穿孔)、背 部整磨面、足部(削打痕)、 体部一部研磨不十分、一部 削除打痕、全体半彎曲、光 沢	3区 SD01外側	
4287	52	91	削製石包丁	粘晶片岩	3.9以上	5.0	0.9	36.0	断面欠損	孔2脚(削打後回転穿孔)、骨 部整磨打痕、全体半彎曲、光 沢	2区 SD01内側	
4288	52	91	削製石包丁	粘晶片岩	8.6以上	5.3	0.8	50.7	断面欠損	抉り、体部未研磨、刃部 丸削り、骨部整磨打痕、 全体半彎曲、光沢	3区 SD01外側	
4289	52	91	削製石包丁	粘晶片岩	5.9以上	4.4以上	0.7	27.3	断面欠損	孔2脚、(はげ全体半彎曲、 光沢)	3区 SD01内側	
4290	52	91	削製石包丁	粘晶片岩	6.7以上	4.8以上	0.4以上	19.1	刀形欠損、片面 鏡面部や掌部	孔2脚、(削打後穿孔)、光沢、 直線部	3区 中央北側	3区
4291	52	91	削製石包丁	粘晶片岩	5.5以上	4.6	1.2	42.8	断面欠損	孔2脚(削打後穿孔)、刃部 丸削り、骨部整磨打痕、 全体半彎曲、光沢	3区 中央北上	3区
4292	52	91	削製石包丁	粘晶片岩	7.7以上	4.3	0.8	32.9	半分欠損	孔2脚、骨部整磨打痕、 刃部丸削り、一部研磨不 全、光沢	3区 北部、中	3区
4293	52	92	削製石包丁	粘晶片岩	7.9以上	5.9	0.7	51.5	断面欠損	孔2脚、刃部整磨打痕、 刃部半彎曲、光沢	3区 北落、中	3区
4294	53	92	削製石包丁	粘晶片岩	9.7以上	4.1以上	1.0	40.0	刃部付近残存	孔2脚(削打後回転穿孔)、 刃部丸削り、直線部	3区 背筋上端	3区
4295	53	92	削製石包丁	粘晶片岩	9.5	4.6	0.7	50.1	14.1完存	削製打痕、刃部半彎曲、 刃部丸削り、直線部	3区 中央南下	3区
4296	53	92	削製石包丁	粘晶片岩	13.7	4.4	0.9	83.2	完存	孔2脚(削打後穿孔)、 刃部半彎曲、光沢	3区 中央南	2区
4297	53	93	削製石包丁	粘晶片岩	16.5	5.5	0.9	88.1	14.1完存	孔2脚(削打後穿孔)、 刃部半彎曲、光沢	3区 中央南下	2区
4298	53	93	削製石包丁	粘晶片岩	11.5以上	4.3	0.9	75.5	断面欠損	孔2脚(削打後穿孔)、 刃部半彎曲、光沢	3区 中央南下	2区
4299	54	94	削製石包丁	粘晶片岩	9.9	4.3	0.5	46.5	14.1完存	孔2脚(削打痕)、刃部 丸削り、骨部整磨打痕、直線部 丸削り、刃部半彎曲、光沢	3区 中央2下	2区
4300	54	94	削製石包丁	粘晶片岩	9.3	4.6	0.9	42.8	14.1完存	孔2脚(削打痕)、刃部半彎曲、 直線部丸削り、刃部半彎曲、 光沢、片面直線部	3区 中央2下	2区
4301	54	94	属半片刃	粘晶片岩	4.0以上	3.4	0.5	15.0	万能刃	孔2脚(削打痕)、刃部半彎曲、 直線部丸削り、刃部半彎曲	SD01	2区 中央2下
4302	54	94	削製石包丁	粘晶片岩	10.2以上	5.5	0.8	73.3	断面欠損	抉り、刃部研磨、(はげ全 面半彎曲、光沢)	3区 中央2下	2区
4303	54	94	削製石包丁	粘晶片岩	3.9以上	3.2以上	0.5	9.7	背面・迷惑着	背部研磨、全体半彎曲、 光沢	SD01	2区 中央2下

番号	標本番号	頭骨番号	種類	石材	現存高(cm)	現存幅(cm)	重量(g)	残存状況	技法等	備考	遺跡名	層位	遺構の位置
4304	94	磨製石包丁	精晶片	岩	4.0以上	3.3以上	0.7	17.4	刃部一部欠損	孔1面、全体削減 直線的	刃部両刃、断面形直線	SD1024	1区
4305	54	磨製石包丁	精晶片	岩	11.7	3.3	0.9	61.7	ほぼ完存	4.2面、背部・刃部削減、 背面・刃部削減？（線状の 痕）、片面には全体削減、 光沢	孔2面、研削面削減、刀添折損後使用	SX1065	3区 SD01外側
4306	95	磨製石包丁	精晶片	岩	6.6	3.2	0.7	20.3	部欠損	孔2面、研削面削減、 刃部削除紙、部壊滅	孔2面、研削面削減、刀添折損後使用	SK1045	4区 SD01外側
4307	95	磨製石包丁	精晶片	岩	3.9以上	3.9以上	0.7	15.5	ほぼ完存	孔1面、折損後使用、研削 部壊滅、ほぼ全体削減、 不明	孔2面、研削面削減、刀添折損後使用	SK1045	4区
4308	95	磨製石包丁	精晶片	岩	5.5以上	4.9	0.8	36.6	両側縁欠損 孔？、刃部削減不十分、 全体削減、光沢	孔2面、研削面削減、刀添 面削減、刃部削減、 孔2面、研削面削減、 刃部削減、光沢	孔2面、研削面削減、刀添 面削減、刃部削減、 孔2面、研削面削減、 刃部削減、光沢	SK1065	3区
4309	95	磨製石包丁	精晶片	岩	5.3以上	6.0	1.1	47.0	両側縁欠損	孔2面（片面削除後、ほぼ全面が 中央剥離）、刃部削減、 光沢	孔2面（片面削除後、ほぼ全面が 中央剥離）、刃部削減、 光沢	SK1045	3区
4310	54	磨製石包丁	精晶片	岩	13.3	5.0	1.0	140.5	両側縁欠損	孔2面、刃部研磨、ほぼ全 体削減、光沢	孔2面、刃部研磨、ほぼ全 体削減、光沢	SK1045	3区
4311	54	磨製石包丁	精晶片	岩	7.7以上	4.7	0.8	37.1	半分欠損	孔2面（壁付側削除空孔）、 背部・刃部削減不十分、 全体削減、光沢	孔2面（壁付側削除空孔）、 背部・刃部削減不十分、 全体削減、光沢	SK1045	3区
4312	96	磨製石包丁	精晶片	岩	6.2以上	4.0	0.5	20.1	側縁欠損	孔2面、刃部削除剝離、 刃部・刃部削減、 刃部一部削減、 全体削減、光沢	孔2面、刃部削除剝離、 刃部・刃部削減、 刃部一部削減、 全体削減、光沢	SK1045	3区
4313	96	磨製石包丁	精晶片	岩	5.9以上	5.8	0.7	26.1	両側縁欠損	孔2面、刃部一部削減、 刃部・刃部削減、 刃部削減、 全体削減、光沢	孔2面、刃部削除剝離、 刃部・刃部削減、 刃部削減、 全体削減、光沢	SK1045	2区
4314	96	磨製石包丁	精晶片	岩	3.7以上	4.0	0.7	17.1	両側縁欠損	孔2面、刃部削減、 刃部削減、 刃部削減、 全体削減、光沢	孔2面、刃部削除剝離、 刃部・刃部削減、 刃部削減、 全体削減、光沢	SK1045	2区
4315	55	磨製石包丁	精晶片	岩	9.4以上	4.6	0.6	51.4	両側縁欠損	孔2面、刃部削減、 刃部削減、 刃部削減、 全体削減、光沢	孔2面、刃部削除剝離、 刃部・刃部削減、 刃部削減、 全体削減、光沢	SK1045	1区
4316	55	磨製石包丁	精晶片	岩	13.8	5.1	0.7	87.0	ほぼ完存	孔2面、刃部削減、 刃部削減、 刃部削減、 全体削減、光沢	孔2面、刃部削除剝離、 刃部・刃部削減、 刃部削減、 全体削減、光沢	SK1045	3区
4317	55	磨製石包丁	精晶片	岩	9.9	4.6	0.6	49.9	ほぼ完存	孔2面、刃部削減、 刃部削減、 刃部削減、 全体削減、光沢	孔2面、刃部削除剝離、 刃部・刃部削減、 刃部削減、 全体削減、光沢	SK1045	1区
4318	55	磨製石包丁	精晶片	岩	12.2	5.1	0.9	90.4	ほぼ完存	孔2面、刃部削減、 刃部削減、 刃部削減、 全体削減、光沢	孔2面、刃部削除剝離、 刃部・刃部削減、 刃部削減、 全体削減、光沢	SK1045	2区
4319	98	磨製石包丁	精晶片	岩 未製品	10.2以上	3.6	1.2	48.0	側縁～背面一部削 除打削片	孔2面（未貫通、 片面より回転穿孔 途中）	孔2面（未貫通、 片面より回転穿孔 途中）、刃部削減、 刃部削減、 刃部削減、 全体削減	SD1043	2区 SD01内側
4320	97	打製石包丁	精晶片	岩	5.5以上	2.9以上	0.6	17.4	背部または刃部片 右	孔2面（未貫通、 片面より回転穿孔 途中）	孔2面（未貫通、 片面より回転穿孔 途中）、刃部削減、 刃部削減、 刃部削減、 全体削減	SK1065	2区 SD01内側
4321	56	打製石包丁	精晶片	岩	11.6	5.5	1.0	103.8	側縁欠損？	孔2面（未貫通、 片面より回転穿孔 途中）	孔2面（未貫通、 片面より回転穿孔 途中）、刃部削減、 刃部削減、 刃部削減、 全体削減	SD01	3区 中央下 T 壁
4322	97	打製石包丁	精晶片	岩	6.2	3.3	0.7	22.4	側縁欠損？	孔2面（未貫通、 片面より回転穿孔 途中）	孔2面（未貫通、 片面より回転穿孔 途中）、刃部削減、 刃部削減、 刃部削減、 全体削減	SD01	3区 頂下端 壁

番号	標本番号	種類	石材	現存高(cm)	現存幅(cm)	重量(g)	現存状況	特徴等	備考	遺跡名	層位	遺構の位置	
4323	98	打製石包丁	結晶片岩	10.1	5.2	60.5	打完存	抉り、摩耗認められない	未製品の可能性	SD01	2区	2区	
4324	56	打製石包丁	結晶片岩	12.4	4.9	0.7	81.5	はげ完存	抉り、ほげ全体磨滅、光沢	SX1010	2区	2KSD0114期	
4325	56	打製石包丁	結晶片岩	9.5	4.4	0.6	46.8	はげ完存	抉り、ほげ全体磨滅、光沢	SX1051	4区		
4326	56	打製石包丁	結晶片岩	11.0	4.8	0.9	65.1	側縁欠損	背面部打痕、ほげ全体磨滅、光沢	含合層	3区		
4327	99	打製石包丁	結晶片岩	3.8以上	3.0以上	0.6	8.3	側縁欠損	ほげ全体磨滅、	含合層	3区		
4328	99	打製石包丁	結晶片岩	6.7以上	5.4	0.6	30.4	側縁欠損	中央で折損するが、破損面全体磨滅、全体光沢	含合層	3区		
4329	99	打製石包丁	結晶片岩	5.5以上	4.6	0.6	21.7	半分欠損	抉り、ほげ全體磨滅、光沢	含合層	3区	3K-4K	
4330	56	打製石包丁	結晶片岩	7.75以上	4.9	1.1	51.4	側縁欠損	抉り、体部・脇側磨滅	SD01	3区上層		
4331	99	打製石包丁	結晶片岩	10.6	5.2	1.4	76.3	はげ完存	折損面や体部・脇側磨滅	SD01	2区中央3.1		
4332	100	石礫	結晶片岩	6.1以上	6.6	1.0	15.3	側縁欠損	打痕有り、体温・刀部一薄い	含合層	2区		
4333	57	100	大型打製石包丁	安山岩	10.9以上	11.5	2.0	205.3	半分欠損	背部裁打、刃部・体部一部削減、刃部軋滅、	SD01	2区中央7下	
4334	100	打製石包丁	安山岩	12.4以上	7.2	2.0	151.6	側縁欠損	背部削打、刃部軋滅、	SD01	3区中央北側		
4335	57	101	大型打製石包丁	玄武岩	12.1以上	10.0	1.5	200.4	側縁欠損	背面一部自然面、未製品の可能性	SD01	2区中央北側	
4336	57	102	石礫	結晶片岩	15.6	3.6	1.0	88.5	はげ完存	背面丸り削打痕、刃部鋸切状片岩斧を再加工	SD01	3区中央南側	
4337	101	刃器	安山岩	8.8	4.5	1.5	54.1	はげ完存	片面自然面	SD01	3区南端小洋		
4338	101	刃器	(暗灰色)	安山岩	8.5	5.5	1.5	78.6	はげ完存	片面自然面	SD01	2区中央4上	
4339	58	102	不明	安山岩	15.1	4.0	1.3	116.6	はげ完?	側面削面・削成打、側面刃端削面	SD01	3区北端・中	
4340	58	103	刃器	結晶片岩	10.1	4.4	1.1	63.6	はげ完?	側面刃端削面	SD01	3区北端試掘	
4341	58	103	刃器	結晶片岩	8.3	3.1	0.8	26.0	側縁欠損	柱状片刃石斧か含合層	SK1019	3区	
4342		103	石礫	安山岩	11.5	7.3以上	1.6	175.2	基部~刃部一部残存	柱状片刃石斧か含合層	SD01	3区北端下層	
4343	59	103	石礫	安山岩	11.8以上	7.7	3.3	227.6	基部~刃部一部残存	柱状片刃石斧か含合層	SD01	3区北端下層	
4344	59	103	石礫	安山岩	9.3以上	7.4	2.0	154.5	基部欠損	刃部摩滅・片面摩滅・縫状隙	SD01	3区東上層	
4345	104	石礫	安山岩	8.2以上	8.9以上	2.6	228.1	基部~刃部欠損	刃部・片面摩滅・縫状隙	SD01	3区北端上層		
4346	104	石礫	安山岩	9.2以上	11.9	1.7	218.1	刃部~基部一部残存	片面摩滅・縫状隙	SD01	2区南端上層	2K	
4347	60	104	石礫	安山岩	13.以上	10.2	2.3	442.1	基部欠損	刃部削面摩滅・縫状隙	SD01	3区北端・中	
										欠毛下層	3区		

番号	標題番号	固有番号	種類	石材	現存幅(cm)	現存厚(cm)	重量(kg)	残存状況	技法等	備考	遺構名	出位置	遺構の位置
4348		104	石織	安山岩	8.0	6.6以下	1.4	106.8 半分欠損	片面磨滅、縫合部剥落著、片面引出部付近磨滅、基部・側面自然面	SD01	3区中央南竪	3区	
4349	60	104	石織	安山岩	12.3以上?	10.3	2.6	403.8 基部欠損?	基部折損部第一剥離打抜、万能磨滅、刃部付近磨滅、縫合部剥落著、片面自然面	SD01	2区中央上	2区	
4350		105	石織	安山岩	8.8以上	6.8	2.1	142.5 刃部一部残存	万能磨滅、刃部自然面	SD01	2区中央下	2区	
4351		105	石織	安山岩	9.7	7.0	2.2	192.9 完存	片面磨滅、刃部剥離、縫合部自然面	SD01	2区中央下	2区	
4352	61	105	石織	安山岩	11.0?	10.5	2.9	400.5 基部欠損?	刃部自然面、縫合部打抜	SD01	2区中央下	2区	
4353		105	石織	安山岩	8.2以上?	12.5	1.7	185.4 刃部残存	折損部中央部磨滅、刃部縫合部剥離、刃部自然面	SD01	2区北壁上層	2区	
4354		105	石織	安山岩	8.2以上	8.6以上	1.8	157.2 基部一部	側縫剥離調整、剥離、片面自然面	SD01	2区中央下	2区	
4355		106	石織	安山岩	8.8以上	7.8以上	2.1	149.1 基部(?) 残存	基部磨滅、片面一面磨滅、刃部自然面	SD01	3区北牆兼上	3区	
4356		106	石織	安山岩	10.6以上	7.1以上	1.6	147.0 刃部一部~基部一部	万能磨滅、片面自然面	SD01	3区北牆・中	3区	
4357		106	石織	安山岩	8.9以上?	5.5以上	1.6	106.0 基部・刃部・斜欠	刃部自然面	SD1015		1区	
4358		106	石織	安山岩	7.1以上	7.1以上	1.8	84.0 刃部一部残存	片面磨滅、縫合部剥離、刃部自然面	SD1017	1区		
4359	61	106	石織	安山岩	13.5	9.9	2.1	322.2 114.8完存	万能ごく一箇所磨滅、片面自然面	SD1068	3区SD01内側		
4360	107	107	石織	安山岩	10.7以上?	10.6	3.1	492.0 基部欠損	片面磨滅、縫合部剥離、刃部自然面	SD1018		1区	
4361	62	107	石織	安山岩	14.6	10.7	2.3	371.1 114.8完存	万能磨滅、片面自然面	SK1006		1区	
4362	108	108	石織	安山岩	10.8以上	9.8以上	2.7	530.9 刃部一部残存	刃部磨滅、縫合部(片面)自然面	包含層	4区		
4363		108	石織	安山岩	14.6	7.4以上	2.5	292.2 基部一部~刃部基部	刃部片面磨滅	包含層	4区		
4364	62	109	石織	安山岩	12.4以上?	13.5	2.3	497.8 基部欠損	片面磨滅、縫合部剥離、刃部自然面、中央部削打痕、片面自然面	包含層	4区		
4365		109	石織	安山岩	6.5以上	6.1以上	2.3	112.5 刃部一部	刃部磨滅、縫合部(片面)自然面	包含層	4区		
4366		109	石織	安山岩	4.9以上?	9.2以上	1.5	84.0 刃部	刃部磨滅、縫合部、刃部自然面	包含層	4区		
4367	63	110	石織	安山岩	14.2	7.2	3.1	386.0 はざ完存?	全件磨滅	包含層	3区		

番号	標本番号	固有番号	種類	石材	現存段(cm)	残存高(cm)	残存幅(cm)	残存状況	技法等	備考	運搬名	荷位	着場の位置
4368	110	石歯	安山岩	6.0以上	8.0以上	1.4	96.4	刀部	開削室滅、刃摩耗滅、両面自然面	包含層		3区	
4369	110	石歯	安山岩	6.8	9.9	1.7	105.2	刀部	刀歯・部やや摩耗滅、両面自然面	包含層		3区	
4370	110	石歯	安山岩	9.8以上	12.2以上	2.0	198.8	基部・部?	側縫隙れ、両面自然面	包含層		4区	
4371	111	石歯	安山岩	7.0以上	12.1	1.8	201.5	基部・部?	側縫隙れ、両面自然面	包含層		4区	
4372	111	石歯	安山岩	7.4以上	7.2以上	1.3	99.9	基部・部?	側縫隙れ、両面自然面	包含層		4区	
4373	111	石歯	安山岩	11.0以上	9.0	2.1	315.3	基部一帯	上端第一部摩耗、側縫隙れ、両面自然面	包含層		4区	
4374	111	石歯	安山岩	7.8以上	6.1以上	2.2	115.8	端部残存	ノコ部? 片面縫隙れ	包含層		4区	
4375	64	112	石歯	安山岩	23.4以上	14.0	3.3	98.9	刃部欠損	側縫隙れ、両面自然面	包含層		4区
4376	113	石歯	安山岩	11.2以上	7.2	2.0	162.6	刃部・基部欠損	側縫隙・刃摩耗 両面自然面	包含層		2区	
4377	63	113	石歯	安山岩	19.7	9.2	2.3	637.3	ほぼ完存	刃部前面缺、側縫隙・刃 縫隙滅、両面自然面	包含層		1区
4378	65	113	石歯	安山岩	8.4以上	9.7以上	2.2	172.3	基部欠損	ノコ部一部摩滅、縁刃部斜 打痕・芯部中央斜打痕、 片端部一部斜打痕	SD01	3区上層	3区
4379	112	石歯の可能	安山岩	10.0	9.7	1.8	233.9	端部欠損?	片石として使用 (紙石?) 側縫隙滅、片面自然 面	SP1029		2区SD01内側	
4380	112	石歯の可能	安山岩	10.9	11.0	2.7	410.4	ほぼ完存	万部折損後刀部再生? 刀 縫隙れ、両面自然面	SK1035		1区	
4381	114	石歯の可能	安山岩	11.3以上	7.4	2.6	226.3	刃部欠損?	側縫隙少し摩滅、片面自然 面	SK1036		2区SD01内側	
4382	114	石歯の可能	安山岩	11.1以上	9.1以上	1.4	205.7	基部一部? 3辺欠 損	側縫隙れ	SK1331		4区	
4383	114	石歯の可能	安山岩	7.8以上	8.0	1.2	100.8	基端(?)・刃部側縫隙滅、片面自然面	SD01	3区北部上層	3区		
4384	114	石歯の可能	安山岩	4.8以上	5.3以上	1.4	38.1	刃部(?)一部	刃歯(?) 少し摩滅、両 面自然面	SD01	3区北部最上層	3区	
4385	114	石歯の可能	安山岩	9.9以上	8.2以上	1.2	126.2	基部一部	刀歯(?) 少し摩滅、片 面自然面	SD01	3区北東不詳	3区	
4386	115	石歯の可能	安山岩	11.6以上	8.3以上	1.3	132.1	基部一部? 刃部一 部?	側縫隙れ	SD01	3区北部・中央	3区	
4387	115	石歯の可能	安山岩	4.4以上	8.0以上	1.5	56.3	端部残存	縫隙れ、両面自然面	SD01	北・東	3区	
4388	115	石歯の可能	安山岩	11.0以上	6.0以上	2.2	172.5	刃部?	ノコ部? 部やや摩滅、両 面自然面	SD01	北・東不詳	3区	
4389	115	石歯の可能	安山岩	9.0以上	8.2以上	1.4	114.1	基部・刃部・部 摩滅、側縫隙れ	側縫隙・刃歯摩滅、 片面自然面	SD01	2区中央下層	2区	
4390	115	石歯の可能	安山岩	5.2以上	6.7以上	1.4	40.9	側縫隙? 残存	側縫隙れ、両面自然面	SD01	2区中央2上層	2区	

番号	地図番号	地名	種類	石材	奥行(㎝)	奥行き(㎝)	現存幅(㎝)	現存厚(㎝)	重量(g)	現存状況	支撐等	備考	遺跡名	場所	遺構の位置
4391	115	石礫の可能性 安山岩	安山岩	7.5以上	6.9以上	1.5	104.5	断面研磨		端部欠損、両面自然面		SD01	2区中央下	2区	
4392	116	石礫の可能性 安山岩	安山岩	6以上	8.3	1.3	104.4	刃部欠損		折損面・部欠損、両面自然面		SD1009	尾	1区	
4393	116	石礫の可能性 安山岩	安山岩	11.0以上	7.4	1.9	205.2	基端欠損		側面欠損、両面自然面		SD1067		2区	
4394	116	石礫の可能性 安山岩	安山岩	7.4以上	9.1以上	3.3	236.7	両端部欠損		側面欠損 ? 滑れ、両面一部や や堅め、両面自然面		SX1026	3区SD01外側		
4395	116	石礫の可能性 安山岩	安山岩	7.5以上	9.5	3.1	249.9	基部一部?		側面欠損、両面自然面		SX1034		3区SD01外側	
4396	116	石礫の可能性 安山岩	安山岩	8.2以上	7.7	2.0	180.8	基部一部?		側面欠損、両面自然面		SX1043	4区		
4397	117	石礫の可能性 安山岩	安山岩	7.5以上	7.6以上	1.7	100.2	刃部一部?		側面欠損、片側自然面		SX1045	4区		
4398	117	石礫の可能性 安山岩	安山岩	7.3以上	4.3以上	1.7	53.6	刃部一部		片側弱い摩擦、片面錐状 頭、両面自然面		包含層	4区		
4399	117	石礫の可能性 安山岩	安山岩	10.7	8.1	1.8	225.0	不明		側面・部欠損、両面自然面		包含層	4区		
4400	117	石礫の可能性 安山岩	安山岩	7.1以上	8.1以上	1.6	98.7	基部? 刃部? 欠損?		側面欠損、片面中央部一 部欠損、両面自然面		包含層	3区		
4401	117	石礫の可能性 安山岩	安山岩	11.9以上	7.2以上	1.3	145.1	基部?		側面欠損、片側錐状頭 打撃		包含層	3区		
4402	117	石礫の可能性 安山岩	安山岩	12.9以上	8.2以上	1.5	188.3	刃部欠損?		側面一部欠損		包含層	3区		
4403	118	石礫の可能性 安山岩	安山岩	8.3以上	8.2以上	1.6	124.2	側面刃付?		両面一面欠損		包含層	2区		
4404	65	石礫の可能性 安山岩	安山岩	21.6	11.5	3.5	764.5	両端部欠損		刃部? やや摩擦、刃部? 滑り、両面自然面		包含層	4区		
4405	118	石礫の可能性 安山岩	安山岩	6.4以上	6.4	1.9	100.7	一部欠損		刃部? やや摩擦、両面自然面		包含層	4区		
4406	118	石礫の可能性 安山岩	安山岩	7.5以上	7.9以上	1.7	129.4	刃部? 一部欠損?		刃部? 基底? 両面自然面		包含層	3区		
4407	66	石礫	結晶片岩	11.2	7.0以上	1.0	80.9	基端欠損? 刃部?		刃部? 基底? 両面自然面		SD01	3区南壁不詳	3区	
4408	66	119 石礫	結晶片岩	12.0以上	7.0以上	0.7	104.9	刃部? 刃部? 月部?		側面欠損、刃部欠損		SD01	3区下端	2区	
4409	119	石礫	結晶片岩	6.2以上	6.1以上	1.1	58.0	刃部		両面摩滅、刃部摩滅		SK1011	1区		
4410	66	119 石礫	結晶片岩	6.5以上	6.9	1.6	106.3	基部欠損		側面・刃部摩滅、両面自然面		SD1005		1区	
4411	67	120 石礫	結晶片岩	18.1	9.8	2.1	407.9	はねき		両面摩滅、刃部摩滅		SX1039	4区		
4412	67	120 石礫	結晶片岩	11.0以上	8.5	1.4	250.1	基部欠損		刃部一部摩滅(裏者)		包含層	3区		
4413	68	120 石礫	結晶片岩	10.1	7.2	1.3	141.4	基端欠損?		刃部摩滅、両面錐状頭		包含層	4区		
4414	69	121 大型粒万石斧	流紋岩	23.1	9.4	5.0	136.4	基部中央部欠損		基端強打痕、両面錐状頭 基部両側面削不1分、 刃部剥落、刃部両面錐状頭		包含層	3区		

番号	新潟市番号	断面形状	石材	現存長(cm)	現存厚(cm)	重量(t)	現存状況	鉄法等	備考	柱状片刃石等の可能性	遺構名	層位	遺構の位置
4415	69	121 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	3.7以上	3.0以上	4.0	56.5 基部一部	研磨不十分	SK1023	1層	1K	
4416	69	121 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	5.2以上	7.4	4.9	328.6 基部一部	基部前面打痕	包含層	3K		
4417	70	122 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	16.7	4.4	3.2	363.1 (3.1) 完	刃部研削不十分、刃部端打痕	SD01	3区北部最 上層	3K	
4418		122 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	9.1以上	6.5以上	4.6以上	215.6 刀器一部～基部 部	刃根微細研磨痕	SP1040		2K SD01内側	
4419	70	122 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	10.1	5.5	2.7	252.1 完存	基端部打痕、基部側面・両刃 部微細研磨痕	SK1082		2K SD01内側	
4420	70	122 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	10.7以上	6.3	4.2	501.4 基部一部～刃部 部微細研磨痕	刃部打痕（一部深成岩状打痕）、 基部前面打痕、刃根微 細研磨痕、基部側面・部	SK1024		3区 SD01内側	
4421		123 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	10.1以上	6.0以上	4.8	388.1 刀器一部～基部 部	基部前面打痕微打痕、刃根 部微細研磨痕	SD01	3区北部下 層	3K	
4422	71	123 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	12.3以上	6.5	4.4	628.4 基部	基部側面打痕・側面 打痕、折損面微打痕	SD01	3区北部 上層	3K	
4423		123 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	12.3以上	2.0以上	4.0以上	126.5 基部～刃部一部	基端部打痕、基部 前面打痕	SD01	3区北部 中層	3K	
4424		124 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	4.7以上	2.3以上	3.4以上	41.2 基部一部	基端部打痕、基部 前面打痕	SD01	3区北部 上層	3K	
4425		124 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	4.2以上	4.0以上	2.5以上	43.1 刃部一部	刃部微細研磨	SD01	3区北部 上層	3K	
4426		124 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	3.6以上	5.2以上	2.5以上	61.1 基部一部	基部側面打痕	SD01	3区北部 上層	3K	
4427	70	124 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	9.1以上	5.3以上	3.8	264.7 基部	基部側面・両面微打痕（或 形跡？）、基部研磨	SD01	3区南部最 上層	3K	
4428		124 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	5.7以上	4.0以上	3.5以上	125.7 基部片面	基部側面打痕	SD01	3区南部 上層	3K	
4429	72	124 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	13.3以上	7.0	4.5	793.5 基部	刃部微打痕、一般削落、基部 両面微打痕、基部側面打 痕（一部深成岩状打痕）、折損 部微細研磨	SD01	3区中央北 上層	3K	
4430	71	125 斧	大型蛤刃石 斧	半深成岩 (微性～中性 の斑岩類)	7.3以上	5.6	3.2	218.4 基部～刃部	基部側面凹み	SD01	3区北部中 央下層	3K	

番号	地図番号	測量番号	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	重量(g)	残存状況	参考	遺傳名	層位	遺傳の位置
4431	71	125	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	8.7以上	7.5	4.7	437.1 基部・刃部 基部両面打痕、切削部横 刃部打痕、基部側面刃部横 刃部打痕（一部縫状波打痕）	SD01	3区北部 尖	3区 北最下層	
4432	72	125	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	14.9	4.4以上	4.9	401.4 万部一帯～基部 一部	SD01	3区南辺壁 不詳	3区 南	
4433	73	126	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	12.1以上	7.2	5.0	718.0 基部 基端部打痕、基部側面削打 痕、斜角面波打痕	SD01	3区北部試 掘	3区 北	
4434	73	127	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	11.8以上	6.7	4.6	529.0 基部 基端部打痕、基部側面削打 痕（一部縫状波打痕）、 斜角面波打痕	SD01	3区南壁不 詳	3区 南	
4435	74	127	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	11.3	5.8	4.0	470.2 完存 基端部打痕、基部側面削打 痕（波形等）、刃部横 面削打痕	SD01	3区南壁不 詳	3区 南	
4436	74	128	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	14.1以上	7.4	5.0	651.8 基部・基 端部打痕、基部側面～側 面削打痕	SD01	3区南壁不 詳	3区 南	
4437	74	128	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	16.2	7.1	4.8	986.6 完存 基端部打痕、基部側面～側 面削打痕	SD01	2区中央下 隔	2区 中央下	
4438	75	128	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	14.6以上	7.2	5.2	985.9 万部欠損 基端部打痕、基部側面削打 痕（一部縫状波打痕）、 刃部横面削打痕、基部側 面削打痕	SD01	2区中央下 隔	2区 中央下	
4439	78	128	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	12.0以上	4.5以上	4.3以上	200.8 基部・部～刃部 刃部一部側面削打痕	SD01	2区北部被 上層	2区 北	
4440	75	129	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	13.0以上	6.8	4.2	674.5 基部 両面一部研磨（砥石として 使用）、基部側面打痕	SD01	2区中央3層 隔	2区 中央	
4441	76	129	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	6.0以上	7.3	4.2	261.0 刃部 基端部打痕、基部側面削打 痕、刃部横面削打痕、 基部側面打痕（一部縫状 波打痕）、基部側面削打 痕	SD01	2区北部1層 隔	2区 北	
4442	76	129	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	13.1	7.3	4.9	847.0 はば元斧 基端・刃部側面打痕（一部縫状 波打痕）	SD01	2区北部2層 隔	2区 北	
4443	130	129	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	5.7以上	6.0以上	4.6以上	200.8 基部一帯～刃部 一部	SD01	2区中央1層 隔	2区 中央	
4444	130	129	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	11.9以上	6.5以上	2.5以上	196.6 基部片側一部 基部上部剥離	SD01	2区北部下 層	2区 北	
4445	130	129	大型輪刃石 斧	半済成岩 (脆性～中性 の造岩物)	7.9以上	6.2以上	2.9以上	171.9 基部・部～刃部 刃部剥離、基部片側打痕 (一部縫状波打痕)	SD01	2区北部下 層	2区 北	

番号	所調番号	固有番号	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	現存厚(cm)	重量(kg)	残存状況	特法等	備考	直標名	直標	通標の位置
4446	77	131	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	10.1以上	7.3	4.8	563.0	基部一部 打痕	一面一端敲打痕、基部側面斜状 打痕、刃緣面、折損部鋸切部 打痕	SD01	2区北船下層	2区	
4447	77	131	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	10.6以上	6.0	3.7	358.2	基部	基部側面斜状 打痕、刃緣面打痕、基部片面斜打痕 (一部擦痕打痕)	SD01	2区北船2下層	2区	
4448	77	131	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	9.5以上	6.7以上	4.8	349.0	基部	基部側面斜打痕、基部片面斜打痕 (一部擦痕打痕)	SD01	2区中央下層	2区	
4449	78	132	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	11.9以上	6.0以上	5.9	676.3	側面一部 刃緣打痕	基部側面・側面敲打痕、折損部錐 刃緣打痕	SD01	2区中央下層	2区	
4450	78	132	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	6.9以上	6.0以上	5.0以上	253.6	基部	基部側面斜状敲打痕、基部敲打 痕、一面剥落	SD01	2区中央下層	2区	
4451	78	132	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	9.7以上	6.9	4.7	349.3	刀部一部	刃緣敲打痕、基部片面・側面 打痕、折損面一面擦痕打痕	SD01	2区中央下層	2区	
4452	78	133	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	11.2以上	5.9	2.9	325.8	基部	基部側面斜打痕、刃部折損面斜打痕 (一部擦痕打痕)、基部側面一面 削痕打痕	SD01	2区中央下層	2区	
4453	78	133	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	5.5以上	6.1以上	4.8	240.0	基部	基部側面斜打痕、基部片面 一面削痕打痕(一部擦痕打痕)、 刃緣状剥落	SD01	2区南船下層	2区	
4454	78	133	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	12.2以上	4.4	3.6	328.2	刃部欠損	基部側面斜打痕	SD01	3区中央北船	3区	
4455	79	134	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	19.6以上	7.6	5.2	1261.6	基部一部 側面	基部側面打痕、基部片面・側面打 痕(一部擦痕打痕)、基部側面一面 削痕打痕	SD1015	SD1008	1区	
4456	79	134	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	9.1以上	6.0以上	5.0以上	469.4	基部	基部側面打痕、基部側面一面 削痕打痕(一部擦痕打痕)、基部側面 一面削痕打痕	SD1008	SD1008	1区	
4457	79	134	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	8.2以上	7.7以上	4.5以上	226.5	刀部	刃緣刃邊剥離痕、刃部一部剝落	SD1067	SD1067	2区	
4458	79	135	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	6.6以上	—	6.9	461.1	刀部	刃緣一面削痕打痕、基部側面一面 削痕打痕(一部擦痕打痕)、基部側面 一面剥落	SX1010	SX1010	2区SD01内層	
4459	79	135	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	3.7以上	—	2.6	1.3	23.0	基部一部	刃緣一面 (一部擦痕打痕)	SX1019	SX1019	2区SD01内層
4460	80	135	大型蛤刃石斧	半済成岩 (脆性～中性 の硬岩類)	11.8以上	—	7.7	4.6	571.6	基部一部	刃緣一面 (一部擦痕打痕)	SX1034	SX1034	3区SD01外層

番号	標高(m)	測量番号	風向番号	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	現存厚(cm)	重量(g)	残存状況	持法等	遺構名	層位	遺構の位置
4461	80	35 · 136	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		17.3	6.9	3.9	861.8	はげた生存	基端部打痕、基部側面一部 能打痕（一部端部洗打痕）、 基部両面一部能打痕（一部 能打痕、刃棒側面削溝 部、刃部側面長痕）	SX-034	3区SD01外周	
4462	81	136	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		7.7以上	7.1	5.3	482.9	基部	基端部打痕、基部側面 能打痕	SX-035	3区SD01外周	
4463	81	136	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		9.7以上	6.6	4.8	524.9	基部	部~刃部 刃端部打痕、基部側面~側面 能打痕（一部端部洗打痕）、 基部側面一部能打痕	SX-049	4区	
4464	81	137	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		6.5以上	4.4	2.5	93.5	基部	刃部欠損 折損部側面能打痕	SX-050	4区	
4465	137	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		6.9以上	4.8以上	5.5以上	182.0	基部	基端部打痕	刃端部打痕	SX-054 または SX-055	4区	
4466	137	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		3.4以上	5.9以上	3.4以上	61.5	刃部	刃端部 能打痕	刃端部打痕	包含層	4区	
4467	137	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		7.4以上	5.2以上	4.3以上	222.2	刃部~部	刃端部側面能打痕	刃端部側面能打痕	包含層	4区	
4468	138 · 139	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		6.6以上	4.0以上	5.7以上	69.2	基部~部	基部側面能打痕	基部側面能打痕	包含層	4区	
4469	81	138 · 139	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		8.6以上	4.2以上	2.6	130.4	基部~刃部 一部	基部側面能打痕、 折損部側面能打痕、刃端部 能打痕	包含層	4区	
4470	138 · 139	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		9.9以上	5.6以上	4.5以上	235.2	基部~部	基部側面~片側一部能打痕	基部側面~片側一部能打痕	包含層	4区	
4471	138 · 139	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		5.3以上	2.9以上	4.4以上	99.8	基部~部	基部側面能打痕	基部側面能打痕	包含層	4区	
4472	138 · 139	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		5.7以上	3.0以上	3.9以上	58.9	基部~部	基端部 能打痕	基端部打痕、基部側面能打痕	包含層	4区	
4473	82	138 · 139	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		8.4	4.4以上	3.2	152.5	基部	基端部打痕、基端部側面能打痕、 基端部打痕	包含層	4区	
4474	138 · 139	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		9.5以上	6.2	4.3	363.1	基部	基端部打痕（一部端部洗打痕）、 折損部側面能打痕	包含層	4区		
4475	138 · 139	大型蛤刃石斧	半済成岩 (酸性~中性 の硅岩類)		5.1以上	7.0	4.1	265.4	基部	基端部打痕	4486と同一 個体の可能	4区		

標本番号	採取番号	採取場所	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	重量(g)	現状状況	技法等	備考	備考名	層位	遺跡の位置
44476	138 - 139	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	3.8以上	4.3以上	3.8以上	60.2 基部 - 部			包含層	4区	
44477	140	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	6.4以上	6.5以上	5.4以上	344.9 基部 - 部			包含層	4区	
44478	140	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	10.0以上	4.2以上	3.6	197.9 基部 - 部	折損面 (左面) 基部側面 削打痕		包含層	3区	
44479	82	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	7.9以上	5.3	3.2	252.8 基部			包含層	3区	
44480	82	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	12.0	6.4	3.8	388.8 刃部 - 基部 - 部	刃部側面 削打痕、基部側面 削打痕 (一部 折損面削打痕)		包含層	3区	
44481	141	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	6.0以上	5.2以上	3.0以上	97.9 刃部	刃部側面 削打痕		包含層	3区	
44482	141	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	5.3以上	4.2以上	3.1以上	94.4 基部 - 部			包含層	3区	
44483	83	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	12.5以上	7.5	4.9	805.1 基部	基部側面 削打痕、刃部側面 削打痕		包含層	3区	
44484	83	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	9.5以上	6.4	4.6	454.2 基部	基部側面 削打痕		包含層	3区	
44485	142	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	2.6以上	7.0以上	1.5以上	176 刃部 - 部	刃部 - 基部側面 削打痕		包含層	3区	
44486	142	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	7.1以上	7.9	4.6	451.6 基部	基部側面 削打痕 (一部 折損面削打痕)		包含層	3区	
44487	83	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	13.0以上	6.6	4.0	506.1 刃部 - 部	基部側面 削打痕、基部側面 削打痕 (一部 折損面削打痕)		包含層	3区	
44488	84	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	11.4以上	4.9	3.1	279.5 刃部 - 部	基部側面 削打痕 - 部 削打痕		包含層	3区	
44489	143	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	7.5以上	6.1以上	2.7以上	116.8 基部 - 部	研磨不十分		包含層	3区	
44490	84	大型蛤引石斧 斧	半深成岩 (斑岩質)	半深成岩 (斑岩質)	10.0以上	7.5	5.0	578.7 刃部	刃部側面 削打痕、基部側面 削打痕		包含層	3区	

番号	種類	固形番号	種類番号	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	重量(kg)	現存高(cm)	現存底(cm)	備考	遺構名	層位	遺構の位置
4491	大型船刃石斧	144	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	半深底岩斧	5.1以上	6.3以上	4.6	237.5	基部	基部側面・内面底打痕(底 壳跡)	包含層	3区		
4492	大型船刃石斧	144	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	半深底岩斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	3.0以上	5.2以上	3.4以上	71.5	刃部一部	刃部や基部 側面	包含層	3区		
4493	大型船刃石斧	144	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	半深底岩斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	10.7以上	4.2以上	5.2以上	267.5	基部一部	基端底打痕、基部両面・側面 底打痕	包含層	2区-3区		
4494	大型船刃石斧	145	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	半深底岩斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	13.4以上	6.4	4.0	654.8	基部~刃部	万縫横れ、基部両面・側面被 打痕(一部底打痕)、刀 部折面底打痕、馬蹄折 面底打痕	包含層	2区		
4495	大型船刃石斧	145	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	半深底岩斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	8.2以上	6.4	4.9	380.5	刃部	刀縫底打痕、基部側面底打 痕(一部底打痕)、刀 部折面底打痕	包含層	2区		
4496	大型船刃石斧	145	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	半深底岩斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	12.3以上	4.0以上	3.8以上	192.8	側面~片面 部	基部側面底打痕	包含層	2区		
4497	大型船刃石斧	146	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	半深底岩斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	8.6以上	6.9	4.1	441.0	刃部	刃縫帶域、基部側面底打痕 基部側面底打痕(側状痕打 痕合)	包含層	2区		
4498	大型船刃石斧	146	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	半深底岩斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	15.4	5.9	4.6	601.9	刃部	基端底打痕、基部両面一部 底打痕、刃縫帶域	包含層	1区		
4499	大型船刃石斧	146	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	半深底岩斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	11.0以上	5.4以上	4.4	364.4	基部一部~刃 部	刃縫帶域	包含層	1区		
4500	大型船刃石斧	147	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	半深底岩斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	13.7	7.2	3.3	575.0	完存	基端・基部側面底打痕	包含層	1区		
4501	大型船刃石斧	148	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	半深底岩斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	24.5	7.3	4.1	1372.3	完存	基端一部側面、基部側面・側 面底打痕、刃縫・側縫帶域	包含層	出土位置不 明		
4502	大型船刃石斧	147	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	半深底岩斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	5.3以上	3.8	2.0	55.7	基部火鉢	刃縫帶域	包含層	3区		
4503	大型船刃石斧	147	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	半深底岩斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	7.3以上	4.5	3.3	177.4	基端火鉢	刃縫帶域、刃縫面底打痕 基部片側面・側縫帶域	包含層	1区		
4504	大型船刃石斧	149	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	結晶片岩	11.7以上	4.6	3.2	279.2	刃部火鉢	基端・基部全曲・折板底 底打痕	SK-030	1区		
4505	大型船刃石斧	149	大型船刃石斧 (犠牲~中性) (の殻岩削)	結晶片岩	17.2	4.1	2.5	283.1	刃部	刃縫打痕、基部側面底打痕 (一部側面火鉢)、一部側面 底打痕	SD01	3区北壁不 詳		

番号	地図番号	面積番号	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	現存厚(cm)	重量(g)	保存状況	技術等	備考	遺跡名	層位	遺構の位置
4506	88	149	大型粒刃石斧	結晶片岩	11.2以上	4.2	2.9	267.8	基端欠損	刃端挫り、折損部打痕、基部片面側面削打痕(一部基部片面側面削打痕)	SD01	3区中央北縁上層	3区	
4507	88	150	大型粒刃石斧	結晶片岩	6.6以上	5.1以上	2.75以上	87.2	基端・部	基端部打痕、基部側面一面削減・光沢	SD01	3区海壁不詳	3区	
4508	88	150	大型粒刃石斧	結晶片岩	9.1以上	3.2以上	4.2	236.0	基端・部	基端一部削減不十分可能性	SD01	3区北壁不詳	3区	
4509	89	150	大型粒刃石斧	結晶片岩	12.7	4.8	3.5	367.3	基端一部欠損	基端・基部側面削打痕、基部側面削打痕、刃端挫り	SD01	出土位置不明	出土位置不明	
4510	89	35・151	大型粒刃石斧	蛇紋岩	15.1	6.5	3.6	566.2	は完存	基端部打痕、体部一部研磨等不分	SD01	出土位置不明	出土位置不明	
4511	90	151	柱狀片刃石斧	安山岩	3.3以上	3.5以上	1.4以上	20.5	基端・端	抉り、一部研磨不十分	SD01	2区中央下層	2区	
4512	90	152	柱狀片刃石斧	シルト岩	5.5以上	2.9	4.4以上	97.1	基端～刃部一部	断面長方形、4面研磨	SP1094	2区		
4513	90	35・152	柱狀片刃石斧	シルト岩	13.8	2.8	4.4	350.0	は完存	抉り、基端丸い、全面研磨	SK1050	4区		
4514	90	152	柱狀片刃石斧	シルト岩	6.6以上	3.0	4.0	120.8	基端一部	抉り、基端平坦、基部端形、側面削減・新面形成	SD01	出土位置不明	出土位置不明	
4515	90	152	柱狀片刃石斧	シルト岩	4.4以上	2.4	3.6	52.6	基端付近?	基端突出?、側面鋸刃痕、未製品の可能性	SD01	4区		
4516	92	152	柱狀片刃石斧	シルト岩	5.5以上	3.1	3.6	87.7	刃部附近	刃端強化削減痕、刃部一部剥離	SD01	2区		
4517	94	153	小型柱狀片刃石斧	結晶片岩	10.8以上	0.8	1.4	23.7	基端欠損	小端・4面削磨、断面形長方形	SP1068	2区SD01内側		
4518		153	柱狀片刃石斧	結晶片岩	9.2以上	1.4	1.4	31.9	刃根・基端欠損	後全体研磨、基端前上面、側面未研磨削減、3面研磨	SP1076	2区SD01内側		
4519	90	153	柱狀片刃石斧	結晶片岩	9.2	2.4	2.5	97.8	基端欠損?	側面未研磨削減、刃端・万保研磨、基端丸い、断面長方形	SK1018	1区		
4520		153	柱狀片刃石斧	結晶片岩	6.6以上	2.9	2.9以上	63.6	基端一部残存、基部前面欠損	側面削減・断面形長方形	SK1020	1区		
4521		154	柱狀片刃石斧	結晶片岩	10.5以上	1.4	3.7	96.7	基端削減欠損	側面削減・側面片面未製品の可能性	SK1056	2区SD01内側		
4522	90	154	柱狀片刃石斧	結晶片岩	8.8	1.4	3.5	67.1	基端欠損	側面削減・断面形長方形	SK1083	2区SD01内側		
4523		154	柱狀片刃石斧	結晶片岩	9.4以上	1.7以上	2.1以上	56.1	基端一部、2面欠損?	側面削減・側面形長方形	SK1088	2区SD01内側		
4524		154	柱狀片刃石斧	結晶片岩	10.5以上	1.4以上	3.9以上	74.6	基端一部、2面欠損?	側面削減	SK1159	2区SD01内側		

番号	標本番号	固結番号	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	現存厚(cm)	重量(g)	現存状況	技法等	備考	遺構名	層位	遺構の位置	
4525	151	柱狀片刃石斧	精晶片岩	6.6以上	1.4以上	4.2以上	42.8	刃部一部、両側面欠損?			SK303	3区SD01内側			
4526	151	柱狀片刃石斧	精晶片岩	5.2以上	0.7以上	2.1以上	7.3	基部一部、3面欠損	1面研磨、抉り		SK327	3区SD01内側			
4527	151	柱狀片刃石斧	精晶片岩	6.5以上	1.1以上	4.6以上	43.9	基部一部、鋸	3面欠損		SD01	3区北部・中	3区		
4528	151	柱狀片刃石斧	精晶片岩	5.9以上	1.9以上	4.2以上	69.9	刃部一部、1面欠損	3面研磨刃軍、1辺折断面、折和剥落の鑿痕		SD01	3区中央北上	3区		
4529	155	柱狀片刃石斧	精晶片岩	9.9以上	1.2	4.1	59.8	基部一部、2面欠損	抉り、2面研磨		SD01	3区中央北上	3区		
4530	90	155	柱狀片刃石斧	精晶片岩	13.1以上	2.5	4.8	233.5	基部一部、刃部側面折損	抉り、3面研磨		SD01	3区中央北上	3区	
4531	155	柱狀片刃石斧	精晶片岩	5.3以上	0.5	2.1	8.2	刃部一部、1面欠損	3面研磨		SD01	3区北部・中	3区		
4532	155	柱狀片刃石斧	精晶片岩	6.以上	1.6	1.8	27.4	基部・刃縁欠損	2面研磨、側面未研磨、刃部付近半鍛		SD01	3区北部・中	3区		
4533	91	155	柱狀片刃石斧	精晶片岩	5.7以上	2.2	3.2	57.1	基部一部、両端折損	3面研磨、滑部削付(横)、刃部打痕		SD01	3区南部下層	3区	
4534	155	柱狀片刃石斧	精晶片岩	7.6以上	2.2以上	4.6	113.9	基部一部	3面研磨		SD01	3区北壁不詳	3区		
4535	155	柱狀片刃石斧	精晶片岩	7.4以上	1.7以上	2.1以上	44.6	基部一部、萬	2面研磨刃軍、基部横窓小十分		SD01	2区北部最上層	2区		
4536	155	柱狀片刃石斧	精晶片岩	3.7以上	1.7以上	2.9以上	32.3	基部一部	2面研磨		SD01	2区北部上	2区		
4537	155	柱狀片刃石斧	精晶片岩	10.2以上	1.7以上	5.0	139.2	基部・側面欠損	抉り、刃部摩耗、3面研磨		SD01	2区中央上	2区		
4538	155	柱狀片刃石斧	精晶片岩	7.5以上	1.7以上	4.2以上	49.3	基部一部、2面欠損	抉り、2面研磨		SD01	2区中央上	2区		
4539	155	柱狀片刃石斧	精晶片岩	6.7以上	2.6	1.9	60.1	基部一部	基部半抜、抉り(端部がわずかに凹む程度)、4面研磨		SD01	2区南部上層	2区		
4540	91	156	柱狀片刃石斧	精晶片岩	11.7以上	2.9以上	4.5	211.9	基部・側面欠損	基部半抜、側面研磨、基部付近半鍛		SD01	2区中央下	2区	
4541	156	扁平片刃石斧	精晶片岩	6.4以上	1.2以上	3.6以上	41.8	基部一部、2面欠損	基部研磨、側面側面研磨		SD01	2区中央下	2区		
4542	156	柱狀片刃石斧	精晶片岩	6.以上	1.5以上	1.5以上	17.6	基部一部、2面欠損	側面研磨		SD01	2区北壁上層	2区		
4543	156	柱狀片刃石斧	精晶片岩	4.5以上	0.9以上	3.8以上	14.7	基部一部、1面欠損	1537と同一部		SX1012	2区SD01内側			
4544	156	柱狀片刃石斧	精晶片岩	5.5以上	1.9以上	3.0以上	49.3	基部一部	2面研磨		SX1028	3区SD01外側			
4545	156	柱狀片刃石斧	精晶片岩	4.以上	0.9以上	2.1以上	6.8	刃部一部	1面研磨		SD01	包合層	4区		
4546	91	156	柱狀片刃石斧	精晶片岩	7.9以上	1.3以上	3.6	49.7	刃部一部、1面欠損	3面研磨		SD01	包合層	4区	
4547	157	柱狀片刃石斧	精晶片岩	4.4以上	1.5以上	2.0以上	16.7	基部一部	抉り、1面研磨		SD01	包合層	4区		

番号	地図番号	標本番号	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	現存厚(cm)	残存量(g)	残存状況	技法等	参考	遺跡名	部位	遺跡の位置	
4558	157	柱狀片刃石斧	精晶片岩	1.0以上	1.2以上	3.9	72.2	基部一部、2面欠損、3面研磨、斜面削除、折損	基部一部、2面欠損、3面研磨、斜面削除、	基部一部、2面欠損、3面研磨、斜面削除、	4区				
4549	157	柱狀片刃石斧	精晶片岩	9.9以上	1.8	2.5	58.3	基部一部、2面欠損、2面研磨	基部一部、2面欠損、2面研磨	基部一部、2面欠損、2面研磨	4区				
4550	157	柱狀片刃石斧	精晶片岩	5.5以上	0.8以上	2.4以上	9.7	基部一部、3面欠損、抉り、一面研磨	基部一部、3面欠損、抉り、一面研磨	基部一部、3面欠損、抉り、一面研磨	4区				
4551	157	柱狀片刃石斧	精晶片岩	9.9以上	1.4以上	3.6以上	70.5	基部一部、2面欠損、抉り、一面研磨	基部一部、2面欠損、抉り、一面研磨	基部一部、2面欠損、抉り、一面研磨	3区				
4552	157	柱狀片刃石斧	精晶片岩	10.9以上	2.2以上	3.4	132.1	基部一部、2面欠損、1面研磨、一面削除、一面研磨	基部一部、2面欠損、1面研磨、一面削除、一面研磨	基部一部、2面欠損、1面研磨、一面削除、一面研磨	3区				
4553	158	柱狀片刃石斧	精晶片岩	6.6以上	1.3以上	2.3以上	20.8	基部一部、2面欠損、一面研磨	基部一部、2面欠損、一面研磨	基部一部、2面欠損、一面研磨	3区				
4554	158	柱狀片刃石斧	精晶片岩	5.6以上	1.3以上	4.8	40.2	基部一部、2面欠損、一面研磨	基部一部、2面欠損、一面研磨	基部一部、2面欠損、一面研磨	3区				
4555	158	柱狀片刃石斧	精晶片岩	2.6以上	2.0以上	1.8	18.8	基部一部、1面欠損、基端は2面平坦、3面研磨	基部一部、1面欠損、基端は2面平坦、3面研磨	基部一部、1面欠損、基端は2面平坦、3面研磨	3区				
4556	91	158	柱狀片刃石斧	精晶片岩	9.9以上	1.1以上	2.3以上	43.1	基部一部～刀部一部、2面研磨	基部一部～刀部一部、2面研磨	基部一部～刀部一部、2面研磨	3区			
4557	158	柱狀片刃石斧	精晶片岩	7.1以上	1.3以上	2.7	38.0	基部一部欠存、側1面研磨、1面削い研磨	基部一部欠存、側1面研磨、1面削い研磨	基部一部欠存、側1面研磨、1面削い研磨	3区				
4558	158	柱狀片刃石斧	精晶片岩	6.5以上	1.8以上	5.0	78.3	基部一部、1面欠損、3面研磨	基部一部、1面欠損、3面研磨	基部一部、1面欠損、3面研磨	3区				
4559	158	柱狀片刃石斧	精晶片岩	14.1以上	1.3以上	2.1以上	36.3	刀部一部、2面研磨	刀部一部、2面研磨	刀部一部、2面研磨	2区				
4560	158	柱狀片刃石斧	精晶片岩	6.0以上	1.0以上	3.9以上	23.8	基部一部、2面欠損、2面研磨	基部一部、2面欠損、2面研磨	基部一部、2面欠損、2面研磨	2区				
4561	158	柱狀片刃石斧	精晶片岩	6.1以上	0.9以上	3.3	22.8	基部一部、2面欠損、2面研磨	基部一部、2面欠損、2面研磨	基部一部、2面欠損、2面研磨	2区				
4562	158	柱狀片刃石斧	精晶片岩	14.4以上	1.2以上	3.7以上	91.7	基部一部～刀部一部、2面研磨、刃缘清れ	基部一部～刀部一部、2面研磨、刃缘清れ	基部一部～刀部一部、2面研磨、刃缘清れ	2区				
4563	91	157	柱狀片刃石斧	精晶片岩	10.6	2.0	5.5	170.9	基部一部、2面研磨	基部一部、2面研磨	基部一部、2面研磨	SD01	2区南部臺上	2区	
4564	92	159	柱狀片刃石斧	精晶片岩 未製品	18.6	3.0	7.3	586.9	完存	抉り、削り、側面削除を残す、側面自然面	抉り、削り、側面削除を残す、側面自然面	SD01	2区北側上	2区	
4565	93	160	柱狀片刃石斧	精晶片岩 未製品	22.2	2.6	5.7	597.9	完存	側面自然面	側面自然面	SK1369	3区SD01内側		
4566	93	161	扁平片刃石斧	シルト岩	8.9以上	4.2	2.2	132.8	基端欠損	基端削除、断面形長方形	基端削除、断面形長方形	SD01	2区北側上	2区	
4567	94	35	161	小型方柱状片	シルト岩	6.2	1.5	2.0	33.9	完存	側面未研磨、側面刃部削除	側面未研磨、側面刃部削除	SD01	2区南部上層	2区
4568	94	161	小型方柱状片	シルト岩	5.0	0.7	1.0	5.9	刀部一部欠損	刀部一部欠損	刀部一部欠損	SD01	2区北部尖端	2区	
4569	94	161	小型方柱状片	軽板岩	4.2以上	1.6以上	1.5	12.7	刀部一部、側面1面欠損	刀部一部、側面1面欠損	刀部一部、側面1面欠損	SD01	3区 トレンチ	3区	
4570	94	161	小型方柱状片	軽板岩	3.7以上	0.8以上	1.5	6.7	基部一部、1面欠損	基部一部、1面欠損	基部一部、1面欠損	SD01	2区中央2ド	2区	

番号	標本番号	包収番号	種類	石材	現在長(cm)	現在幅(cm)	現在厚(cm)	現存状況	残存状況	参考	遺構名	層位	遺構の位置
4571	94	35・161	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	13.8	1.2	1.6	48.7 ほぼ完存	小堀、基部・断面研磨不十分、基 漏斗形状、断面形長方形	SP1051	2F(SD01)内側		
4572		161	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	6.1以上	1.6	1.4	28.0 基部一部 削除され、断面形長方形	基部一部・端斜め、断面形長 方形	SD01	3F(北廊最上層)	3K	
4573	94	161	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	9.3	1.5	1.1	33.2 ほぼ完存	基部平坦、4面研磨、断面形長 方形	SD01	2F(南廊・西廊)	2K	
4574	161	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	7.4以上	1.0以上	1.6	16.9 基部・刃部、刃部摩耗 2面研磨、刃部摩耗	基部一部・側面1面研磨不十分、 基部斜め、断面形長方形	SD01	2F 中央下層	2K		
4575	161	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	6.9以上	0.5以上	1.6	9.4 基部3面欠損 1面研磨	基部一部・側面1面研磨不十分、 基部斜め、断面形長方形	SD01	2F 中央3F 層	2K		
4576	94	162	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	8.5	1.1	1.3	23.2 ほぼ完存	基部・側面1面研磨不十分、 基部斜め、断面形長方形	SD01	2F 中央3F 層	2K	
4577	94	162	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	7.9以上	1.1	1.7	21.0 基部欠損 刃部摩耗、側面研磨不十分、 刃部近縁部	刃部摩耗、側面研磨不十分、 刃部近縁部	SX1029	3F(SD01)外側		
4578	94	162	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	9.5	1.3	1.6	38.2 ほぼ完存	刃部摩耗、側面研磨不十分、 刃部近縁部	SD01	2F(南廊)	4K	
4579	94	162	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	5.6以上	0.7	1.4	10.8 基部欠損 刃部摩耗、側面研磨不十分、 刃部近縁部	刃部摩耗、側面研磨不十分、 刃部近縁部	SD01	2F(南廊)	3K	
4580	94	162	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	5.1以上	1.0	1.4	15.7 基部欠損 刃部摩耗、側面研磨、断面形長 方形	基部太い、底・側面研磨、 断面形長方形	SD01	2F(南廊)	3K	
4581	95	163	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	6.4	1.2以上	1.6	17.8 側面1面欠損 失差？ 3面研磨	基部太い、底・側面研磨、 断面形長方形	SD01	2F(南廊)	3K	
4582	95	163	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	5.2	1.2	1.3	15.1 完存	全面研磨、基部平坦、断面形長 方形	SD01	2F(南廊)	3K	
4583	95	163	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	9.9	2.0	1.2	37.7 ほぼ完存	基部太い、底・側面研磨、 断面形長方形	SD01	2F(南廊)	3K	
4584	95	163	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	6.1以上	1.1	1.7	19.0 基部欠損？	基部未研磨	SD01	2F(南廊)	3K	
4585	95	163	小型方柱抜片 刃石斧	結晶片岩	3.1以上	1.5	1.1	8.6 基部欠損？	側面研磨不十分、基部摩耗、断 面形長方形	SD01	2F(南廊)	3K	
4586	95	162	扁平片刃石斧 刃石斧	結晶片岩	5.6以上	3.4	1.6	44.4 基部欠損 基部太い、底・側面研磨	基部太い、底・側面研磨不十分、 基部太い、底・側面研磨	SD01	3F(上層)	3K	
4587	95	163	扁平片刃石斧 刃石斧	結晶片岩	3.4以上	4.1	1.5	29.3 基部欠損 基部太い、底・側面研磨	基部太い、底・側面研磨不十分、 基部太い、底・側面研磨	SD01	3F(上層)	3K	
4588	95	163	扁平片刃石斧 刃石斧	結晶片岩	5.2	2.9	1.2	35.0 ほぼ完存	側面欠損？ 全体摩耗	SD01	3F(上層)	4K	
4589	95	163	扁平片刃石斧 刃石斧	結晶片岩	6.7以上	1.8以上	1.5以上	27.0 刃部一部 基部太い、底・側面研磨	側面欠損？ 全体摩耗	SD01	3F(上層)	3K	
4590	95	35・163	扁平片刃石斧 刃石斧	結晶片岩	7.4	3.6	1.2	69.0 完存	基部付近研磨不十分、基 端斜め	SD01	3F(中安南側)	3K	
4591	96	35・163	扁平片刃石斧 刃石斧	頁岩	8.3	3.5	1.6	63.9 完存	基部研磨、刃部半切、両端研磨 不十分、被打痕	SD01	3F(中安南側) 上層	3K	
4592	96	164	扁平片刃石斧 刃石斧	結晶片岩	7.2以上	3.4	1.4	67.3 刃部欠損 63.7 基部一部 基部太い、底・側面研磨不十分、 基部やややくみ留る	側面研磨不十分、基部半切 基部太い、底・側面研磨不十分、 基部やややくみ留る	SP1083	2F(SD01)内側	2K	
4593	96	164	扁平片刃石斧 刃石斧	結晶片岩	9.5	3.2	1.1	63.7 基部 63.7 基部 基部やややくみ留る	基部太い、底・側面研磨不十分、 基部やややくみ留る	SK1129	2F(SD01)内側	2K	
4594		164	扁平片刃石斧 刃石斧	結晶片岩	7.4	4.1	0.9	50.2 ほぼ完存？ 丸い、	全体研磨不十分、刃部摩耗、基 部やややくみ留る	SK1251	3F(SD01)内側		

番号	種類	岩層番号	層別	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	重量(g)	現存厚(cm)	現存状況	技法等	層号	層名	層位	直標の位置
4595	扁平片刃石斧	164	結晶片岩	結晶片岩	4.8以上	2.9	0.6	11.7	基端欠損	前主面・後主面未研磨	SD01	3区北端下	3区	
4596	96	164	扁平片刃石斧	結晶片岩	6.4	2.6	1.1	28.7完存		基部未研磨	SD01	2区中央2下	2区	
4597	96	164	扁平片刃石斧	結晶片岩	5.8	4.6	1.6	57.1完存?	基部未研磨・全体掌突	SX1034	3区SD01外側			
4598	97	165	扁平片刃石斧	結晶片岩	3.4以上	2.2以上	0.5	5.0	5.0 2面残存?	2面研磨	SD01	3区4下	3区	
4599	97	165	扁平片刃石斧	結晶片岩	4.3	3.1	0.8	18.8-1饱满?	基部側面一部未研磨	基部側面一部未研磨	SD01	3区含槽	3区	
4600	97	165	扁平片刃石斧	結晶片岩	5.1	2.9	0.8	21.0	刃部一部欠損	基部側面一部研磨・折損部	SD01	3区含槽	3区	
4601	97	35・165	扁平片刃石斧	結晶片岩	13.1	7.5	1.5	286.5	基端・刃端欠損	側面研磨不十分・側面一部研磨	SD01	3区含槽	3区	
4602	97	165	扁平片刃石斧	結晶片岩	11.1	5.0	1.1	115.2	ほぼ完存	基部自然面・基端一部研磨	SD01	3区土壇不削	3区	
4603		165	扁平片刃石斧	結晶片岩	7.1以上	4.6以上	0.6以上	20.7	刃部・側面・片面欠損	側面研磨	SD01	3区南端下削	3区	
4604	97	165	扁平片刃石斧	不明(黒色)	5.4	3.2	1.0	34.4	完存	基部側面付近研磨不十分	SD01	3区SD01内側		
4605	97	165	扁平片刃石斧(黒色)	5.4	3.0	1.2	32.6	完存	基部側面研磨不十分	SD015	1区			
4606	98	166	塊状石斧	安山岩	11.3以上	11.6以上	2.8	316.5	側面欠損	片面薄状の凹み	SD01	2区北端上	2区	
4607	98	167	石劍	安山岩	19.6以上	7.0	3.0	435.5	片面・側面欠損	片側抉り・中央に縫	SD01	上層	2区	
4608	98	168	石劍	点状黑色 片岩	3.7以上	4.5	1.1	20.6	側面欠損	中央に縫	SD01	2区中央2下	2区	
4609	99	168	石劍	流紋岩	8.6	4.4	1.6	78.1	円錐・ほぼ完存	側面打痕・一部剥離・剝離部分一部無剥離	SD01	2区北部上層	2区	
4610	99	168	石劍	流紋岩	8.6	10.2	2.1	208.8	ほぼ完存	片面自然面・側面一部凹み・薄端面・片面擦痕	SD01	2区中央1層	2区	
4611	169	石鍬の可能性	安山岩	7.6	5.2	1.8	99.9	円錐・ほぼ完存	側面・剝離部分一部無剥離・剥離・側面一部鐵打痕・叩き石	SK1175	SD01	3区SD01外側		
4612	169	磨石	安山岩	8.8	7.8	2.4	185.0	円錐・半分欠損	側面・剝離部分一部無剥離	SD01	3区中央北側	3区		
4613	99	169	磨石	安山岩	8.9	5.5	2.6	159.5	円錐・ほぼ完存	側面・剝離部分一部無剥離	SD01	3区南端不削	3区	
4614	99	169	叩き石	安山岩	9.2	8.5	1.6	154.3	円錐・1/2以上	側面・剝離部分一部無剥離	SD01	2区北端上層	2区	
4615	99	169	磨石	安山岩	12.0	7.6	3.2	414.9	円錐・一部欠損	(一部鐵打痕)、側面・剝離部分一部無剥離	SD01	2区北端上層	2区	
4616	99	169	磨石	安山岩	11.0	8.6	3.7	521.6	円錐・ほぼ完存	側面・剝離部分一部無剥離	SD01	2区北端上層	2区	
4617	99	169	石鍬	安山岩	9.7	5.9	2.8	209.6	円錐・1/2以上	側面・剝離部分一部無剥離	SD01	2区北端上層	2区	

番号	地図番号	地名	種類	規格長(cm)	規格幅(cm)	規格厚(cm)	残存状況	技術等	備考	遺構名	階位	遺構の位置
4618	90	170	砲石	安山岩	9.9	5.3	1.8	146.8 円筒、ほぼ完全 研磨面凹凸有り、端打痕 (一部縦状焼打痕)	石锤の可能性 SD01	2区 中央下	2区	
4619		170	石綿	安山岩	10.0	7.5	2.7	399.1 円筒、ほぼ完全 研磨面凹凸有り、端打痕 ・削落、端落・凹み部 分空洞	石锤一端敲打痕石板用 包含層	4区		
4620		170	石綿	安山岩	9.0	6.6	2.0	166.4 円筒、ほぼ完全 研磨面凹凸有り、端打痕 ・削落、端落・凹み部 分空洞	石锤一端敲打痕石板用 包含層	4区		
4621		170	石綿	半深成岩 (酸性の斑岩帶)	10.2	7.0	3.1	330.9 円筒、完存 研磨面後削打痕(一部 縦状焼打痕)、削面 凹凸状焼打痕	石锤の可能性 SD01	2区 中央2下	2区	
4622	99	170	石綿の可能性 多岩	6.7以上	4.8	4.2	157.8 端部欠損 片側凹凸有り	有溝石锤の可 能性	SD1033	3区 SD01内側		
4623	99	170	石綿	砂岩	8.8	8.9	2.8	272.9 円筒、片面欠損 (一部縦状焼打痕)、一部 凹凸	凹凸有り石・叩石 SK1340 包含層	4区		
4624	100	171	筋縫車	流紋岩	5.7	5.7	1.0	49.0 ほぼ完全 研磨面欠損	孔眼、研磨、周縫等打 痕	包含層	4区	
4625	100	171	筋縫車	流紋岩	5.8	5.6	0.9	44.7 完存	孔眼、研磨	包含層	3区	
4626	100	171	円盤状石製品	流紋岩	5.3	5.5	0.8	24.7 ほぼ完全 研磨面欠損成形	孔眼	包含層	3区	
4627	100	171	円盤状石製品	流紋岩	6.0	6.2	1.0	48.3 ほぼ完全 研磨面欠損成形	孔眼	包含層	3区	
4628	100	172	円盤状石製品	流紋岩	7.4	8.2	1.2	97.5 完存?	周縫部削減成形・敲打痕	包含層	2区	
4629	100	172	円盤状石製品	安山岩	6.8	6.4	0.7	55.3 完存	周縫部削減成形	SK1012	2区 SD01内側	
4630		171	円盤状石製品	新鮮片岩	3.7以上	232.0	0.5	7.7 網目模様 は花崗岩	は花崗岩打痕(一部 縦状焼打痕)、端面大損・折 れ面打痕、ほぼ全体	包含層	4区	
4631		172	凹み石または 叩き石	流紋岩	9.7	4.5	4.2	251.7 網目模様 は花崗岩	は花崗岩打痕(一部 縦状焼打痕)、端面大損・折 れ面打痕、ほぼ全体	SD01 トレンチ	3区 北側断層	
4632		172	凹み石または 叩き石	流紋岩	7.0	7.7	3.2	233.7 棒状	前面凹み、敲打痕	包含層	3区	
4633	101	173	凹み石または 叩き石	流紋岩	15.1	4.6	2.2	213.6 縦長い円筒、 ほぼ完全 研磨面欠損	前面凹み、端面研磨、側面一部 石包丁未製品	包含層	2区	
4634		173	凹み石または 叩き石	流紋岩	9.1	7.0	2.6	162.1 円筒、端部欠損 は花崗岩	端部打痕	SD01	2区 北壁2上	
4635	101	173	凹み石または 叩き石	流紋岩	7.6	8.9	5.1	430.4 円筒、端部欠損 は花崗岩	前面凹み、端面打痕、側面一 部削減	SD1015	1区	
4636	101	174	凹み石または 叩き石	流紋岩	17.3	18.8	5.5	1807.9 横板、端部欠損 は花崗岩	前面凹損 ・端部打痕、側面打痕	SX1039	4区	
4637	101	173	凹み石または 叩き石	は花崗岩また は安山岩	13.5	5.8	5.5	483.2 円筒、端部欠損 は花崗岩	前面凹損 ・端部打痕、側面打痕	包含層	3区	
4638		175	凹み石または 叩き石	安山岩	12.9	10.5	4.3	814.8 円筒、完存	前面凹み、敲打痕 (一部縦状焼打痕)、一部 削減	SP1007	1区	

番号	標本番号	採取地	種類	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	現存厚(cm)	重量(g)	残存状況	技法等	備考	遺物名	層位	遺物の位置
4639	175	凹み石または叩き石	安山岩	11.0	8.3	3.6	539.9	円盤、ほぼ完存	両面凹み・鏡打痕、側面敲打痕	打痕（一部剥離）	SP1029		2区SD01内側	
4640	175	凹み石または叩き石	安山岩	15.4	9.8	5.0	825.4	板状	両面凹み・鏡打痕、側面敲打痕	打痕（一部剥離）	SP1047		2区SD01内側	
4641	175	凹み石または叩き石	安山岩	12.0	11.2	5.0	889.0	板状	両面凹み・鏡打痕、側面敲打痕	打痕（一部剥離）	SP1064		2区SD01内側	
4642	102	凹み石または叩き石	安山岩	11.8	5.0	3.1	259.4	円盤、ほぼ完存	両面凹み・鏡打痕、側面敲打痕	打痕（一部剥離）	SP1143		3区SD01内側	
4643	175	凹み石または叩き石	安山岩	8.2	4.4	4.6	207.5	板状	両面敲打痕		SK1021	1区		
4644	175	凹み石または叩き石	安山岩	8.5	6.7	3.9	285.0	円盤？ 14周	片面彫所凹み・敲打痕、片面彫所凹み・敲打痕、片面彫所凹み・敲打痕	片面彫所凹み・敲打痕、片面彫所凹み・敲打痕	SK1047		1区	
4645	175	凹み石または叩き石	安山岩	12.0	13.4	4.6	132.3	板状	一面彫所凹み・敲打痕、片面彫所凹み・敲打痕	一面彫所凹み・敲打痕、片面彫所凹み・敲打痕	SK1059		2区SD01内側	
4646	175	凹み石または叩き石	安山岩	11.2	7.8	2.4	324.4	円盤、完存	側面斜め？両面敲打痕、側面斜め？両面敲打痕	側面斜め？両面敲打痕、側面斜め？両面敲打痕	SK1059		2区SD01内側	
4647	102	凹み石または叩き石	安山岩	11.3	8.0	5.7	968.0	円盤、ほぼ完存	片面彫所凹み・敲打痕、片面彫所凹み・敲打痕	片面彫所凹み・敲打痕、片面彫所凹み・敲打痕	SK1072		2区SD01内側	
4648	175	凹み石または叩き石	安山岩	7.3	7.3	4.1	334.9	円盤、完存	側面打痕（一部剥離）	側面打痕（一部剥離）	SK1073		2区SD01内側	
4649	175	凹み石または叩き石	安山岩	8.2	6.5	5.7	341.1	円盤、完存	片面彫所凹み・敲打痕、側面敲打痕	片面彫所凹み・敲打痕、側面敲打痕	SK1077		2区SD01内側	
4650	175	凹み石または叩き石	安山岩	11.3	10.1	5.5	792.5	円盤、側面…品欠	片面彫所凹み・敲打痕、側面敲打痕	片面彫所凹み・敲打痕、側面敲打痕	SK1089		2区SD01内側	
4651	175	凹み石または叩き石	安山岩	11.0	8.0	4.5	547.4	円盤、完存	片面彫所凹み・敲打痕、側面	片面彫所凹み・敲打痕、側面	SK1107		2区SD01内側	
4652	176	凹み石または叩き石	安山岩	5.8	3.4	5.4	140.6	円盤、14周？	側面…一部剥離	側面…一部剥離	SK1110		2区SD01内側	
4653	176	凹み石または叩き石	安山岩	6.8	7.2	4.1	256.7	円盤、12周	片面彫所凹み・敲打痕、側面	片面彫所凹み・敲打痕、側面	SK1111		2区SD01内側	
4654	176	凹み石または叩き石	安山岩	9.7	13.7	5.6	849.6	円盤、12周	片面彫所凹み・敲打痕、側面	片面彫所凹み・敲打痕、側面	SK1122		2区SD01内側	
4655	176	凹み石または叩き石	安山岩	10.6	8.3	6.7	997.1	板状	片面彫所凹み・敲打痕、側面	片面彫所凹み・敲打痕、側面	SK1227		3区SD01内側	
4656	176	凹み石または叩き石	安山岩	10.2	7.8	3.8	402.5	板状	一面彫所、側面…一部剥離	一面彫所、側面…一部剥離	SK1233		3区SD01内側	
4657	102	凹み石または叩き石	安山岩	9.4	8.3	4.9	513.2	円盤、ほぼ完存	片面凹み・鏡打痕、側面敲打痕	片面凹み・鏡打痕、側面敲打痕	SK1266		3区SD01内側	

番号	標本番号	石材	現存長(cm)	現存幅(cm)	現存厚(cm)	重さ(g)	現存状況	技法等	遺物名	場所	遺跡の位置
4658	176	凹み石また安山岩	9.0	6.4	4.7	446.3	円錐、先仔	両面凹み・鏡打抜（一部繩状敲打痕）、側面敲打痕、片面・側面一面削	SK1323		3区SD01内側
4659	176	凹み石また安山岩	7.3	8.5	2.5	226.6	円錐、1/2周？	両面研磨、片面鏡打痕、側面鏡打痕（一部削落、側面削	SK1331		4区
4660	176	凹み石また安山岩	8.9	6.3	4.0	255.6	円錐、ほぼ完存	両面鏡打痕、側面鏡打痕（一部削落、側面削	SK1336		4区
4661	176	凹み石また安山岩	12.1	5.8	5.4	412.3	円錐、1/3周？	両面鏡打痕、片面鏡打痕（一部削落、側面鏡打痕（一部削	SD01	3区中央南下層	3区
4662	102	凹み石また安山岩	12.5	6.0	3.2	372.7	円錐、完存	両面一面削打痕、側面一部	SD01	3区中央北上層	3区
4663	176	凹み石また安山岩	8.0	7.5	3.6	291.2	円錐、ほぼ完存	両面凹み・鏡打痕、側面鏡打痕（一部繩状敲打痕）、一部	SD01	3区北部・中北下層	3区
4664	176	凹み石また安山岩	6.6	4.8	6.2	241.6	円錐、1/4周	両面鏡打痕、側面一部削打	SD01	3区北部・中北下層	3区
4665	177	凹み石また安山岩	8.9	6.6	4.1	255.1	円錐、1/2周	両面凹み・鏡打痕、側面鏡打痕（一部繩状敲打痕）、欠損、欠損部側面凹み	SD01	3区北22壁不規	3区
4666	177	凹み石また安山岩	8.6	8.6	2.9	338.4	板状	片面一面削打痕（側面斜面を含む）	SD01	3区東下層	3区
4667	177	凹み石また安山岩	8.3	6.7	5.3	299.4	円錐、1/2周、片面一面削打痕（一部繩状敲打痕）、側面鏡打痕	SD01	3区北部・中北下層	3区	
4668	177	凹み石また安山岩	9.5	7.0	2.7	236.9	円錐、片面欠損	両面鏡打痕、欠損部側面鏡打痕	SD01	3区東下層	3区
4669	177	凹み石また安山岩	8.0	7.8	4.2	331.4	円錐、完存	両面凹み・鏡打痕、側面鏡打痕（一部繩状敲打痕）	SD01	3区中央南最下層	3区
4670	177	凹み石また安山岩	7.7	5.8	4.8	265.6	円錐、1/2周、片面一面削打痕、側面鏡打痕、欠損	SD01	3区南側下層	3区	
4671	177	凹み石また安山岩	10.0	9.0	6.4	785.4	円錐、両端部欠損	両面凹み・鏡打痕、側面鏡打痕（一部繩状敲打痕）、欠損	SD01	3区南壁不詳	3区
4672	177	凹み石また安山岩	14.8	9.3	4.7	985.7	板状	片面鏡打痕、側面鏡打痕	SD01	3区南側不詳	3区
4673	177	凹み石また安山岩	8.8	7.7	4.9	442.5	円錐、1/2周程度	両面凹み・鏡打痕、側面鏡打痕（一部繩状敲打痕）、側面鏡打痕	SD01	3区南壁不詳	3区
4674	177	凹み石また安山岩	6.1	4.6	5.2	157.9	円錐？1/4周、片面一面欠損	片面鏡打痕、側面鏡打痕、欠損	SD01	3区南壁不詳	3区

番号	標本番号	種類	石材	規格長(㎝)	規格幅(㎝)	規格厚(㎝)	現存長(㎝)	現存幅(㎝)	現存厚(㎝)	重量(g)	残存状況	技法等	備考	遺産名	場所	遺産の位置
4675	177	凹み石また	安山岩	5.5	6.1	5.6	238.7	11.7	14.4	片面敲打痕、片面欠損	(一部錐状敲打痕)・鑿、欠損部、縫合部	SD01	3区北端不詳	3区		
4676	177	凹み石また	安山岩	6.5	10.1	6.5	490.2	10.7	12.4	片面敲打痕、片面欠損	(一部剥落、側面削打痕)・鑿、縫合部	SD01	3区北端不詳	3区		
4677	177	凹み石また	安山岩	9.8	6.5	4.6	380.0	11.7	14.4	片面敲打痕、1/4周?	(一部剥落、側面削打痕)・鑿、縫合部	SD01	3区北端不詳	3区		
4678	177	凹み石また	安山岩	7.4	7.9	4.2	373.8	11.7	14.4	片面敲打痕、1/4周?	(一部剥落、側面削打痕)・鑿、縫合部	SD01	3区北端不詳	3区		
4679	177	凹み石また	安山岩	10.1	6.6	4.7	495.5	11.7	13.4	片面敲打痕、周邊部分欠損	(一部錐状敲打痕)・縫合部	SD01	3区北端不詳	3区		
4680	177	凹み石また	安山岩	8.8	5.8	3.5	225.5	11.7	12.4	片面敲打痕、1/2周?	(一部剥落、縫合部)	SD01	3区北端不詳	3区		
4681	178	凹み石また	安山岩	7.5	5.0	6.1	200.7	11.7	13.4	片面敲打痕、一部剥落、破損	(一部錐状敲打痕)・縫合部	SD01	3区北部試掘ト	3区		
4682	178	凹み石また	安山岩	16.5	10.7	5.2	1220.9	11.7	13.4	片面敲打痕、1/2周?	(一部錐状敲打痕)・縫合部	SD01	2区北端2最上	2区		
4683	178	凹み石また	安山岩	8.9	7.9	3.5	356.8	11.7	14.4	片面敲打痕、1/4周?	(一部錐状敲打痕)・縫合部	SD01	2区中央1最下	2区		
4684	178	凹み石また	安山岩	9.3	9.4	5.6	694.6	板状		片面凹み・斜面	SD01	2区北部1上層	2区			
4685	178	凹み石また	安山岩	10.1	7.3	4.5	365.3	11.7	13.4	片面凹み・斜面	(一部錐状敲打痕)・縫合部	SD01	2区北部1上層	2区		
4686	178	凹み石また	安山岩	8.9	9.8	5.6	734.1	11.7	13.4	片面凹み・斜面	(一部錐状敲打痕)・縫合部	SD01	2区北部2上層	2区		
4687	178	凹み石また	安山岩	7.2	7.4	2.1	145.5	11.7	2/3周?	片面凹み・斜面	SD01	2区北部2上層	2区			
4688	178	凹み石また	安山岩	10.4	9.2	3.9	486.2	板状		片面凹み・斜面	SD01	2区中央2上層	2区			
4689	178	凹み石また	安山岩	10.9	7.1	3.1	357.2	11.7	13.4	片面敲打痕、縫合部	(一部錐状敲打痕)・縫合部	SD01	2区中央2上層	2区		
4690	178	凹み石また	安山岩	9.8	6.8	2.0	219.2	11.7	13.4	片面敲打痕、側面削打痕	(一部錐状敲打痕)・縫合部	SD01	2区中央2上層	2区		

番号	標高	固有番号	種類	石材	現存幅(cm)	現存高(cm)	重ね厚(cm)	重ね量(g)	残存状況	技法等	備考	差構名	層位	遺構の位置
4691	102	178	凹み石または叩き石	安山岩	10.9	12.6	7.8	1285.2	円盤、完存	片面凹み・敲打痕（一部繊維状剥離）	SD01	2区中央2下層	2区	
4692		178	凹み石または叩き石	安山岩	6.4	5.9	3.3	156.7	円盤、完存	片面凹み・敲打痕、側面敲打痕	SD01	2区中央3上層	2区	
4693		178	凹み石または叩き石	安山岩	8.8	6.0	5.7	356.3	円盤、1/2周	片面凹み・敲打痕、側面敲打痕 打痕（一部繊維状剥離）、片面敲打痕	SD01	2区中央3上層	2区	
4694		178	凹み石または叩き石	安山岩	10.6	9.4	4.0	573.0	円盤、ほぼ完存	片面凹み・敲打痕、側面敲打痕 打痕（一部繊維状剥離）、一片剥落	SD01	2区中央4上層	2区	
4695		179	凹み石または叩き石	安山岩	10.6	8.4	4.3	492.0	円盤、端部欠損	片面凹み・敲打痕 打痕（一部繊維状剥離）、砾折断跡	SD01	2区中央4上層	2区	
4696		179	凹み石または叩き石	安山岩	10.8	7.3	5.4	624.2	円盤、完存	圓曲面敲打痕、側面敲打痕 (一部繊維状剥離)	SD01	2区中央4上層	2区	
4697		179	凹み石または叩き石	安山岩	10.0	7.9	7.0	792.5	円盤、完存	片面・側面敲打痕（一部 砾孔敲打痕）	SD01	2区中央4上層	2区	
4698		179	凹み石または叩き石	安山岩	12.7	5.5	3.5	322.9	細長い円盤、完存	片面・側面敲打痕（一部 砾孔敲打痕）、側面	SD01	2区南部上層	2区	
4699		179	凹み石または叩き石	安山岩	10.0	5.8	3.1	348.1	板状	側面・側面敲打痕、側面 2面擦	SD01	2区南部上層	2区	
4700		179	凹み石または叩き石	安山岩	5.7	9.3	4.0	327.9	円盤、1/2周	打痕（一部繊維状剥離）、側面敲 打痕（一部繊維状剥離）、側面 胡巻、片面強磨	SD01	2区北部1下層	2区	
4701		179	凹み石または叩き石	安山岩	8.0	8.3	5.6	460.8	円盤、片面欠損	片面凹み・敲打痕（一部 砾孔敲打痕）、側面敲打痕 (一部繊維状剥離)、一面 剥落、片面強磨	SD01	2区北部1下層	2区	
4702		179	凹み石または叩き石	安山岩	9.8	7.9	3.4	344.9	円盤、1/2周	片面凹み・敲打痕（一部 砾孔敲打痕）、側面敲打痕 (一部繊維状剥離)、一面 剥落、片面強磨	SD01	2区北部1下層	2区	
4703		179	凹み石または叩き石	安山岩	8.5	8.0	5.0	387.8	円盤、1/2周	片面強磨？凹み・敲打痕 (一部繊維状剥離)、側面 敲打痕（一部繊維状剥離）、一面 剥落、片面強磨	SD01	2区北部1下層	2区	
4704		179	凹み石または叩き石	安山岩	10.5	6.3	3.0	280.7	円盤、片面欠損	片面凹み・敲打痕、側面 折損、側面強磨	SD01	2区北部2下層	2区	
4705		179	凹み石または叩き石	安山岩	7.5	4.1	5.3	194.8	円盤、1/2周	片面凹み・敲打痕（一部 繊維状剥離）、側面敲打痕、片面 剥落、片面強磨	SD01	2区中央1下層	2区	